

平成 25 年度
大学院課程教育修了時
アンケート集計結果

平成 26 年 10 月
教育・国際室

目次

- 教育質保証委員会委員長からのコメント・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- アンケート集計結果<全学共通項目>・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- アンケート集計結果<全学共通項目>(博士課程前期)・・・・・・・・・・ 13
- 総合科学研究科
 - ・ 研究科総評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - ・ アンケート集計結果(博士課程前期)・・・・・・・・・・・・ 17
- 文学研究科
 - ・ 研究科総評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
 - ・ アンケート集計結果(博士課程前期)・・・・・・・・・・・・ 36
- 教育学研究科
 - ・ 研究科総評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
 - ・ アンケート集計結果(博士課程前期)・・・・・・・・・・・・ 52
- 社会科学研究科
 - ・ 研究科総評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
 - ・ アンケート集計結果(博士課程前期法政システム学専攻)・・・・・・・・ 70
 - ・ アンケート集計結果(博士課程前期社会経済システム学専攻)・・・・・・・・ 86
 - ・ アンケート集計結果(博士課程前期マネジメント専攻)・・・・・・・・ 102
- 理学研究科
 - ・ 研究科総評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
 - ・ アンケート集計結果(博士課程前期)・・・・・・・・・・・・ 117
- 先端物質科学研究科
 - ・ 研究科総評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133

・アンケート集計結果(博士課程前期)	134
● 医歯薬保健学研究科	
・研究科総評	142
・アンケート集計結果(博士課程前期医歯科学専攻)	143
・アンケート集計結果(博士課程前期口腔健康科学専攻)	155
・アンケート集計結果(博士課程前期薬科学専攻)	167
・アンケート集計結果(博士課程前期保健学専攻)	179
● 工学研究科	
・研究科総評	191
・アンケート集計結果(博士課程前期)	193
● 生物圏科学研究科	
・研究科総評	210
・アンケート集計結果(博士課程前期)	211
● 国際協力研究科	
・研究科総評	220
・アンケート集計結果(博士課程前期)	222
● 法務研究科	
・研究科総評	231
・アンケート集計結果	234
● アンケート集計結果<全学共通項目> (博士課程後期)	247

平成 25 年度大学院課程教育修了時アンケートの総評

教育・国際室教育質保証委員会委員長 岩永 誠

大学院課程教育修了時アンケートを実施するにあたり

大学院課程教育修了時アンケート（以下、「修了時アンケート」）は、大学院課程教育（以下、「大学院教育」）の PDCA サイクルの一つとして改善や質保証を行うために実施しており、大学院教育の成果を修了者に自己評価してもらうとともに、大学に対する要望等を聴くことは重要である。

平成 21 年度までは「卒業・修了予定者によるフィードバック調査」として、Web 調査により全学共通のアンケート項目のみを実施してきた。しかし、アンケートの回収率が低い上に、各研究科の独自の試みやその教育成果を評価する項目を設けていなかったため、評価に活用できないという問題を抱えていた。

修了予定者を対象としたアンケートが研究科の自己点検・評価のエビデンスに使えるものにすべきであることを旧教育評価委員会において決定し、各研究科の実態や独自性を考慮し、その成果を問えるアンケート項目にすること、回収率を上げるために Web だけでなく紙媒体での実施を可能とすること等の改善を行い、大学として「修了時アンケート」を実施することになった。このことにより、各研究科が実施している特徴ある教育の成果を検証することが可能になり、大学院教育の質保証、学生支援の充実・改善に活用できる基礎データを収集することができるようになった。

博士課程前期、修士課程、専門職学位課程及び博士課程（以下、「博士課程前期」）においては、各研究科で独自のアンケート項目を作成し、教育成果の評価を問うこととし、その結果は「大学院博士課程前期（修士課程）及び専門職学位課程における自己点検とその改善に関する年次報告書」のエビデンスとして活用できるようにしている。博士課程後期については、博士課程前期の項目を参考として項目を作成することとしている。また、学生生活の項目（以下、「学生生活」）に関しては、全学共通項目とし、博士課程前期と後期を通して回答を求めている。

なお、集計については、学生生活は全学で集計し、個別の教育成果に関する項目は各研究科で集計することとする。また、公表については、原則すべてを公開することとしているが、博士課程後期は回答数が少ないため研究科によっては個人が特定される可能性があることから、学生生活（全学共通項目）のみの集計を公表することとした。

本アンケートの項目を作成した各研究科の担当者及び実施、取りまとめの協力をしていただいた関係者の方々に深く感謝申し上げます。本アンケートが今後継続して実施され、大学院教育の質向上や学生支援の充実につながることを切に願っている。

全学の回答率について

平成 25, 24, 23 年度の回答率は、Table 1 のとおりである。今年度は、アンケート対象者 1,143 人（博士課程前期：1,037 人，博士課程後期：106 人）のうち、779 人の回答が得られ、回答率は 68.2%であった。これは、平成 24 年度の回答率 68.4%（アンケート対象者 1,279 人のうち 875 人から回答）とほぼ同率、平成 23 年度の回答率 27.6%（アンケート対象者 1,277 人のうち 352 人から回答）と比べ大きく上昇した。

平成 24 年度から、部局によっては紙媒体での回答も可能としている。実施方法による回答率を比較すると、紙媒体の回答率は 76.7%（対象者 662 人のうち 508 人回答）、Web の回答率は 56.3%（対象者 481 人のうち 271 人回答）という結果となり、昨年と同様、紙媒体で実施した方が高い回答率を得られていることが分かる。

Table 1 平成 25,24,23 年度の回答状況

2013年度(H25年度)				2012年度(H24年度)				2011年度(H23年度)			
研究科名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)	研究科名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)	研究科名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
全研究科(前期、後期含む)	1,143	779	68.2	全研究科(前期、後期含む)	1,279	875	68.4	全研究科	1,277	352	27.6
博士課程前期、修士、専門職	1,037	716	69.0	博士課程前期、修士、専門職	1,104	744	67.4	総合科学研究科	68	13	19.1
総合科学研究科	51	41	80.4	総合科学研究科	53	42	79.2	文学研究科	50	18	36.0
文学研究科	60	38	63.3	文学研究科	35	35	100.0	教育学研究科	193	49	25.4
教育学研究科	161	122	75.8	教育学研究科	172	134	77.9	社会科学研究科	64	17	26.6
社会科学研究科	63	45	71.4	社会科学研究科	59	33	55.9	理学研究科	147	30	20.4
└法政システム学専攻	35	19	54.3	└法政システム学専攻	25	9	36.0	先端物質科学研究科	103	49	47.6
└社会経済システム学専攻	15	15	100.0	└社会経済システム学専攻	20	11	55.0	医歯薬学総合研究科	66	15	22.7
└マネジメント専攻	13	11	84.6	└マネジメント専攻	14	13	92.9	保健学研究科	39	8	20.5
理学研究科	138	138	100.0	理学研究科	140	140	100.0	工学研究科	336	93	27.7
先端物質科学研究科	91	48	52.7	先端物質科学研究科	86	37	43.0	生物圏科学研究科	96	20	20.8
医歯薬保健学研究科	62	32	51.6	医歯薬保健学研究科	78	57	73.1	国際協力研究科	54	36	66.7
工学研究科	296	162	54.7	工学研究科	322	150	46.6	法務研究科	61	4	6.6
生物圏科学研究科	68	45	66.2	生物圏科学研究科	64	52	81.3				
国際協力研究科	21	19	90.5	国際協力研究科	46	22	47.8				
法務研究科	26	26	100.0	法務研究科	49	42	85.7				
博士課程後期	106	63	59.4	博士課程後期	175	131	74.9				
総合科学研究科	12	9	75.0	総合科学研究科	13	10	76.9				
文学研究科	9	4	44.4	文学研究科	6	5	83.3				
教育学研究科	30	16	53.3	教育学研究科	25	14	56.0				
社会科学研究科	—	—	—	社会科学研究科	1	1	100.0				
└法政システム学専攻	—	—	—	└法政システム学専攻	—	—	—				
└社会経済システム学専攻	—	—	—	└社会経済システム学専攻	—	—	—				
└マネジメント専攻	—	—	—	└マネジメント専攻	1	1	100.0				
理学研究科	9	9	100.0	理学研究科	16	16	100.0				
先端物質科学研究科	7	4	57.1	先端物質科学研究科	9	6	66.7				
医歯薬保健学研究科	—	—	—	医歯薬保健学研究科	48	43	89.6				
工学研究科	17	8	47.1	工学研究科	30	19	63.3				
生物圏科学研究科	8	2	25.0	生物圏科学研究科	17	13	76.5				
国際協力研究科	14	11	78.6	国際協力研究科	10	4	40.0				

学生生活の全学集計について

学生生活に関しては、広島大学として問題を把握し、対応していかなければならない事項であるため、全研究科を取りまとめて集計している。

今回の分析は、平成 25 年度と平成 24 年度のみを比較することとした。平成 23 年度は、博士課程前期・後期で分けて集計していない上、回答を 4 件法で行っていたため、5 件法で実施した 25、24 年度との直接比較ができないからである。また、学生生活に関するアンケート項目は 7 問あり、各項目には 6 個の選択肢があり、以下のように数値を割り割り振った。「大変満足できた」を 5、「概ね満足できた」を 4、「どちらでもない」を 3、「やや不満」を 2、「不満」を 1、「利用なし」を 0 とした。

学生生活に関する満足度の全体的な傾向を見るため、アンケート 7 項目の累積を求めた。その集計結果を Table 2 に示す。

平成 25 年度の延べ 4,501 (0,「利用なし」を除く) の回答のうち、2,865 が「満足できた」または「おおむね満足できた」という肯定的評価であった。これは全体の 63% を占め、平成 24 年度の 3,076 (67%) と比べて減少している。一方、「やや不満」または「不満」という否定的評価のべ回答数は 420 (9%) で、平成 24 年度の 603 (13%) と比べて改善している。

割り振られた値をもとに平均得点を求めたところ、平成 25 年度は 3.77、平成 24 年度は 3.75 であった。平成 24 年度と比べて 0.02 ポイントの増加にすぎず、ほぼ同じ水準を維持していると考えられることができる。

Table 2 学生生活に関するアンケート項目の全体的な状況

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	1,185	1,680	1,216	272	148	943	4,501	3.77	0.02	5,444
	26%	37%	27%	6%	3%	17%				
H24	1,242	1,834	894	315	288	1,171	4,573	3.75	0.02	5,744
	27%	40%	20%	7%	6%	20%				

※網掛け部分：0 (「利用なし」) / 合計 (5-0)

Table 3 学生生活に関するアンケート項目の集計結果（博士課程前期＋後期）

1. 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	280	261	139	41	28	29	749	3.97	0.03	778
	37%	35%	19%	5%	4%	4%				
H24	279	299	106	64	30	42	778	3.94		820
	36%	38%	14%	8%	4%	5%				

2. 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	146	194	172	19	18	227	549	3.79	0.14	776
	27%	35%	31%	3%	3%	29%				
H24	149	209	112	31	56	268	557	3.65		825
	27%	38%	20%	6%	10%	32%				

3. 保健管理センターでの対応とケア

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	168	230	175	15	15	175	603	3.86	0.08	778
	28%	38%	29%	2%	2%	22%				
H24	162	258	112	21	47	217	600	3.78		817
	27%	43%	19%	3%	8%	27%				

4. 図書館での対応やサービス

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	234	297	161	18	10	57	720	4.01	0.01	777
	33%	41%	22%	3%	1%	7%				
H24	236	336	119	18	27	79	736	4.00		815
	32%	46%	16%	2%	4%	10%				

5. 福利厚生施設（食堂や売店等）の施設や設備とサービス

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	156	297	156	105	49	16	763	3.53	-0.14	779
	20%	39%	20%	14%	6%	2%				
H24	188	327	147	95	37	24	794	3.67		818
	24%	41%	19%	12%	5%	3%				

6. 課外活動施設（グラウンドや体育館、テニスコート等）の施設や設備

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	89	186	158	37	11	297	481	3.63	0.07	778
	19%	39%	33%	8%	2%	38%				
H24	113	166	116	36	45	340	476	3.56		816
	24%	35%	24%	8%	9%	42%				

7. 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	112	215	255	37	17	142	636	3.58	0.06	778
	18%	34%	40%	6%	3%	18%				
H24	115	239	182	50	46	201	632	3.52		833
	18%	38%	29%	8%	7%	24%				

※網掛け部分：0（「利用なし」）／合計（5-0）

Table 3 に、博士課程前期と後期を通しての学生生活の集計を示した。

施設等を利用していない割合が高かったのは、課外活動施設（297 名，38%），学生プラザの学生支援部門（227 名，29%），保健管理センター（175 名，22%），授業以外での大学側のサポート（142 名，18%）であった。平成 24 年度と比べると，3～6%の違いはあるが，利用していない施設自体の順位は変わっていないと言える。大学院学生が利用しない施設・設備の多いことが分かる。

「大変満足できた」「概ね満足できた」と答えた割合は，1～7 のすべての質問項目で 50% を超えており，特に図書館（74%），所属研究科の学生支援室（72%）において高くなっている。しかし，平成 24 年度と比べると，すべての項目で 2～6 ポイント低下している。その一方で，「不満」「やや不満」の割合が高かったのは，福利厚生施設（20%）や課外活動施設（10%）であった。平成 24 年度と比較すると，福利厚生施設において 3 ポイント増加しているものの，その他の施設については 2～10 ポイント減少しており，不満を抱く人は減少していることがわかる。全体的な傾向として，満足・不満ともに減少しており，「どちらでもない」と回答する割合が増えていることがわかる。

全体の変化傾向を見るために，各項目の平均得点を算出した。平成 25 年度は 24 年度と比べていずれの項目も得点が上昇している。差がわずかなものもあるが，おおむね満足度が高まっていると言えよう。特に，平均が 4 を超えたものに，図書館（4.01）があり，そこでのサービスに学生は満足しているといえよう。

以上のことから，大学院学生は学生生活におおかた満足しているようであるが，食堂や売店と行った福利厚生施設やグラウンドや体育館という課外活動施設への不満がやや高いようである。特に福利厚生施設は，大学院生が頻繁に利用する施設である（利用なしは 2% にすぎない）ことから，20%もの大学院生が不満を感じていることは問題であると認識し，その原因を解明して不満を減らし満足度を高めるような取り組みを行うことが，今後の課題である。

学生生活の博士課程前期の集計について

学生生活について、博士課程前期のみを集計した結果は、Table1 に示したとおりである。回答者は 716 名で、回答率は 69.0%であった。

Table 4 学生生活の博士課程前期の全体的な状況

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	1,056	1,540	1,163	261	139	844	4,159	3.75	0.01	5,003
	25%	37%	28%	6%	3%	17%				
H24	1,072	1,589	740	279	269	892	3,949	3.74		4,841
	27%	40%	19%	7%	7%	18%				

※網掛け部分：0（「利用なし」）／合計（5-0）

博士課程前期学生の大学に対する満足度の全体的傾向を把握するため、1～7の項目をまとめた集計を行った。Table 4 の数値は述べ回答者数である。「大変満足できた」「概ね満足できた」と答えた割合は 62%であり、半数以上の前期課程学生が満足していたと回答していたが、平成 24 年と比べて 5 ポイント低下している。一方、「やや不満」「不満」と回答していたのは 9%で、平成 24 年度よりも 5 ポイント低下していた。「どちらでもない」の回答が増えたためだと考えられる。

Table 5 は個別質問ごとに集計したものである。施設等を利用していない学生割合が高いのは、課外活動施設（263 名，37%），学生プラザの学生支援部門（206 名，29%），保健管理センター（158 名，22%），授業以外での大学側のサポート（124 名，17%）であった。平成 24 年度と比べると、ほぼ同率か低下する傾向にある。大学院学生が利用しない施設・設備の多いことが分かる。

項目別に満足度を見ると、1～7のすべての質問項目で「大変満足できた」「概ね満足できた」と回答した割合は 50%を超えており、特に図書館（73%），所属研究科の学生支援室（70%），で高くなっている。それに対して、「不満」「やや不満」の割合が高かったのは、福利厚生施設（21%），所属研究科の学生支援室（10%），課外活動施設（10%）であった。

各項目の平均得点を見ても、平成 25 年度は 24 年度と比べて、図書館でのサービス及び福利厚生施設以外はいずれの項目も得点が上昇していた。しかし、平均が 4 を超えるものはなかった。

以上の結果から、学生が頻繁に利用する図書館や所属研究科の学生支援室での満足度が高く、さほど利用していない課外活動施設の不満度が高くなっていることがわかった。利用頻度が低いために、いざ利用したときの不満が印象に残っている可能性がある。しかし、福利厚生施設については、利用頻度が高いにもかかわらず不満（21%）を訴える割合は相対的に高かった。満足（58%）している割合に比べると低いとはいえ、日々利用する施設であることから、不満を引き起こす原因を解明し、今後の改善に向けての検討が必要であろう。

Table 5 学生生活に関するアンケート項目の集計結果（博士課程前期）

1. 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	242	243	138	40	27	25	690	3.92	0.02	715
	35%	35%	20%	6%	4%	3%				
H24	227	260	88	59	29	27	663	3.90		690
	34%	39%	13%	9%	4%	4%				

2. 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	131	175	164	19	18	206	507	3.75	0.12	713
	26%	35%	32%	4%	4%	29%				
H24	130	184	94	27	55	206	490	3.63		696
	27%	38%	19%	6%	11%	30%				

3. 保健管理センターでの対応とケア

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	149	212	168	14	14	158	557	3.84	0.05	715
	27%	38%	30%	3%	3%	22%				
H24	143	228	88	15	44	170	518	3.79		688
	28%	44%	17%	3%	8%	25%				

4. 図書館での対応やサービス

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	209	270	152	18	10	55	659	3.99	-0.01	714
	32%	41%	23%	3%	2%	8%				
H24	204	283	99	18	24	58	628	4.00		686
	32%	45%	16%	3%	4%	8%				

5. 福利厚生施設（食堂や売店等）の施設や設備とサービス

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	142	268	146	101	46	13	703	3.51	-0.18	716
	20%	38%	21%	14%	7%	2%				
H24	166	274	124	84	29	12	677	3.69		689
	25%	40%	18%	12%	4%	2%				

6. 課外活動施設（グラウンドや体育館，テニスコート等）の施設や設備

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	81	175	150	35	11	263	452	3.62	0.06	715
	18%	39%	33%	8%	2%	37%				
H24	103	153	98	32	43	259	429	3.56		688
	24%	36%	23%	7%	10%	38%				

7. 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	102	197	245	34	13	124	591	3.58	0.08	715
	17%	33%	41%	6%	2%	17%				
H24	99	207	149	44	45	160	544	3.50		704
	18%	38%	27%	8%	8%	23%				

※網掛け部分：0（「利用なし」）／合計（5-0）

学生生活の博士課程後期の集計について

学生生活について、博士課程前期のみを集計した結果は、Table1 に示したとおりである。回答者は 63 名で、回答率は 59.4%であった。

Table 6 学生生活の博士課程前期の全体的な状況 ※網掛け部分：0（「利用なし」）／合計（5-0）

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	129	140	53	11	9	99	342	4.08	0.26	441
	38%	41%	15%	3%	3%	22%				
H24	170	245	154	36	19	279	624	3.82		903
	27%	39%	25%	6%	3%	31%				

博士課程後期学生の大学に対する満足度の全体的傾向を把握するため、1～7の項目をまとめた集計を行った。Table 6 の数値は述べ回答者数である。「大変満足できた」「概ね満足できた」と答えた割合は 79%であり、平成 24 年と比べて 13 ポイント増加している。一方、「やや不満」「不満」と回答していたのは 6%であり、平成 24 年度よりも 3 ポイント低下していた。後期課程学生の 8 割弱が満足していたと回答していたことから、大学に対する満足度は高いことがわかる。

Table 7 は、個別質問ごとに集計したものである。施設等を利用していない学生の割合が高いのは、課外活動施設（34 名，54%），学生プラザの学生支援部門（21 名，33%），授業以外の大学側のサポート（18 名，29%），保健管理センター（17 名，27%）であった。平成 24 年度と比べると、利用していない学生の割合は低下しているものの、多くの博士課程後期学生が利用しない施設・設備の多いことが分かる。

項目別に満足度を見ると、1～7のすべての質問項目で「大変満足できた」「概ね満足できた」と答えた割合は 60%を超えていることがわかる。特に満足度が高かったのは、所属研究科の学生支援室（95%），図書館（85%），学生プラザの学生支援部門（81%），保健管理センター（80%）であった。いずれの項目も、平成 24 年度と比べて増加していた。特に、保健管理センターで 20 ポイント、所属研究科の学生支援室及び学生プラザの学生支援部門で 16 ポイントも増加しており、職員の対応に満足している学生が多いといえる。それに対して、「不満」「やや不満」の割合が高かったのは、授業以外の大学のサポート（16%），福利厚生施設（12%）であり、平成 24 年度と比べていずれも低下していた。

各項目の平均得点を見ても、平成 25 年度は 24 年度と比べてほとんど項目で得点が上昇している。おおむね満足度が高まっているといえよう。特に、平均が 4 を超えたものに、所属研究科の学生支援室（4.54），図書館（4.26），学生プラザの学生支援部門（4.17），保健管理センター（4.15）があり、そこでのサービスに学生は満足しているといえよう。

以上の結果から、学生が頻繁に利用する所属研究科の学生支援室や図書館での満足度は高いことがわかった。しかし、頻繁に利用されている福利厚生施設については 12%が不満と回答していた。前期課程学生の 21%と比べると低いものの、学生の生活を支える上で重

要な施設であることから、今後の改善に向けての検討が必要であろう。

Table 7 学生生活に関するアンケート項目の集計結果（博士課程後期）

1. 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	38	18	1	1	1	4	59	4.54	0.36	63
	64%	31%	2%	2%	2%	6%				
H24	52	39	18	5	1	15	115	4.18		130
	45%	34%	16%	4%	1%	12%				

2. 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	15	19	8	0	0	21	42	4.17	0.32	63
	36%	45%	19%	0%	0%	33%				
H24	19	25	18	4	1	62	67	3.85		129
	28%	37%	27%	6%	1%	48%				

3. 保健管理センターでの対応とケア

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	19	18	7	1	1	17	46	4.15	0.47	63
	41%	39%	15%	2%	2%	27%				
H24	19	30	24	6	3	47	82	3.68		129
	23%	37%	29%	7%	4%	36%				

4. 図書館での対応やサービス

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	25	27	9	0	0	2	61	4.26	0.23	63
	41%	44%	15%	0%	0%	3%				
H24	32	53	20	0	3	21	108	4.03		129
	30%	49%	19%	0%	3%	16%				

5. 福利厚生施設（食堂や売店等）の施設や設備とサービス

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	14	29	10	4	3	3	60	3.78	0.18	63
	23%	48%	17%	7%	5%	5%				
H24	22	53	23	11	8	12	117	3.60		129
	19%	45%	20%	9%	7%	9%				

6. 課外活動施設（グラウンドや体育館、テニスコート等）の施設や設備

年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	8	11	8	2	0	34	29	3.86	0.33	63
	28%	38%	28%	7%	0%	54%				
H24	10	13	18	4	2	81	47	3.53		128
	21%	28%	38%	9%	4%	63%				

7. 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

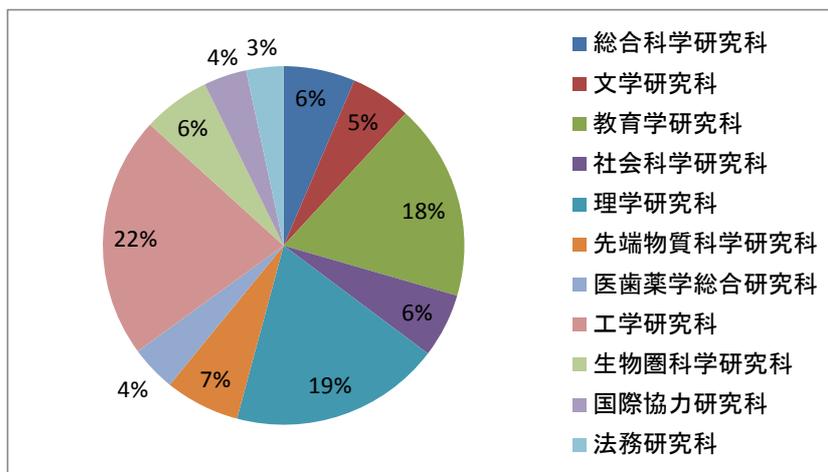
年度	5	4	3	2	1	0	合計 (5-1)	平均 (5-1)	H25-H24	合計 (5-0)
H25	10	18	10	3	4	18	45	3.60	-0.04	63
	22%	40%	22%	7%	9%	29%				
H24	16	32	33	6	1	41	88	3.64		129
	18%	36%	38%	7%	1%	32%				

※網掛け部分：0（「利用なし」）／合計（5-0）

平成25年度大学院課程教育修了時アンケート集計結果<全学共通項目>

○所属研究科

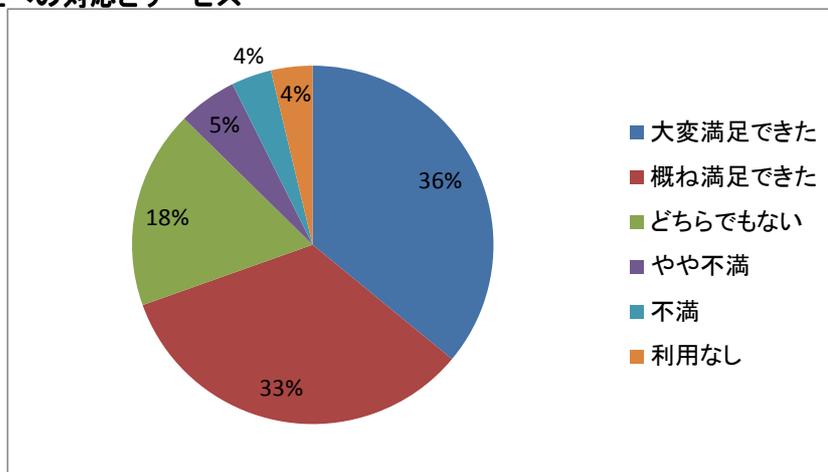
総合科学研究科	50
文学研究科	42
教育学研究科	138
社会科学研究科	45
理学研究科	147
先端物質科学研究科	52
医歯薬学総合研究科	32
工学研究科	170
生物圏科学研究科	47
国際協力研究科	30
法務研究科	26



○在学中の学生生活に関する満足度について

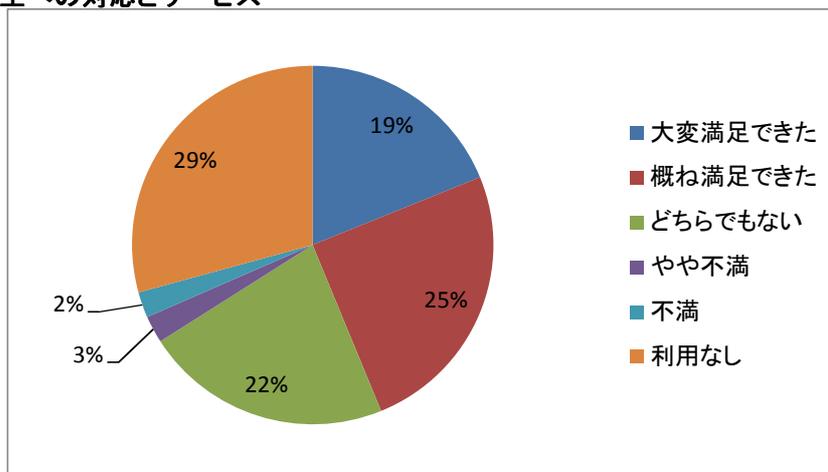
1. 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

大変満足できた	280
概ね満足できた	261
どちらでもない	139
やや不満	41
不満	28
利用なし	29
未回答	1



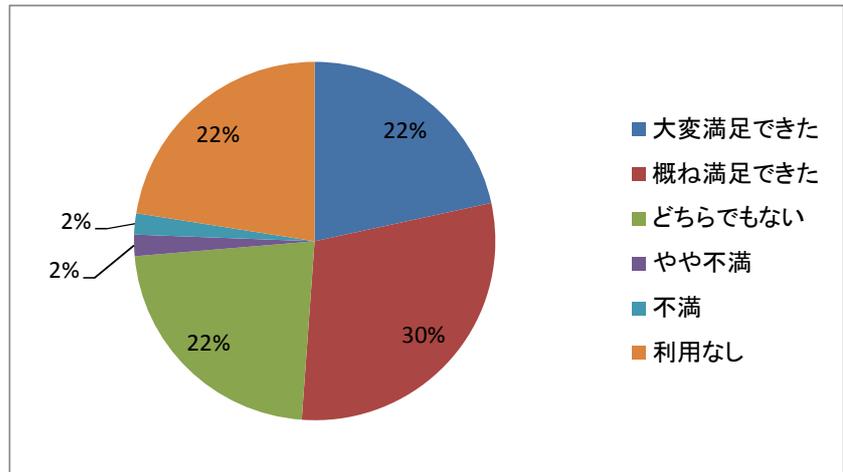
2. 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

大変満足できた	146
概ね満足できた	194
どちらでもない	172
やや不満	19
不満	18
利用なし	227
未回答	3



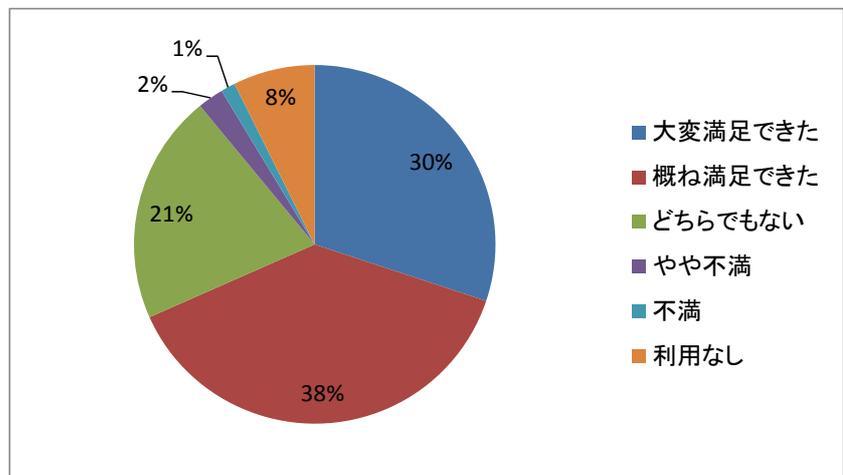
3. 保健管理センターでの対応とケア

大変満足できた	168
概ね満足できた	230
どちらでもない	175
やや不満	15
不満	15
利用なし	175
未回答	1



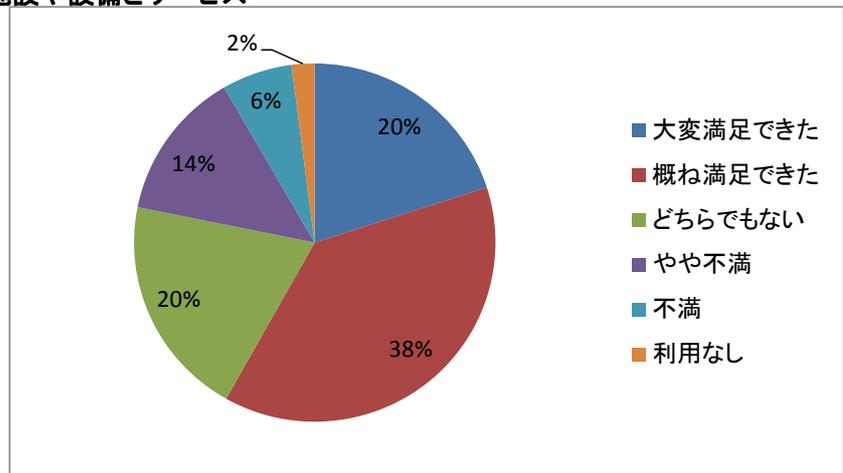
4. 図書館での対応やサービス

大変満足できた	234
概ね満足できた	297
どちらでもない	161
やや不満	18
不満	10
利用なし	57
未回答	2



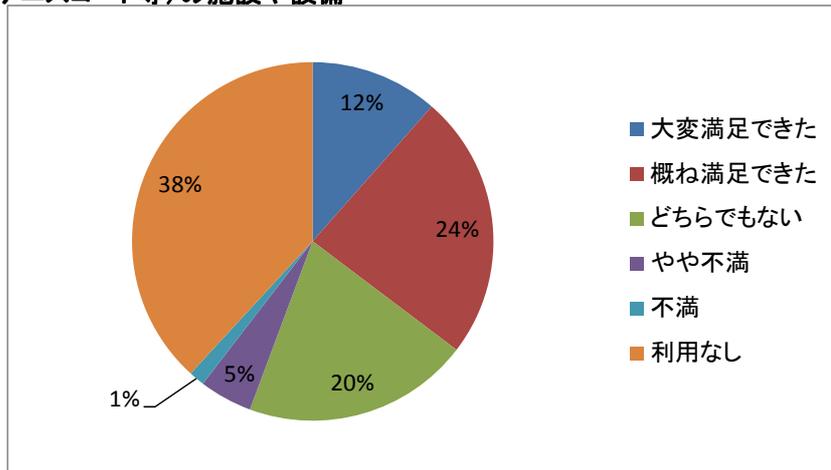
5. 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

大変満足できた	156
概ね満足できた	297
どちらでもない	156
やや不満	105
不満	49
利用なし	16
未回答	0



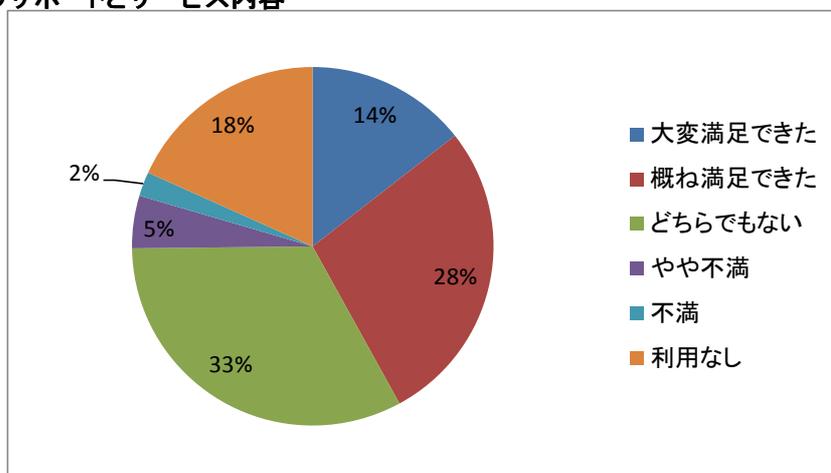
6. 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

大変満足できた	89
概ね満足できた	186
どちらでもない	158
やや不満	37
不満	11
利用なし	297
未回答	1



7. 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

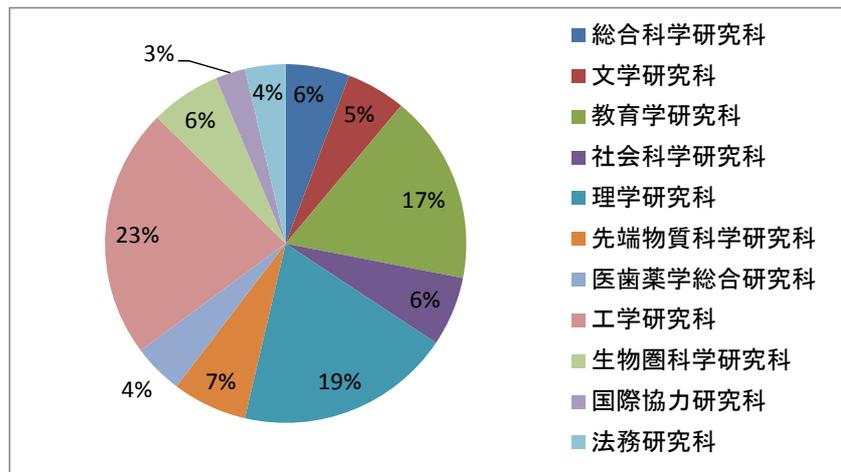
大変満足できた	112
概ね満足できた	215
どちらでもない	255
やや不満	37
不満	17
利用なし	142
未回答	1



平成25年度大学院課程教育修了時アンケート集計結果<全学共通項目>(博士課程前期)

○所属研究科

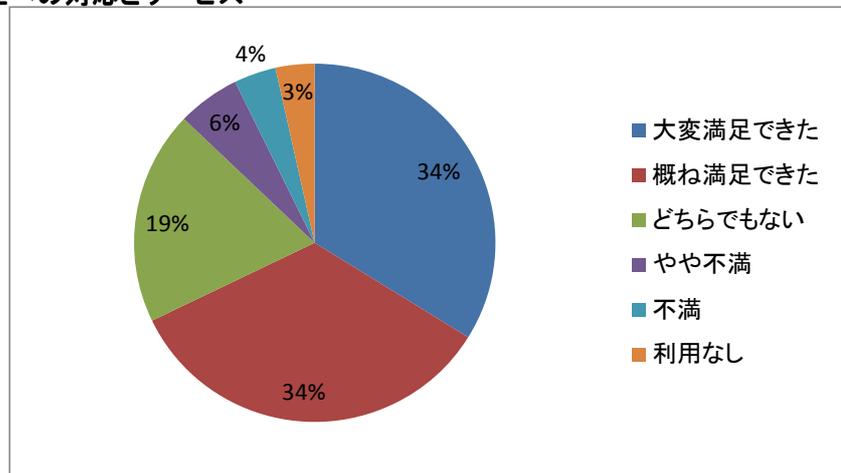
総合科学研究科	41
文学研究科	38
教育学研究科	122
社会科学研究科	45
理学研究科	138
先端物質科学研究科	48
医歯薬学総合研究科	32
工学研究科	162
生物圏科学研究科	45
国際協力研究科	19
法務研究科	26



○在学中の学生生活に関する満足度について

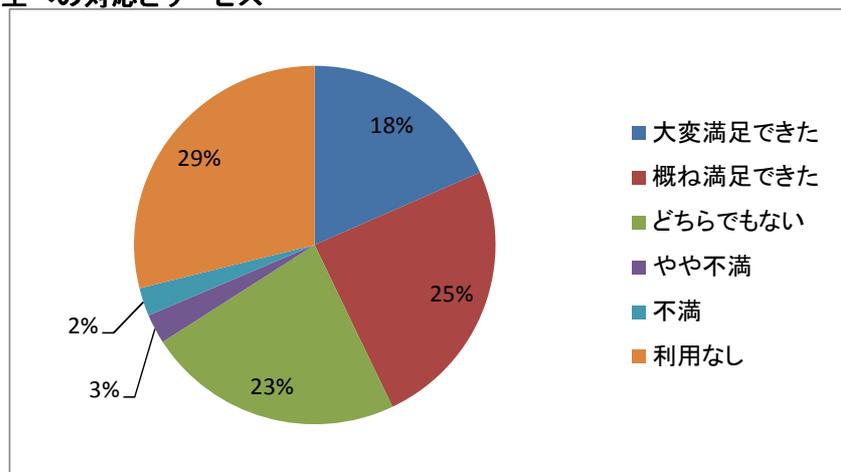
1. 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

大変満足できた	242
概ね満足できた	243
どちらでもない	138
やや不満	40
不満	27
利用なし	25
未回答	1



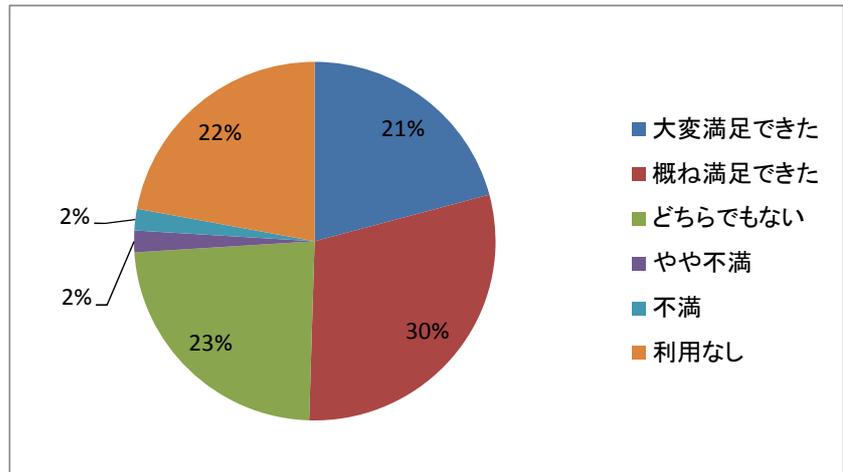
2. 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

大変満足できた	131
概ね満足できた	175
どちらでもない	164
やや不満	19
不満	18
利用なし	206
未回答	3



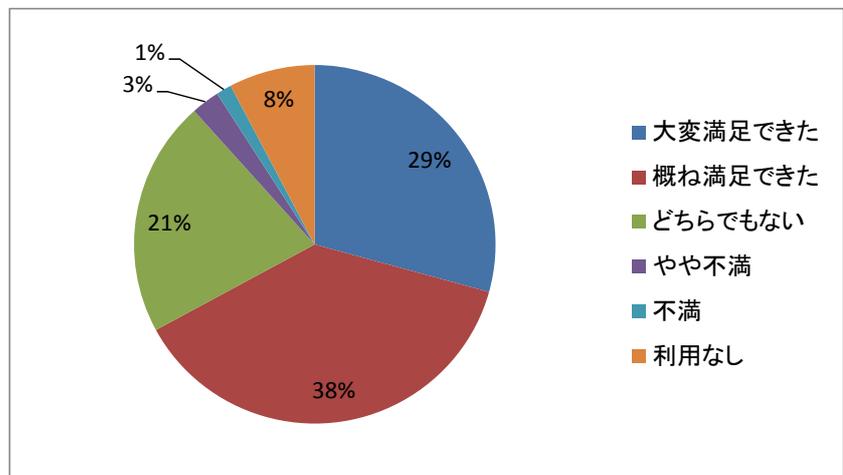
3. 保健管理センターでの対応とケア

大変満足できた	149
概ね満足できた	212
どちらでもない	168
やや不満	14
不満	14
利用なし	158
未回答	1



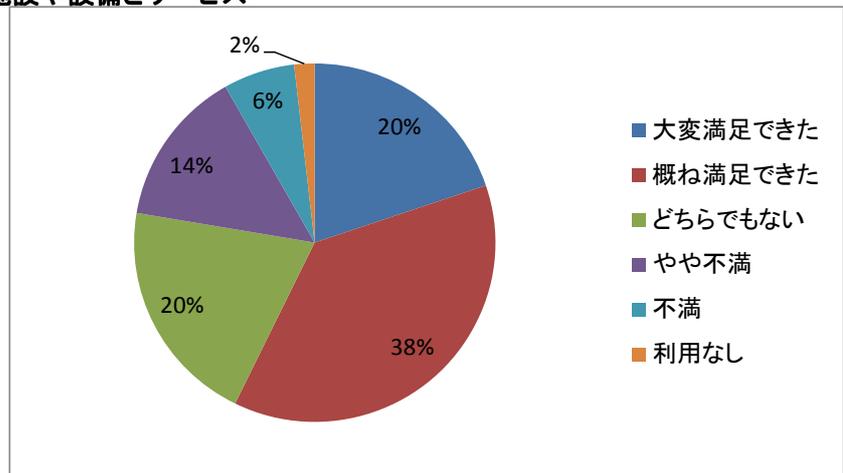
4. 図書館での対応やサービス

大変満足できた	209
概ね満足できた	270
どちらでもない	152
やや不満	18
不満	10
利用なし	55
未回答	2



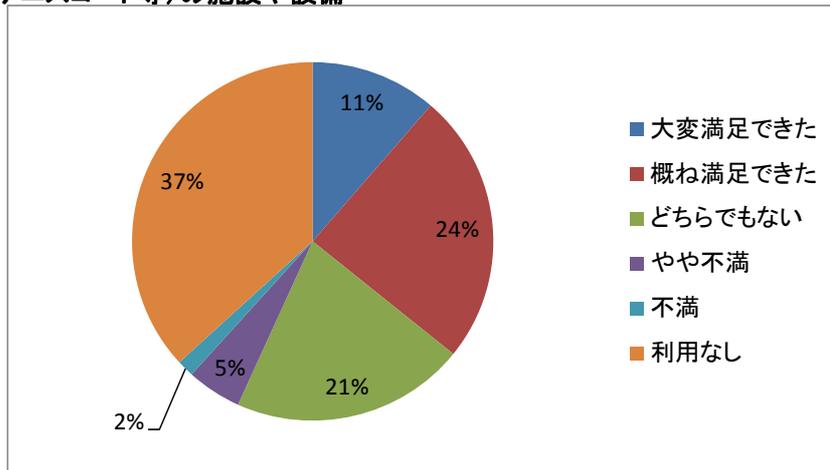
5. 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

大変満足できた	142
概ね満足できた	268
どちらでもない	146
やや不満	101
不満	46
利用なし	13
未回答	0



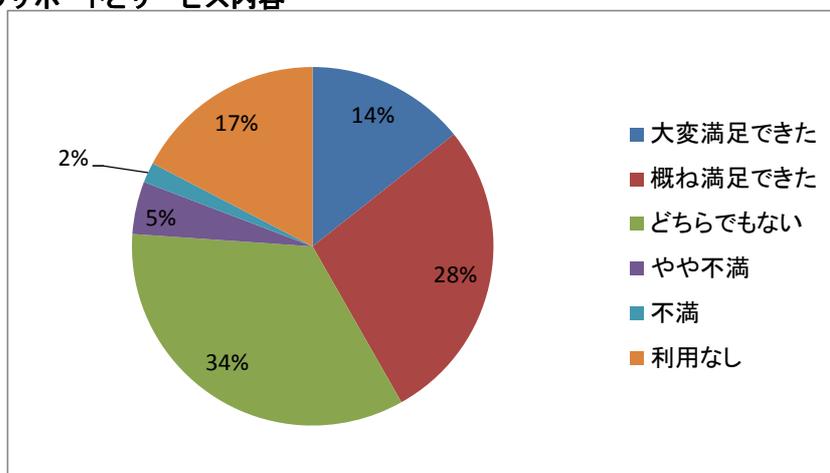
6. 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

大変満足できた	81
概ね満足できた	175
どちらでもない	150
やや不満	35
不満	11
利用なし	263
未回答	1



7. 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

大変満足できた	102
概ね満足できた	197
どちらでもない	245
やや不満	34
不満	13
利用なし	124
未回答	1



研究科総評

研究科：総合科学研究科

1. 集計結果のまとめ

本研究科では大学院修了時アンケートを紙媒体で実施し、回答率については、博士課程前期が対象学生数51名に対して41名の回答があり回答率は80%、また、博士課程後期は対象学生数12名に対して9名の回答があり回答率は75%であった。これは昨年度とほぼ同様の結果であった。なお、どちらも全学の平均回答率（博士課程前期：67%、博士課程後期：75%）よりも高い結果となった。これは、教授会等において指導教員に周知するとともに、学生が学生支援担当事務に論文の提出をする際にアンケートを配付し、提出（回収）期限について担当事務から学生に対して周知徹底できたことが主な理由と考えられる。

また、今回の集計結果のうち、特に研究科の取り組みが反映されたものと考えられる主な設問（概ね満足できた、満足できた及びややあてはまる、あてはまるに回答した者がそれぞれ7割以上）を以下に記載する。

<博士課程前期>

- ・設問2については、特別研究（修士論文）の指導の充実。
- ・設問4については、課題探究能力の向上。

<博士課程後期>

- ・設問1については、学生支援室での学生対応とサービス。
- ・設問2については、研究（博士論文）の指導の充実。
- ・設問3については、論理的能力、課題探究能力及び問題解決能力の向上、研究成果を分かり易く発表する力、学会等での発表及び論文発表への助言と指導、経済的支援。
- ・設問5については、教員及び事務系職員との良好な関係。

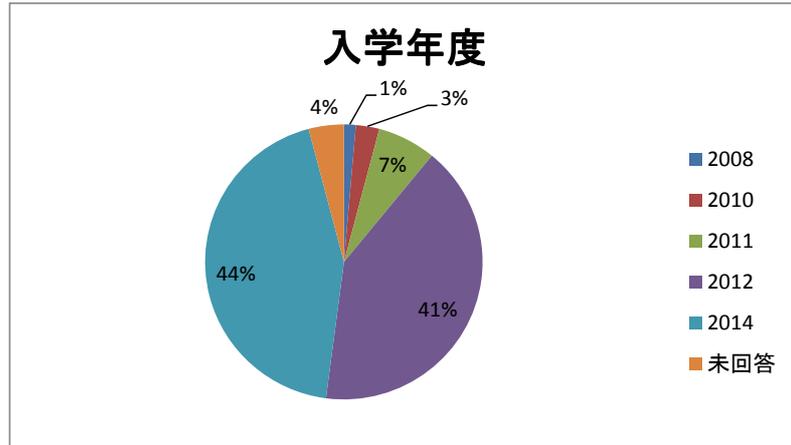
以上のことから、本アンケートの実施目的である学生支援の充実・改善については、相応の成果が上がっているものとする。

2. 次年度に向けた対応

今回のアンケート結果では、昨年度と比較して否定的な回答（あてはまらない、ややあてはまらないに回答した者が5割）が多かった設問は1問もなかった点は評価できると考えられるが、次年度に向けた対応として、上記1のように肯定的な回答が多くなるよう更なる充実・改善に努めていきたい。

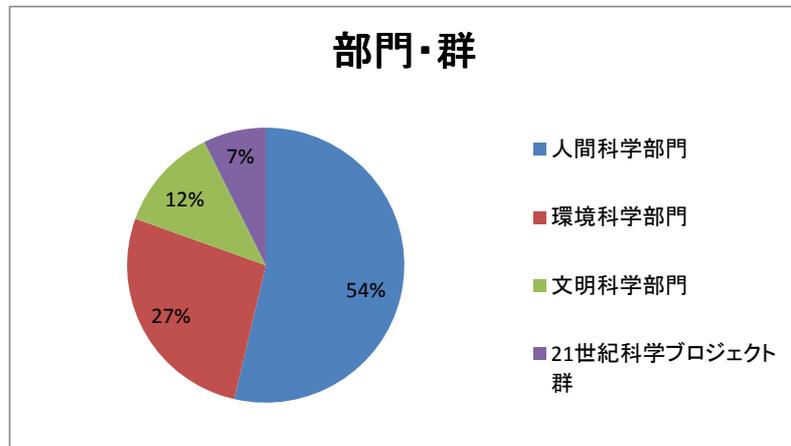
入学年度

入学年度	入学年度集計
2008	1
2010	2
2011	5
2012	30
2014	32
未回答	3



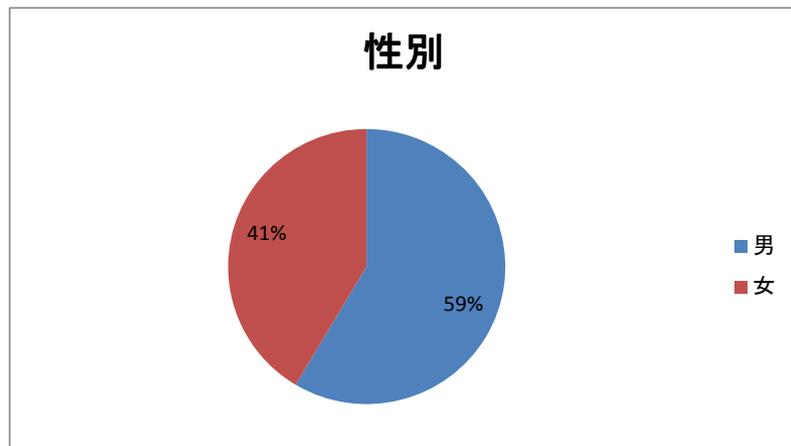
部門・群

選択肢	回答
人間科学部門	22
環境科学部門	11
文明科学部門	5
21世紀科学プロジェクト群	3
未回答	0



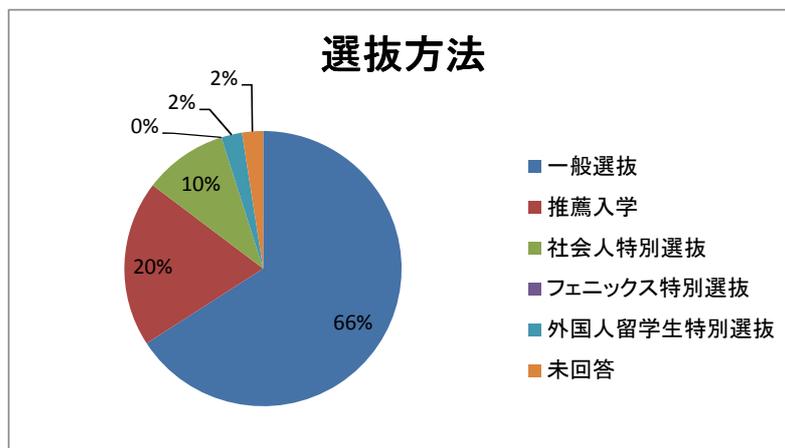
性別

選択肢	回答
男	24
女	17
未回答	0



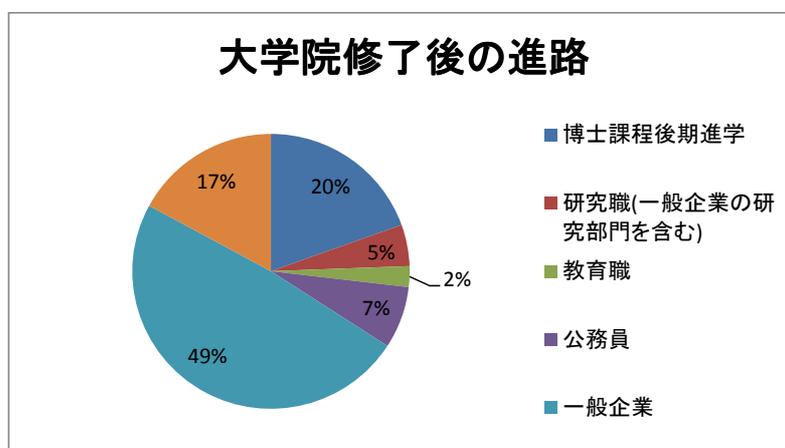
入学した選抜方法

選抜肢	回答
一般選抜	27
推薦入学	8
社会人特別選抜	4
フェニックス特別選抜	0
外国人留学生特別選抜	1
未回答	1



大学院修了後の進路

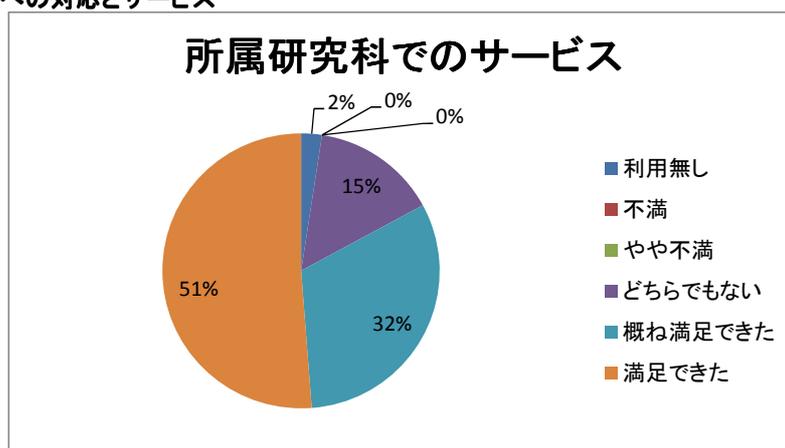
選抜肢	回答
博士課程後期進学	8
研究職(一般企業の研究部門を含む)	2
教育職	1
公務員	3
一般企業	20
その他	7
未記入	0



問1: 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

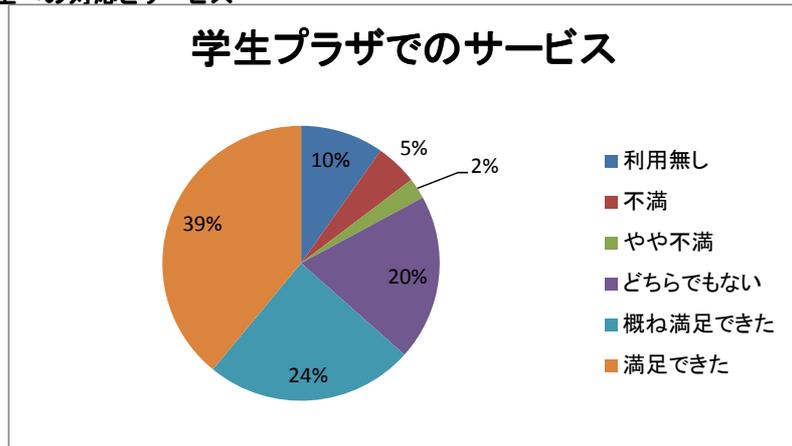
1-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選抜肢	回答
利用無し	1
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	6
概ね満足できた	13
満足できた	21
未回答	0



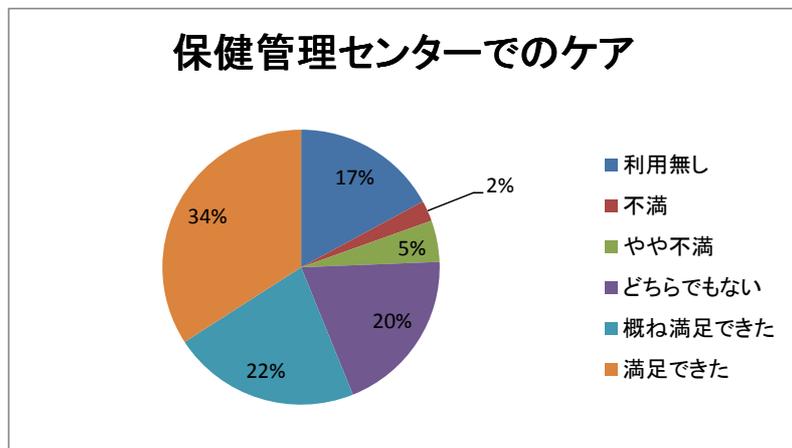
1-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用無し	4
不満	2
やや不満	1
どちらでもない	8
概ね満足できた	10
満足できた	16
未回答	0



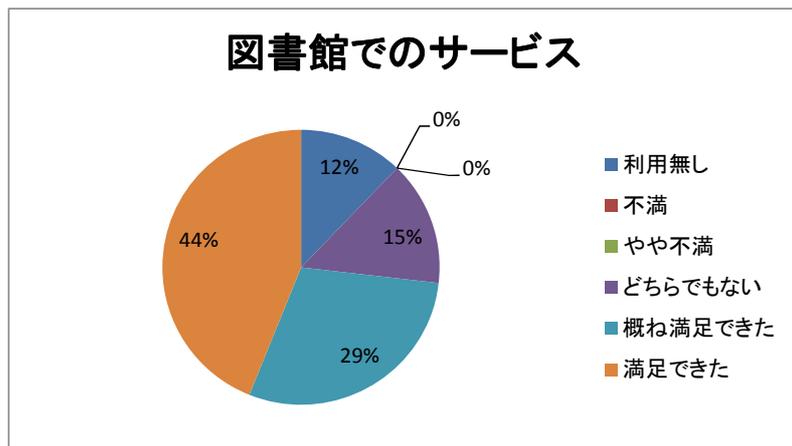
1-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用無し	7
不満	1
やや不満	2
どちらでもない	8
概ね満足できた	9
満足できた	14
未回答	0



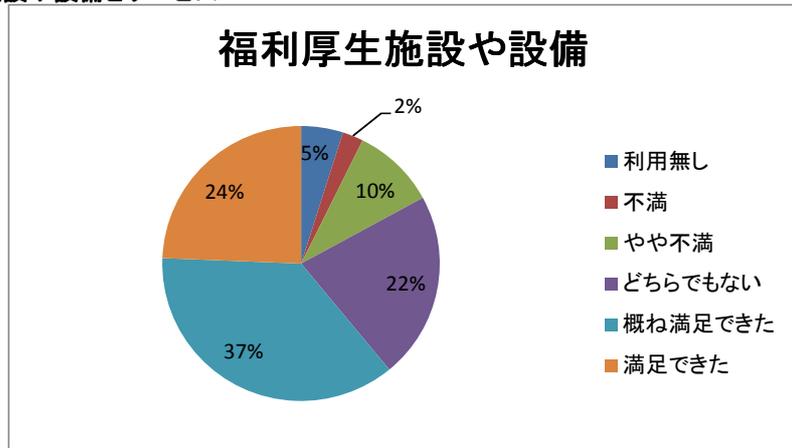
1-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用無し	5
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	6
概ね満足できた	12
満足できた	18
未回答	0



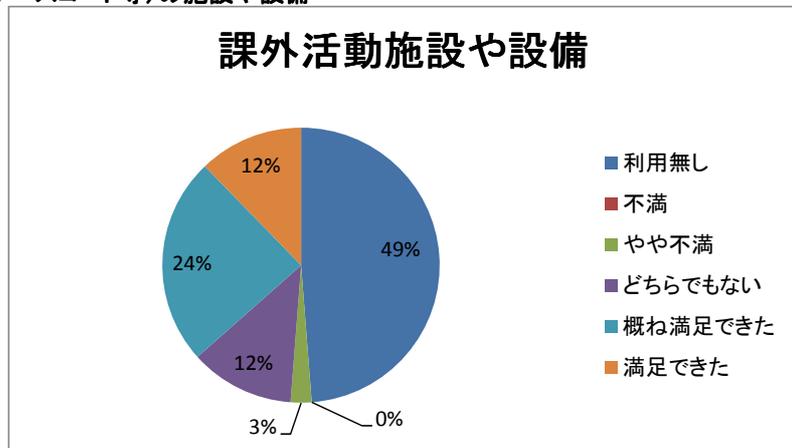
1-5 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用無し	2
不満	1
やや不満	4
どちらでもない	9
概ね満足できた	15
満足できた	10
未回答	0



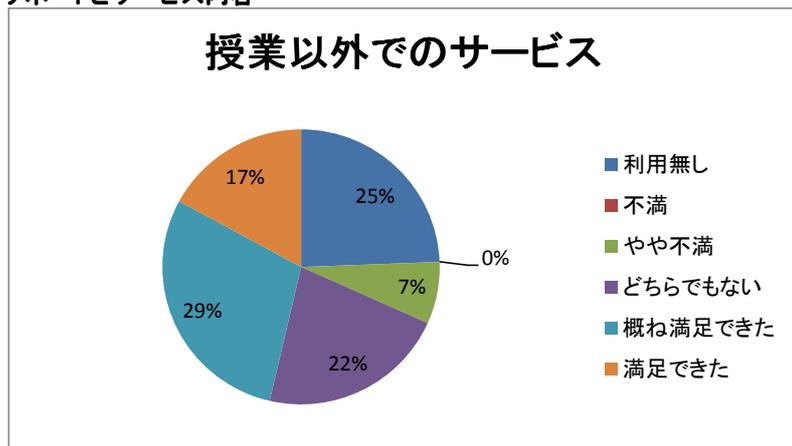
1-6 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用無し	20
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	5
概ね満足できた	10
満足できた	5
未回答	0



1-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

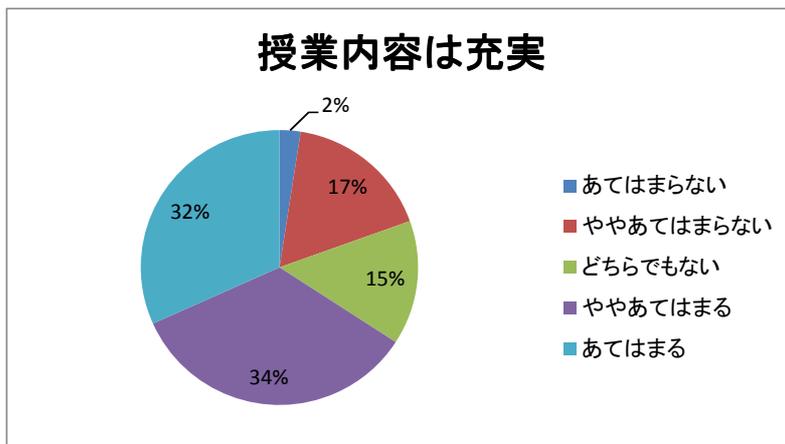
選択肢	回答
利用無し	10
不満	0
やや不満	3
どちらでもない	9
概ね満足できた	12
満足できた	7
未回答	0



問2: 大学院で受けた教育についてお尋ねします。

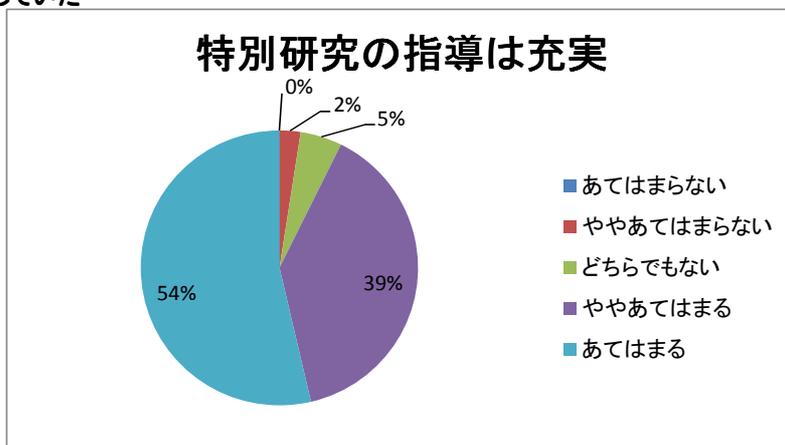
2-1 授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
ややあてはまらない	7
どちらでもない	6
ややあてはまる	14
あてはまる	13
未回答	0



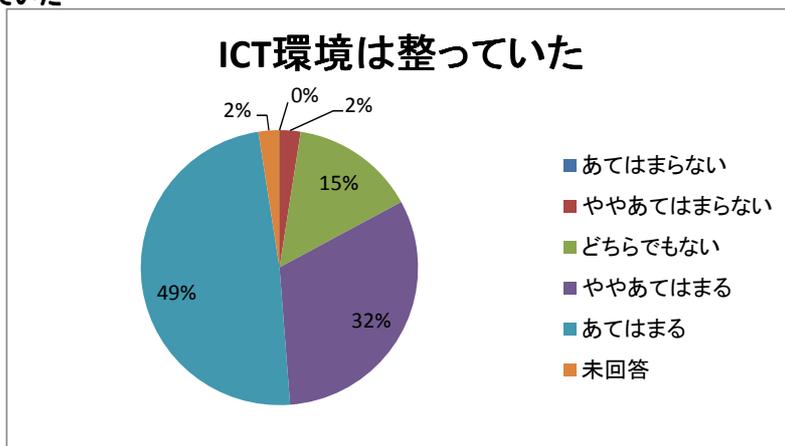
2-2 特別研究(修士論文)の指導は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	16
あてはまる	22
未回答	0



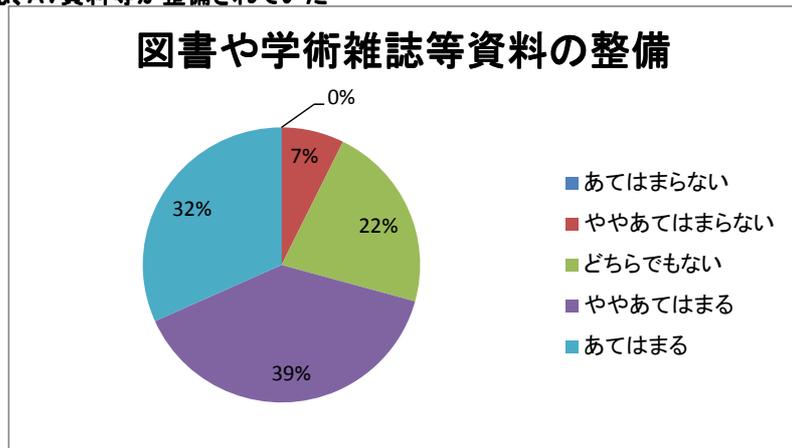
2-3 研究・教育に必要なICT環境は整っていた

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	1
どちらでもない	6
ややあてはまる	13
あてはまる	20
未回答	1



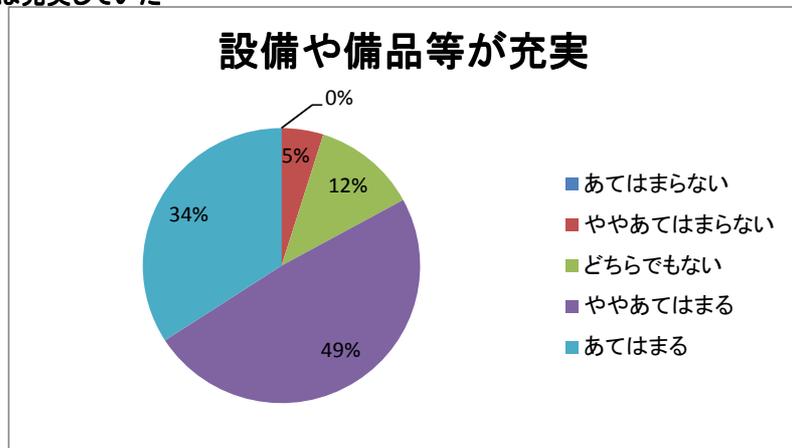
2-4 研究・教育に必要な図書や学術雑誌、AV資料等が整備されていた

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	3
どちらでもない	9
ややあてはまる	16
あてはまる	13
未回答	0



2-5 全体的に教育に係る設備や備品等は充実していた

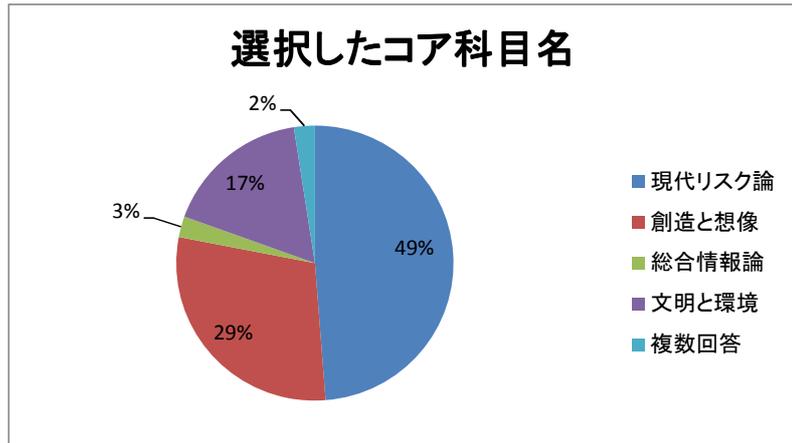
選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	2
どちらでもない	5
ややあてはまる	20
あてはまる	14
未回答	0



問3: コア科目についてお尋ねします。

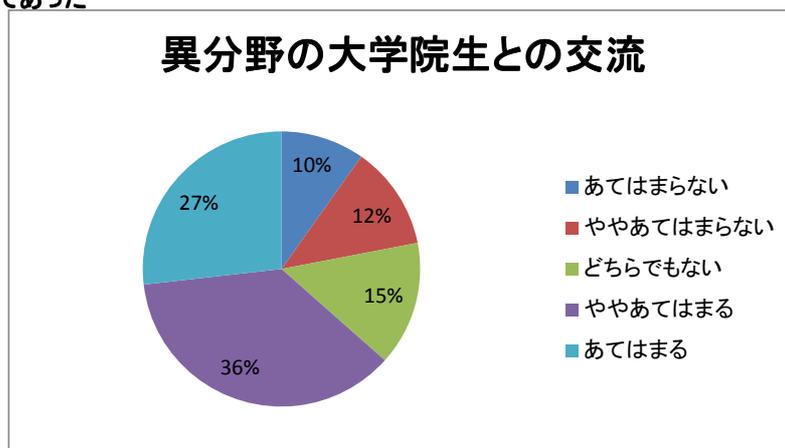
3-1 選択したコア科目名

選択肢	回答
現代リスク論	20
創造と想像	12
総合情報論	1
文明と環境	7
複数回答	1



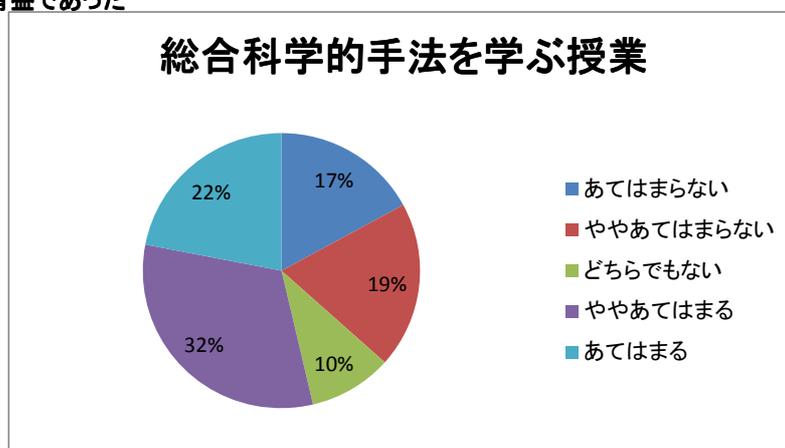
3-2 異分野の大学院生との交流が有益であった

選択肢	回答
あてはまらない	4
ややあてはまらない	5
どちらでもない	6
ややあてはまる	15
あてはまる	11
未回答	0



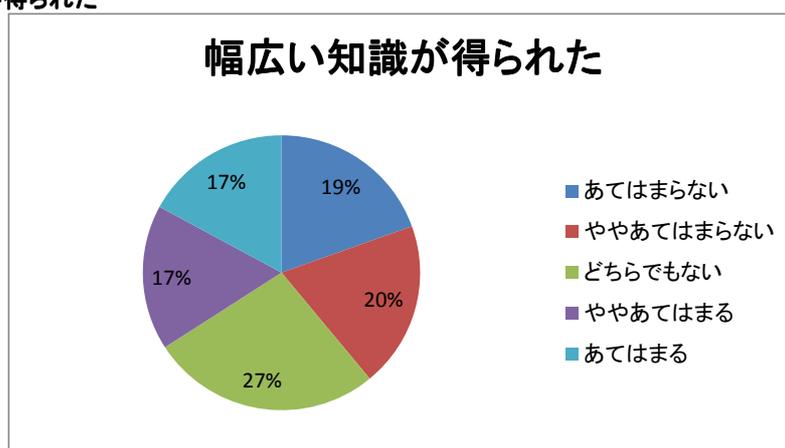
3-3 総合科学的手法を学ぶ授業として有益であった

選択肢	回答
あてはまらない	7
ややあてはまらない	8
どちらでもない	4
ややあてはまる	13
あてはまる	9
未回答	0



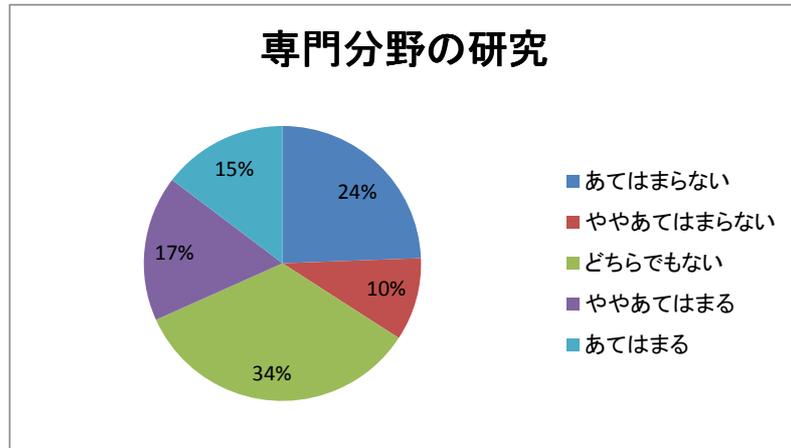
3-4 文系・理系にわたって幅広い知識が得られた

選択肢	回答
あてはまらない	8
ややあてはまらない	8
どちらでもない	11
ややあてはまる	7
あてはまる	7
未回答	0



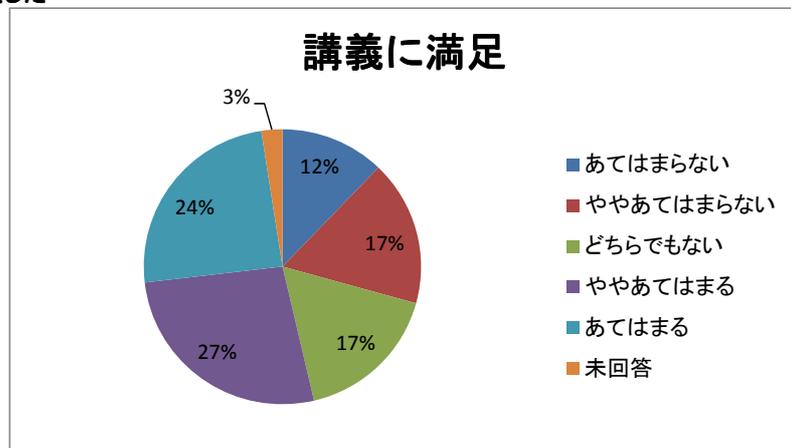
3-5 専門分野の研究に役立った

選択肢	回答
あてはまらない	10
ややあてはまらない	4
どちらでもない	14
ややあてはまる	7
あてはまる	6
未回答	0



3-6 総合的に判断して、この講義に満足した

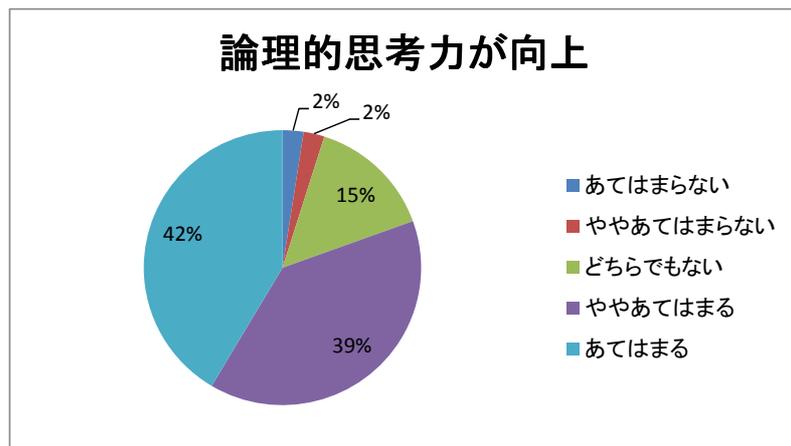
選択肢	回答
あてはまらない	5
ややあてはまらない	7
どちらでもない	7
ややあてはまる	11
あてはまる	10
未回答	1



問4: 大学院での教育と研究の成果についてお尋ねします。

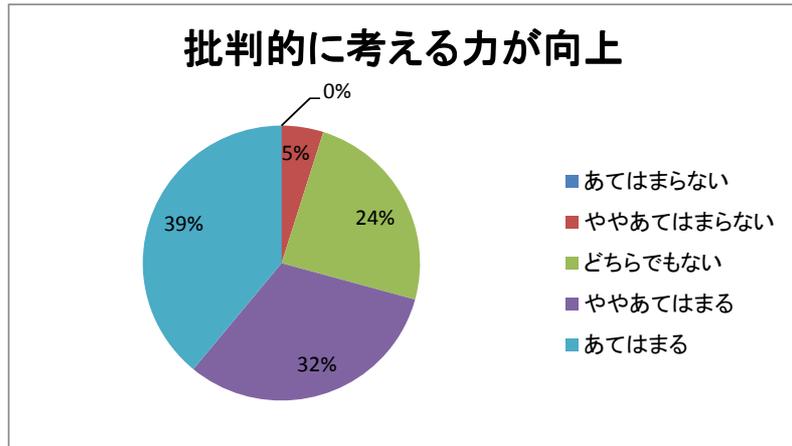
4-1 論理的思考力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	1
ややあてはまらない	1
どちらでもない	6
ややあてはまる	16
あてはまる	17
未回答	0



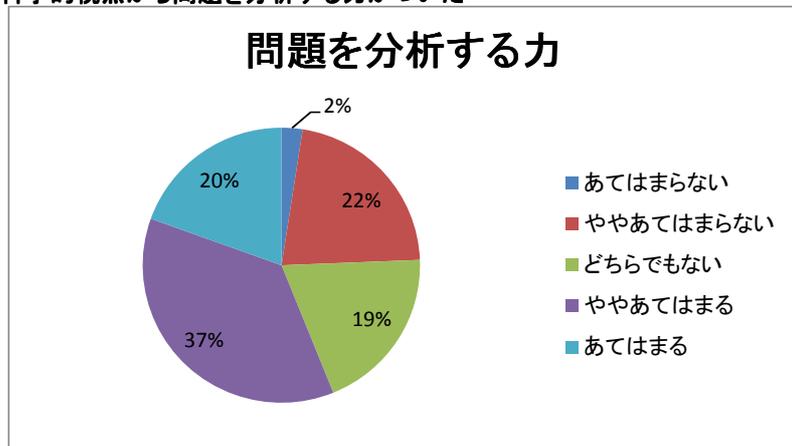
4-2 物事を批判的に考える力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	2
どちらでもない	10
ややあてはまる	13
あてはまる	16
未回答	0



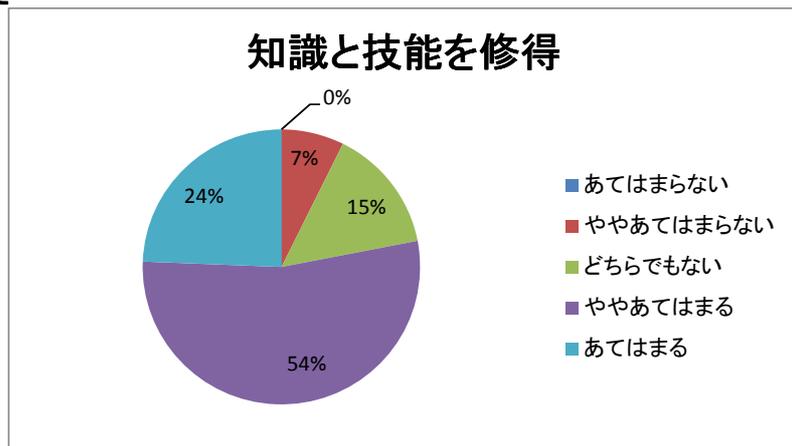
4-3 文系・理系の枠にとらわれない総合科学的視点から問題を分析する力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	1
ややあてはまらない	9
どちらでもない	8
ややあてはまる	15
あてはまる	8
未回答	0



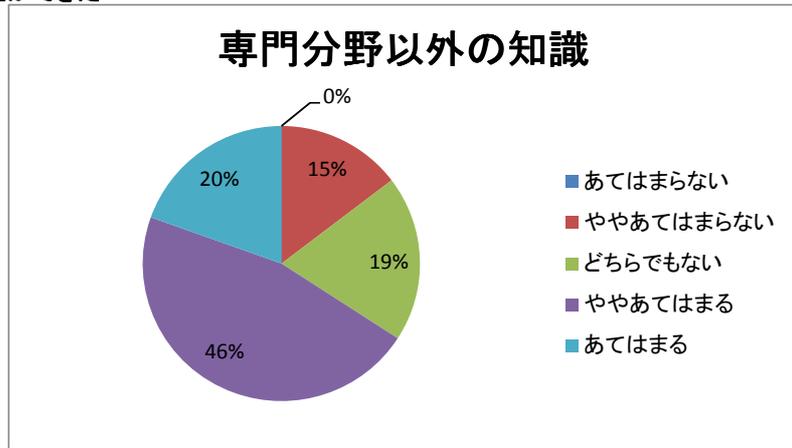
4-4 専門分野の知識と技能を修得できた

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	3
どちらでもない	6
ややあてはまる	22
あてはまる	10
未回答	0



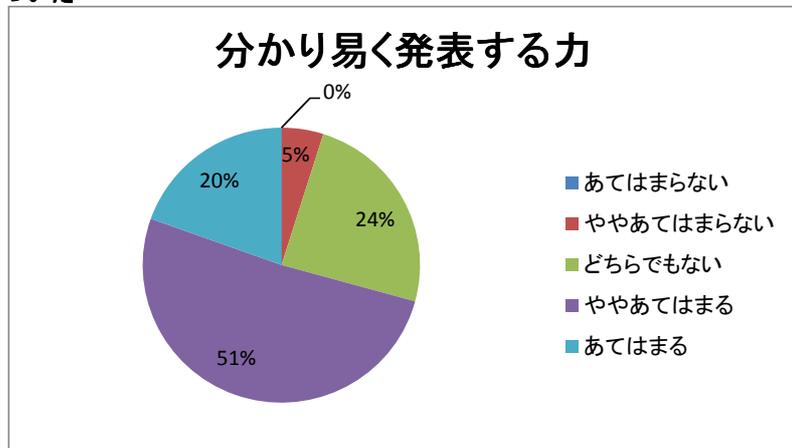
4-5 専門分野以外の知識も修得することができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	6
どちらでもない	8
ややあてはまる	19
あてはまる	8
未回答	0



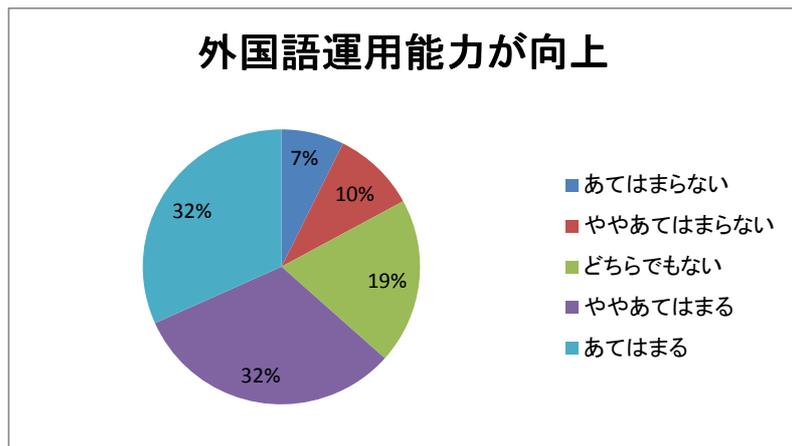
4-6 研究成果を分かり易く発表する力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	2
どちらでもない	10
ややあてはまる	21
あてはまる	8
未回答	0



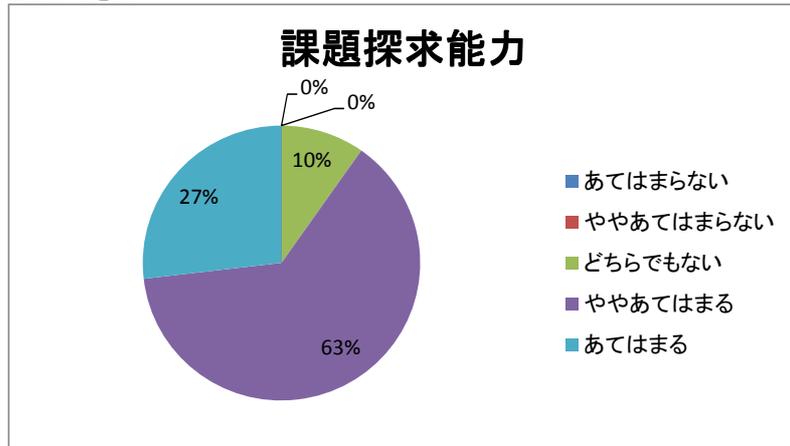
4-7 外国語運用能力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	3
ややあてはまらない	4
どちらでもない	8
ややあてはまる	13
あてはまる	13
未回答	0



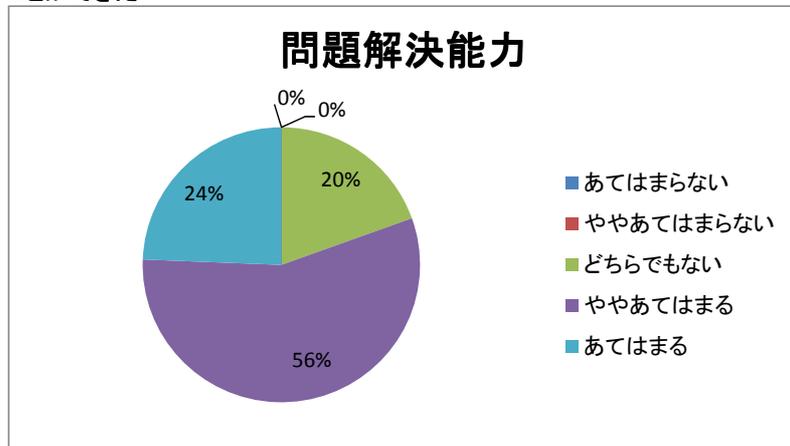
4-8 研究等を通じて課題探求能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	26
あてはまる	11
未回答	0



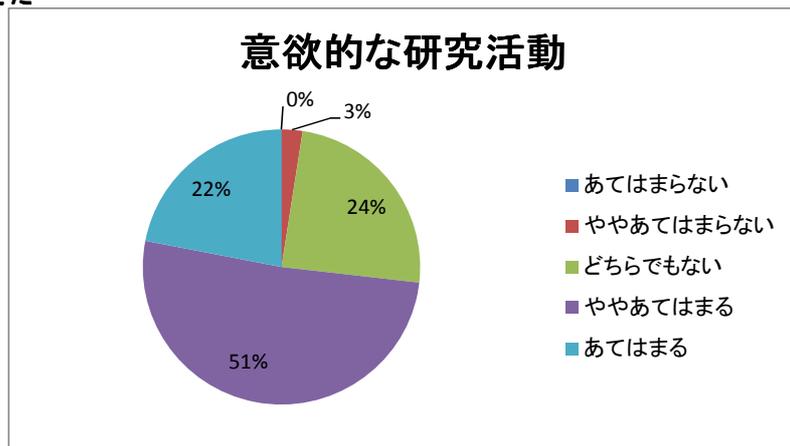
4-9 研究等を通じて問題解決能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	0
どちらでもない	8
ややあてはまる	23
あてはまる	10
未回答	0



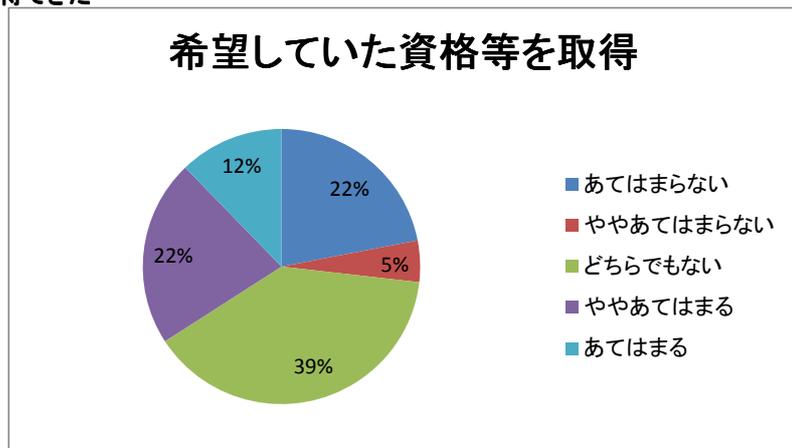
4-10 意欲的な研究活動を行うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	1
どちらでもない	10
ややあてはまる	21
あてはまる	9
未回答	0



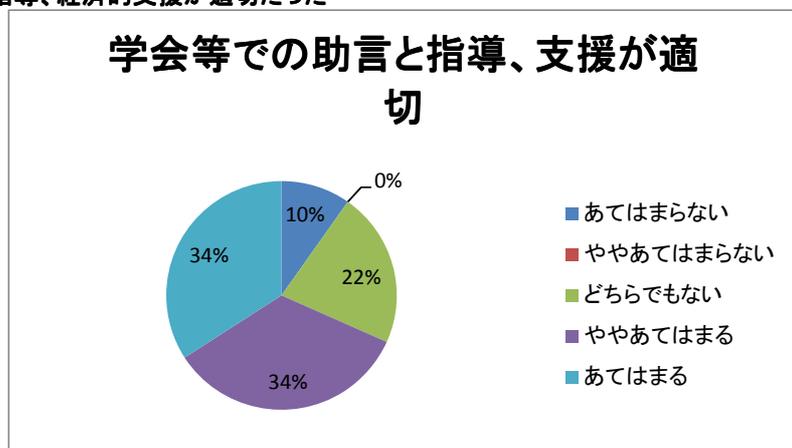
4-11 入学時に希望していた資格等を取得できた

選択肢	回答
あてはまらない	9
ややあてはまらない	2
どちらでもない	16
ややあてはまる	9
あてはまる	5
未回答	0



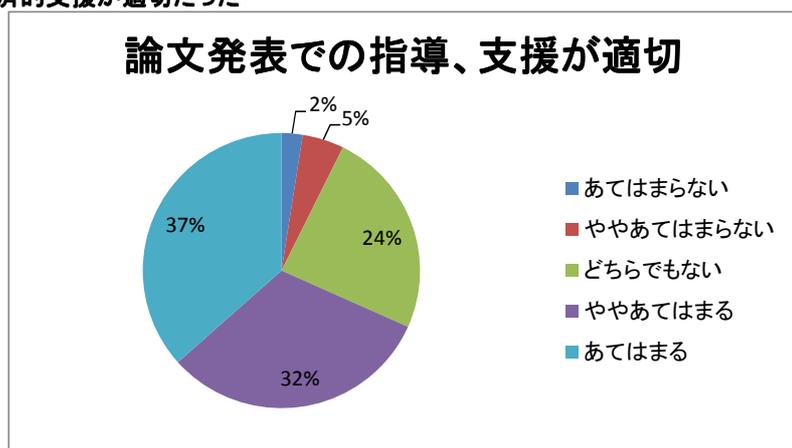
4-12 学会等での発表に際して、助言と指導、経済的支援が適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	4
ややあてはまらない	0
どちらでもない	9
ややあてはまる	14
あてはまる	14
未回答	0



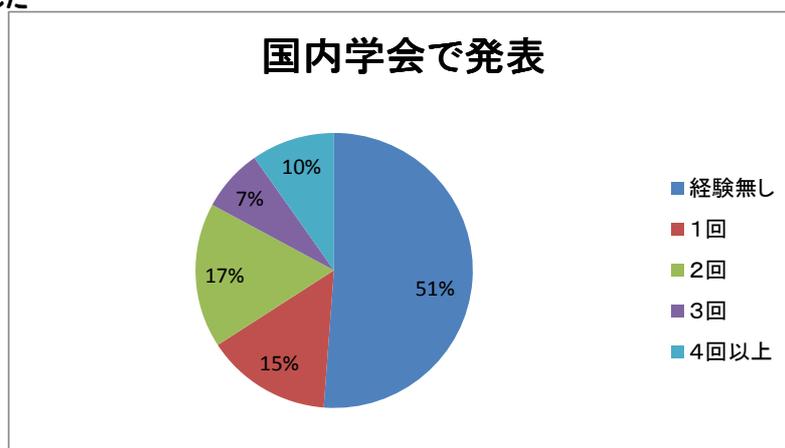
4-13 論文発表に関する助言と指導、経済的支援が適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	1
ややあてはまらない	2
どちらでもない	10
ややあてはまる	13
あてはまる	15
未回答	0



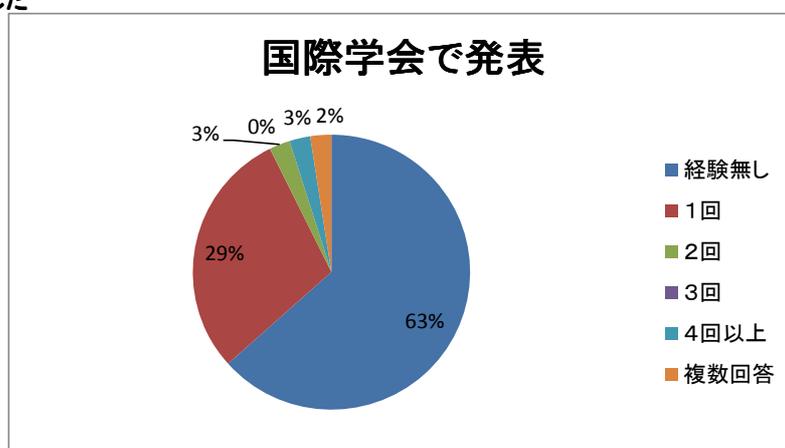
4-14 大学院在学中に国内学会で発表した

選択肢	回答
経験無し	21
1回	6
2回	7
3回	3
4回以上	4
未回答	0



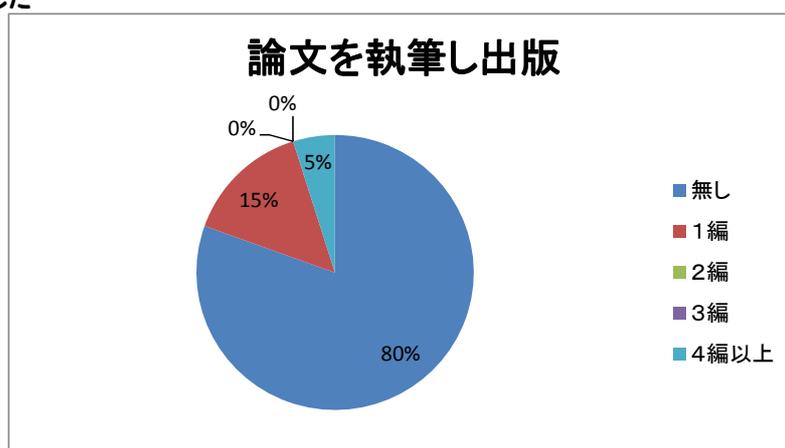
4-15 大学院在学中に国際学会で発表した

選択肢	回答
経験無し	26
1回	12
2回	1
3回	0
4回以上	1
複数回答	1



4-16 論文を執筆し(共著も含めて)出版した

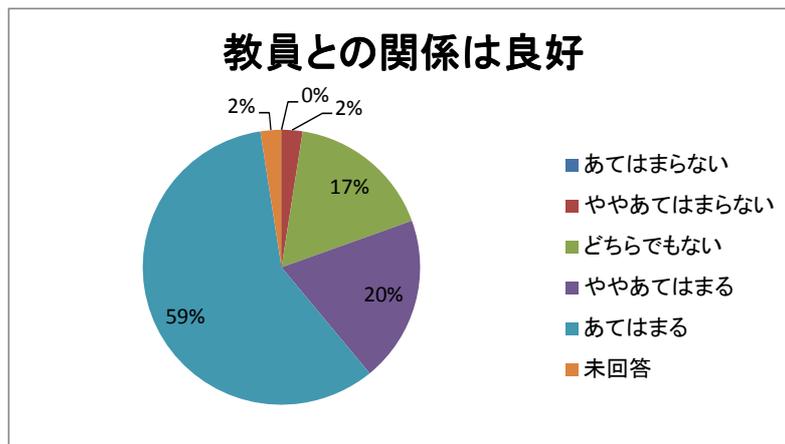
選択肢	回答
無し	33
1編	6
2編	0
3編	0
4編以上	2
未回答	0



問6: 大学院での学生生活についてお尋ねします。

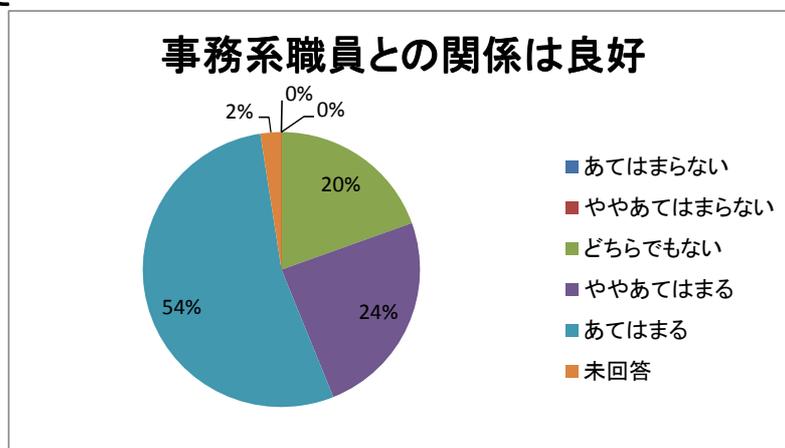
6-1 教員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	1
どちらでもない	7
ややあてはまる	8
あてはまる	24
未回答	1



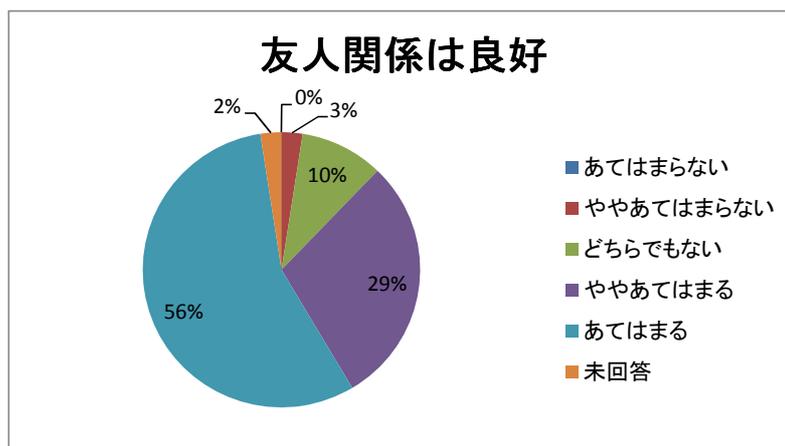
6-2 事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	0
どちらでもない	8
ややあてはまる	10
あてはまる	22
未回答	1



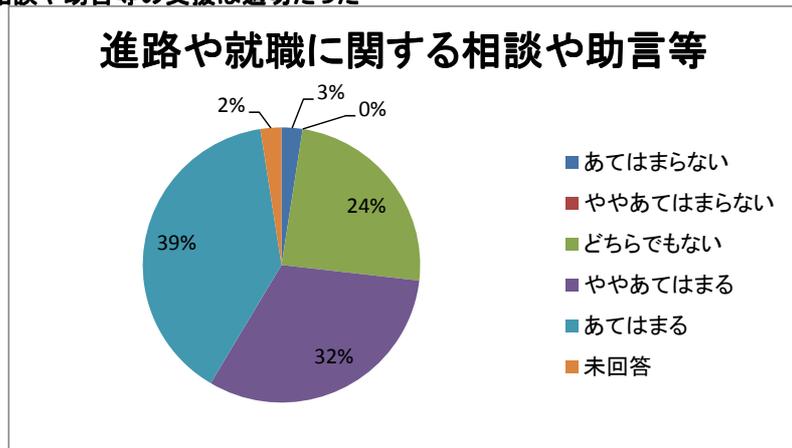
6-3 友人関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	1
どちらでもない	4
ややあてはまる	12
あてはまる	23
未回答	1



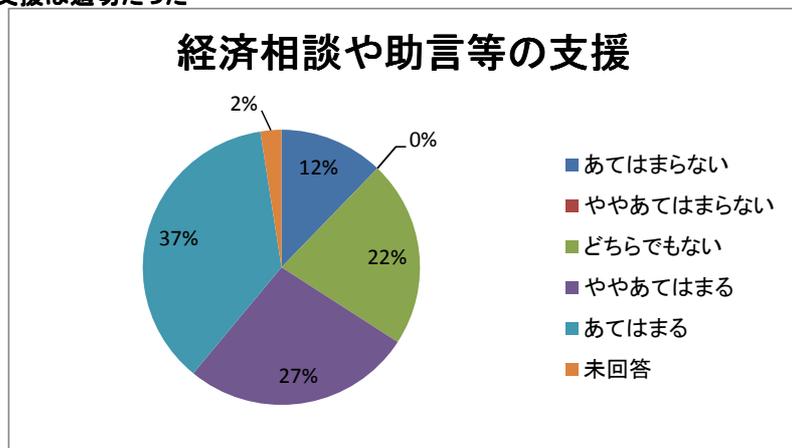
6-4 教職員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	1
ややあてはまらない	0
どちらでもない	10
ややあてはまる	13
あてはまる	16
未回答	1



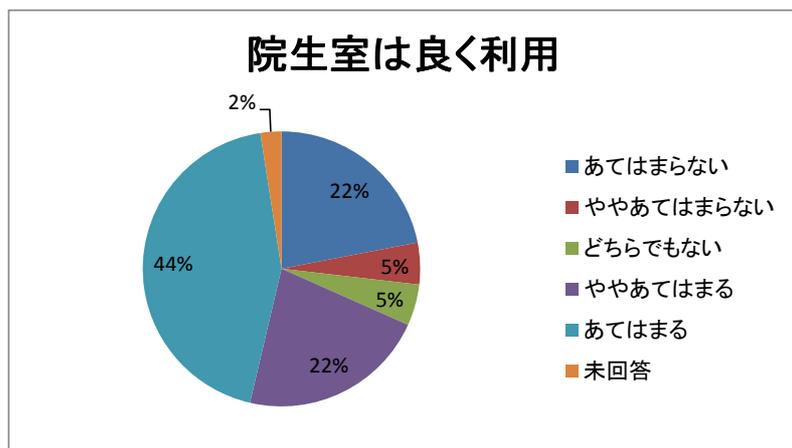
6-5 教職員による経済相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	5
ややあてはまらない	0
どちらでもない	9
ややあてはまる	11
あてはまる	15
未回答	1



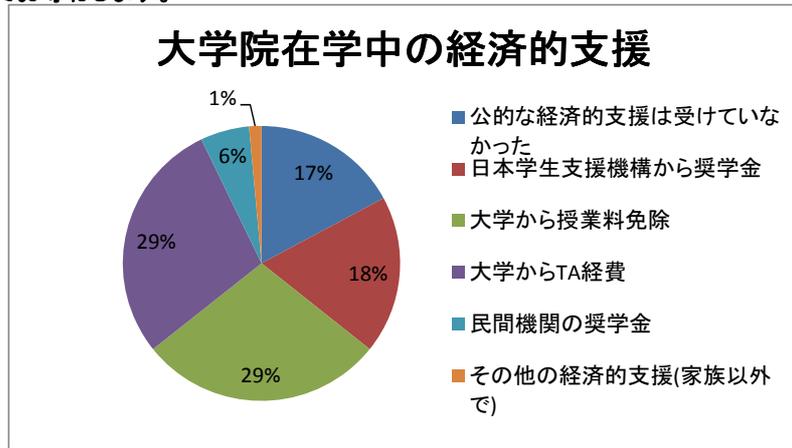
6-6 院生室は良く利用した

選択肢	回答
あてはまらない	9
ややあてはまらない	2
どちらでもない	2
ややあてはまる	9
あてはまる	18
未回答	1



問7: 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

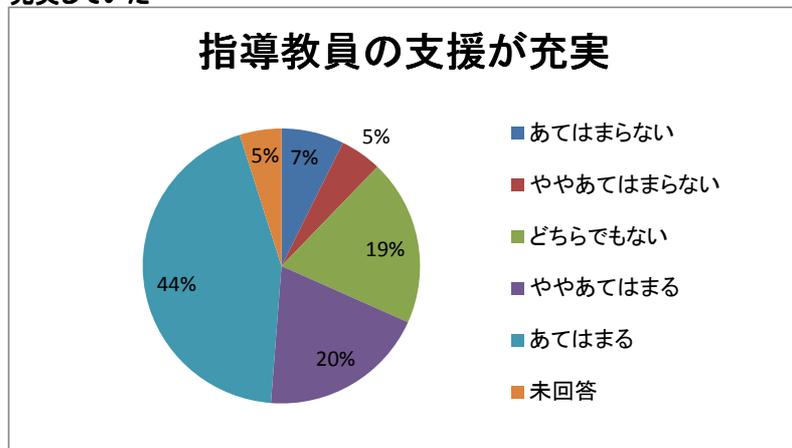
選択肢	回答
公的な経済的支援は受けていなかった	12
日本学生支援機構から奨学金	13
大学から授業料免除	20
大学からTA経費	20
民間機関の奨学金	4
その他の経済的支援(家族以外で)	1



問10: 大学院修了後の進路選択についてお尋ねします。

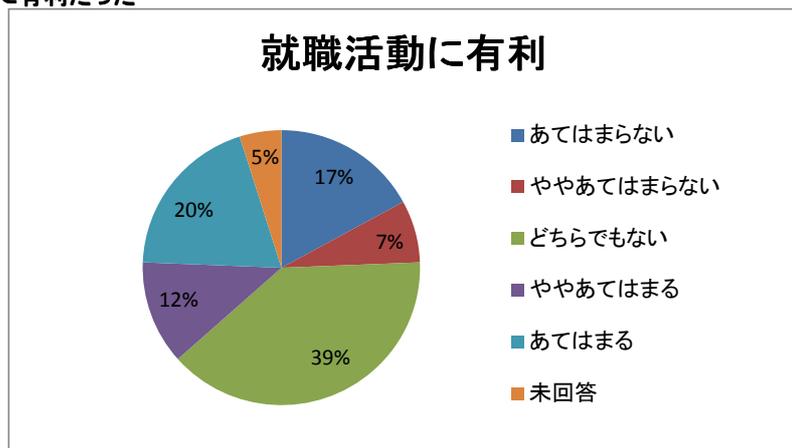
10-1 指導教員(正・副)の支援(相談等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	3
ややあてはまらない	2
どちらでもない	8
ややあてはまる	8
あてはまる	18
未回答	2



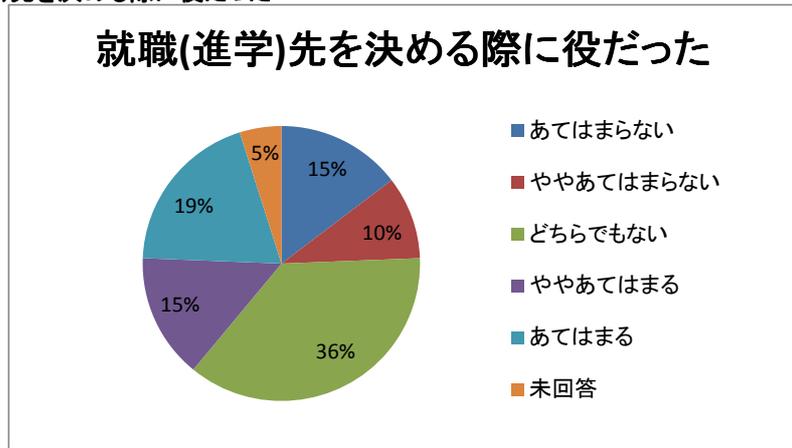
10-2 大学院で学修したことが就職活動に有利だった

選択肢	回答
あてはまらない	7
ややあてはまらない	3
どちらでもない	16
ややあてはまる	5
あてはまる	8
未回答	2



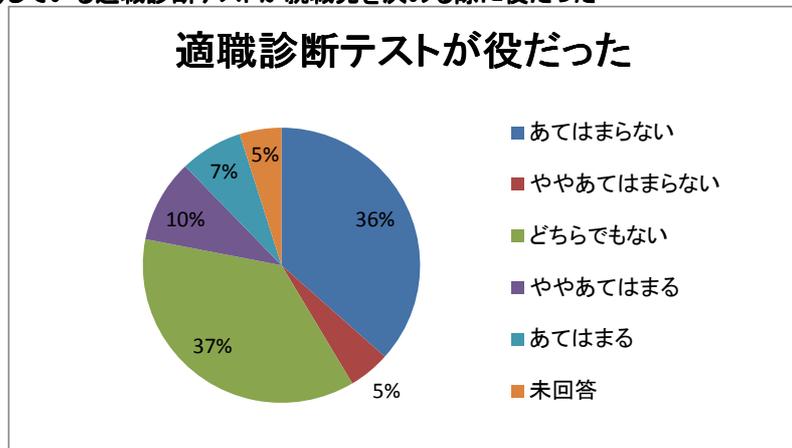
10-3 大学院で学修したことが就職(進学)先を決める際に役だった

選択肢	回答
あてはまらない	6
ややあてはまらない	4
どちらでもない	15
ややあてはまる	6
あてはまる	8
未回答	2



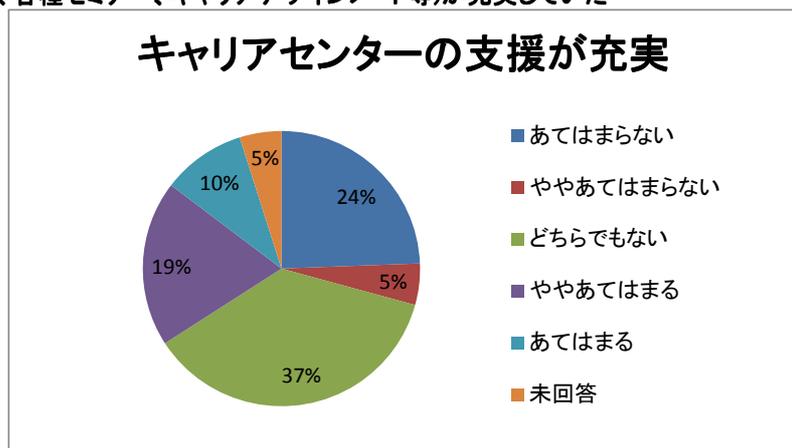
10-4 総合科学研究科が支援(6月・10月)している適職診断テストが就職先を決める際に役だった

選択肢	回答
あてはまらない	15
ややあてはまらない	2
どちらでもない	15
ややあてはまる	4
あてはまる	3
未回答	2



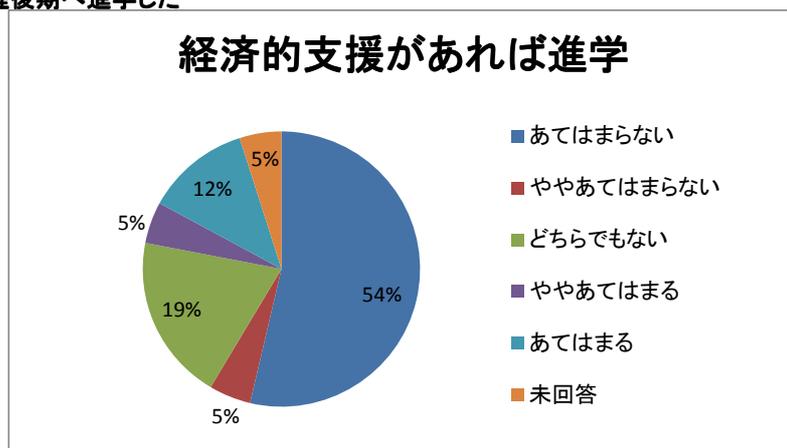
10-5 キャリアセンターの支援(進路相談、各種セミナー、キャリアデザインノート等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	10
ややあてはまらない	2
どちらでもない	15
ややあてはまる	8
あてはまる	4
未回答	2



10-6 経済的支援が得られれば博士課程後期へ進学した

選択肢	回答
あてはまらない	22
ややあてはまらない	2
どちらでもない	8
ややあてはまる	2
あてはまる	5
未回答	2



研究科総評

研究科：文学研究科

1. 集計結果のまとめ

アンケートは紙媒体で実施し、修士論文（ないし特定課題研究）の提出時に回収するという、平成24年度と同様の方式で行った。文学研究科の調査対象学生数は、博士課程前期に所属する60名で、そのうち38名が回答し、回答率は63%だった。これは、博士課程前期における全学の平均回答率69%より低い。再三督促したにもかかわらず、平成24年度実績（対象者35名、回答率100%）と比較して大幅な落ち込みである。これには、9月修了者からの回収を徹底できなかったのではないかという原因が考えられる（本アンケートは平成24年度後期から実施）。

また、今回の設問の中で、設問5、6、7の回答は、懇切な個別指導・対応を倦むことなく実践してきた本研究科教職員の取り組みが反映されたものと考えられる。これは、外国籍の学生が32%を占める本研究科においては、特筆すべきことである。

設問6については、必ずしも図書・設備・備品が万全とは言えない環境を、学生と教職員の意欲によって補っている様子が見られる。

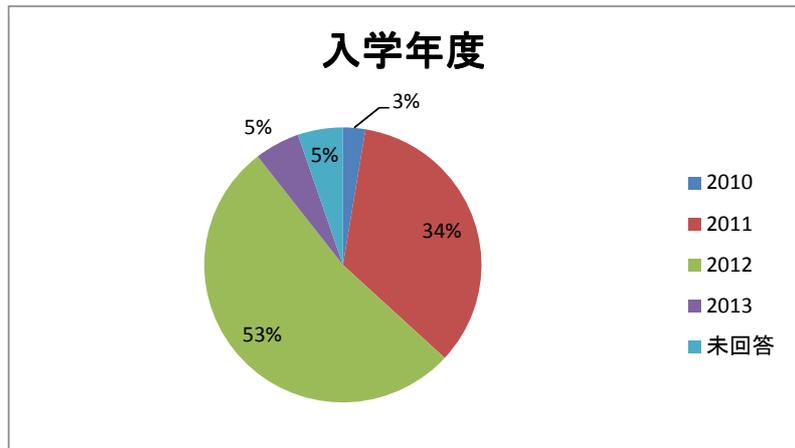
設問7については、論理的思考力・批判的思考力・資料読解能力の習得度を問う設問（7-1, 7-2, 7-4）と、学会発表数・論文投稿数を問う設問（7-10, 7-11, 7-12）との間で相違が見られる。これは、原則2年間で修士論文（ないし特定課題研究）を作成しなければならない博士課程前期において、とりわけ原典資・史料との地道な格闘を求められる当該研究領域においては、想定範囲内にある。また、資格取得について未回答の割合が高いことも、教職専修免許を除き、資格取得を本来的目的としない本研究科の特色を示すものである。設問9（とくに9-3）の回答は、それにもかかわらず本研究科の取り組みが学生の進路選択に寄与していることを裏づけている。

2. 次年度に向けた対応

今回のアンケート結果では、研究科全体として教職員の日常的な取り組みが、学生の総体的満足につながっているという傾向があることが分かった（設問5、6、7、9）。これについては引き続き努力を重ねていきたい。学会発表数、論文投稿数の劇的な増加は期待できないにせよ、プレゼンテーション能力向上に資する授業実践等を通じて、さらなる意識づけを行っていきたい。また、大学院進学を目指す本学学生の中には、早期に教職を断念するものも多い。本研究科の資格取得状況を好転させるためには、学部段階でのプランニングが必要である。ただし、今回のアンケートは回収率が芳しくないため、回答内容に偏りが生じている可能性も否めない。したがって、今年度の最優先課題は、回収率の上昇にある。その他の項目については、今年度の結果も踏まえてあらためて検討したい。

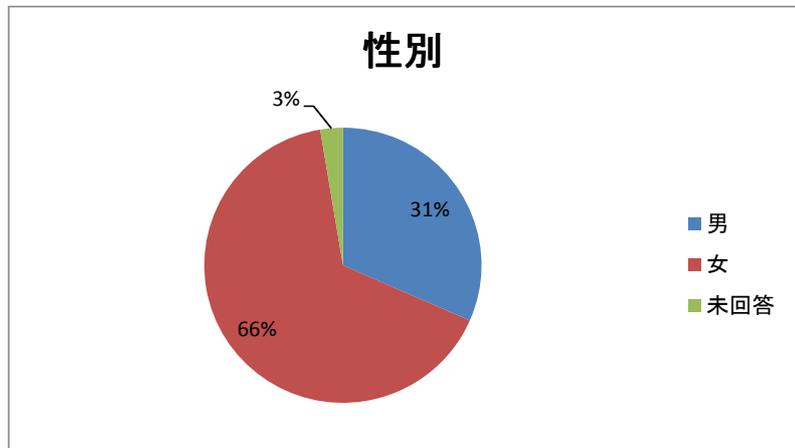
入学年度

入学年度	入学年度集計
2010	1
2011	13
2012	20
2013	2
未回答	2



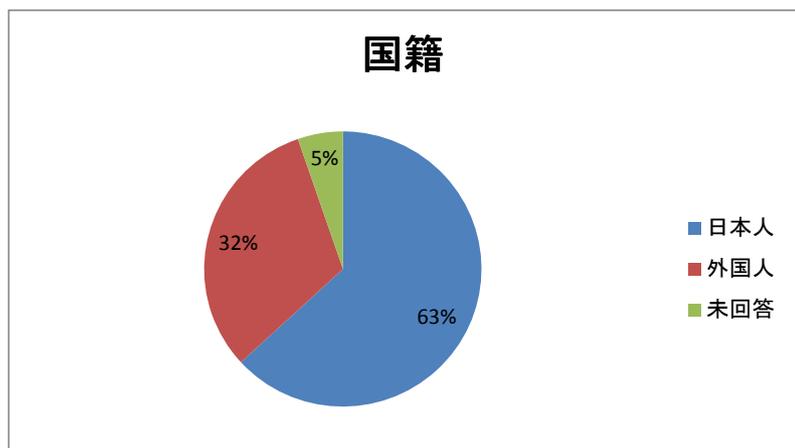
性別

選択肢	回答
男	12
女	25
未回答	1



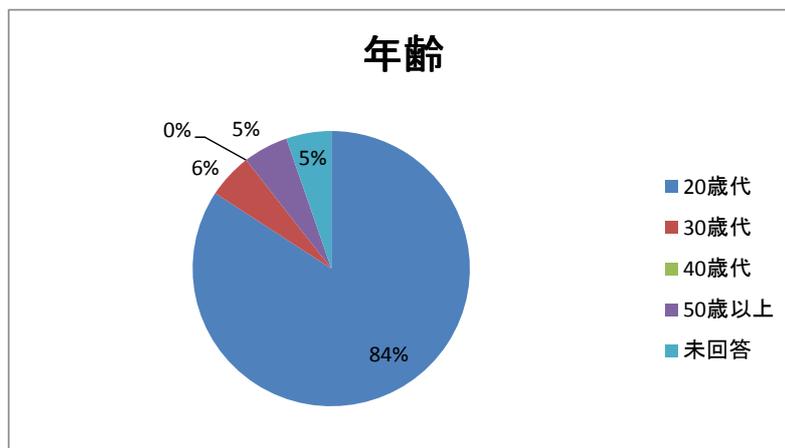
国籍

選択肢	回答
日本人	24
外国人	12
未回答	2



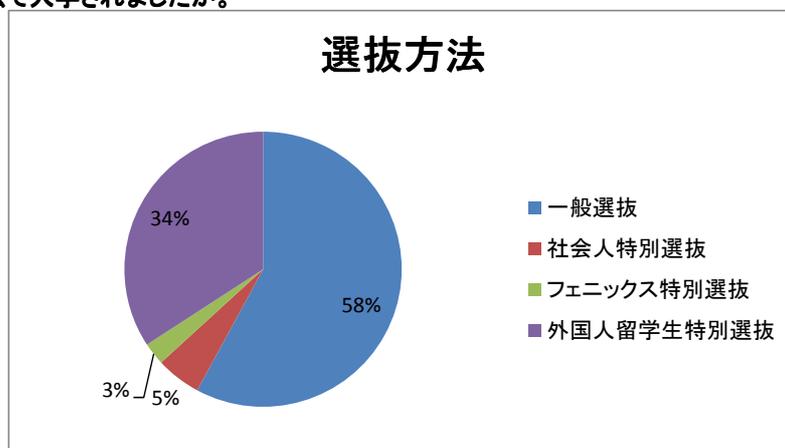
年齢

選択肢	回答
20歳代	32
30歳代	2
40歳代	0
50歳以上	2
未回答	2



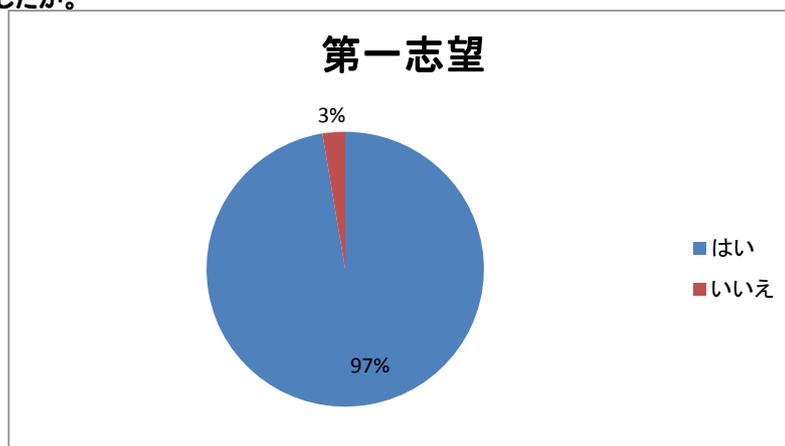
問2: 文学研究科へはどのような選抜方法で入学されましたか。

選択肢	回答
一般選抜	22
社会人特別選抜	2
フェニックス特別選抜	1
外国人留学生特別選抜	13
未回答	0



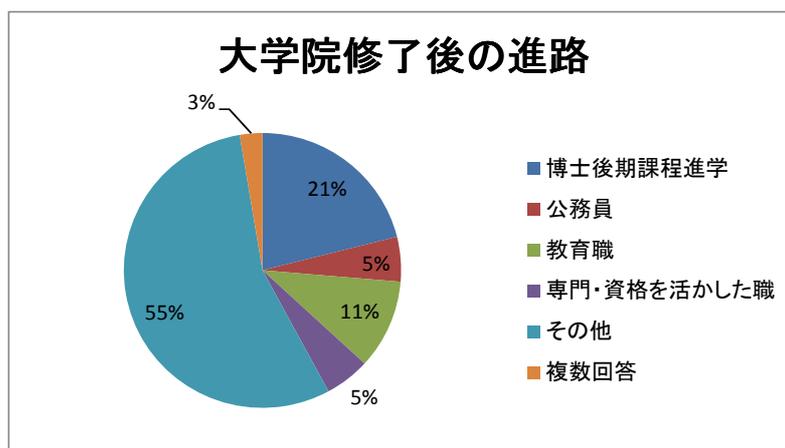
問3: 文学研究科への進学は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	37
いいえ	1
未回答	0



問4: 大学院修了後の進路について。

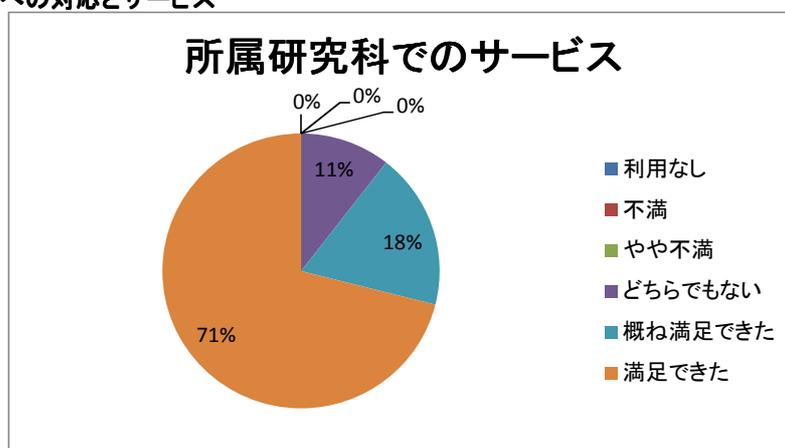
選択肢	回答
博士後期課程進学	8
公務員	2
教育職	4
専門・資格を活かした職	2
その他	21
複数回答	1



問5: 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

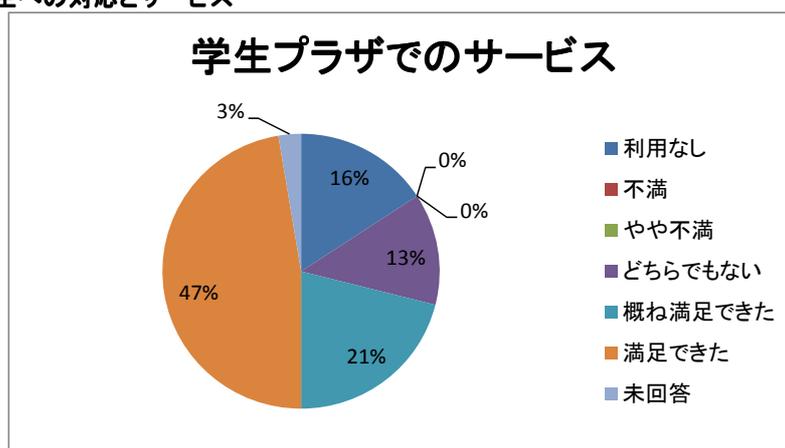
5-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	4
概ね満足できた	7
満足できた	27
未回答	0



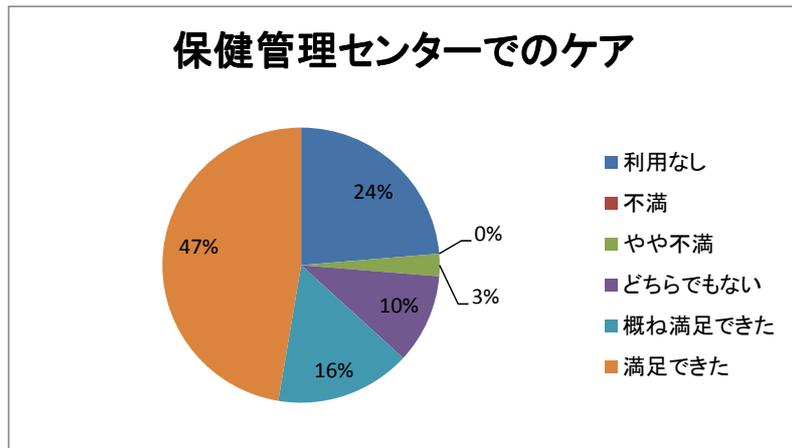
5-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	6
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	5
概ね満足できた	8
満足できた	18
未回答	1



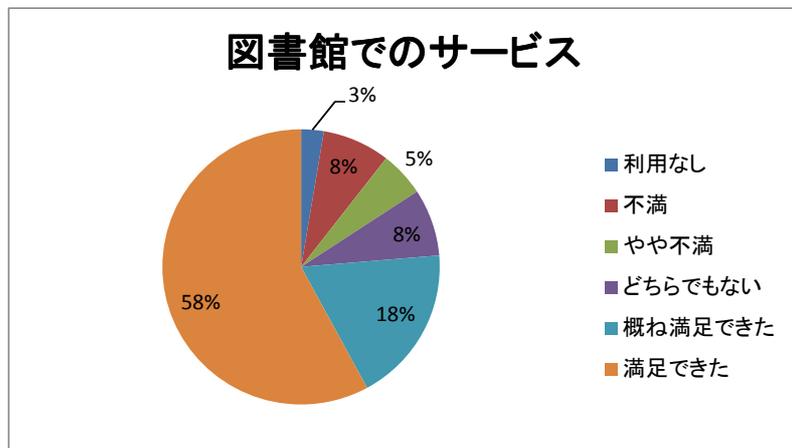
5-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	9
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	4
概ね満足できた	6
満足できた	18
未回答	0



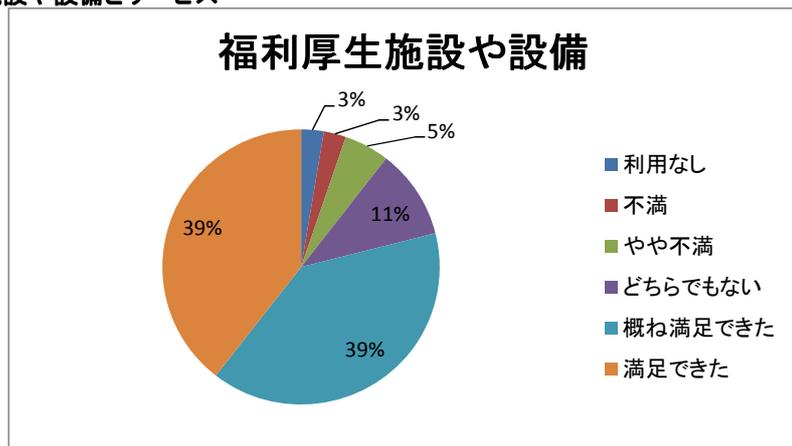
5-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	3
やや不満	2
どちらでもない	3
概ね満足できた	7
満足できた	22
未回答	0



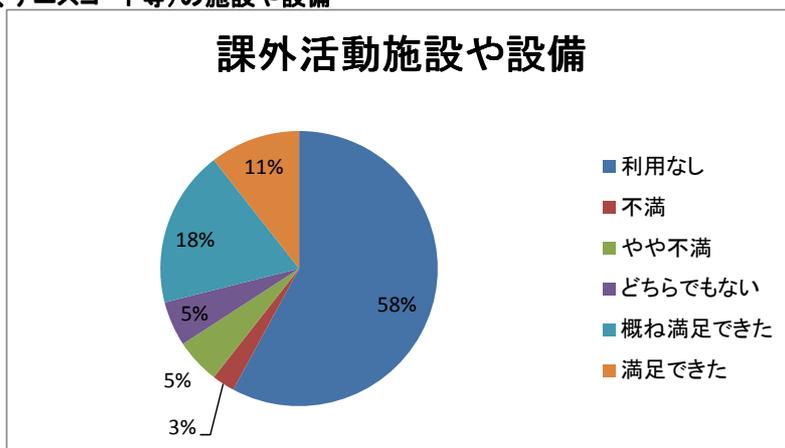
5-5 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	1
やや不満	2
どちらでもない	4
概ね満足できた	15
満足できた	15
未回答	0



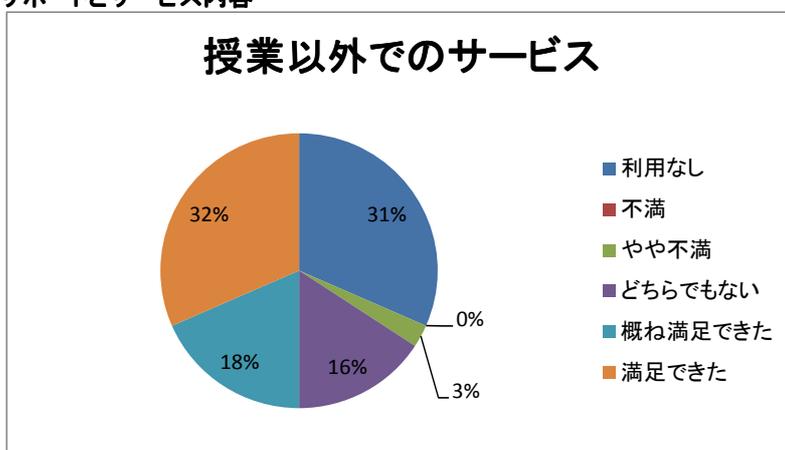
5-6 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	22
不満	1
やや不満	2
どちらでもない	2
概ね満足できた	7
満足できた	4
未回答	0



5-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

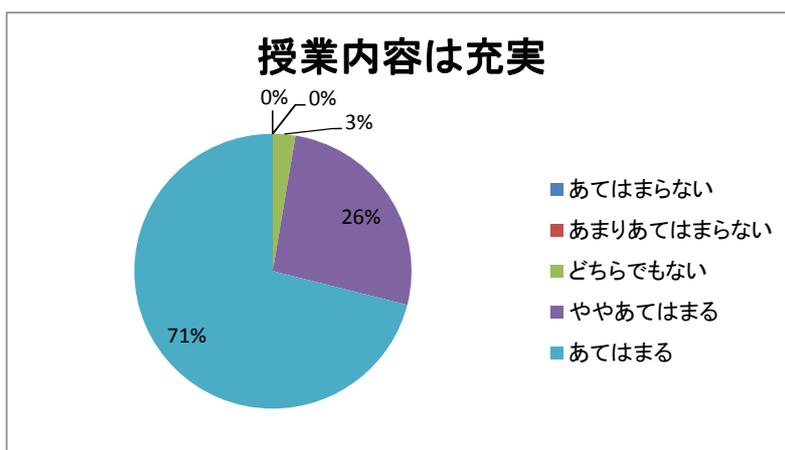
選択肢	回答
利用なし	12
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	6
概ね満足できた	7
満足できた	12
未回答	0



問6: 大学院で受けた教育・教育環境についてお尋ねします。

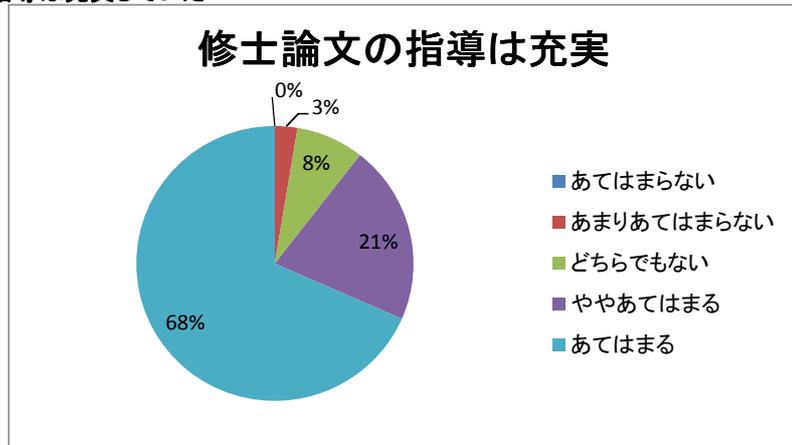
6-1 授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	10
あてはまる	27
未回答	0



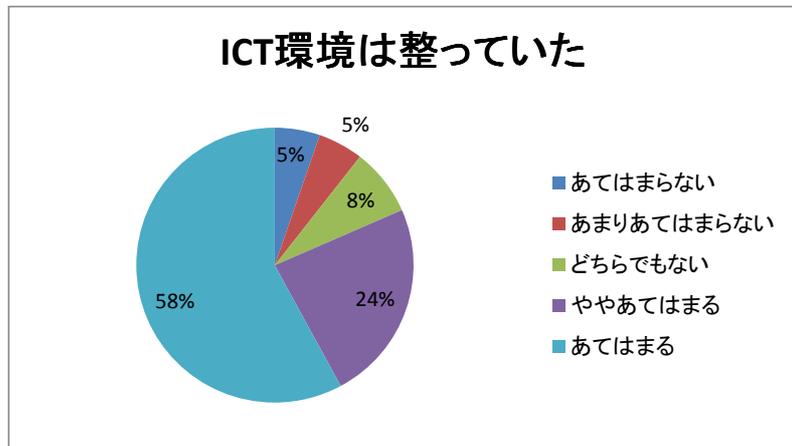
6-2 修士論文(または特定課題研究)の指導は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	8
あてはまる	26
未回答	0



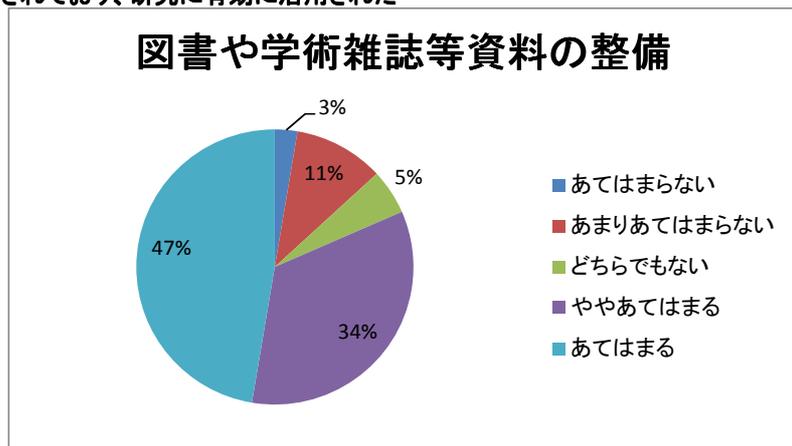
6-3 ICT(情報端末)環境は整っていた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	3
ややあてはまる	9
あてはまる	22
未回答	0



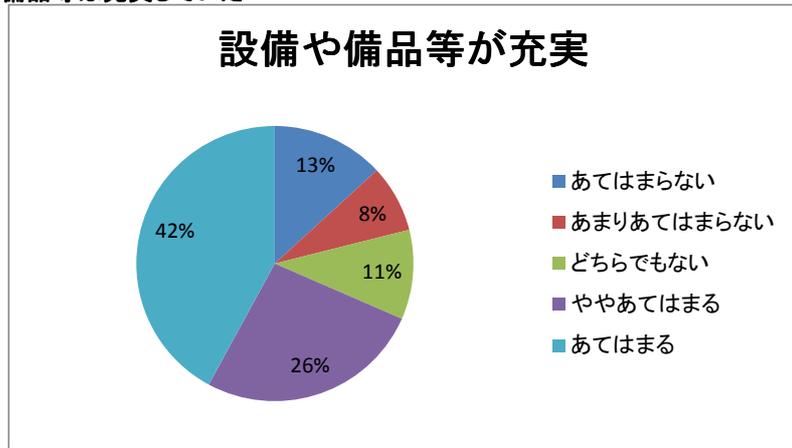
6-4 図書や学術雑誌、AV資料等が整備されており、研究に有効に活用された

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	2
ややあてはまる	13
あてはまる	18
未回答	0



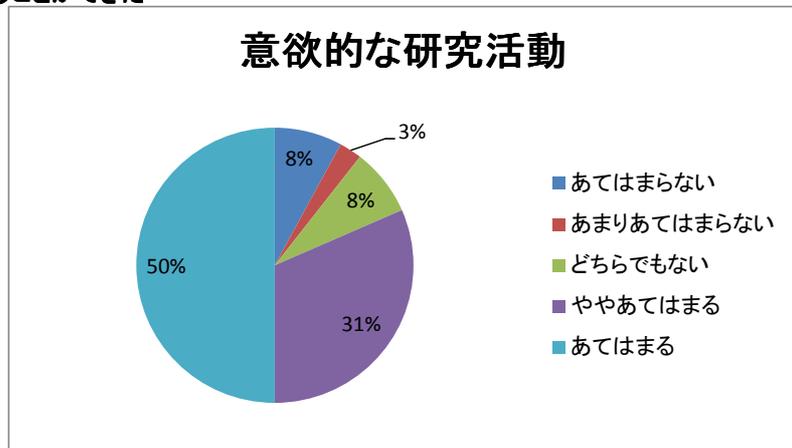
6-5 全体的に教育に係る研究スペース・備品等は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	5
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	4
ややあてはまる	10
あてはまる	16
未回答	0



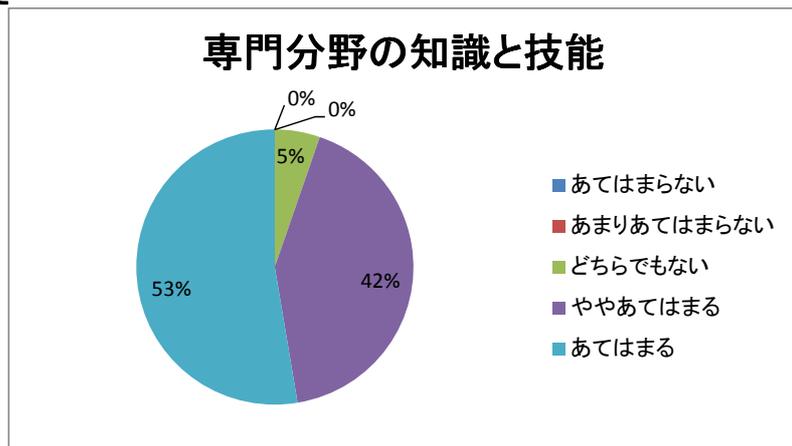
6-6 研究室では意欲的な研究活動を行うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	12
あてはまる	19
未回答	0



6-7 専門分野の知識と技能を修得できた

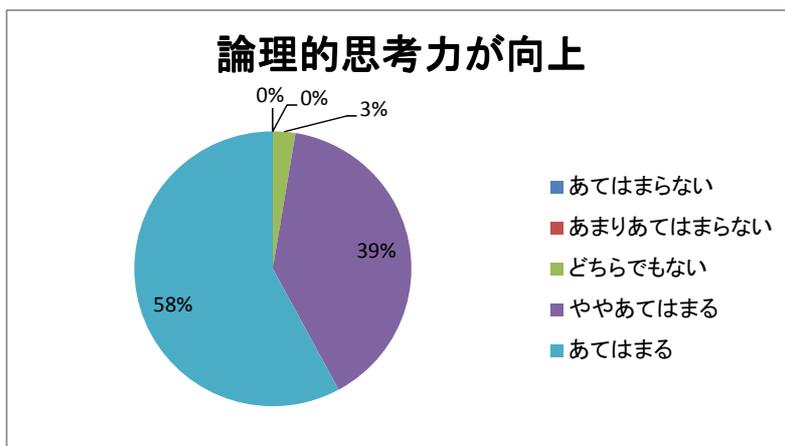
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	16
あてはまる	20
未回答	0



問7: 大学院での教育と研究の成果についてお尋ねします。

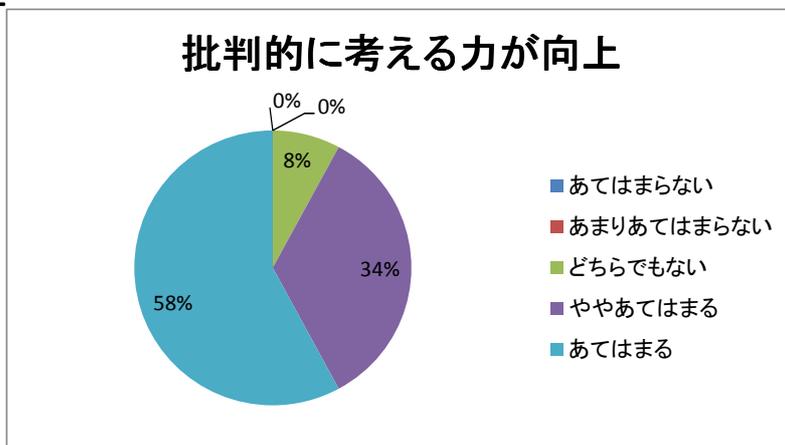
7-1 論理的思考力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	15
あてはまる	22
未回答	0



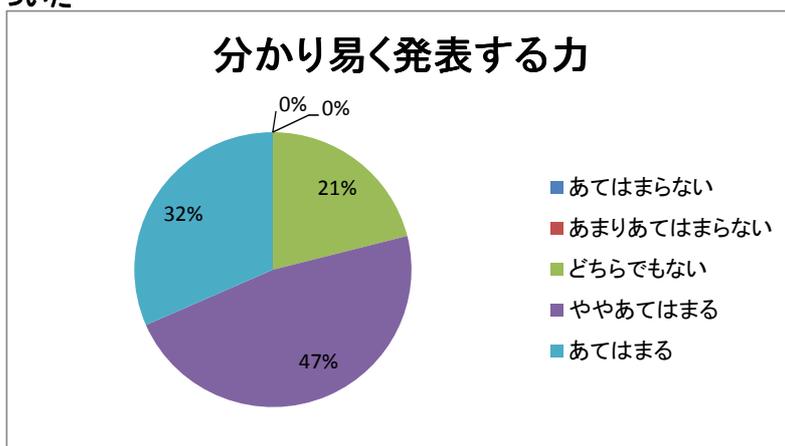
7-2 物事を批判的に考える力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	13
あてはまる	22
未回答	0



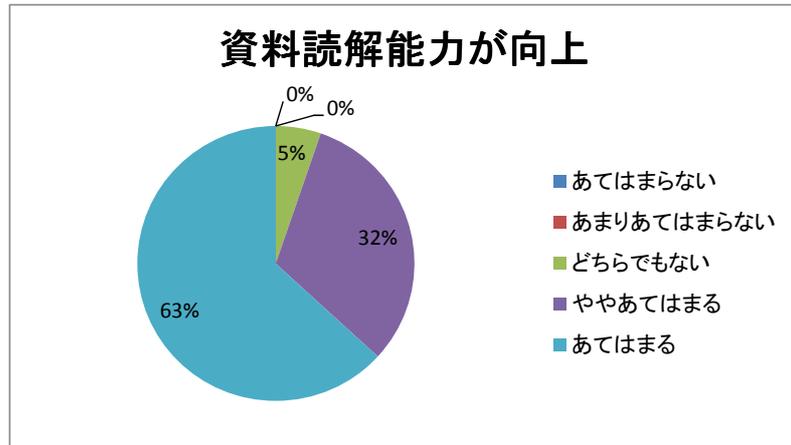
7-3 研究成果を分かり易く発表する力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	8
ややあてはまる	18
あてはまる	12
未回答	0



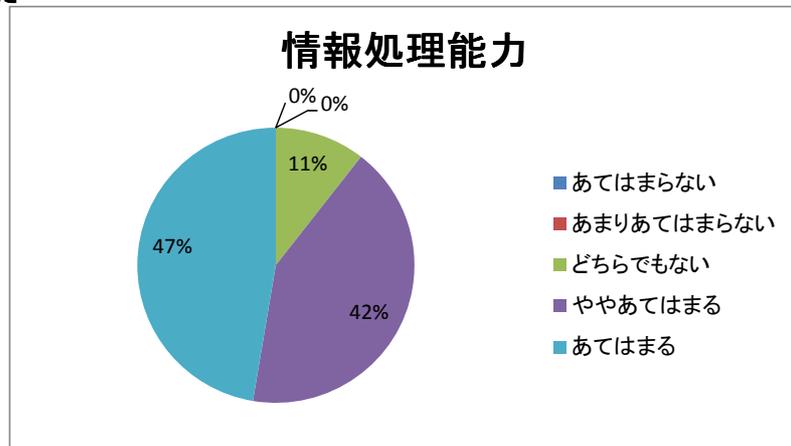
7-4 資料読解能力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	12
あてはまる	24
未回答	0



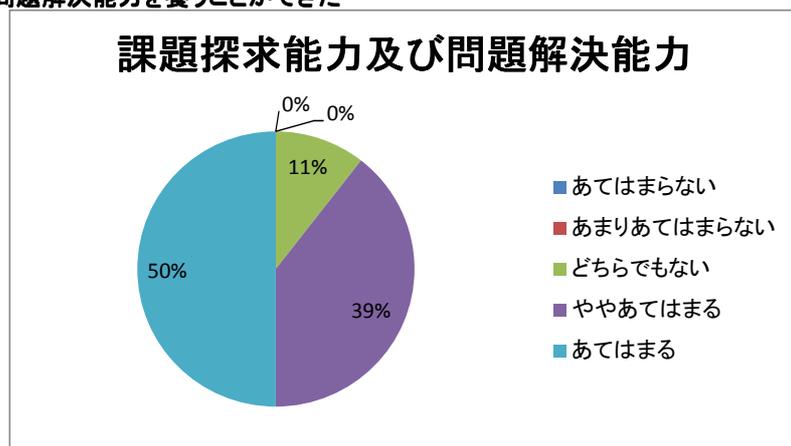
7-5 研究に関する情報処理能力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	16
あてはまる	18
未回答	0



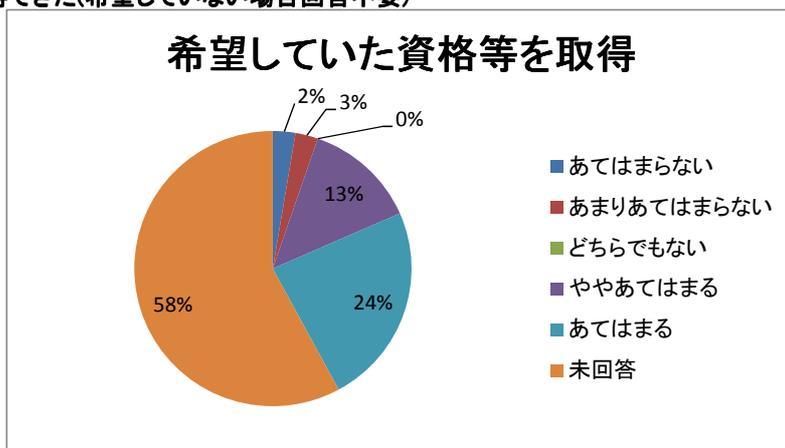
7-6 研究等を通じて課題探求能力及び問題解決能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	15
あてはまる	19
未回答	0



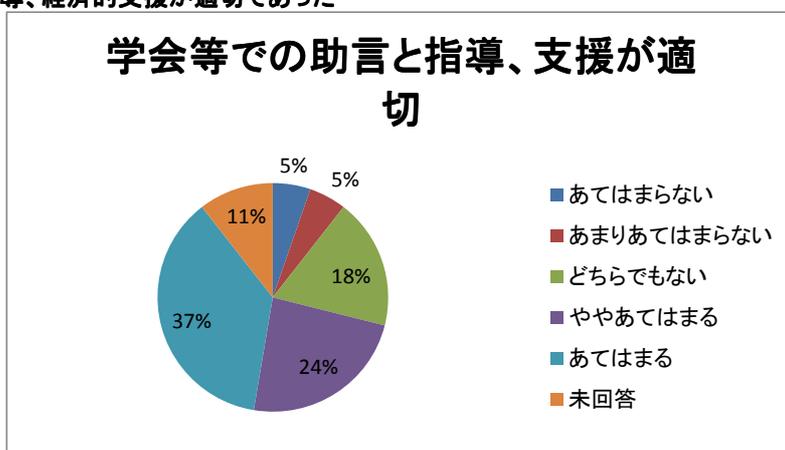
7-7 入学時に希望していた資格等を取得できた(希望していない場合回答不要)

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	0
ややあてはまる	5
あてはまる	9
未回答	22



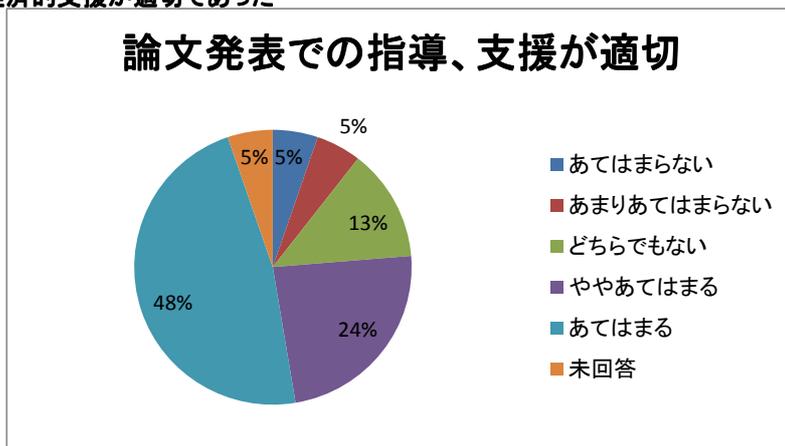
7-8 学会等での発表に際して、助言と指導、経済的支援が適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	7
ややあてはまる	9
あてはまる	14
未回答	4



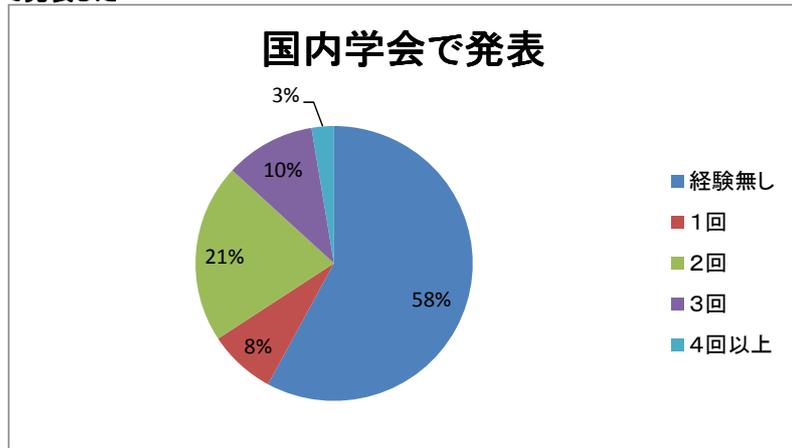
7-9 論文発表に向けての助言と指導、経済的支援が適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	5
ややあてはまる	9
あてはまる	18
未回答	2



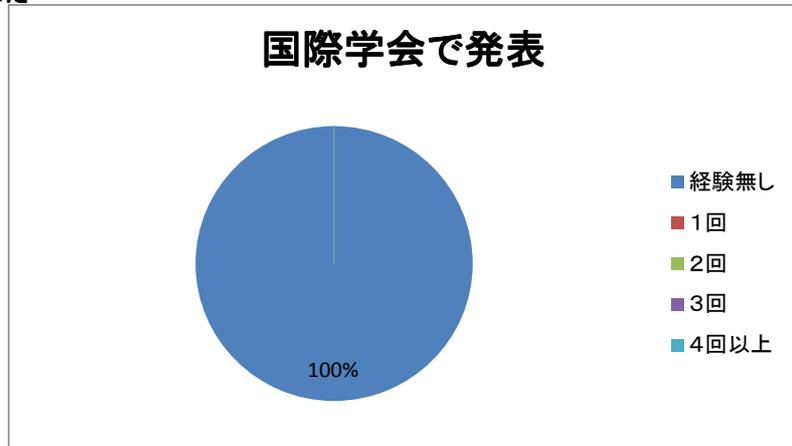
7-10 大学院在学中に国内学会・研究会で発表した

選択肢	回答
経験無し	22
1回	3
2回	8
3回	4
4回以上	1
未回答	0



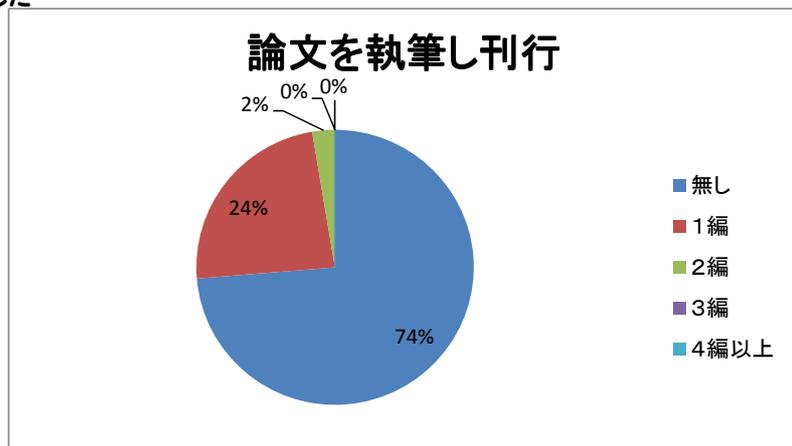
7-11 大学院在学中に国際学会で発表した

選択肢	回答
経験無し	38
1回	0
2回	0
3回	0
4回以上	0
未回答	0



7-12 論文を執筆し(共著も含めて)刊行した

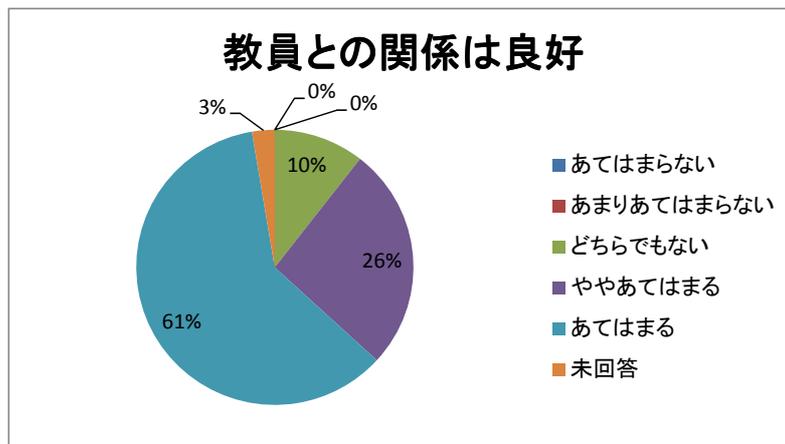
選択肢	回答
無し	28
1編	9
2編	1
3編	0
4編以上	0
未回答	0



問8: 大学院での学生生活についてお尋ねします。

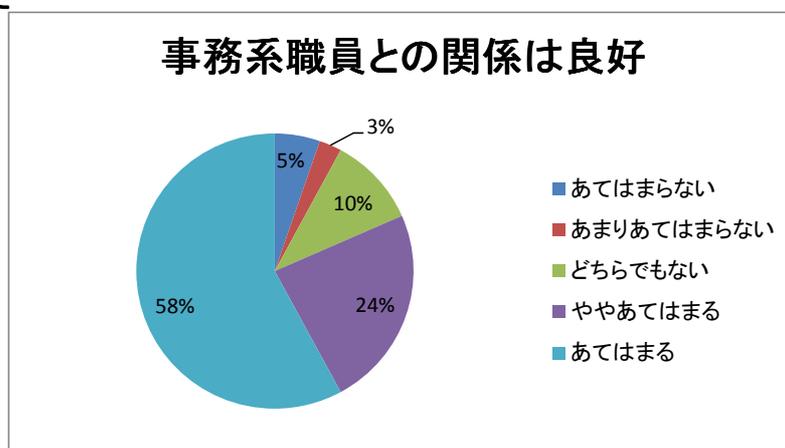
8-1 教員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	10
あてはまる	23
未回答	1



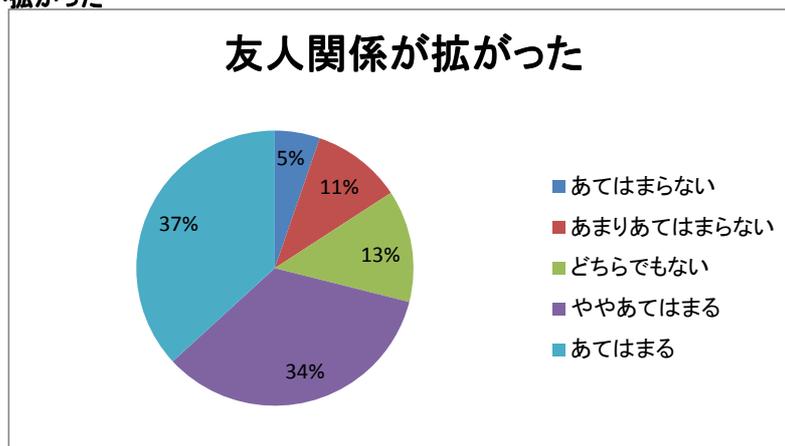
8-2 事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	4
ややあてはまる	9
あてはまる	22
未回答	0



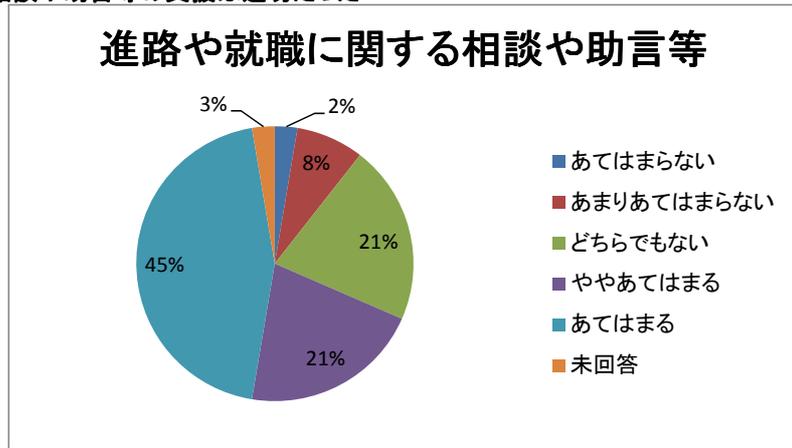
8-3 研究上の議論をとおして友人関係が広がった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	5
ややあてはまる	13
あてはまる	14
未回答	0



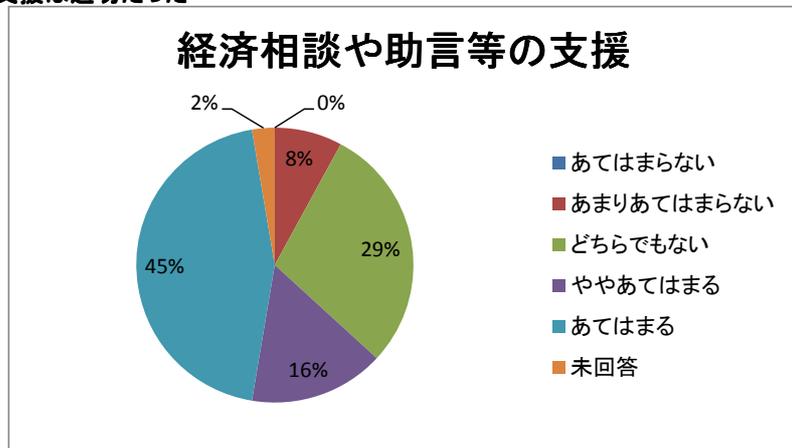
8-4 教職員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	8
ややあてはまる	8
あてはまる	17
未回答	1



8-5 教職員による経済相談や助言等の支援は適切だった

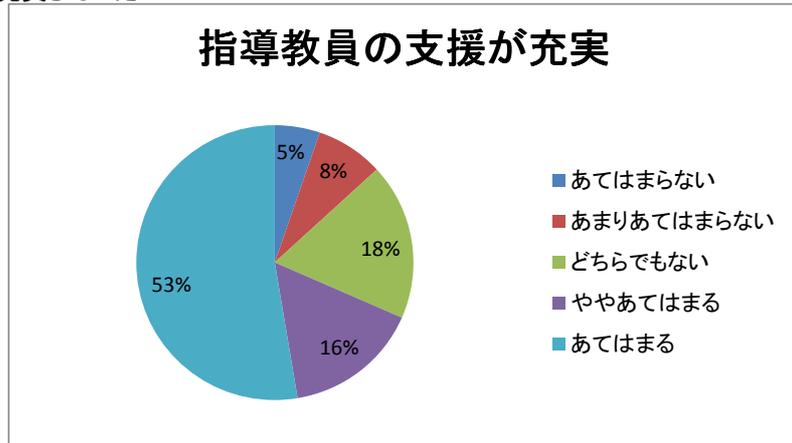
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	11
ややあてはまる	6
あてはまる	17
未回答	1



問9: 大学院修了後の進路選択についてお尋ねします。

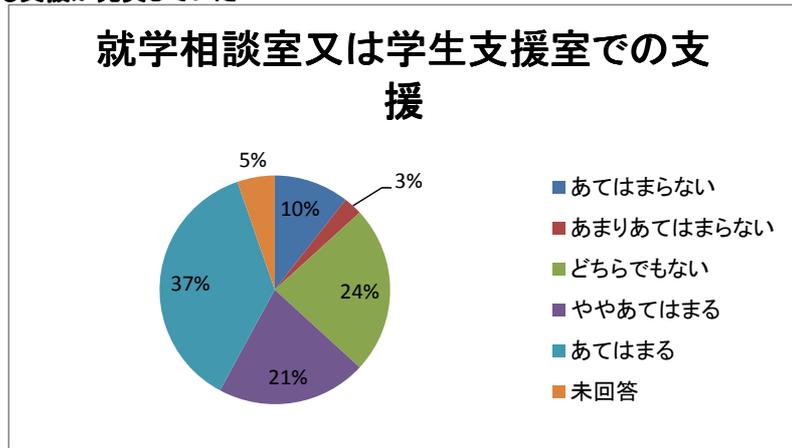
9-1 指導教員(正・副)の支援(相談等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	7
ややあてはまる	6
あてはまる	20
未回答	0



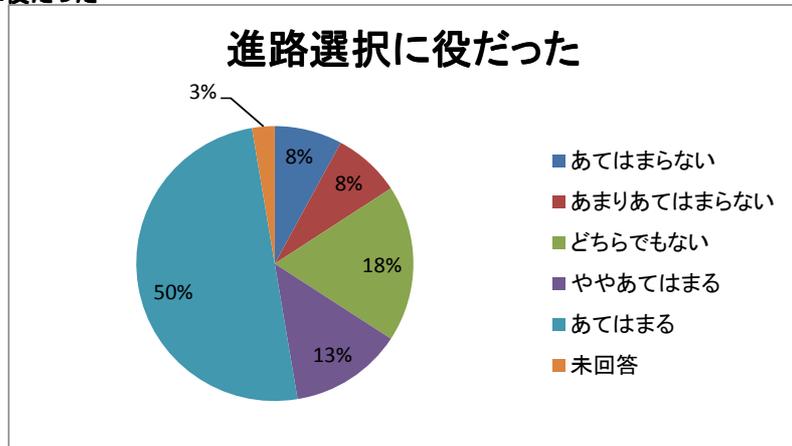
9-2 就学相談室又は学生支援室における支援が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	9
ややあてはまる	8
あてはまる	14
未回答	2



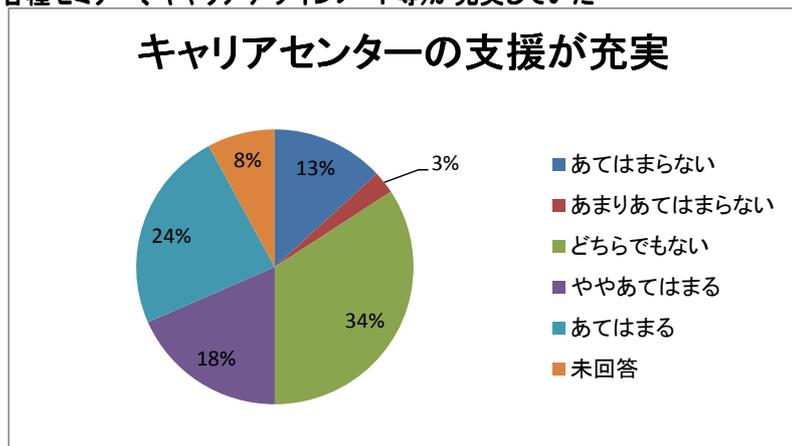
9-3 大学院で学修したことが進路選択に役立った

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	7
ややあてはまる	5
あてはまる	19
未回答	1



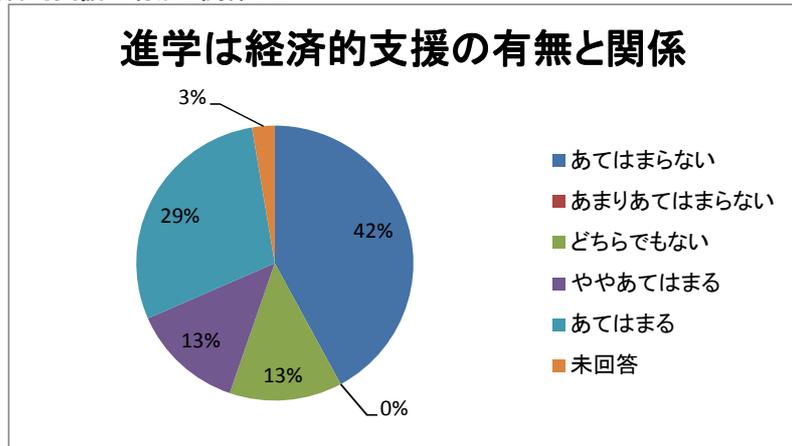
9-4 キャリアセンターの支援(進路相談、各種セミナー、キャリアデザインノート等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	5
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	13
ややあてはまる	7
あてはまる	9
未回答	3



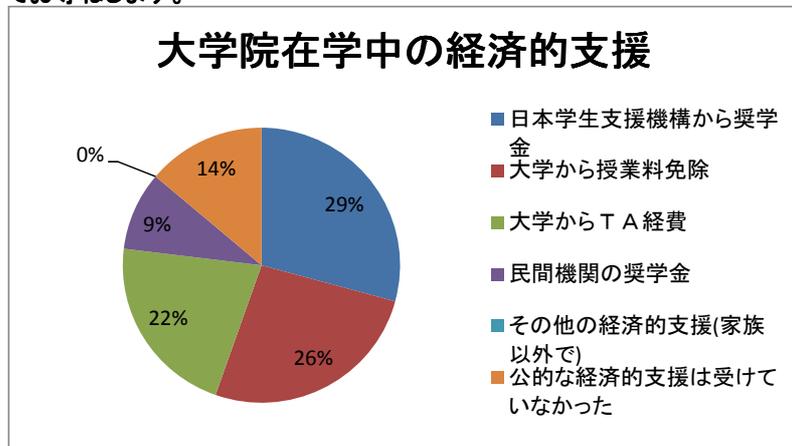
9-5 後期課程に進学するかどうかは、経済的支援の有無と関係した

選択肢	回答
あてはまらない	16
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	5
ややあてはまる	5
あてはまる	11
未回答	1



問10: 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

選択肢	回答
日本学生支援機構から奨学金	19
大学から授業料免除	17
大学からTA経費	14
民間機関の奨学金	6
その他の経済的支援(家族以外)	0
公的な経済的支援は受けていなかった	9



研究科総評

研究科：教育学研究科

1. 集計結果のまとめ

アンケートは紙媒体で実施し、調査対象学生数は、博士課程前期に所属する 161 名で、そのうち 122 名が回答し、回答率は 76% だった。博士課程前期における全学の平均回答率 69% より高い回答率である。これは、講座事務から一人一人に手渡し、提出をお願いしたことと、数回にわたり指導教員から提出の催促を行ったことが理由と考えられる。

また、今回の設問の中で、設問 8・9 については、研究科の取り組みが反映されたものと考えられる。

設問 8 については、FD や研修等によって教育の質の改善・向上を図るための取り組みを継続して行っており、多くの学生は、講義・セミナー・演習の内容及び研究指導について「充実していた」、「評価や審査は適切に行われた」と回答したものと考えられる。

設問 9 について、講義等の内容、研究指導について充実していたこと、教員と学生の関係も良好であったことにより、大学院での教育と研究について、「知識等の修得ができた」、「理論的思考力等が向上した」と回答したものと考えられる。

2. 次年度に向けた対応

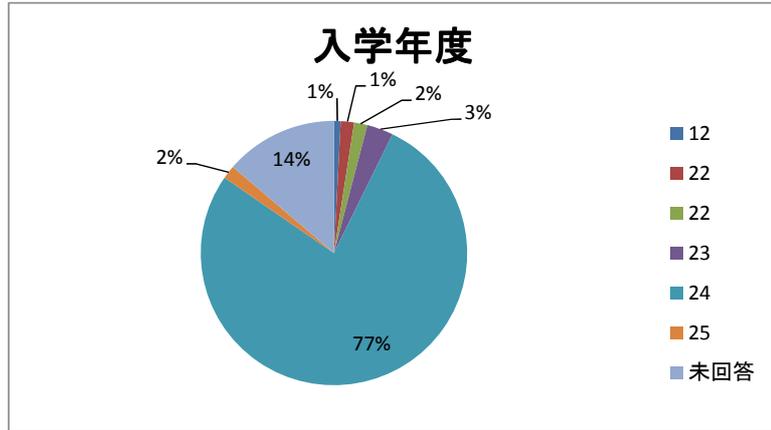
今回のアンケート結果では、研究科全体として大学院で受けた講義等の内容、研究指導、大学院での教育及び研究の成果について、多数の学生が満足している傾向があることが分かった。(設問 8・9)

設問 8 については、FD や研修等によって教育の質の改善・向上を図るための取り組みを継続して行っているという理由から、大学院で受けた教育等について満足している結果になったと考えられる。

設問 9 については、講義等の内容、研究指導について充実していたこと、教員との関係も良好であったという理由から大学院での教育と研究の成果について満足している結果になったと考えられる。

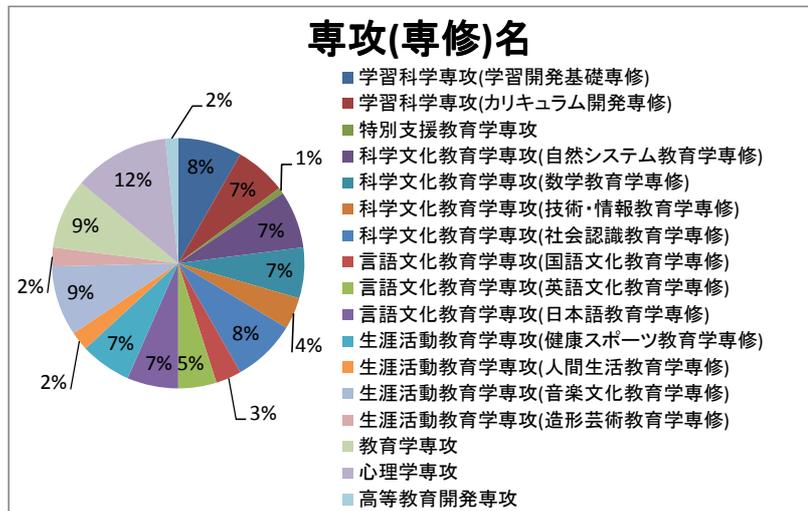
次年度も、FD や研修等によって教育の質の改善・向上を図るための取り組みを継続・発展させ教員と学生の良好な関係を築いていくように対応したい。

入学年度	回答
12	1
22	2
22	2
23	4
24	96
25	2
未回答	17



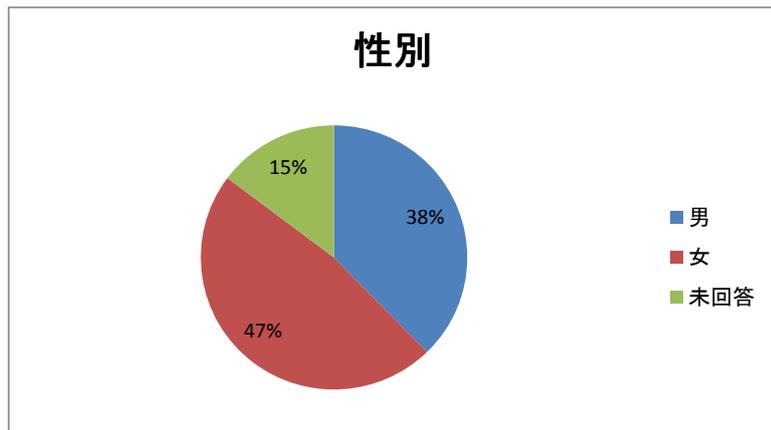
専攻(専修)名

選択肢	回答
学習科学専攻(学習開発基礎専修)	10
学習科学専攻(カリキュラム開発専修)	8
特別支援教育学専攻	1
科学文化教育学専攻(自然システム教育学専修)	9
科学文化教育学専攻(数学教育学専修)	8
科学文化教育学専攻(技術・情報教育学専修)	5
科学文化教育学専攻(社会認識教育学専修)	10
言語文化教育学専攻(国語文化教育学専修)	4
言語文化教育学専攻(英語文化教育学専修)	6
言語文化教育学専攻(日本語教育学専修)	8
生涯活動教育学専攻(健康スポーツ教育学専修)	8
生涯活動教育学専攻(人間生活教育学専修)	3
生涯活動教育学専攻(音楽文化教育学専修)	11
生涯活動教育学専攻(造形芸術教育学専修)	3
教育学専攻	11
心理学専攻	15
高等教育開発専攻	2
未回答	0



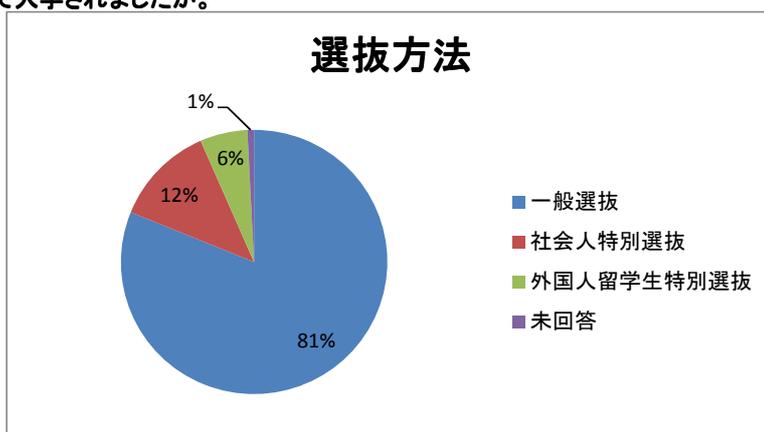
性別

選択肢	回答
男	46
女	58
未回答	18



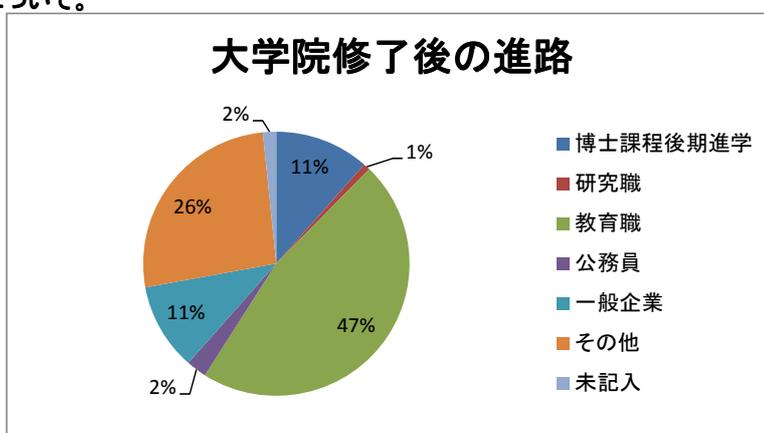
問2:教育学研究科へはどのような選抜方法で入学されましたか。

選択肢	回答
一般選抜	99
社会人特別選抜	15
外国人留学生特別選抜	7
未回答	1



問3: 大学院(博士前記課程)修了後の進路について。

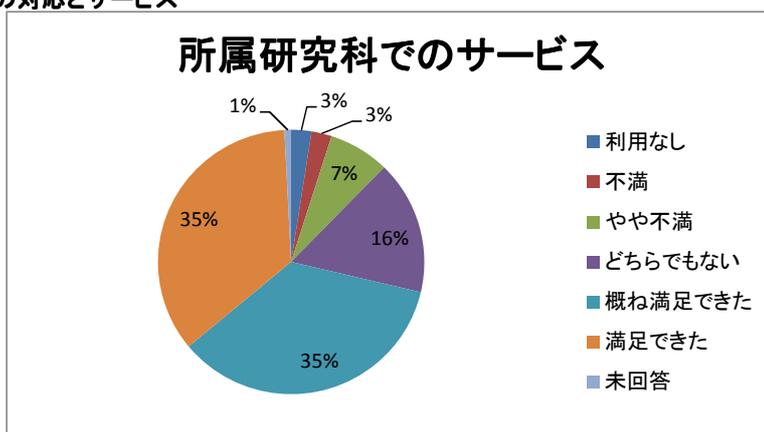
選択肢	回答
博士課程後期進学	14
研究職	1
教育職	57
公務員	3
一般企業	13
その他	32
未記入	2



問4: 大学院在学中に関する満足度についてお尋ねします。

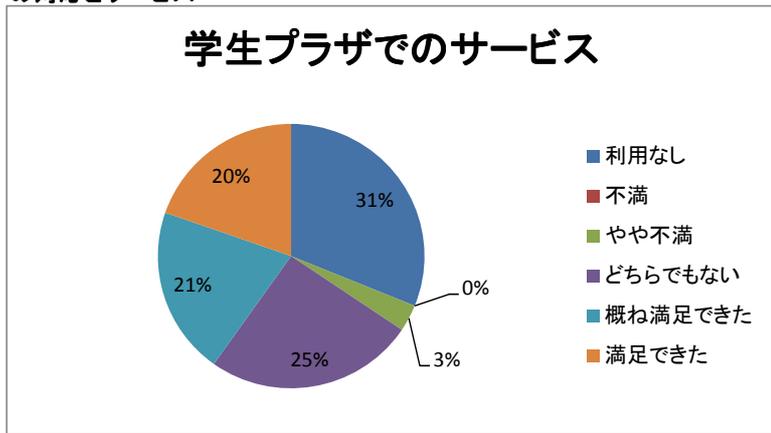
4-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	3
不満	3
やや不満	9
どちらでもない	20
概ね満足できた	43
満足できた	43
未回答	1



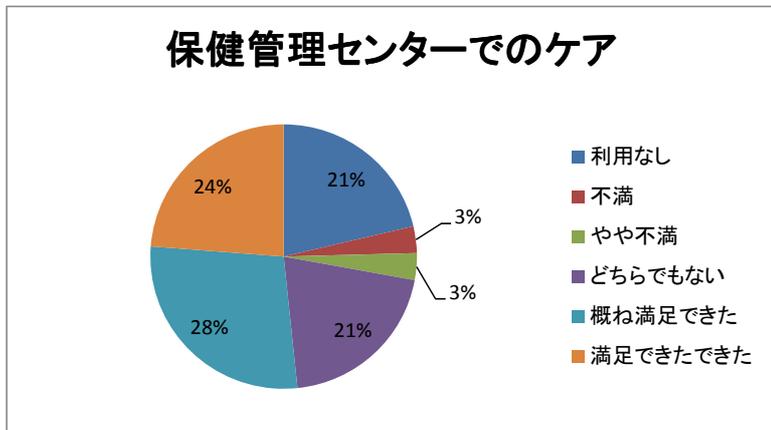
4-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	38
不満	0
やや不満	4
どちらでもない	31
概ね満足できた	25
満足できた	24
未回答	0



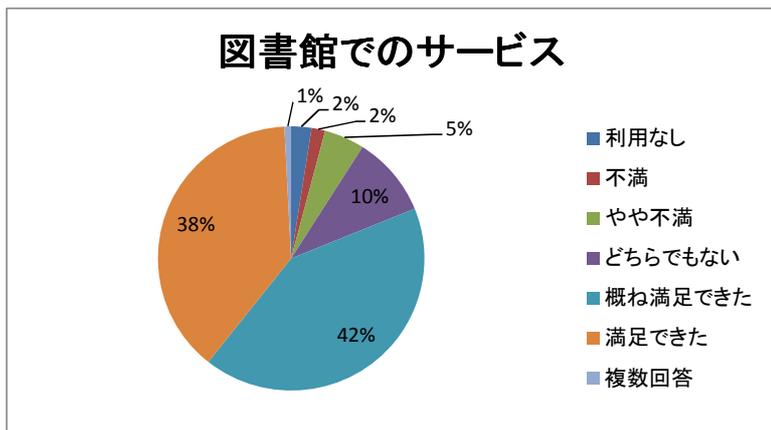
4-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	26
不満	4
やや不満	4
どちらでもない	25
概ね満足できた	34
満足できた	29
未回答	0



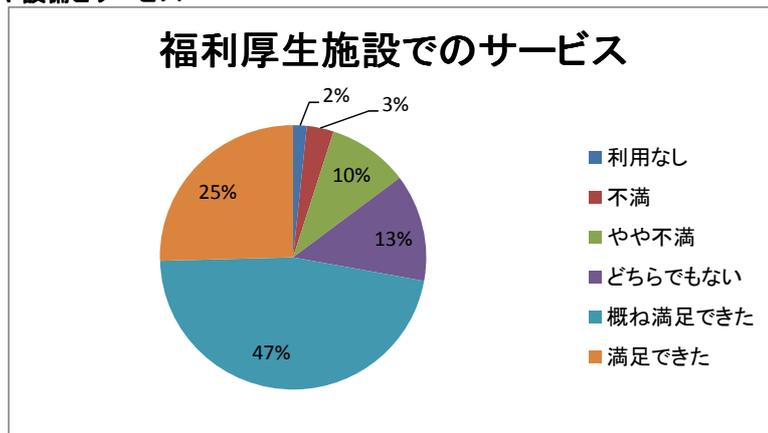
4-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	3
不満	2
やや不満	6
どちらでもない	12
概ね満足できた	51
満足できた	47
複数回答	1



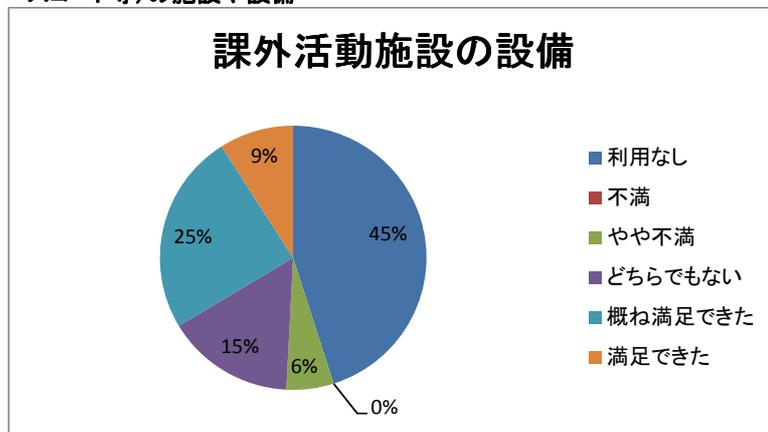
4-5 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	2
不満	4
やや不満	12
どちらでもない	16
概ね満足できた	57
満足できた	31
未回答	0



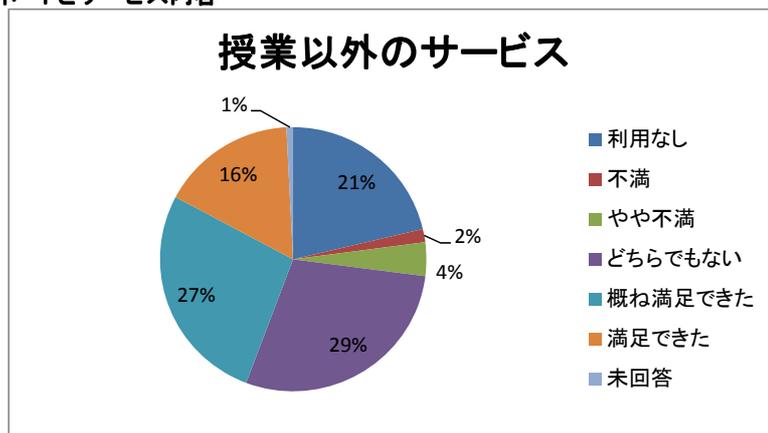
4-6 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	55
不満	0
やや不満	7
どちらでもない	19
概ね満足できた	30
満足できた	11
未回答	0



4-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

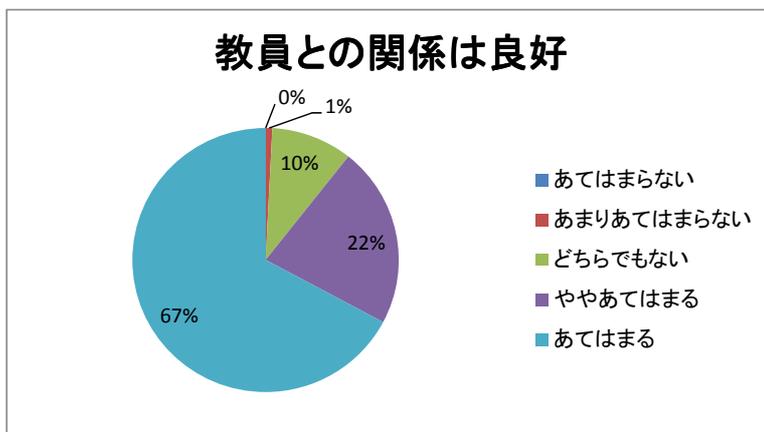
選択肢	回答
利用なし	26
不満	2
やや不満	5
どちらでもない	35
概ね満足できた	33
満足できた	20
未回答	1



問5: 大学院在学中の学生生活についてお尋ねします。

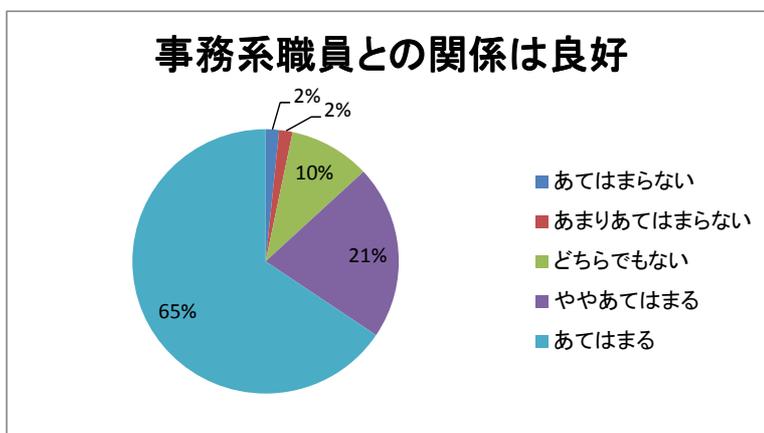
5-1 教員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	12
ややあてはまる	27
あてはまる	82
未回答	0



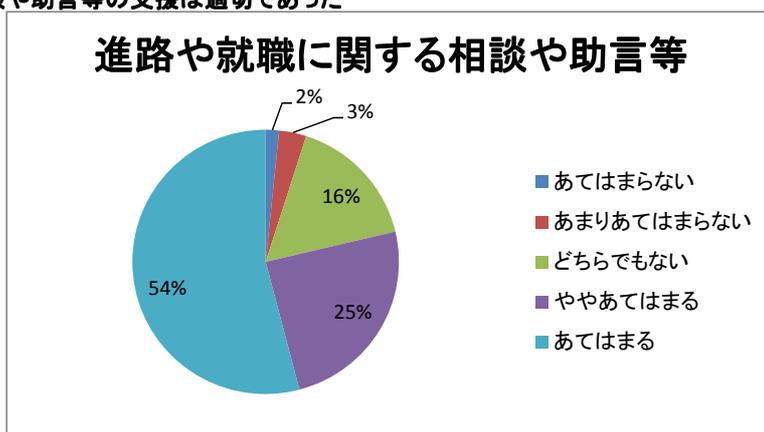
5-2 事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	12
ややあてはまる	26
あてはまる	80
未回答	0



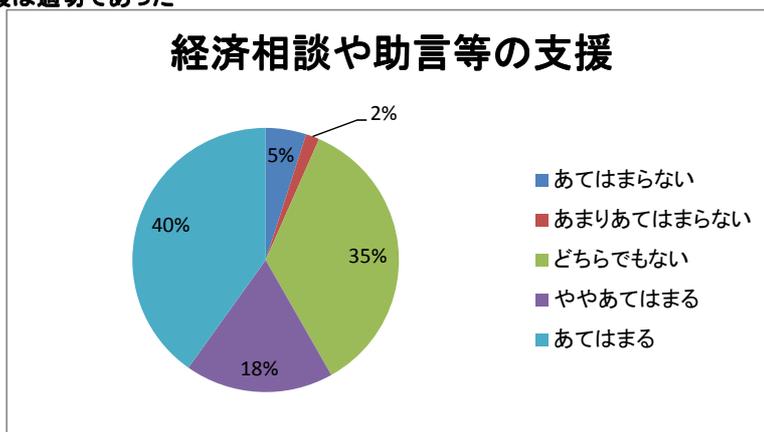
5-3 教職員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	20
ややあてはまる	30
あてはまる	66
未回答	0



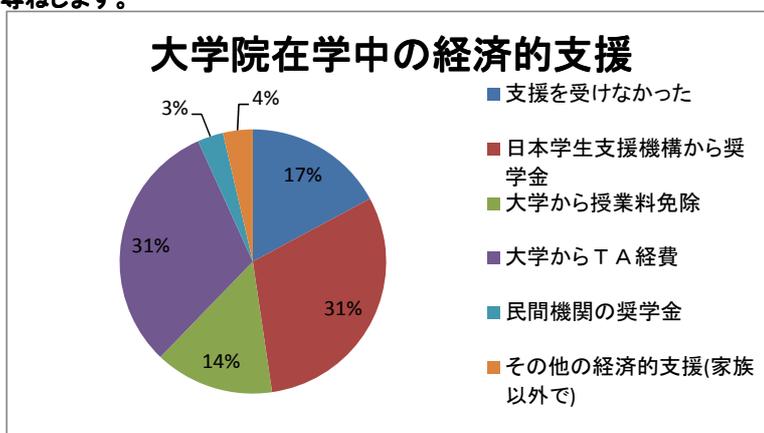
5-4 教職員による経済相談や助言等の支援は適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	6
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	43
ややあてはまる	22
あてはまる	49
未回答	0



問6:大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

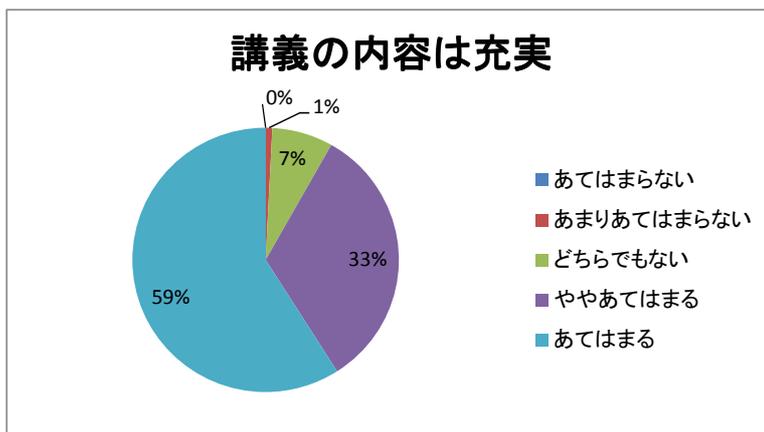
選択肢	回答
支援を受けなかった	33
日本学生支援機構から奨学金	59
大学から授業料免除	28
大学からTA経費	60
民間機関の奨学金	6
その他の経済的支援(家族以外で)	7



問8:大学院で受けた教育についてお尋ねします。

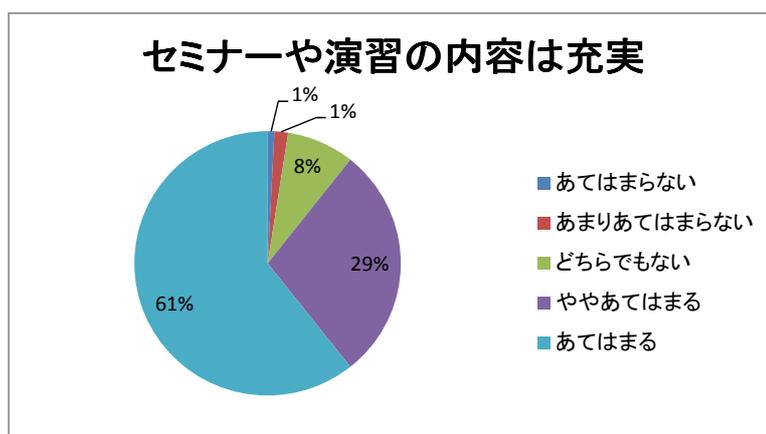
8-1 講義の内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	9
ややあてはまる	40
あてはまる	72
未回答	0



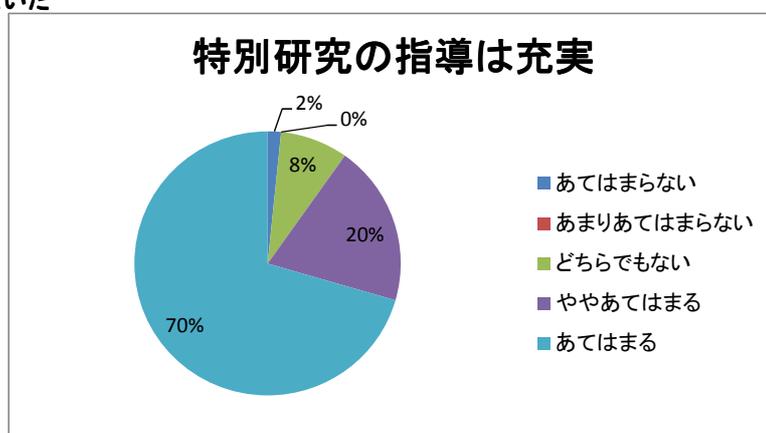
8-2 セミナーや演習の内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	10
ややあてはまる	35
あてはまる	74
未回答	0



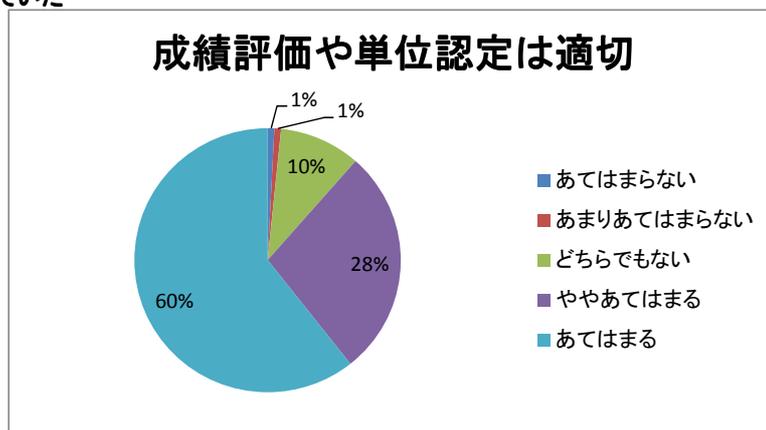
8-3 特別研究(修士論文)の指導は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	10
ややあてはまる	24
あてはまる	86
未回答	0



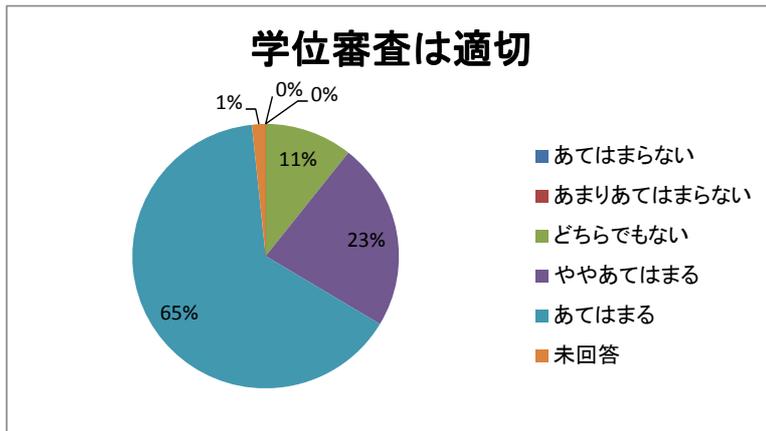
8-4 成績評価や単位認定は適切に行われていた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	12
ややあてはまる	34
あてはまる	74
未回答	0



8-5 学位審査は適切に行われていた

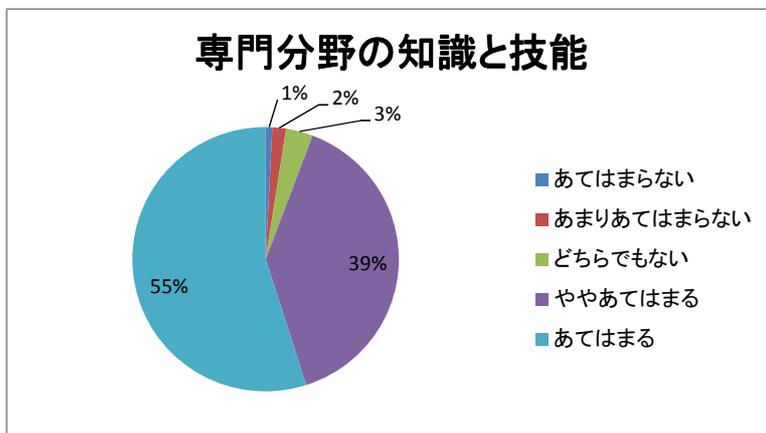
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	13
ややあてはまる	28
あてはまる	79
未回答	2



問9: 大学院での教育と研究の成果についてお尋ねします。

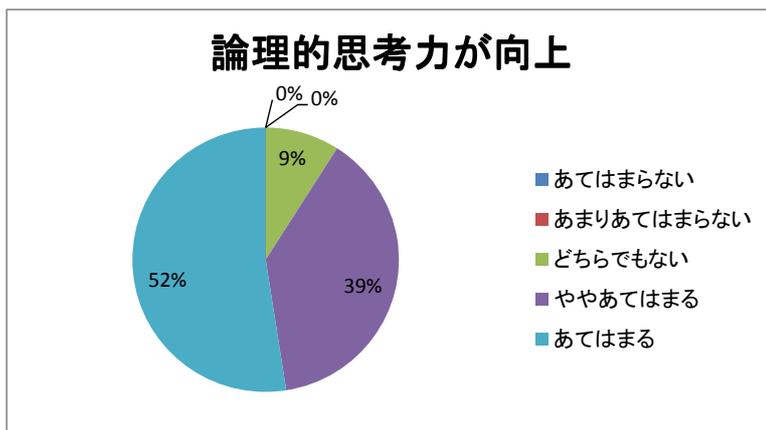
9-1 専門分野の知識と技能を修得できた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	4
ややあてはまる	48
あてはまる	67
未回答	0



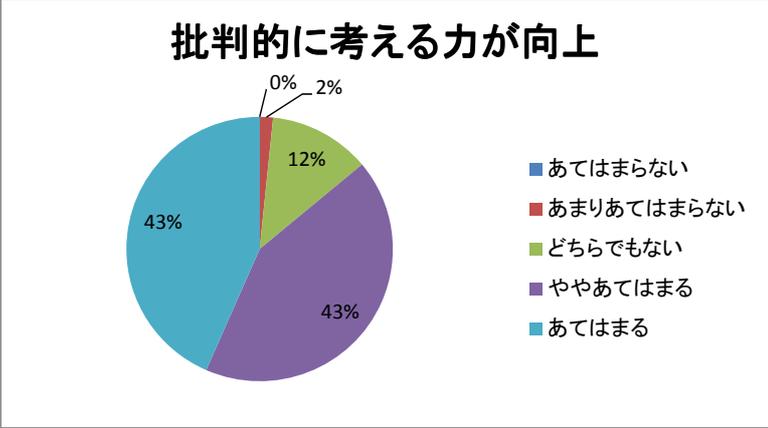
9-2 論理的思考力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	11
ややあてはまる	47
あてはまる	64
未回答	0



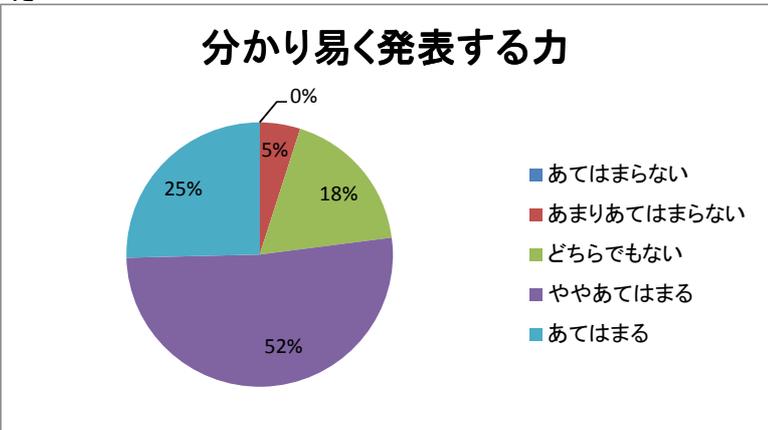
9-3 物事を批判的に考える力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	15
ややあてはまる	52
あてはまる	53
未回答	0



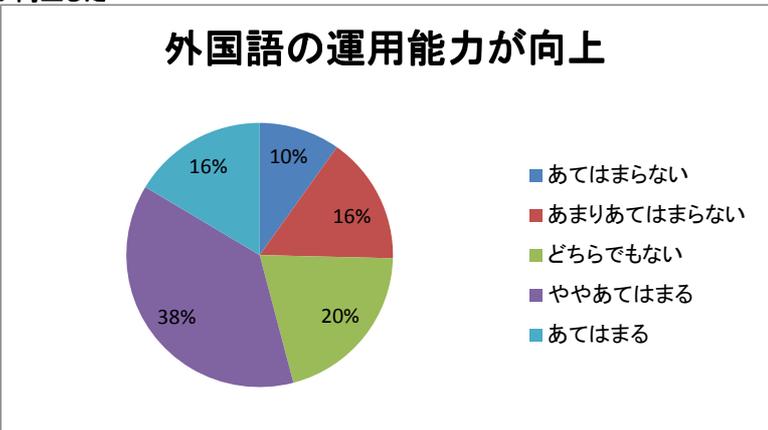
9-4 研究成果を分かり易く発表する力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	6
どちらでもない	22
ややあてはまる	63
あてはまる	31
未回答	0



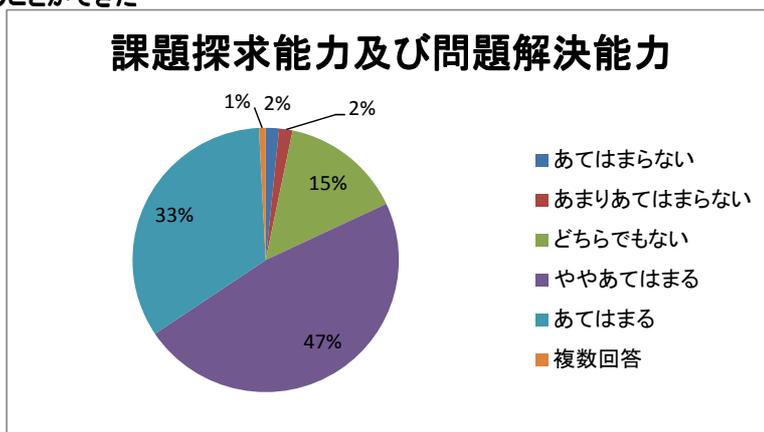
9-5 外国語(英語、日本語など)の運用能力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	12
あまりあてはまらない	19
どちらでもない	25
ややあてはまる	46
あてはまる	20
未回答	0



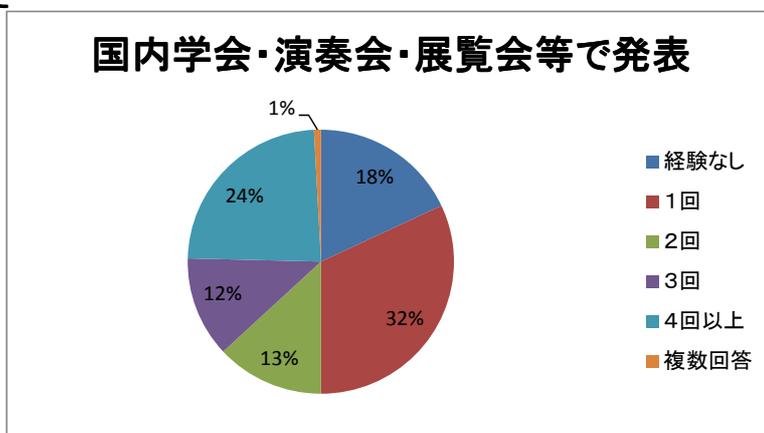
9-6 課題探求能力及び問題解決能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	18
ややあてはまる	58
あてはまる	41
複数回答	1



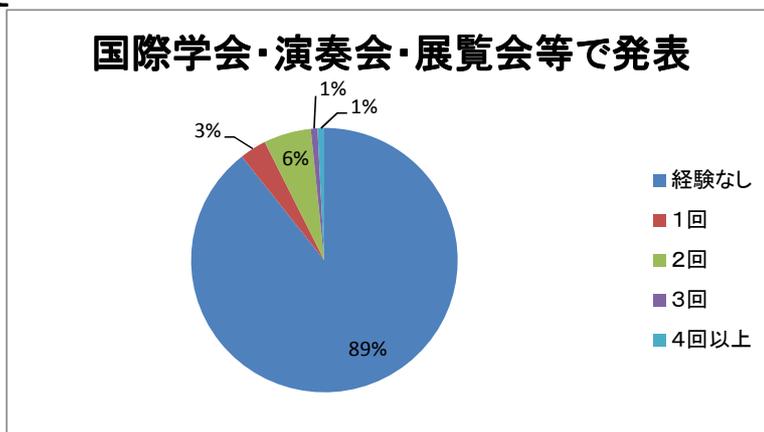
9-7 国内学会・演奏会・展覧会等で発表した

選択肢	回答
経験なし	22
1回	39
2回	16
3回	15
4回以上	29
複数回答	1



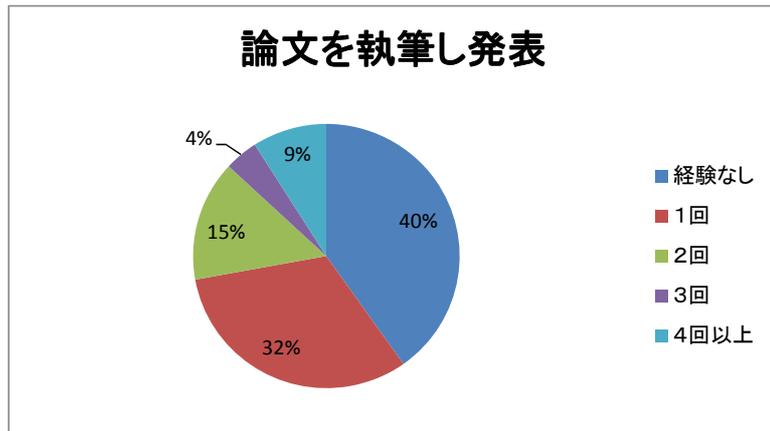
9-8 国際学会・演奏会・展覧会等で発表した

選択肢	回答
経験なし	109
1回	4
2回	7
3回	1
4回以上	1
未回答	0



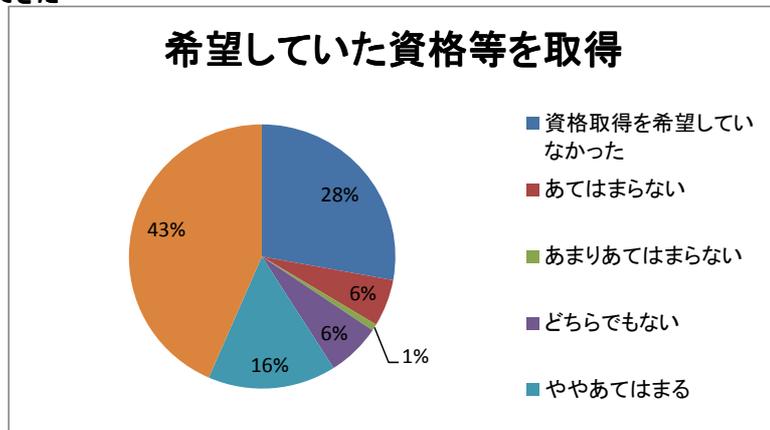
9-9 論文を執筆し(共著も含めて)発表した

選択肢	回答
経験なし	49
1回	39
2回	18
3回	5
4回以上	11
未回答	0



9-10 入学時に希望していた資格等を取得できた

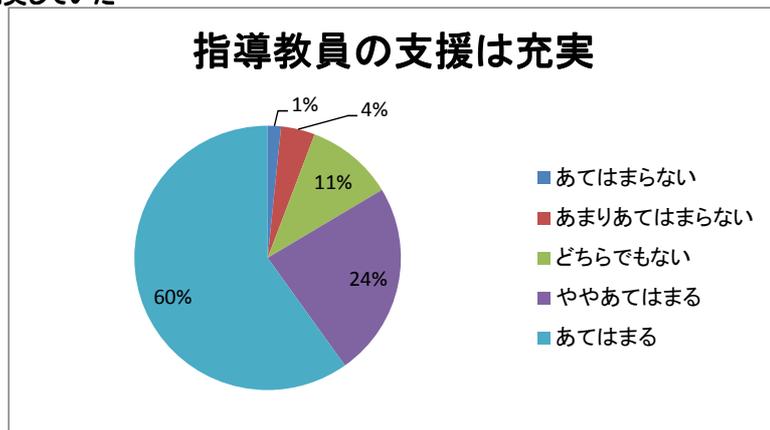
選択肢	回答
資格取得を希望していなかった	34
あてはまらない	7
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	8
ややあてはまる	19
あてはまる	53
未回答	0



問10: 大学院(博士前期課程)修了後の進路選択についてお尋ねします。

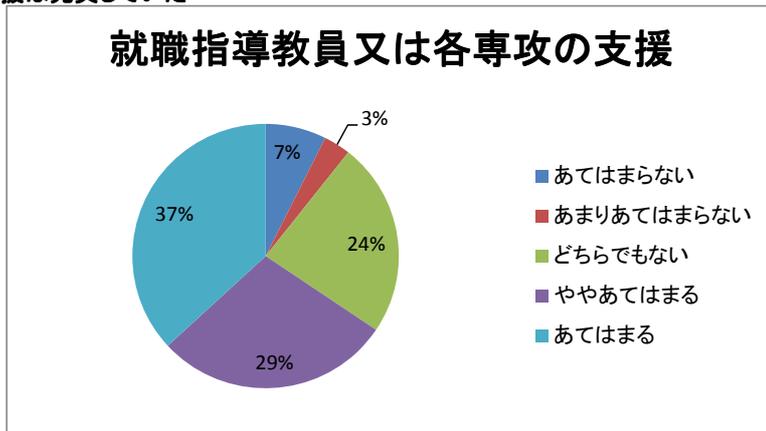
10-1 指導教員(正・副)の支援(相談等)は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	13
ややあてはまる	29
あてはまる	73
未回答	0



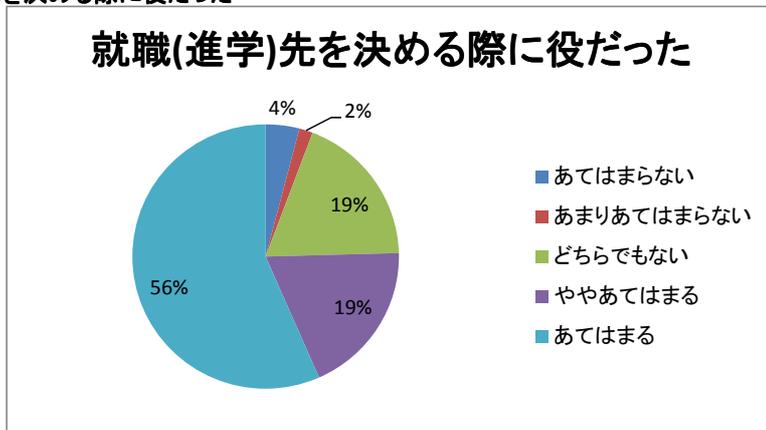
10-2 就職指導教員又は各専攻における支援は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	9
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	29
ややあてはまる	35
あてはまる	45
未回答	0



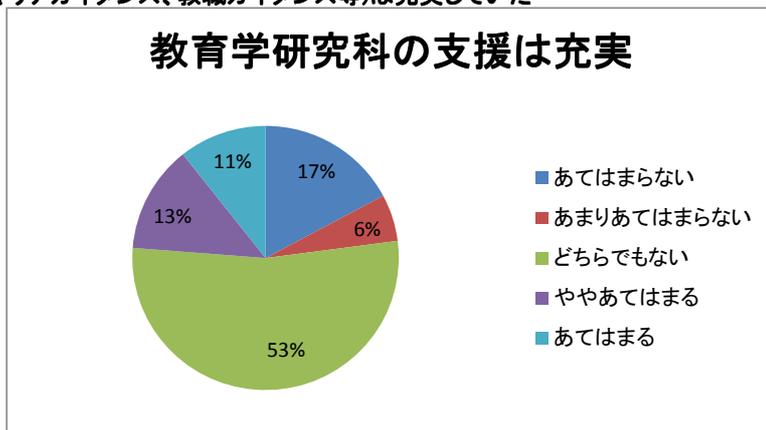
10-3 大学院で学修したことは就職(進学)先を決める際に役だった

選択肢	回答
あてはまらない	5
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	23
ややあてはまる	23
あてはまる	69
未回答	0



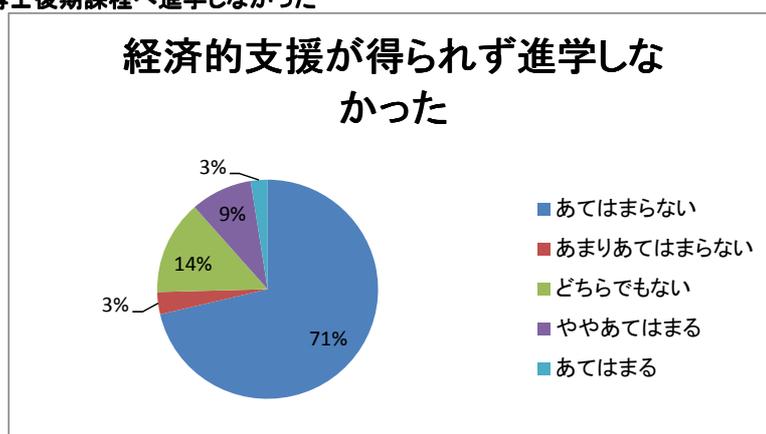
10-4 教育学研究科の支援(6月・10月のキャリアガイダンス、教職ガイダンス等)は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	21
あまりあてはまらない	7
どちらでもない	65
ややあてはまる	16
あてはまる	13
未回答	0



10-5 経済的支援が得られなかったので、博士後期課程へ進学しなかった

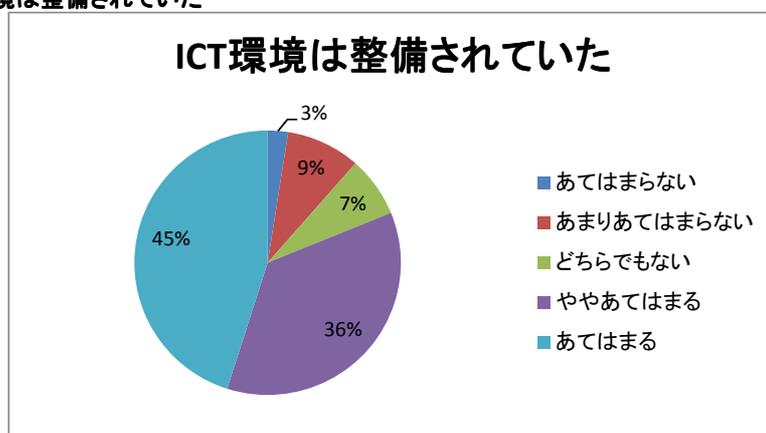
選択肢	回答
あてはまらない	87
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	17
ややあてはまる	11
あてはまる	3
未回答	0



問12: 大学院の施設・設備及び研究支援についてお尋ねします。

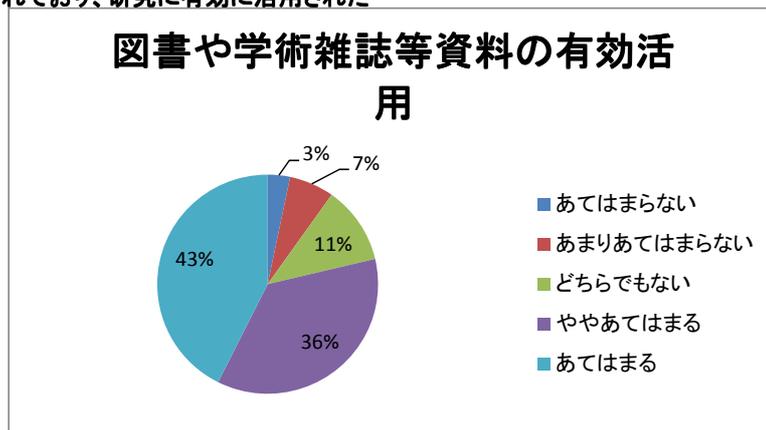
12-1 情報機器やインターネット等のICT環境は整備されていた

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	11
どちらでもない	9
ややあてはまる	44
あてはまる	55
未回答	0



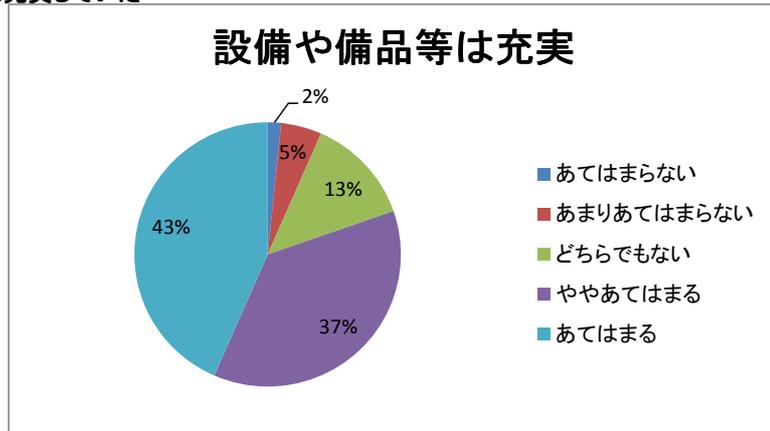
12-2 図書や学術雑誌、AV資料等が整備されており、研究に有効に活用された

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	8
どちらでもない	14
ややあてはまる	44
あてはまる	52
未回答	0



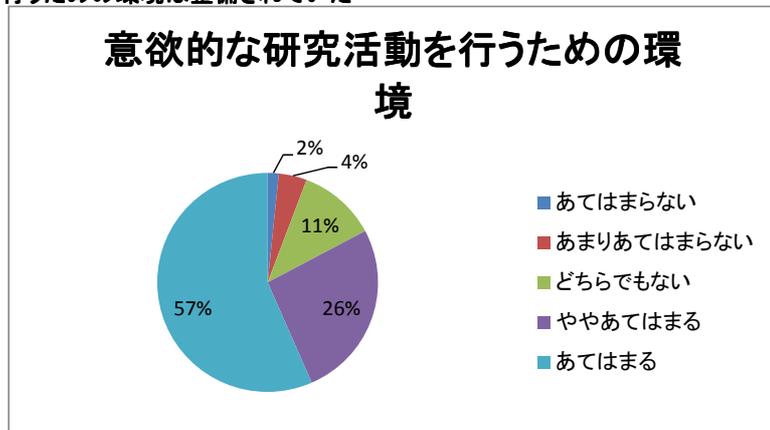
12-3 全体的に教育に係る設備や備品等は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	6
どちらでもない	16
ややあてはまる	45
あてはまる	53
未回答	0



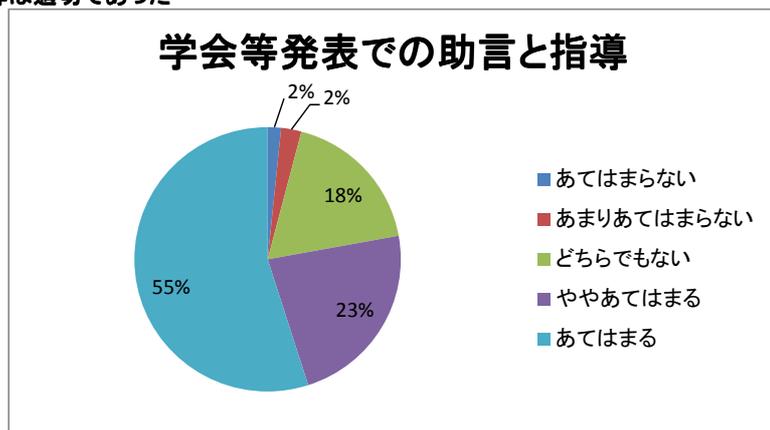
12-4 所属研究室では意欲的な研究活動を行うための環境は整備されていた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	14
ややあてはまる	32
あてはまる	69
未回答	0



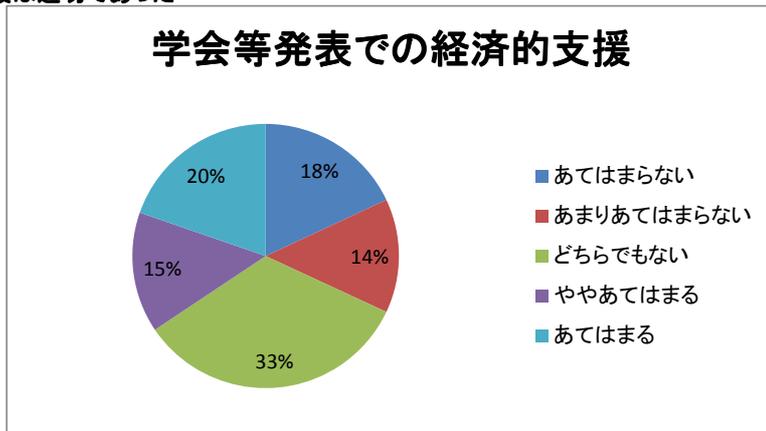
12-5 学会等での発表に際して、助言と指導は適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	22
ややあてはまる	28
あてはまる	67
未回答	0



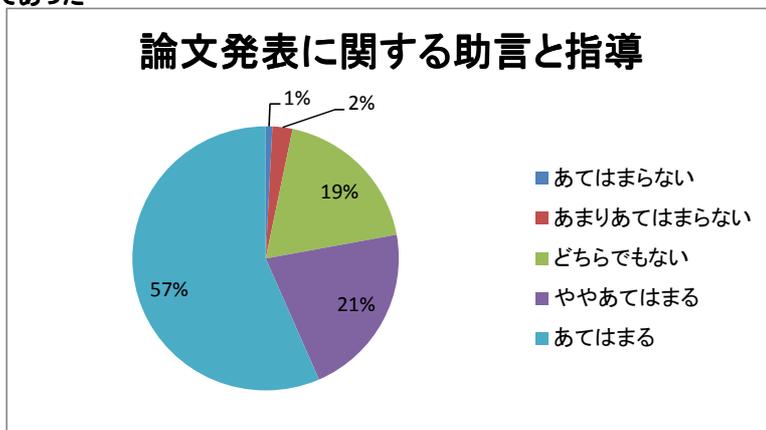
12-6 学会等での発表に際して、経済的支援は適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	22
あまりあてはまらない	17
どちらでもない	41
ややあてはまる	18
あてはまる	24
未回答	0



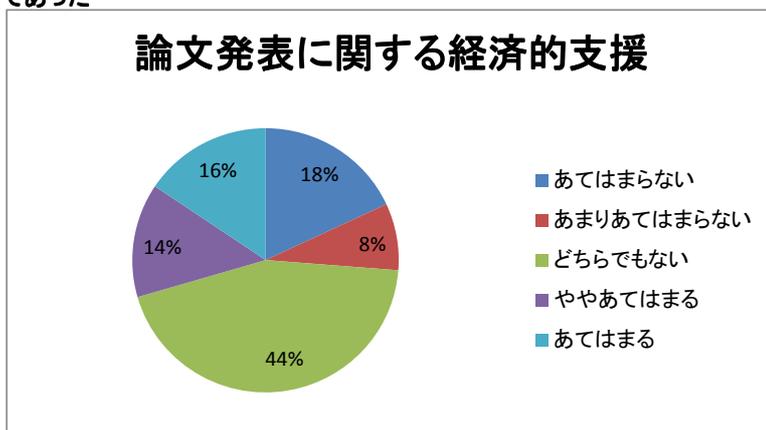
12-7 論文発表に関する助言と指導は適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	23
ややあてはまる	26
あてはまる	69
未回答	0



12-8 論文発表に関する経済的支援は適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	22
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	54
ややあてはまる	17
あてはまる	19
未回答	0



研究科総評

研究科：社会科学研究科

1. 集計結果のまとめ

(法政システム専攻)

本専攻のアンケートはWebで実施し、調査対象学生数は、博士課程前期に属する35名で、そのうち19名が回答し、回答率は54%であった。全学の平均回答率69%よりは低かったものの、昨年度の回答率は36%であったので、かなり改善している。次年度は回答率のさらなる向上をめざしたい。

設問18「授業内容」、19「研究指導内容」、24「専門分野の知識と技能の修得」に対する肯定的評価（「ややあてはまる」と「あてはまる」）がそれぞれ95%、95%、100%と極めて高かったことから、本専攻の教員による教育上の取り組みが非常に充実していたことが証明されたとと言える。

設問25「論理的思考力」、26「物事を批判的に考える力」、27「研究成果を分かりやすく発表する力」、31「課題解決能力、問題解決能力」といった力が向上したとする肯定的評価もそれぞれ90%、84%、84%、95%と高く、本専攻の教育プログラムによる教育研究の成果として目指している諸能力が十分修得されたことが理解される。

設問39「学修したことが今後の進路において役立つと思うか」に対しては、本専攻のミッションである高度専門職業人養成やフェニックス入学制度に関して肯定的評価を示しているものも見られ、これらの制度の理念には十分評価が得られていると思われる。

設問40「教員との関係」、43「教員による進路や就職に関する相談や助言」、49「指導教員の支援（相談等）」のように、本専攻の教員に由来する教育研究環境への肯定的評価はそれぞれ100%、95%、95%と高い。また41「学生支援室の対応とサービス」、20「情報通信機能」、21「図書や学術雑誌、AV資料等」といった教育研究環境に関してもそれぞれ89%、84%、95%と肯定的評価になっており、本専攻が提供する支援サービスに対して満足していることを示している。

(社会経済システム専攻)

(1)アンケートは紙媒体で実施した。調査対象学生数は、博士課程前期課程に所属し、課程を修了予定の15人で、全員が回答し、回答率は100%であった。

(2)今回の設問のうち問1の①～⑦については、①研究科、②学生プラザ、④図書館について「大変満足できた」と「概ね満足できた」を併せた回答がほぼ70～90%を占めているが、それに比べれば、③保健管理センター、⑤課外活動施設や設備、⑥福利厚生施設、⑦授業以外での満足度はやや低い。ただし、不満との回答は少ない。基本的に、授業などの指導・学業についての満足度が高いものであり、本専攻の取り組みが反映されているもの

と考えられる。

(3)(2)のことは、問2の全設問と問3の①～③⑦⑧⑩までにもあてはまり、教育や研究に関することについて、充実度・満足度については非常に高い。問3の④については、「外国語(英語)運用能力が向上」について質問であり、他に比べて「あてはまる」の数値はやや低い。多くの修了生が中国人留学生であったことを考えると、本専攻としては納得できるものである。⑨「資格取得：60%」は、本専攻は資格取得を目標としたものではないことを考えると、納得できるものである。⑫⑬「国内・国際学会での発表」、⑭「英文論文執筆」については、昨年度がともに0%であったが、今年度は一定の前進はあったといえる。

(4)問5の学生生活への各設問においては、ほぼ良好な回答が多数を占めている。

(5)問8の進路選択に関する設問への回答は概ね良好である。とくに、指導教員の支援に関しては80%が満足しているのは、本専攻として評価されてよいものと考えられる。

(6)問8の⑥「経済的支援が得られれば後期課程へ進学した」について、「あてはまる」・「ややあてはまる」を併せた数値は60%であり、本専攻の博士課程後期学生定員の充足のためには、さらなる経済的な支援が必要であることを示している。

(マネジメント専攻)

アンケートは紙媒体で実施し、調査対象学生数は、博士課程前期に所属する13名であり、そのうち11名が回答し、回答率は85%だった。これは、博士課程前期における全学の平均回答率69%より大幅に高いものであった。このように高い回答率は、学位授与式の直後に実施するという実施方法上の工夫が奏功していると考えられるが、昨年度実施分の回答率93%よりも減少しており、この回答率を高めることも課題のひとつである。

また今回の設問の中で、問2の2-1「授業内容は充実していた」、2-3「特別研究(修士論文)の指導は充実していた」、問3の3-1「論理的思考力が向上した」、3-5「研究に関するマネジメント力がついた」、3-7「研究等を通じて課題探究能力及び問題解決能力を養うことができた」、3-10「論文発表に関する助言と指導、支援が適切であった」、そして問5の5-1「教員との関係は良好であった」などにおける回答結果は、その多くが「あてはまる」と「ややあてはまる」と回答している。これは、本専攻が従来から取り組んできたことが成果となったものと考えられる。

このような点については、今後も引き続き、博士課程前期の研究指導体制の維持・改善を図っていきたい。

2. 次年度に向けた対応

(法政システム専攻)

今回のアンケート結果を概観するに、本専攻で提供する教育、それによって習得できた能力への修了生の評価は高いものであり、本専攻としては所期の教育研究の目標が概ね達成されているものと判断する。

設問 36、37、38 によると回答した修了生全員に発表等の経験がないが、これはそもそも本専攻の博士課程前期の学生の多くは民間企業や公務員等の就職を目指すため修士論文執筆以外の業績発表等を行う要望が通常ないこと、また法学領域においては博士課程後期進学希望の学生であっても修士レベルの学生の業績発表等の場がほとんど存在しないことなどが要因であり、本専攻が当面对応を要するものではないものと考えられる。

昨年度、本年度ともサンプル数が少ないが、昨年度と比較しても有意な変動を見出すことは困難であり、特段新たな課題が発生しているとは見られない。概ね現在の取り組みを継続すべきものと思われる。

なお、昨年度から引き続いての課題は、修了生アンケート回答率の向上である。昨年度アンケートへの協力につき周知を徹底したことにより回答率 36%から 54%に向上している。引き続きより一層の周知を行い、回答率の向上を図りたい。

(社会経済システム専攻)

(1)多くは中国人留学生であるが、英語文献を利用した指導を増やすなど、英語力の強化につとめる。ただし、それを中国人留学生が望んでいるかはよくわからない。まず、日本語能力を強化して、日本語での論文執筆や研究報告をすることが重要ではある。

(2)国内外での学会報告を増やすように、指導を充実させる。そのためには、大学院生のための旅費の確保が重要である。

(マネジメント専攻)

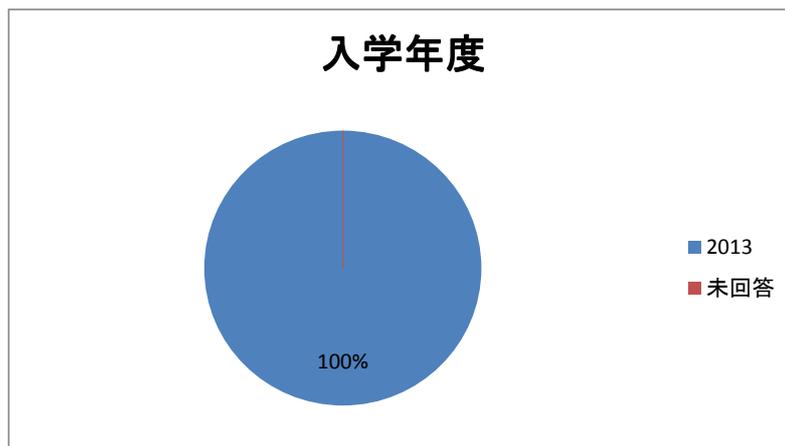
今回のアンケート結果では、授業や研究指導の面においてその評価が高かった反面、設備・備品や図書・学術雑誌の整備といったハード面では、アンケート回答者の多くが必ずしも満足しているわけではないことが分かった。

問 2 の 2-5 「図書や学術雑誌、AV資料等が整備されており、研究に有効に活用された」については、東千田図書館の所蔵スペースに限りがあるものの、本年度においては、専攻予算と全学経費を用いた選書の機会などを活用し学生ニーズに合致した図書等の充実に努め、かつ雑誌等のオンライン閲覧を整備してきたところであるが、予算上の制約はあるものの、こうした意味での研究環境の充実には、今後も尽力してゆくつもりである。

2-6 「全体的に教育に係る設備や備品等は充実していた」については、教務委員会で毎年開催している意見交換の場である院生懇談会を学生ニーズや要望の把握の場として引き続き活用し、平成 25 年度に対応した院生控室の研究環境整備および東千田キャンパス全体の研究・学習環境の向上に次年度も専攻として取り組んでいきたい。

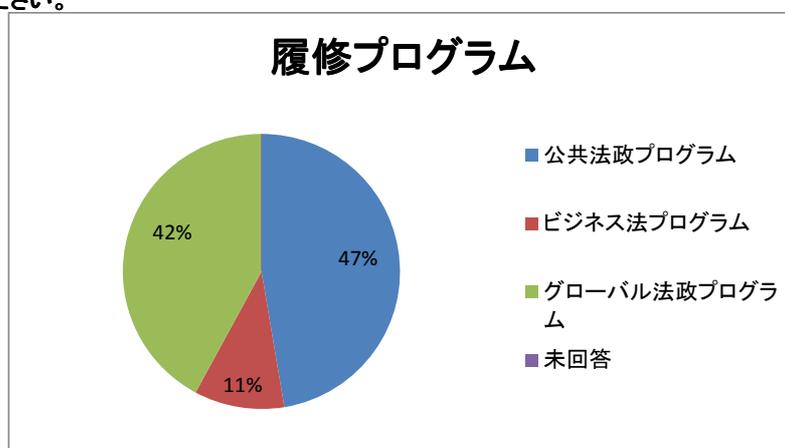
入学年度

入学年度	回答
2013	19
未回答	0



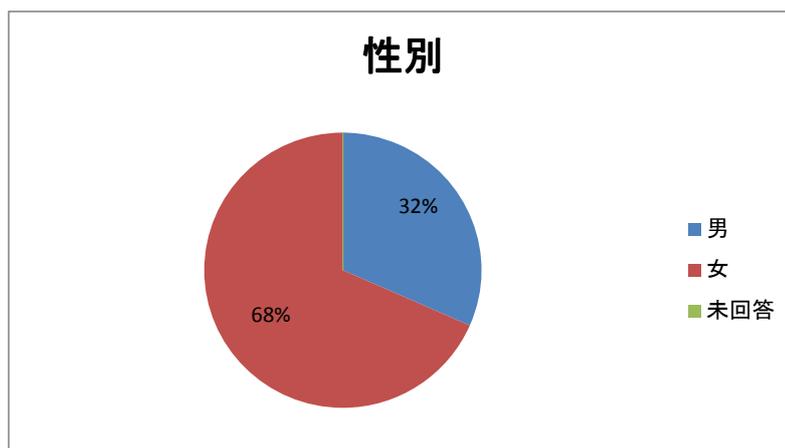
1:あなたの履修プログラム名を選んでください。

選択肢	回答
公共法政プログラム	9
ビジネス法プログラム	2
グローバル法政プログラム	8
未回答	0



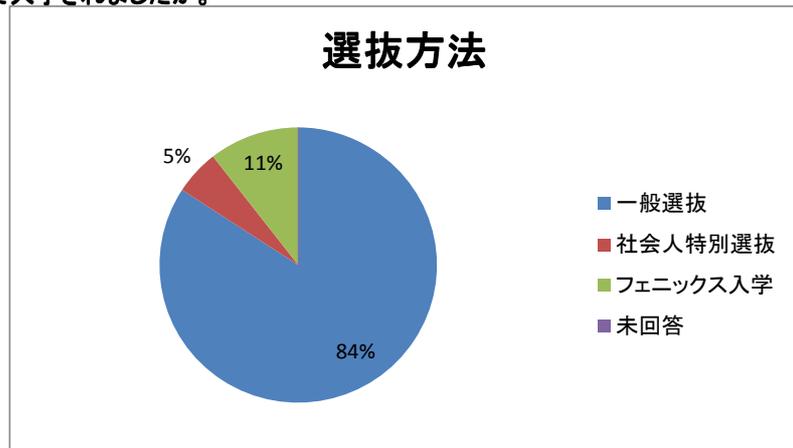
2:あなたの性別を選んでください。

選択肢	回答
男	6
女	13
未回答	0



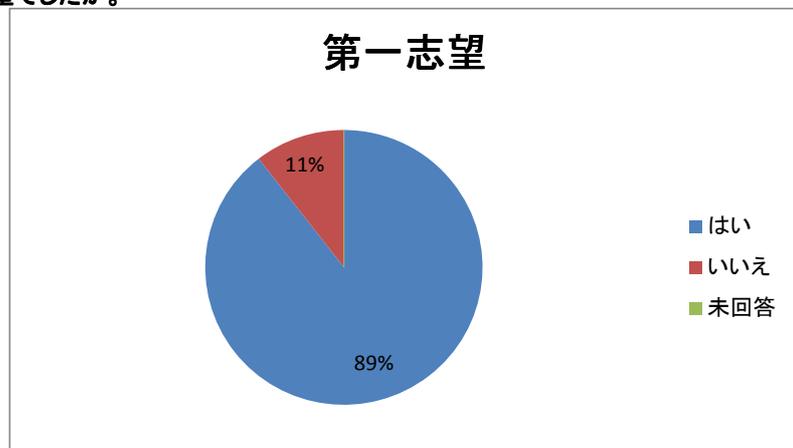
4: 法政システム専攻へはどの選抜方法で入学されましたか。

選択肢	回答
一般選抜	16
社会人特別選抜	1
フェニックス入学	2
未回答	0



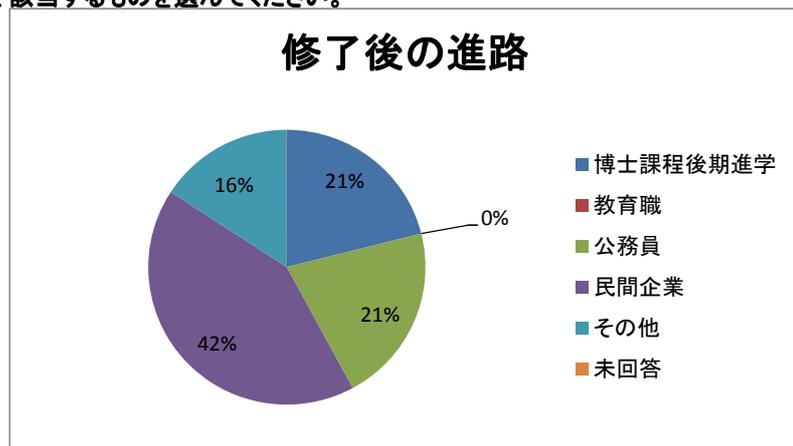
5: 法政システム専攻への進学は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	17
いいえ	2
未回答	0



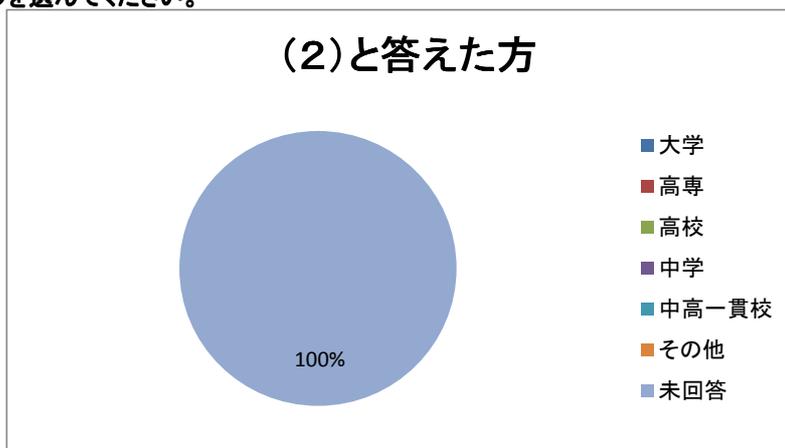
7: 博士課程前期修了後の進路について、該当するものを選んでください。

選択肢	回答
博士課程後期進学	4
教育職	0
公務員	4
民間企業	8
その他	3
未回答	0



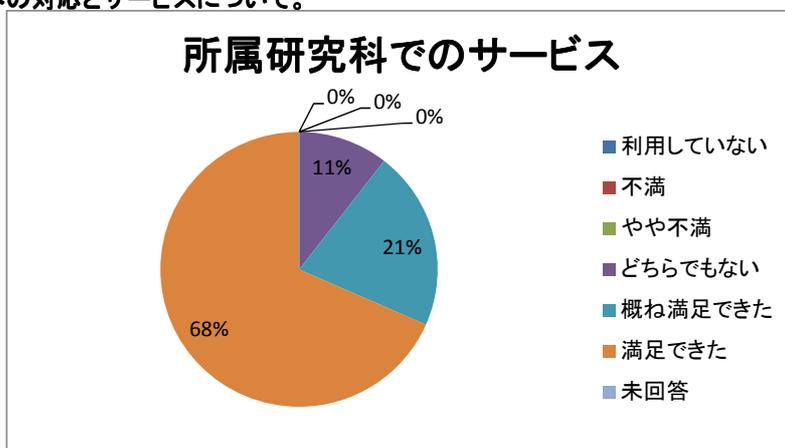
9: 問7で(2)と答えた方のみ、該当するものを選んでください。

選択肢	回答
大学	0
高専	0
高校	0
中学	0
中高一貫校	0
その他	0
未回答	19



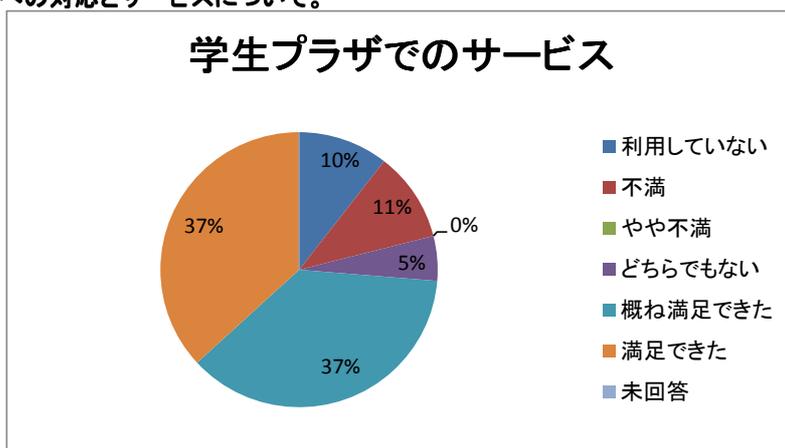
11: 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービスについて。

選択肢	回答
利用していない	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	4
満足できた	13
未回答	0



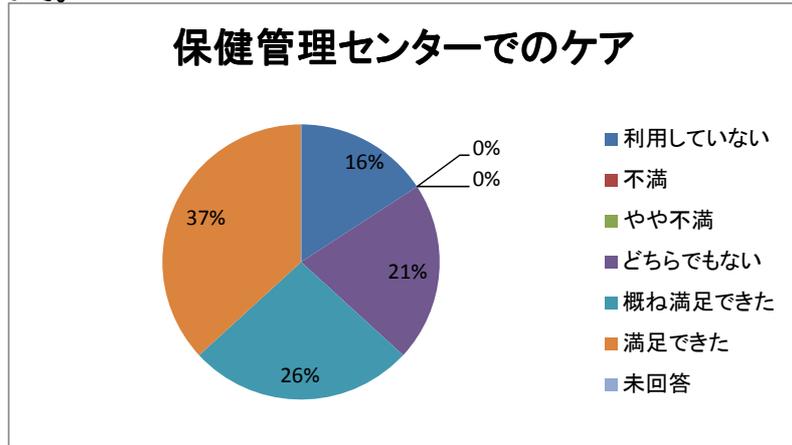
12: 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービスについて。

選択肢	回答
利用していない	2
不満	2
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	7
満足できた	7
未回答	0



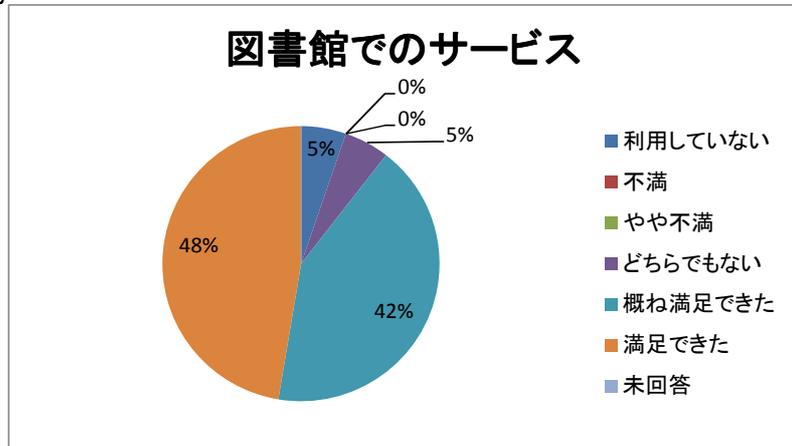
13: 保健管理センターでの対応とケアについて。

選択肢	回答
利用していない	3
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	4
概ね満足できた	5
満足できた	7
未回答	0



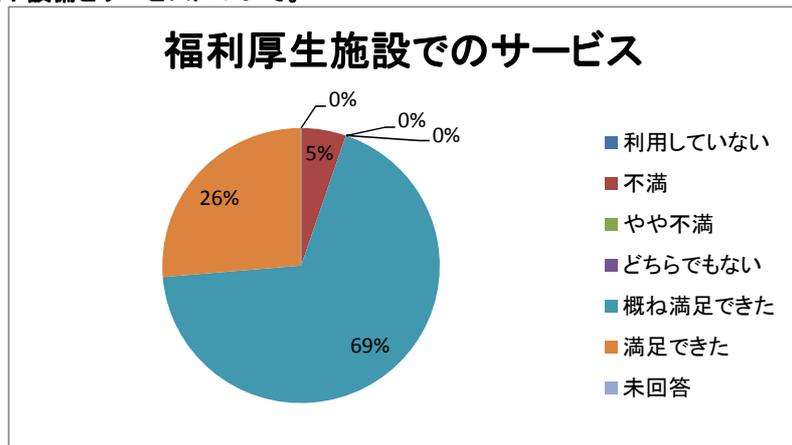
14: 図書館での対応やサービスについて。

選択肢	回答
利用していない	1
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	8
満足できた	9
未回答	0



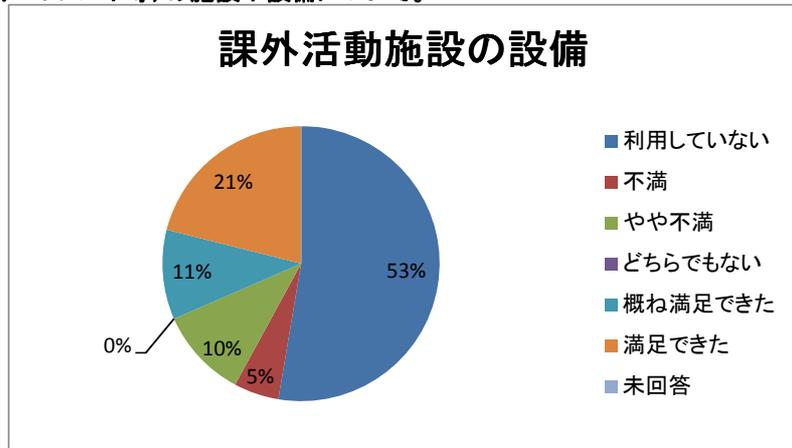
15: 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービスについて。

選択肢	回答
利用していない	0
不満	1
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	13
満足できた	5
未回答	0



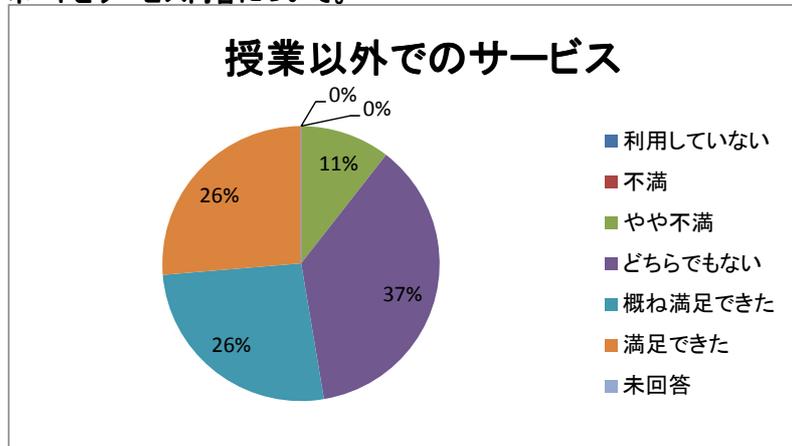
16: 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備について。

選択肢	回答
利用していない	10
不満	1
やや不満	2
どちらでもない	0
概ね満足できた	2
満足できた	4
未回答	0



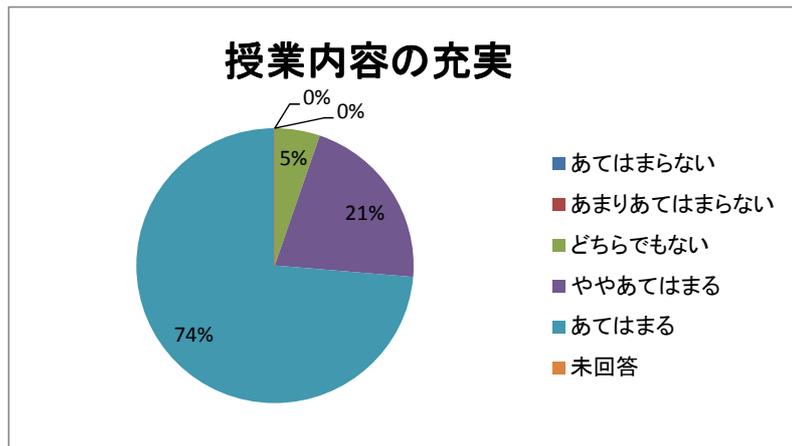
17: 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容について。

選択肢	回答
利用していない	0
不満	0
やや不満	2
どちらでもない	7
概ね満足できた	5
満足できた	5
未回答	0



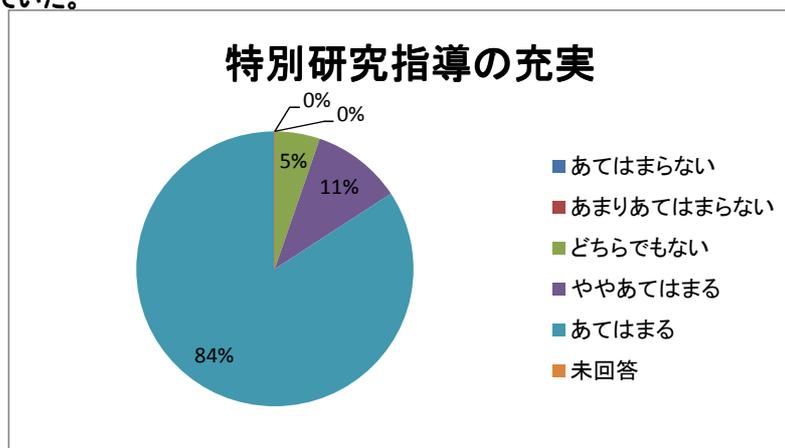
18: 授業内容は充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	4
あてはまる	14
未回答	0



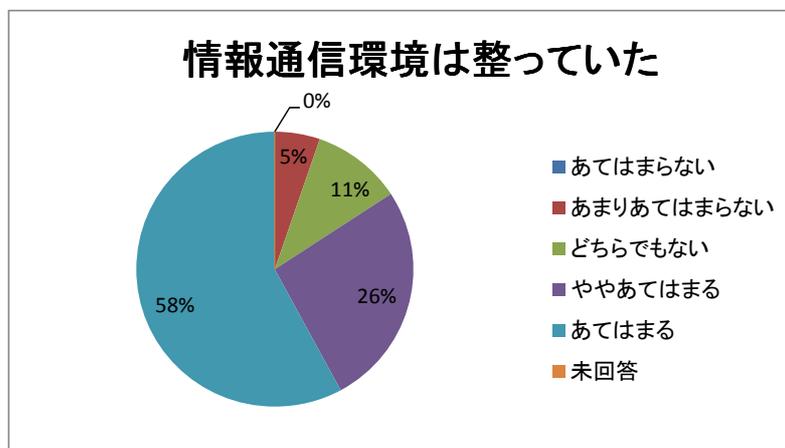
19: 特別研究(修士論文)の指導は充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	2
あてはまる	16
未回答	0



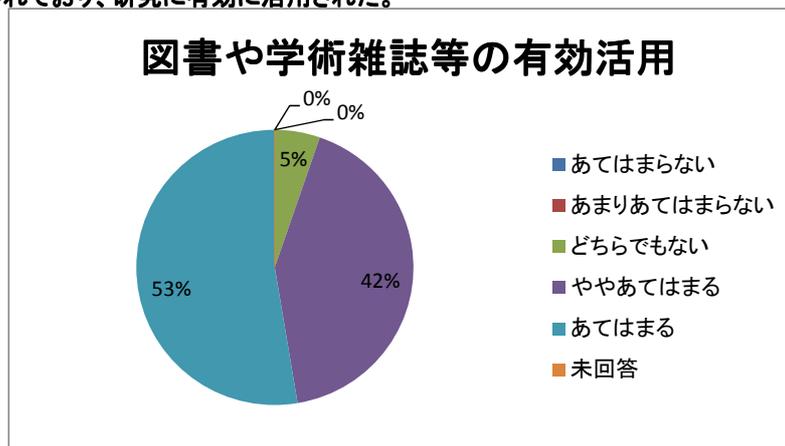
20: 情報通信環境は整っていた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	5
あてはまる	11
未回答	0



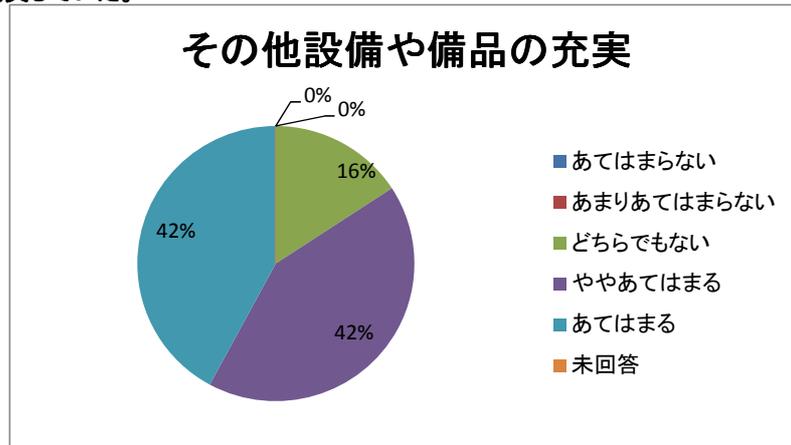
21: 図書や学術雑誌、AV資料等が整備されており、研究に有効に活用された。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	8
あてはまる	10
未回答	0



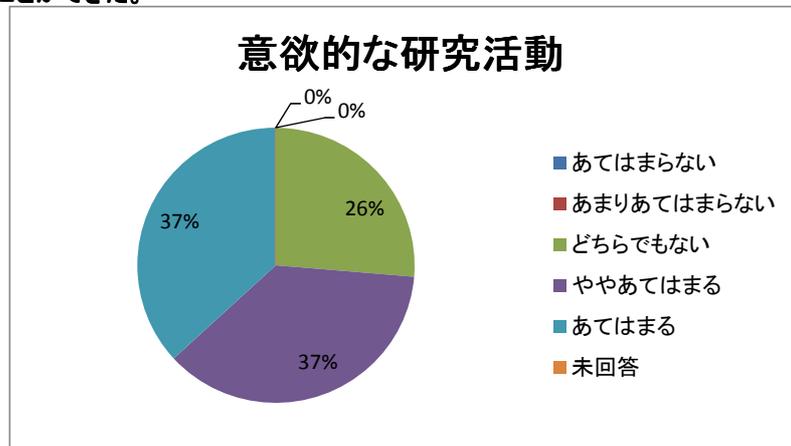
22: その他研究に係る設備や備品等は充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	8
あてはまる	8
未回答	0



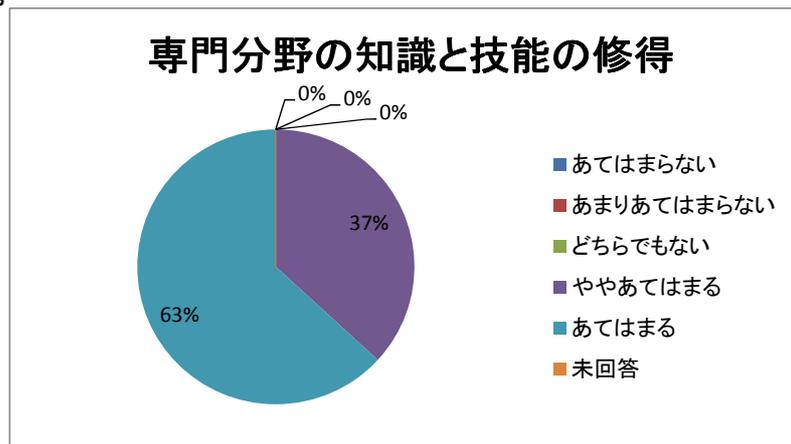
23: 研究室では意欲的な研究活動を行うことができた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	5
ややあてはまる	7
あてはまる	7
未回答	0



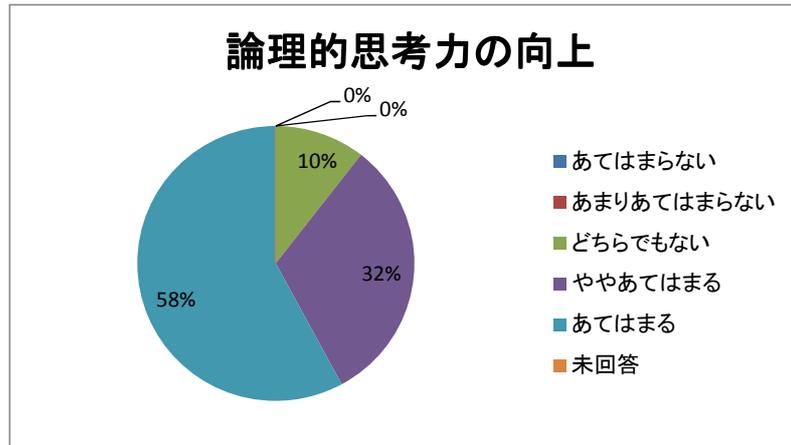
24: 専門分野の知識と技能を修得できた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	7
あてはまる	12
未回答	0



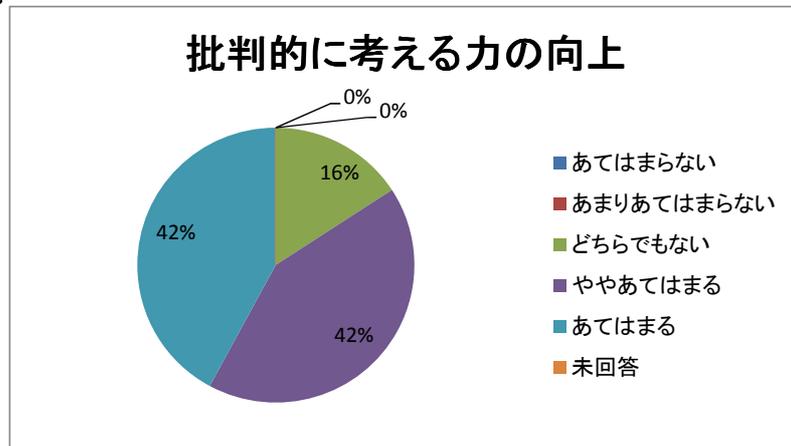
25: 論理的思考力が向上した。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	6
あてはまる	11
未回答	0



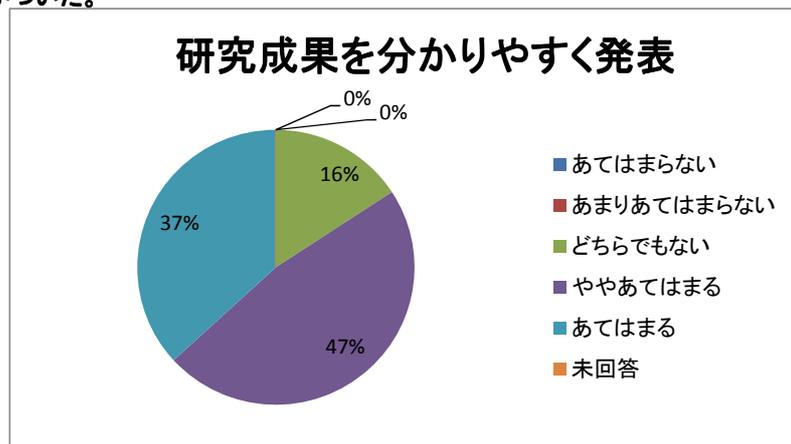
26: 物事を批判的に考える力が向上した。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	8
あてはまる	8
未回答	0



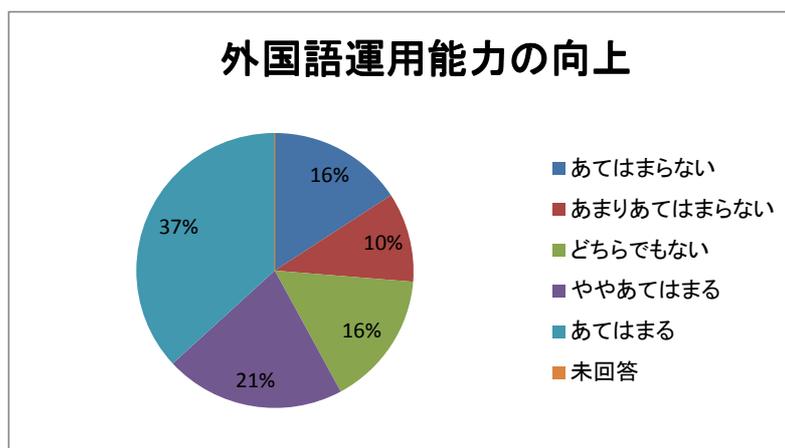
27: 研究成果を分かりやすく発表する力がついた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	9
あてはまる	7
未回答	0



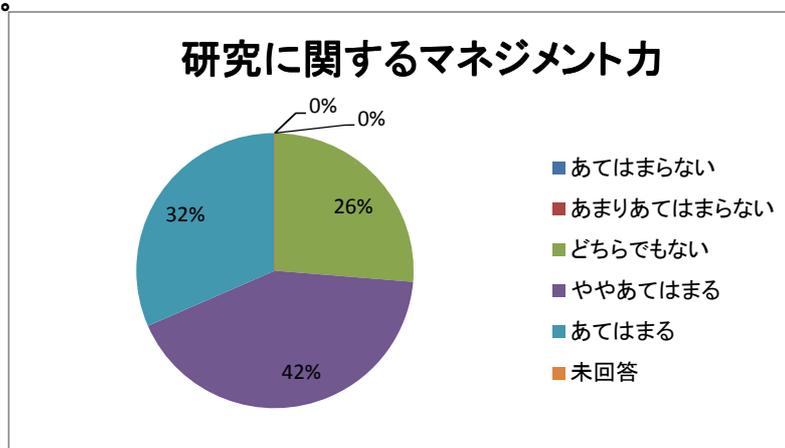
28: 外国語運用能力が向上した。

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	3
ややあてはまる	4
あてはまる	7
未回答	0



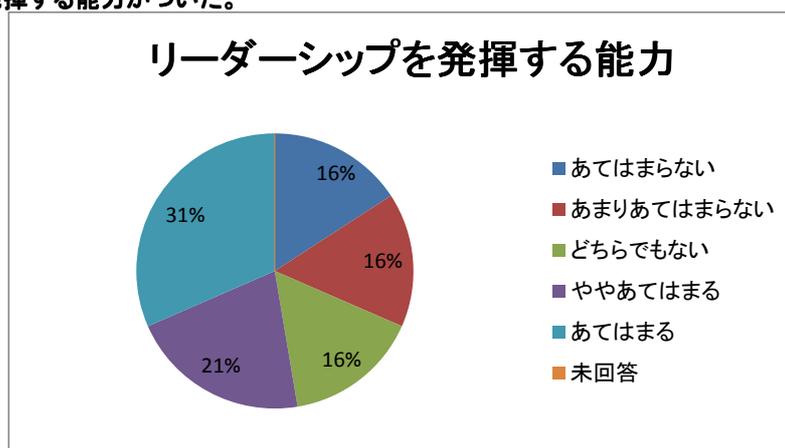
29: 研究に関するマネジメント力がついた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	5
ややあてはまる	8
あてはまる	6
未回答	0



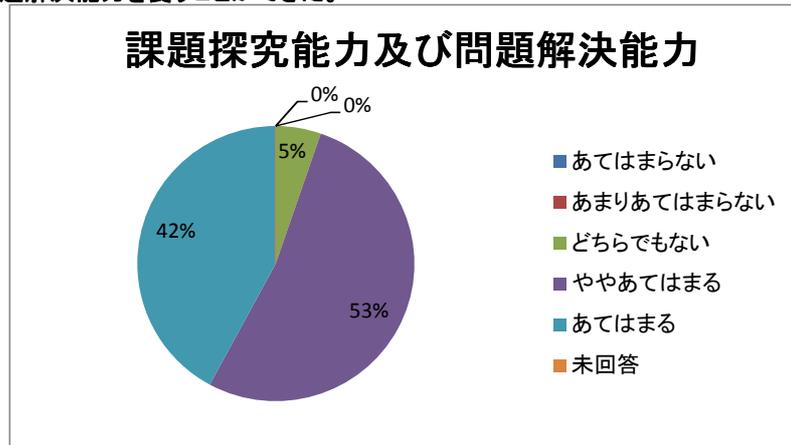
30: 研究推進においてリーダーシップを発揮する能力がついた。

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	3
ややあてはまる	4
あてはまる	6
未回答	0



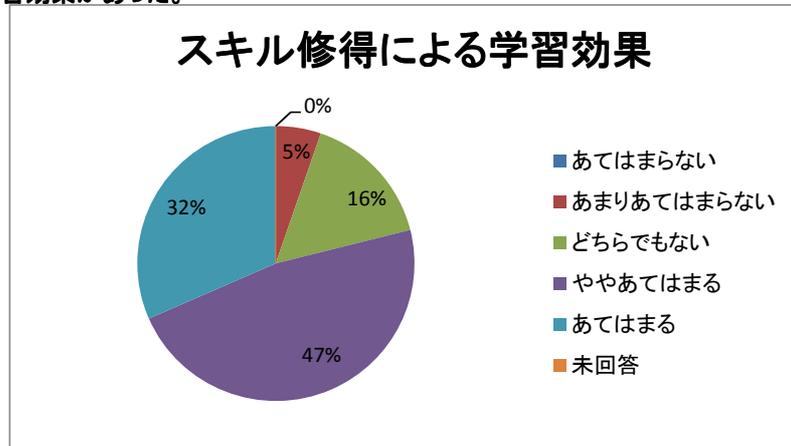
31: 研究等を通じて課題探求能力及び問題解決能力を養うことができた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	10
あてはまる	8
未回答	0



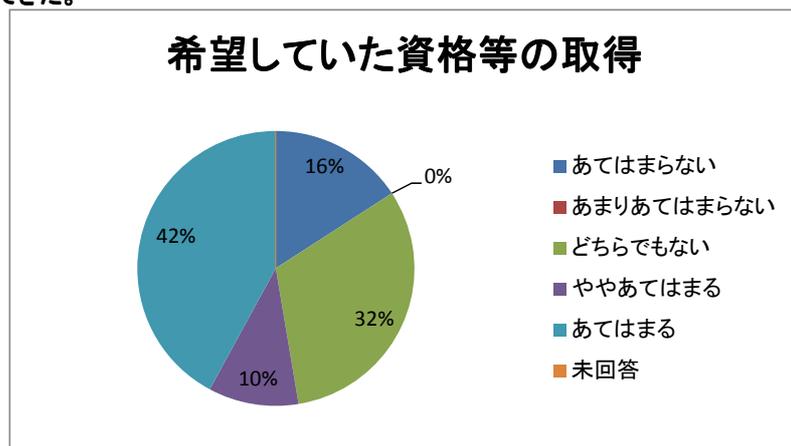
32: 専門分野で必要なスキルの修得で学習効果があった。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	9
あてはまる	6
未回答	0



33: 入学時に希望していた資格等を取得できた。

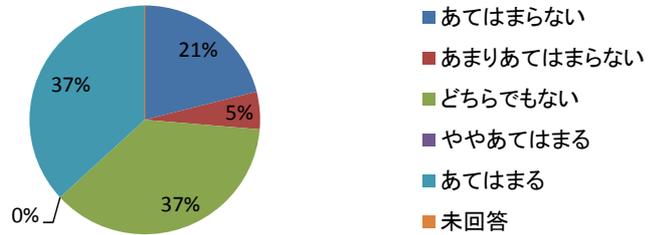
選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	6
ややあてはまる	2
あてはまる	8
未回答	0



34: 学会等での発表に際して、助言と指導、経済的支援が適切であった。

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	7
ややあてはまる	0
あてはまる	7
未回答	0

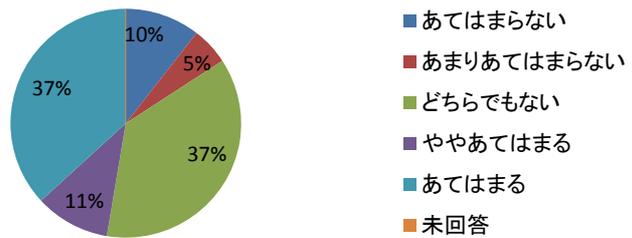
学会等での助言と指導、支援が適切



35: 論文発表に関する助言と指導、経済的支援が適切であった。

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	7
ややあてはまる	2
あてはまる	7
未回答	0

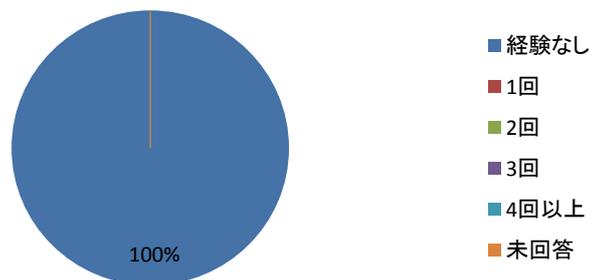
論文発表での助言と指導、支援が適切



36: 大学院在学中に国内学会で発表した。

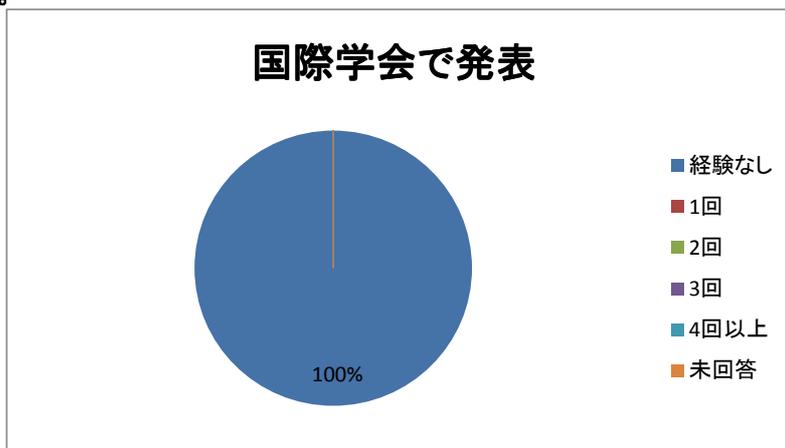
選択肢	回答
経験なし	19
1回	0
2回	0
3回	0
4回以上	0
未回答	0

国内学会で発表



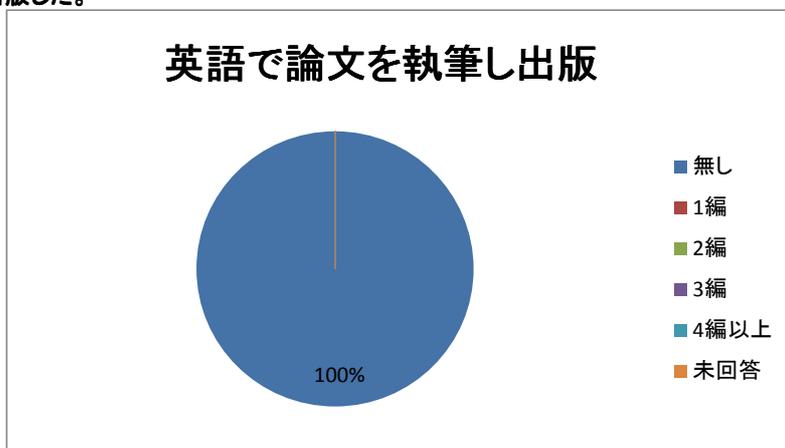
37:大学院在学中に国際学会で発表した。

選択肢	回答
経験なし	19
1回	0
2回	0
3回	0
4回以上	0
未回答	0



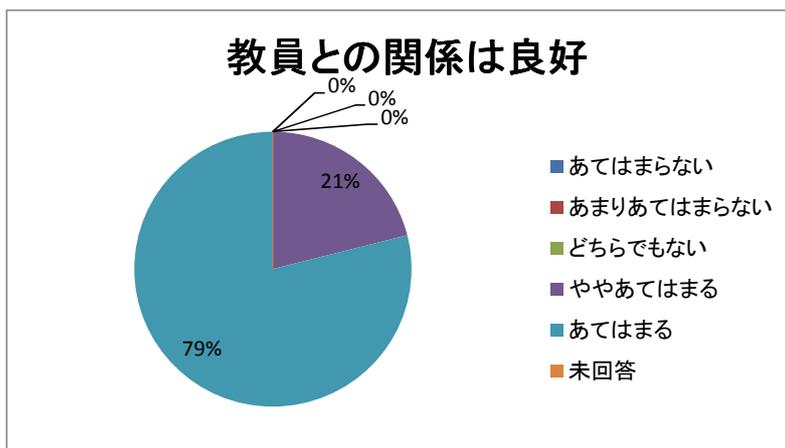
38:英語で論文を執筆し(共著も含めて)出版した。

選択肢	回答
無し	19
1編	0
2編	0
3編	0
4編以上	0
未回答	0



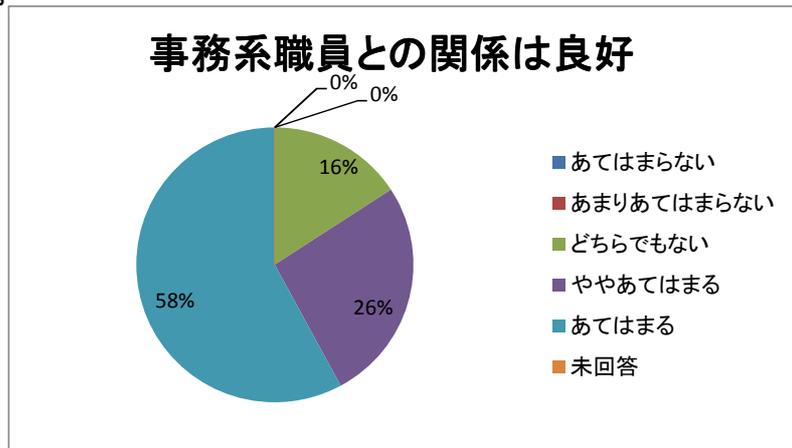
40:教員との関係は良好であった。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	4
あてはまる	15
未回答	0



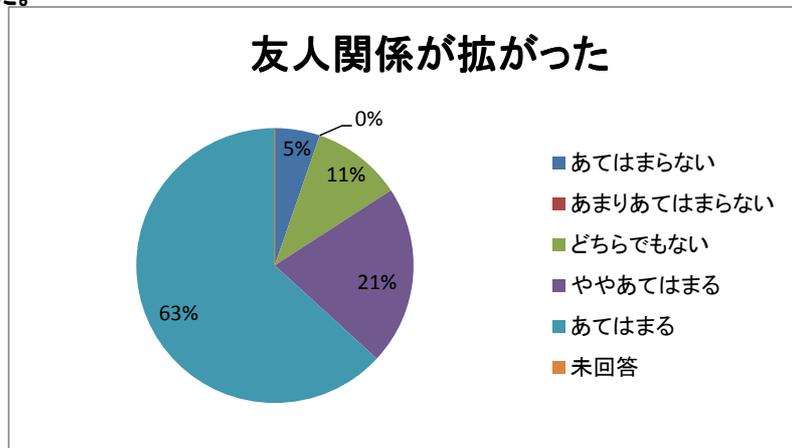
41:事務系職員との関係は良好であった。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	5
あてはまる	11
未回答	0



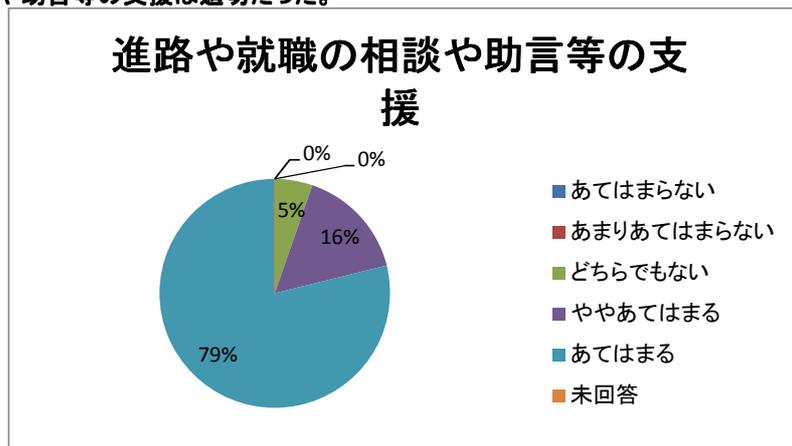
42:研究活動を通じて友人関係が広がった。

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	4
あてはまる	12
未回答	0



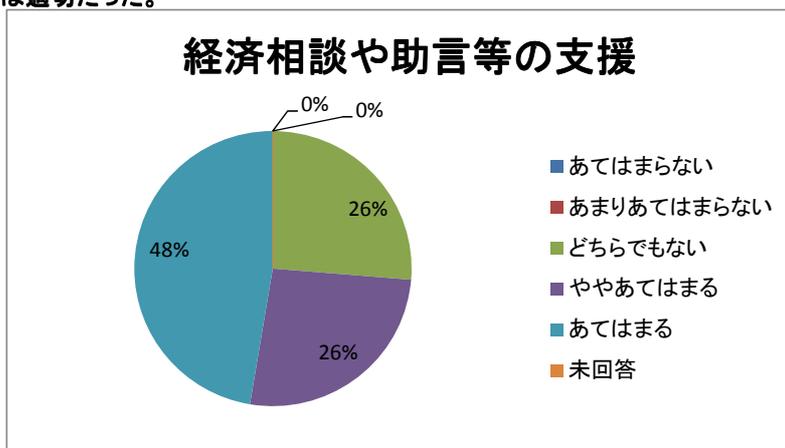
43:教員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切だった。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	15
未回答	0



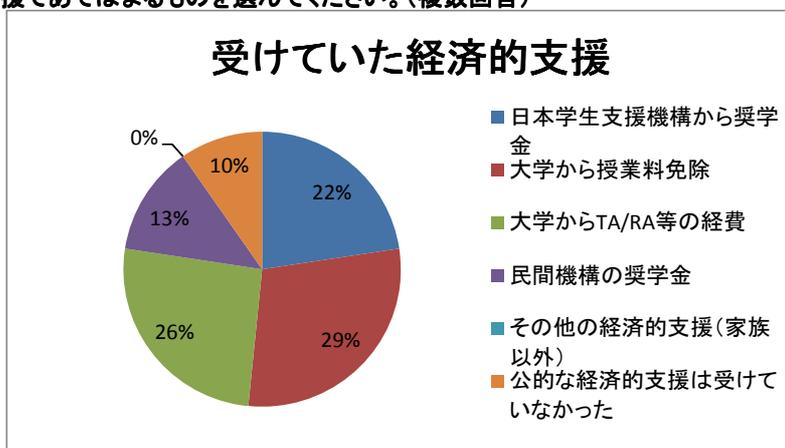
44: 教員による経済相談や助言等の支援は適切だった。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	5
ややあてはまる	5
あてはまる	9
未回答	0



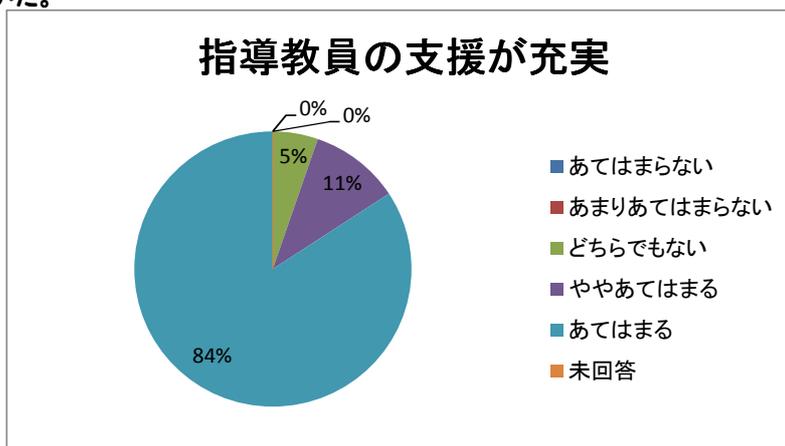
46: 大学院在学中に受けていた経済的支援であてはまるものを選んでください。(複数回答)

選択肢	回答
日本学生支援機構から奨学金	7
大学から授業料免除	9
大学からTA/RA等の経費	8
民間機構の奨学金	4
その他の経済的支援(家族以外)	0
公的な経済的支援は受けていなかった	3



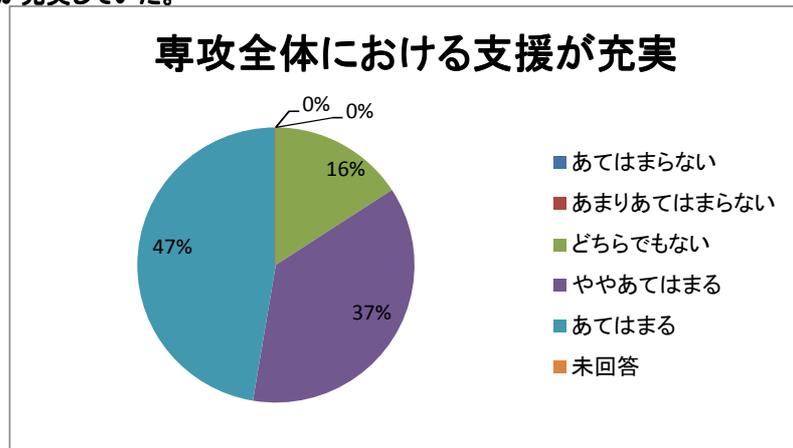
49: 指導教員の支援(相談等)が充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	2
あてはまる	16
未回答	0



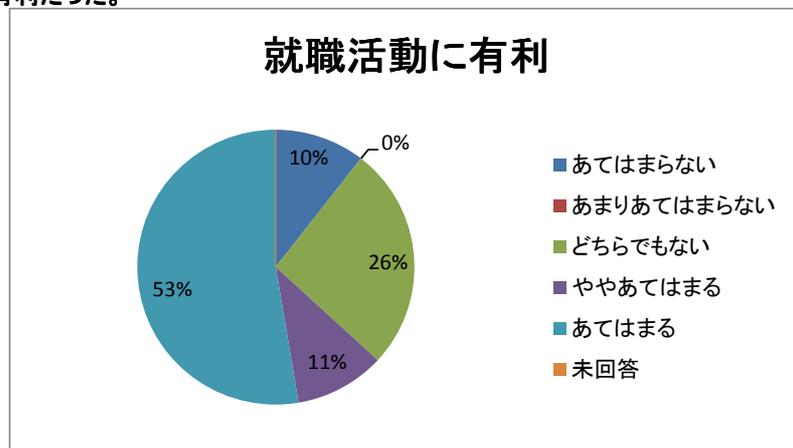
50: 法政システム専攻全体における支援が充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	7
あてはまる	9
未回答	0



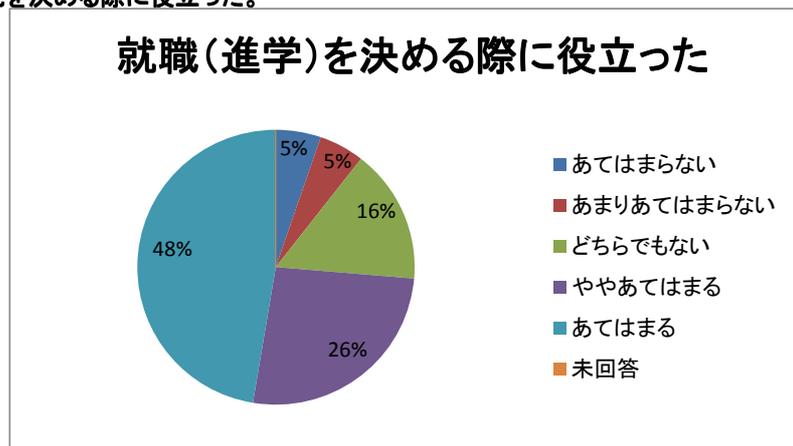
51: 大学院で学修したことが就職活動に有利だった。

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	5
ややあてはまる	2
あてはまる	10
未回答	0



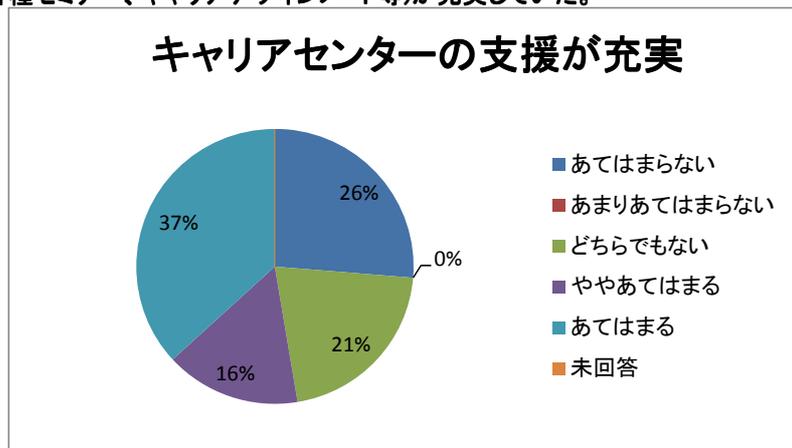
52: 大学院で学修したことが就職(進学)先を決める際に役立った。

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	5
あてはまる	9
未回答	0



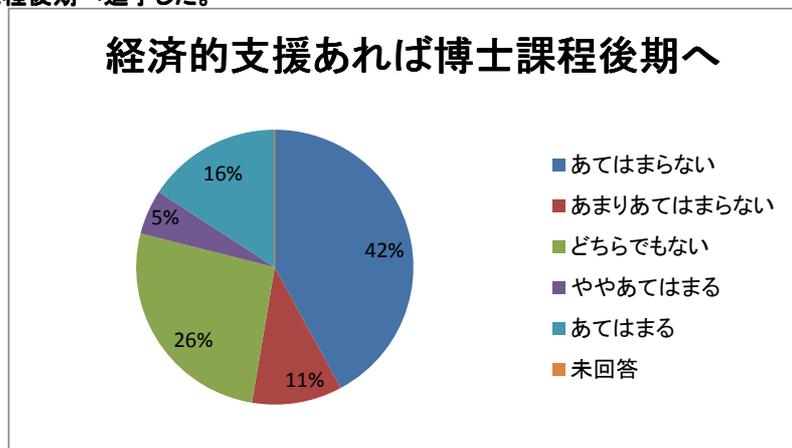
53: キャリアセンターの支援(進路相談、各種セミナー、キャリアデザインノート等)が充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	5
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	3
あてはまる	7
未回答	0



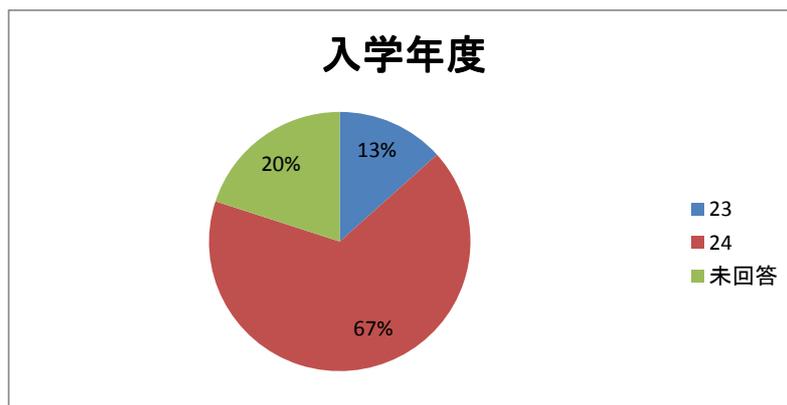
54: 経済的支援が得られていれば博士課程後期へ進学した。

選択肢	回答
あてはまらない	8
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	5
ややあてはまる	1
あてはまる	3
未回答	0



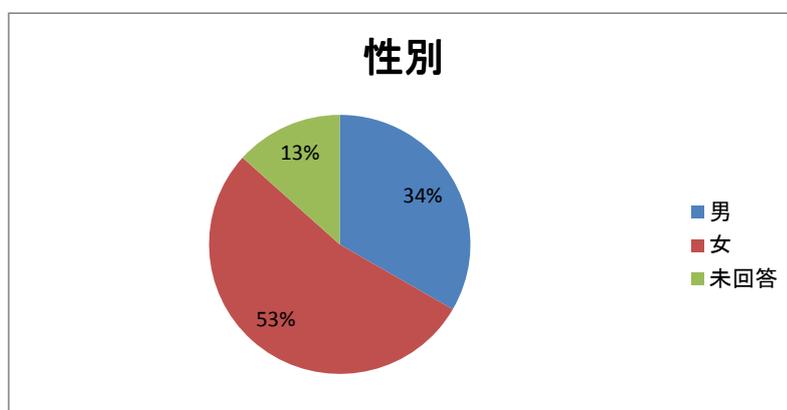
入学年度

入学年度	回答
23	2
24	10
未回答	3



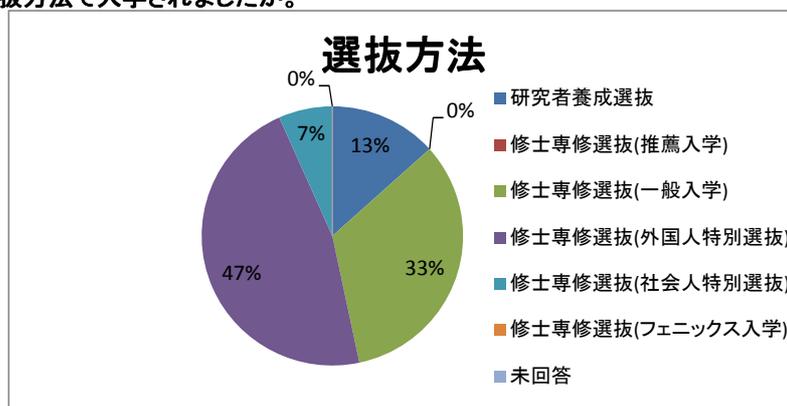
性別

選択肢	回答
男	5
女	8
未回答	2



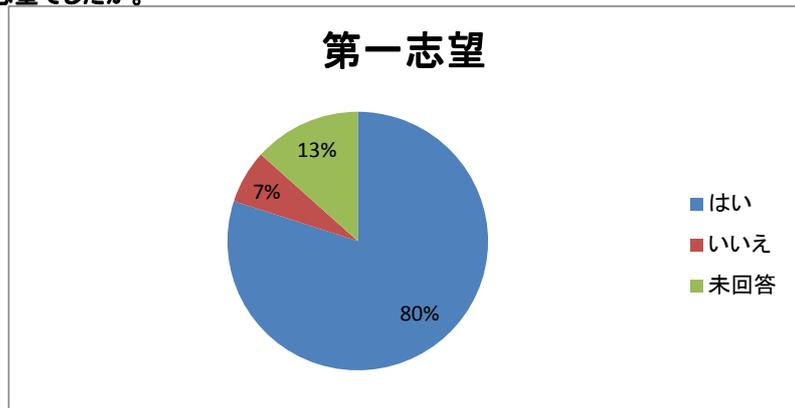
社会経済システム専攻へはどのような選抜方法で入学されましたか。

選択肢	回答
研究者養成選抜	2
修士専修選抜(推薦入学)	0
修士専修選抜(一般入学)	5
修士専修選抜(外国人特別選抜)	7
修士専修選抜(社会人特別選抜)	1
修士専修選抜(フェニックス入学)	0
未回答	0



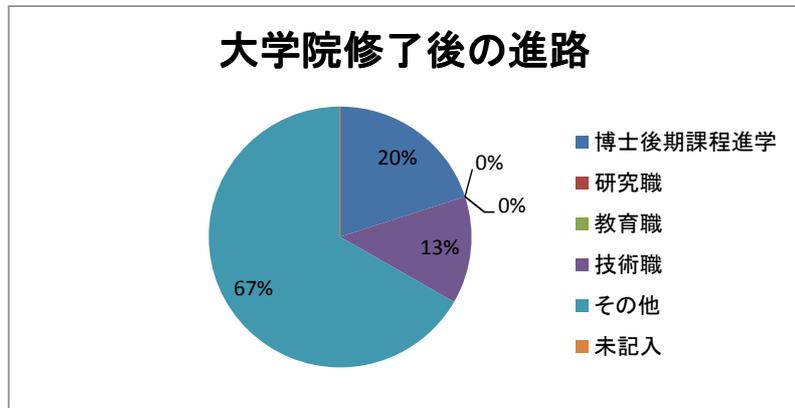
社会経済システム専攻への進学は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	12
いいえ	1
未回答	2



大学院修了後の進路について。

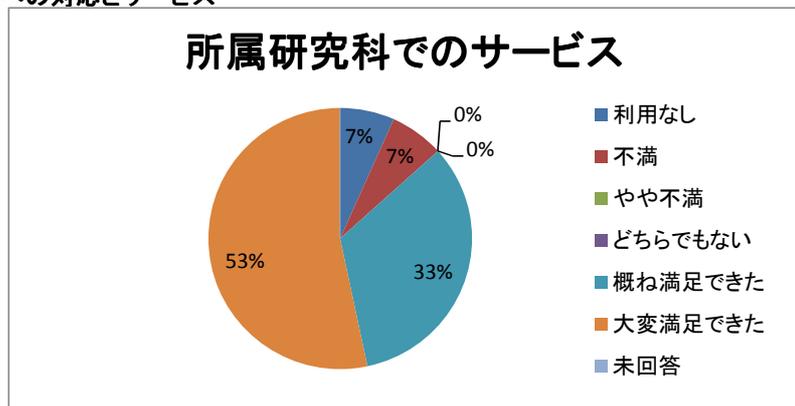
選択肢	回答
博士後期課程進学	3
研究職	0
教育職	0
技術職	2
その他	10
未記入	0



問1: 在学期間中の施設サービスに関する満足度についてお尋ねします。

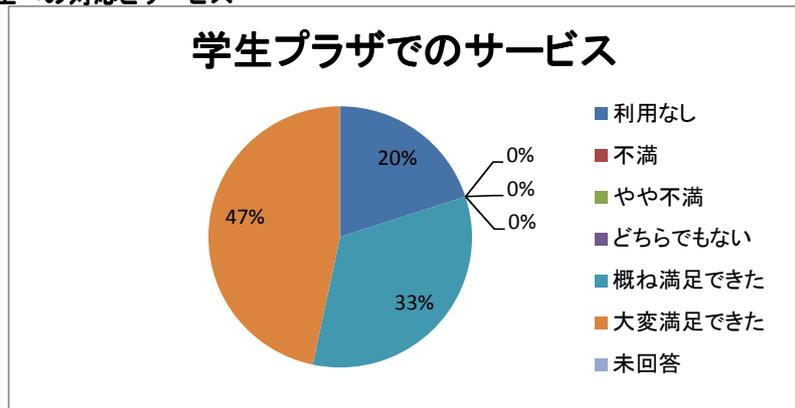
1-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	1
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	5
大変満足できた	8
未回答	0



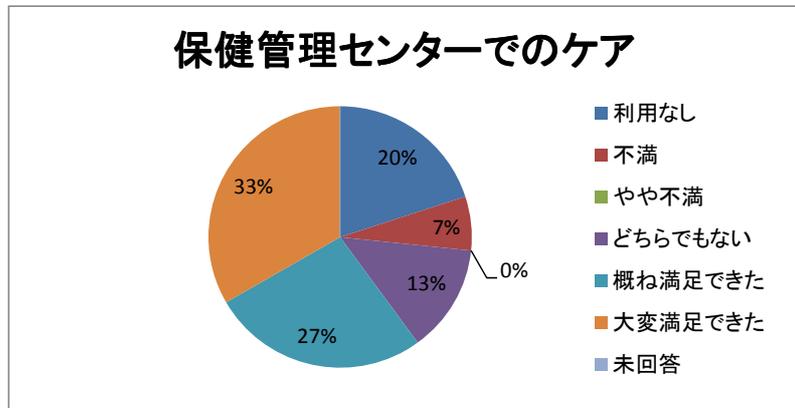
1-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	3
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	5
大変満足できた	7
未回答	0



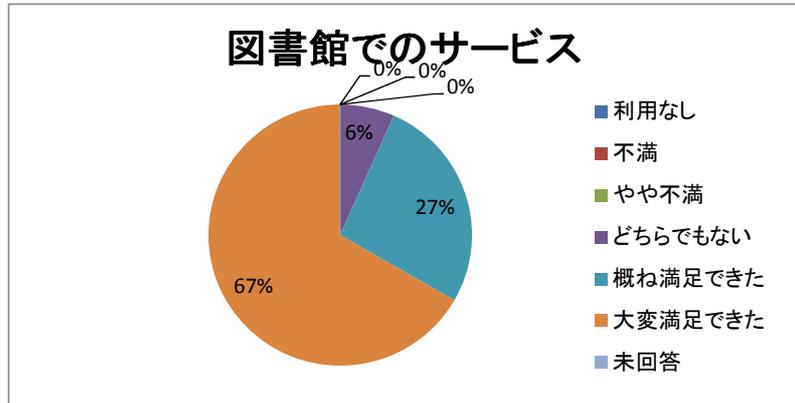
1-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	3
不満	1
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	4
大変満足できた	5
未回答	0



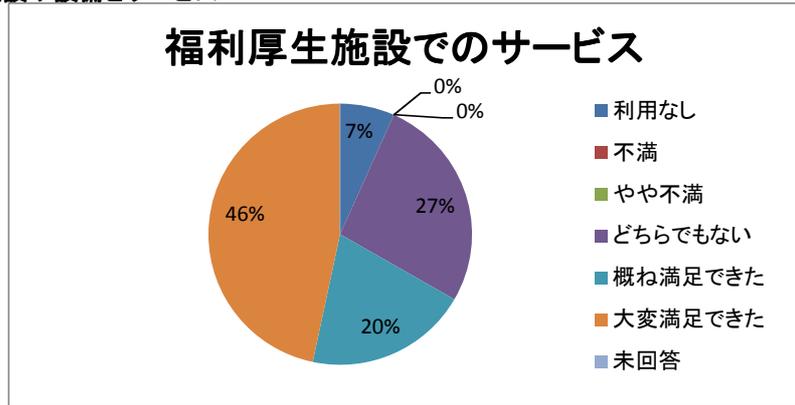
1-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	4
大変満足できた	10
未回答	0



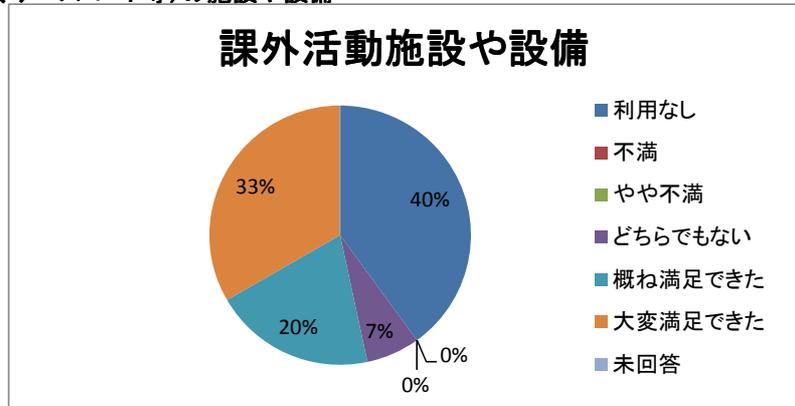
1-5 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	4
概ね満足できた	3
大変満足できた	7
未回答	0



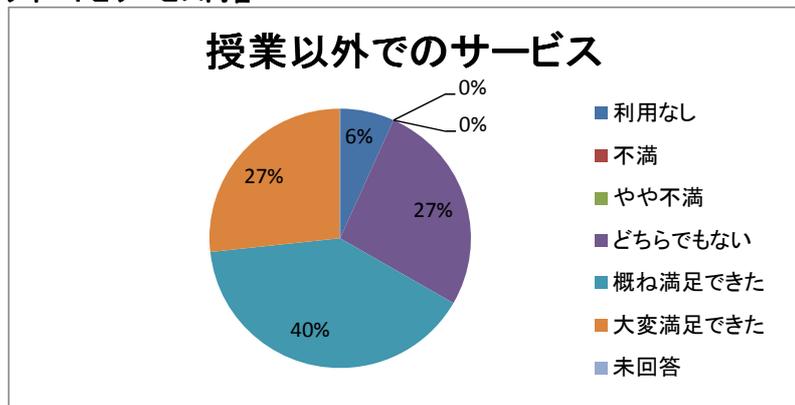
1-6 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	6
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	3
大変満足できた	5
未回答	0



1-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

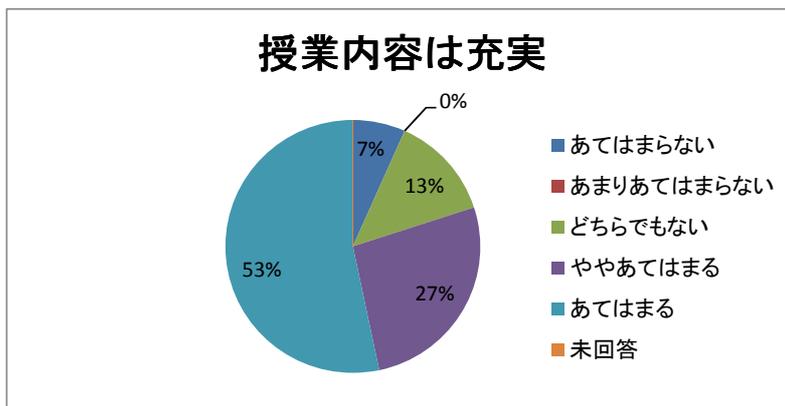
選択肢	回答
利用なし	1
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	4
概ね満足できた	6
大変満足できた	4
未回答	0



問2: 大学院で受けた教育についてお尋ねします。

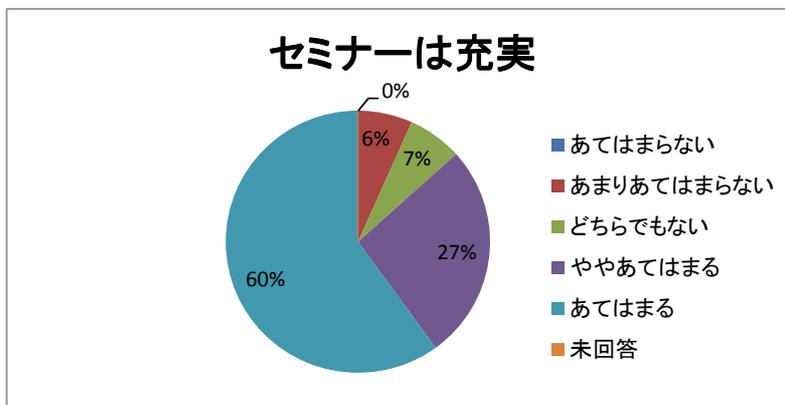
2-1 授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	4
あてはまる	8
未回答	0



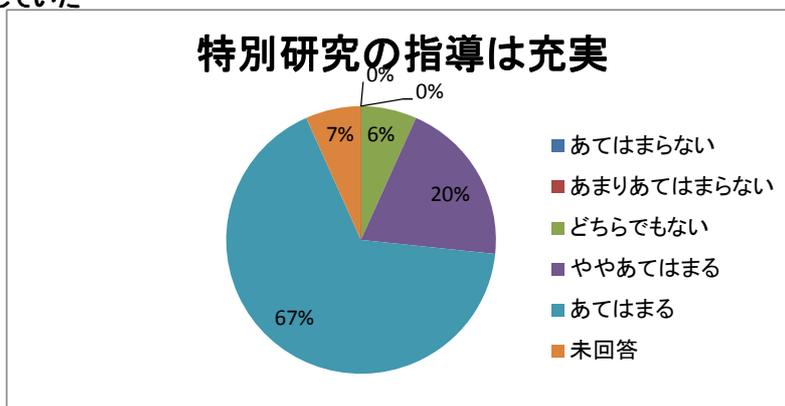
2-2 セミナーは充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	4
あてはまる	9
未回答	0



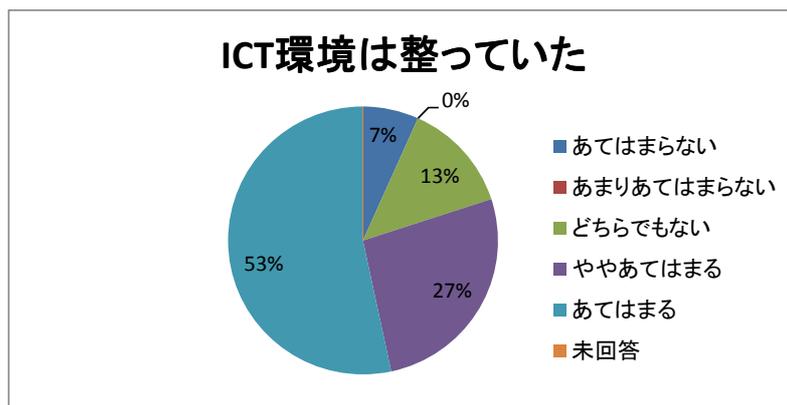
2-3 特別研究(修士論文)の指導は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	10
未回答	1



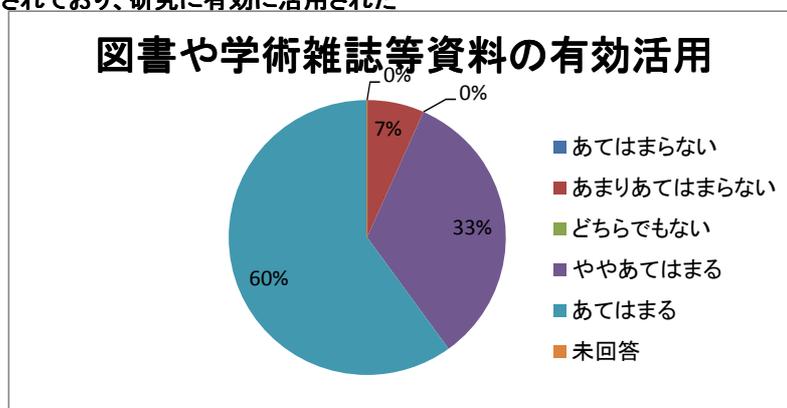
2-4 ICT環境は整っていた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	4
あてはまる	8
未回答	0



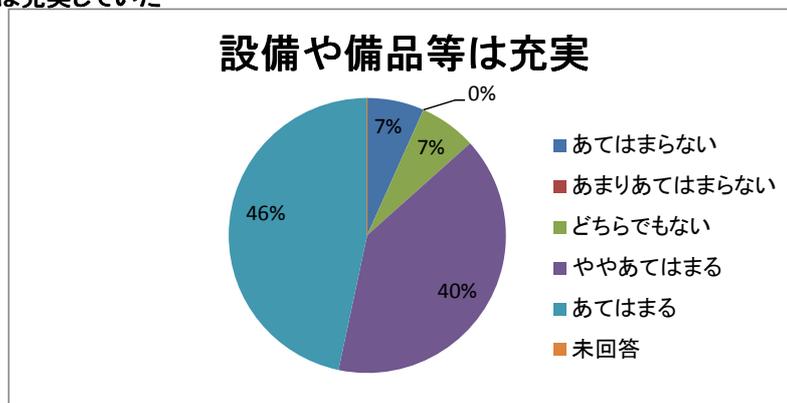
2-5 図書や学術雑誌、AV資料等が整備されており、研究に有効に活用された

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	0
ややあてはまる	5
あてはまる	9
未回答	0



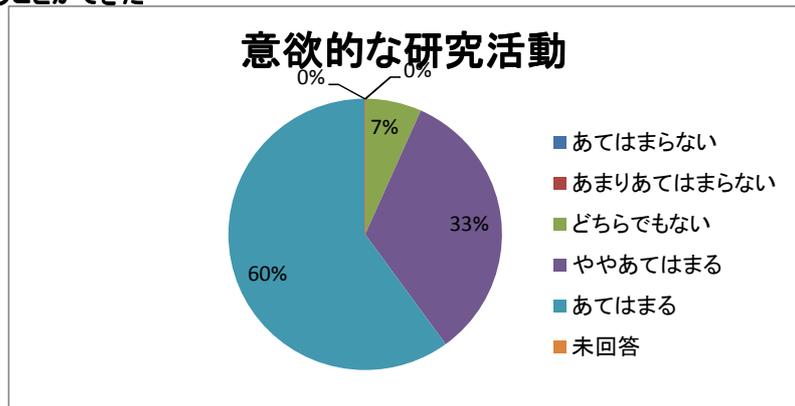
2-6 全体的に教育に係る設備や備品等は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	6
あてはまる	7
未回答	0



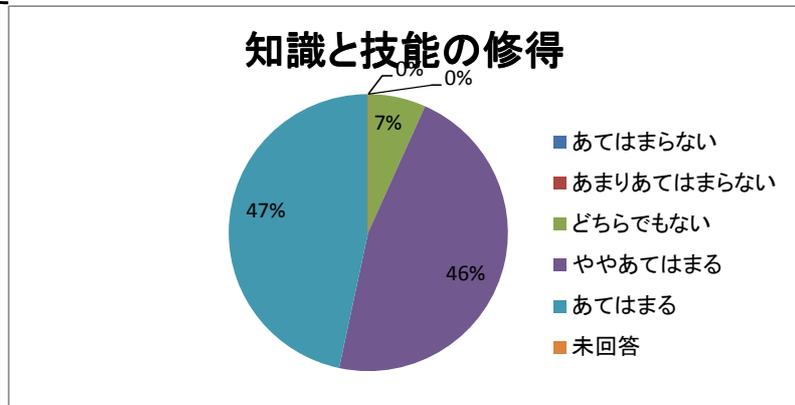
2-7 研究室では意欲的な研究活動を行うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	5
あてはまる	9
未回答	0



2-8 専門分野の知識と技能を修得できた

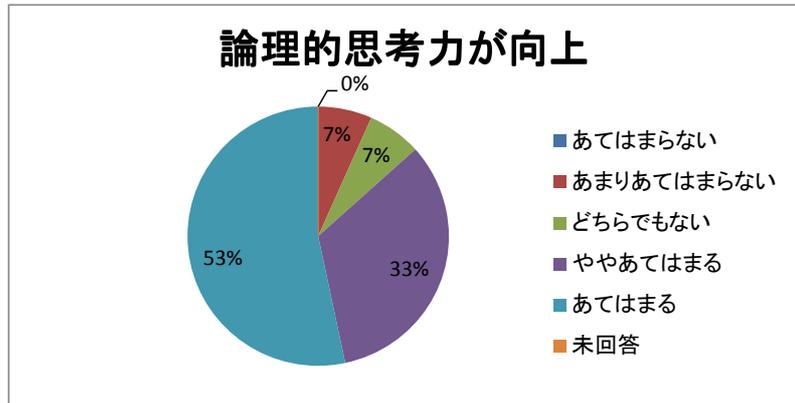
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	7
あてはまる	7
未回答	0



問3: 大学院での教育と研究の成果についてお尋ねします。

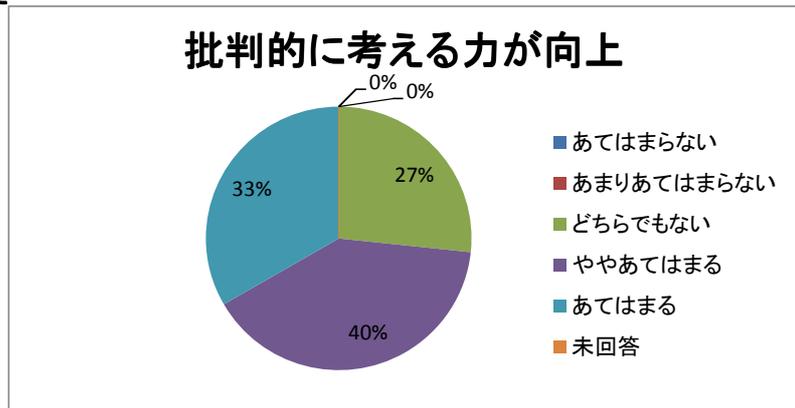
3-1 論理的思考力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	5
あてはまる	8
未回答	0



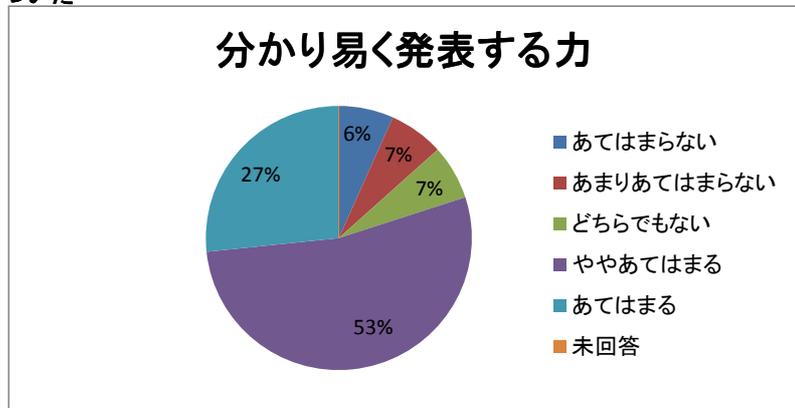
3-2 物事を批判的に考える力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	6
あてはまる	5
未回答	0



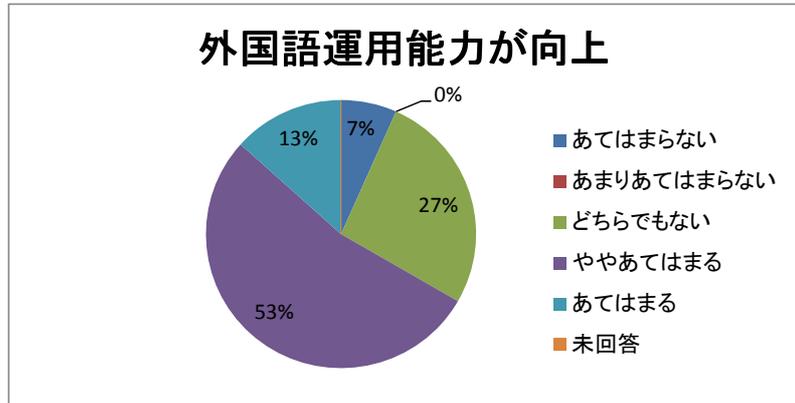
3-3 研究成果を分かり易く発表する力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	8
あてはまる	4
未回答	0



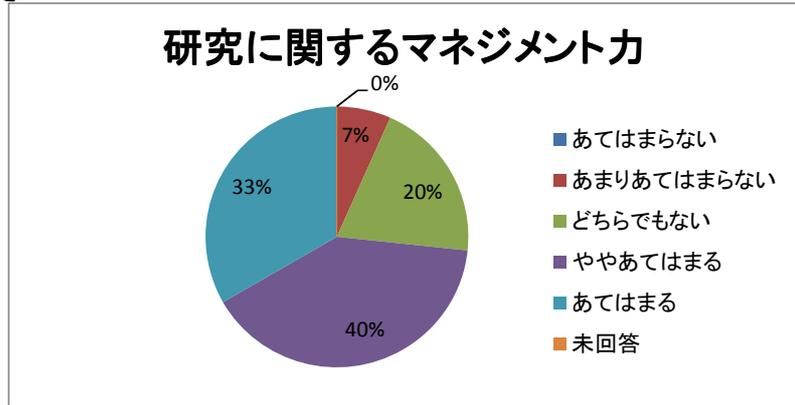
3-4 外国語(英語)運用能力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	8
あてはまる	2
未回答	0



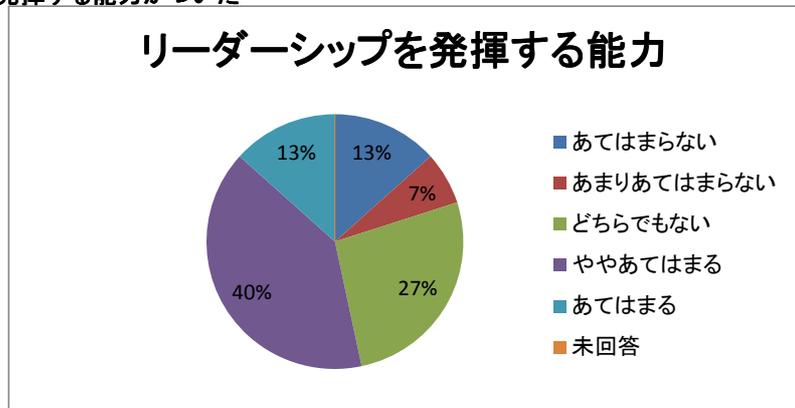
3-5 研究に関するマネジメント力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	6
あてはまる	5
未回答	0



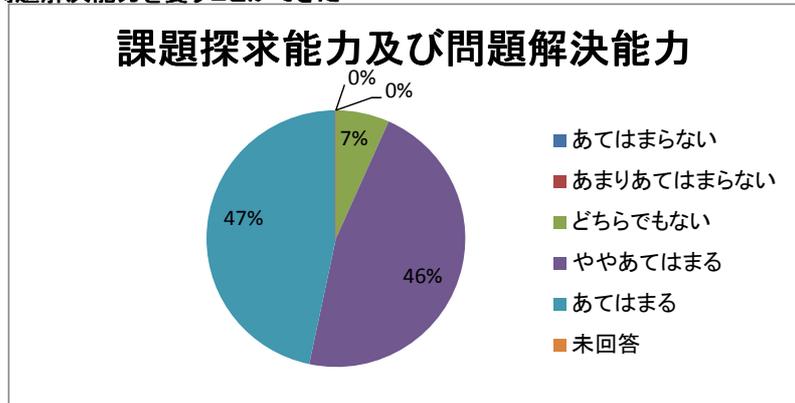
3-6 研究推進においてリーダーシップを発揮する能力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	4
ややあてはまる	6
あてはまる	2
未回答	0



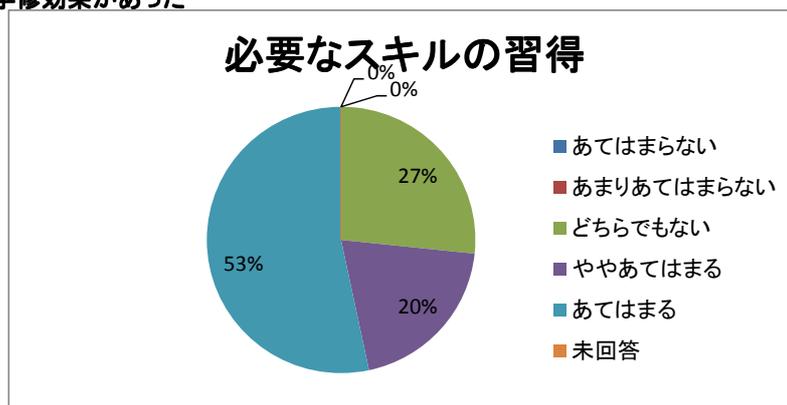
3-7 研究等を通じて課題探求能力及び問題解決能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	7
あてはまる	7
未回答	0



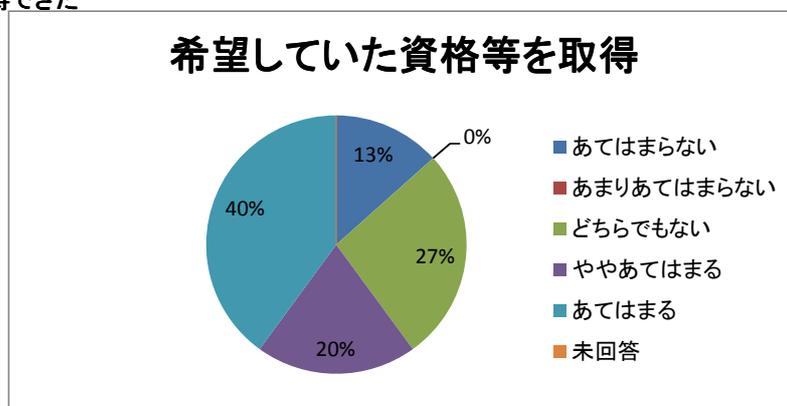
3-8 専門分野で必要なスキルの習得で学修効果があった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	3
あてはまる	8
未回答	0



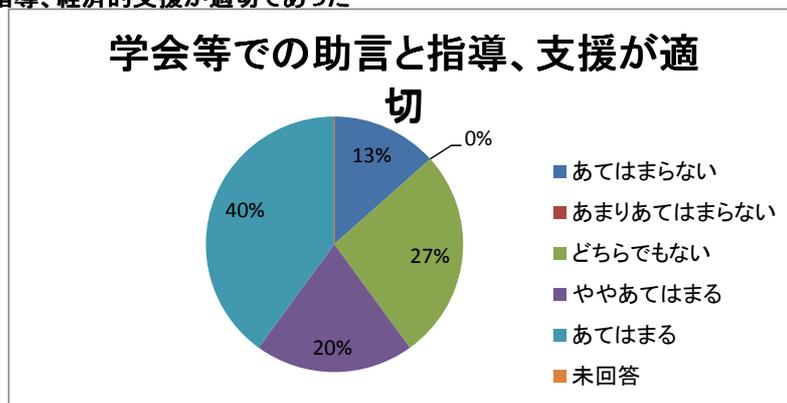
3-9 入学時に希望していた資格等を取得できた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	3
あてはまる	6
未回答	0



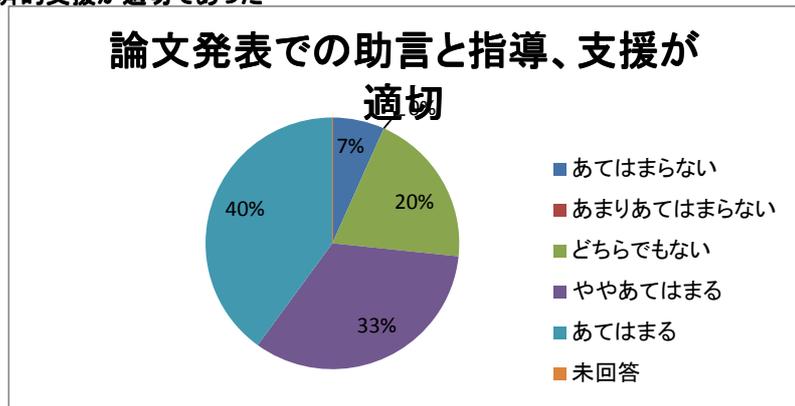
3-10 学会等での発表に際して、助言と指導、経済的支援が適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	6
ややあてはまる	1
あてはまる	4
未回答	0



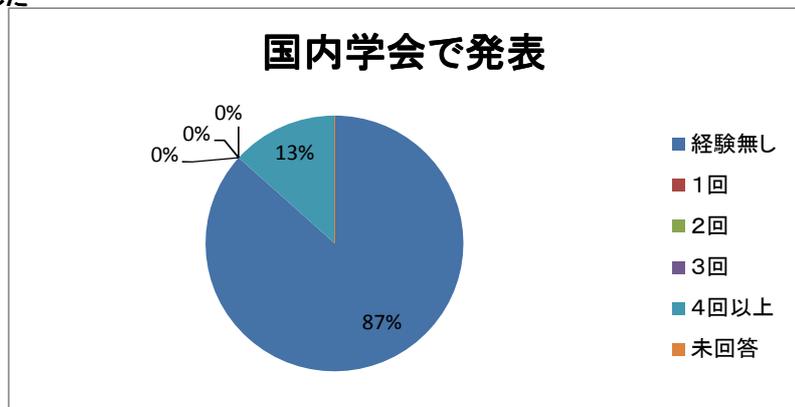
3-11 論文発表に関する助言と指導、経済的支援が適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	5
あてはまる	6
未回答	0



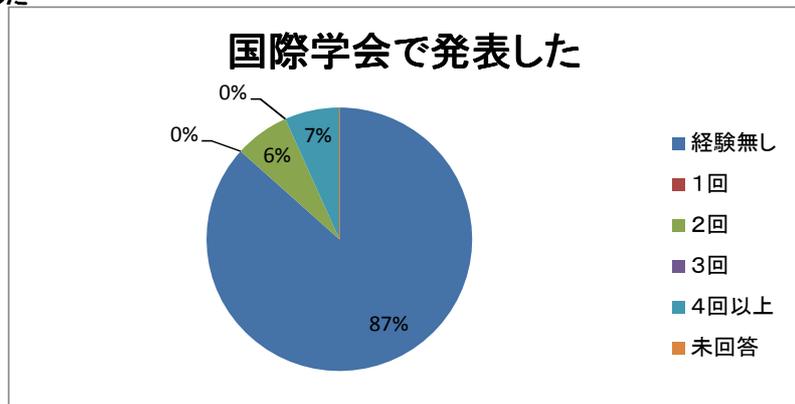
3-12 大学院在学中に国内学会で発表した

選択肢	回答
経験無し	13
1回	0
2回	0
3回	0
4回以上	2
未回答	0



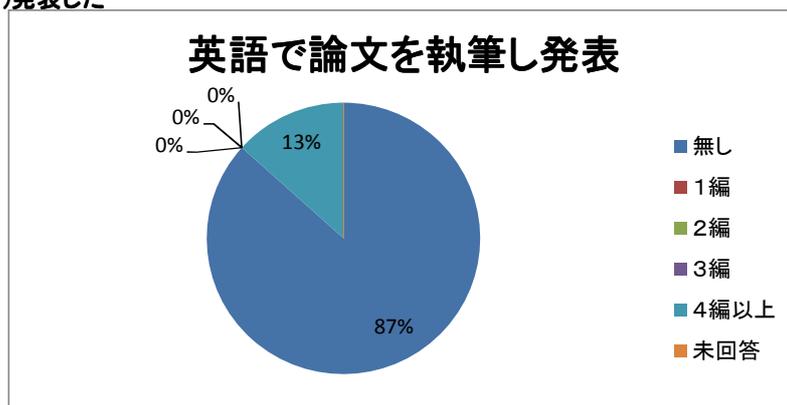
3-13 大学院在学中に国際学会で発表した

選択肢	回答
経験無し	13
1回	0
2回	1
3回	0
4回以上	1
未回答	0



3-14 英語で論文を執筆し(共著も含めて)発表した

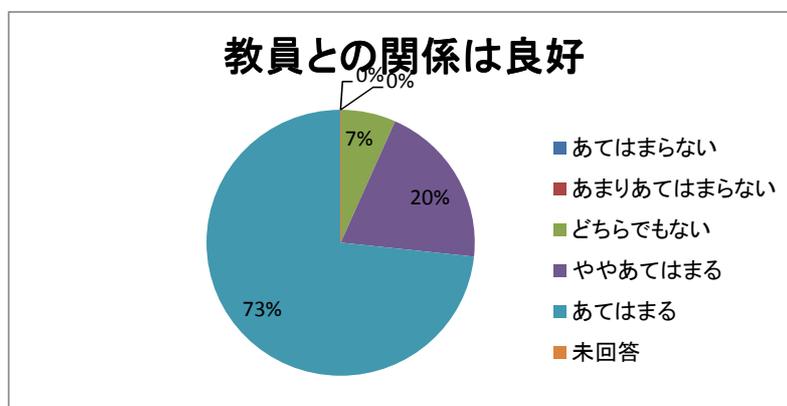
選択肢	回答
無し	13
1編	0
2編	0
3編	0
4編以上	2
未回答	0



問5: 大学院での学生生活についてお尋ねします。

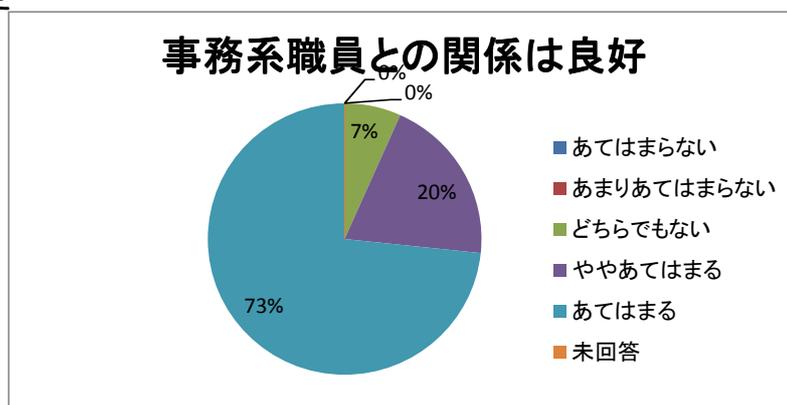
5-1 教員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	11
未回答	0



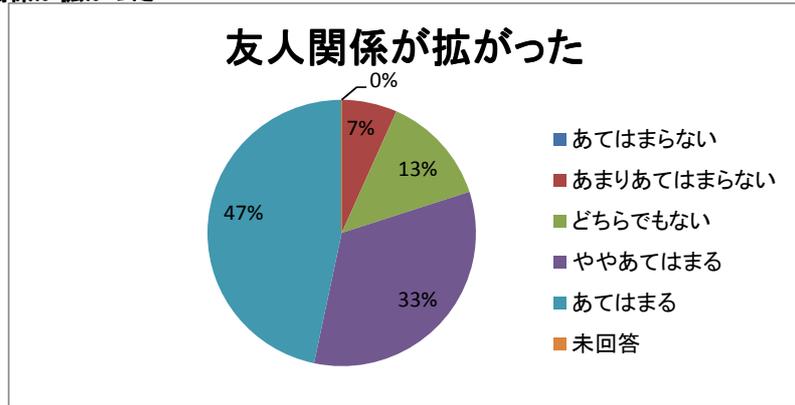
5-2 事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	11
未回答	0



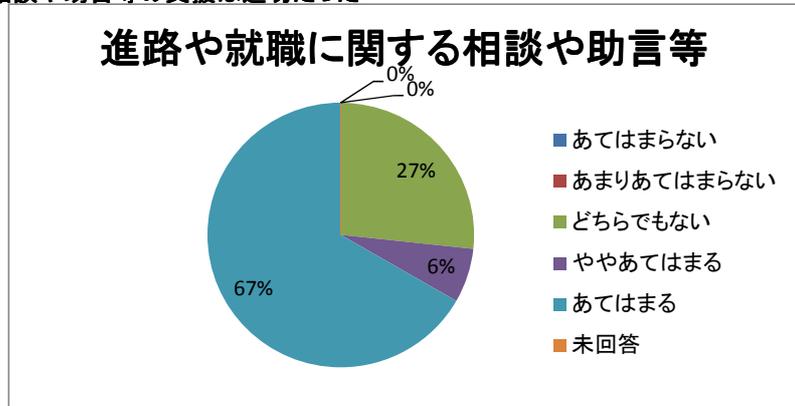
5-3 共同研究等の活動をとおして友人関係が広がった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	5
あてはまる	7
未回答	0



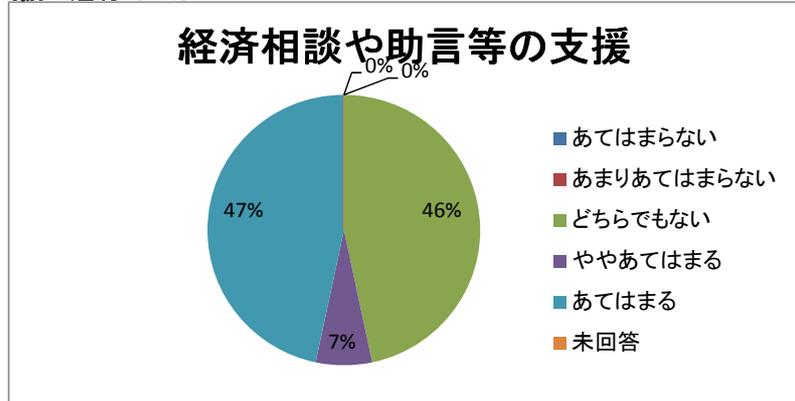
5-4 教職員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	1
あてはまる	10
未回答	0



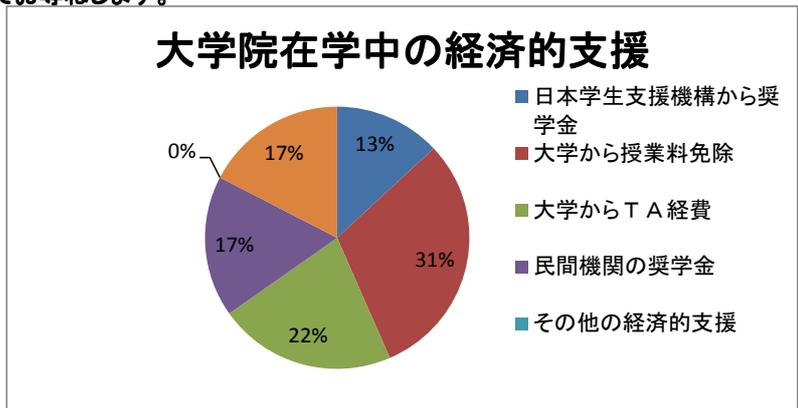
5-5 教職員による経済相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	7
ややあてはまる	1
あてはまる	7
未回答	0



問6: 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

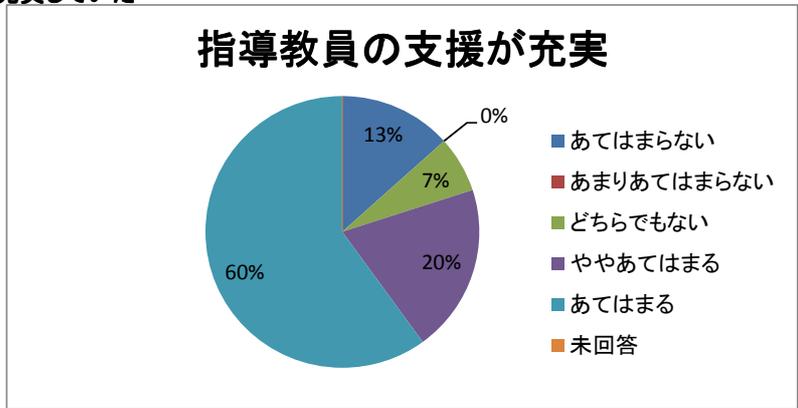
選択肢	回答
日本学生支援機構から奨学金	3
大学から授業料免除	7
大学からTA経費	5
民間機関の奨学金	4
その他の経済的支援	0
調査以外からの経済的支援は受けていなかった	4



問8: 大学院修了後の進路選択についてお尋ねします。

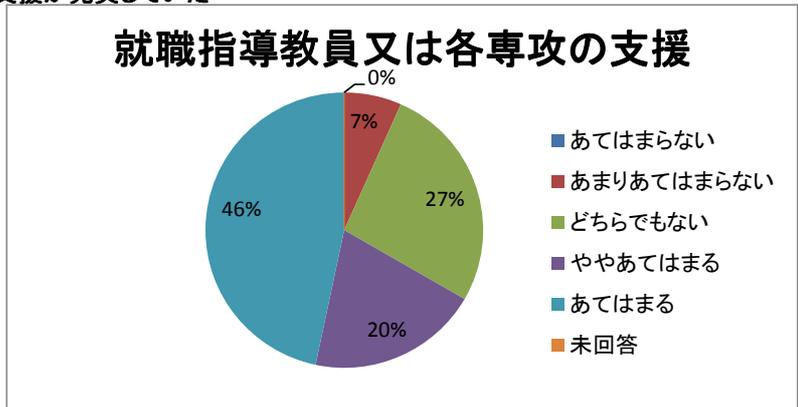
8-1 指導教員(正・副)の支援(相談等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	9
未回答	0



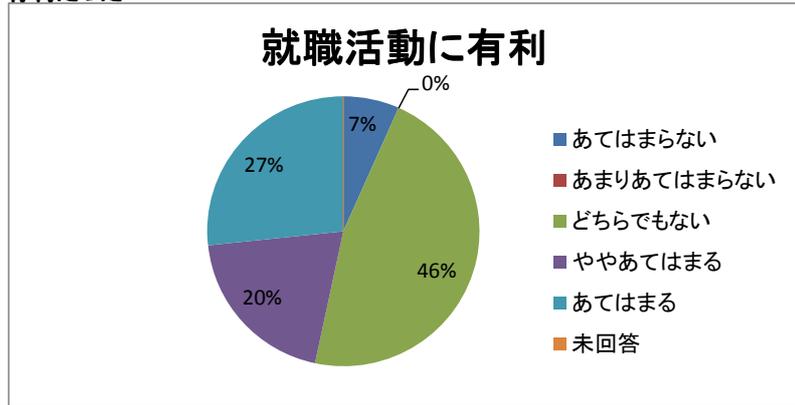
8-2 就職指導教員又は各専攻における支援が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	4
ややあてはまる	3
あてはまる	7
未回答	0



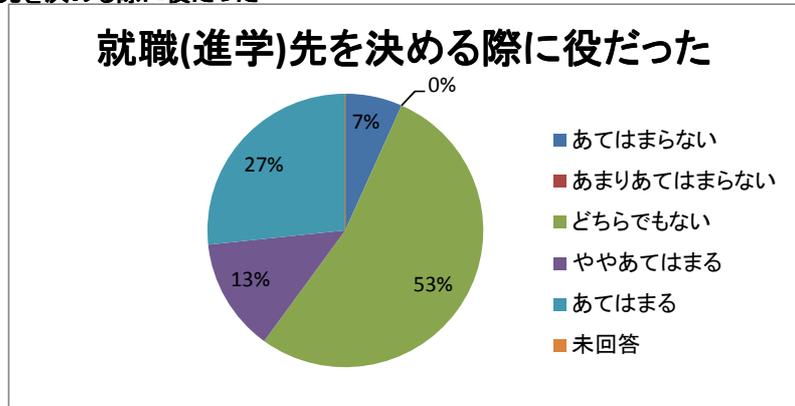
8-3 大学院で学修したことが就職活動に有利だった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	7
ややあてはまる	3
あてはまる	4
未回答	0



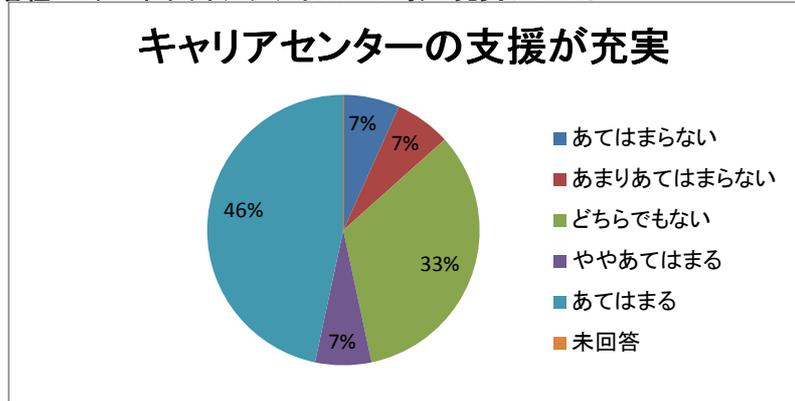
8-4 大学院で学修したことが就職(進学)先を決める際に役だった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	8
ややあてはまる	2
あてはまる	4
未回答	0



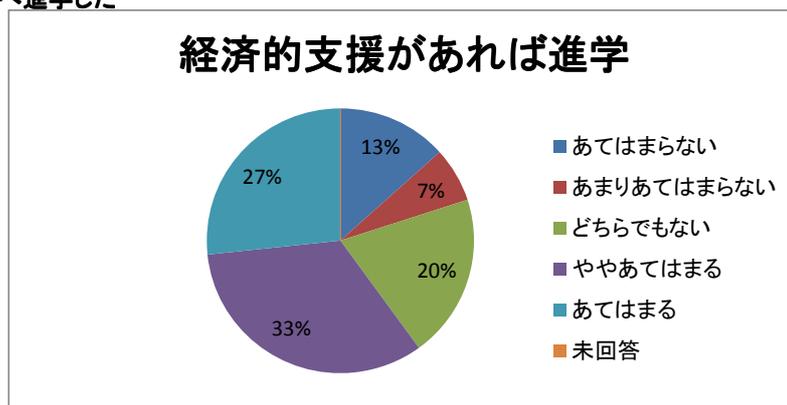
8-5 キャリアセンターの支援(進路相談、各種セミナー、キャリアデザインノート等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	5
ややあてはまる	1
あてはまる	7
未回答	0



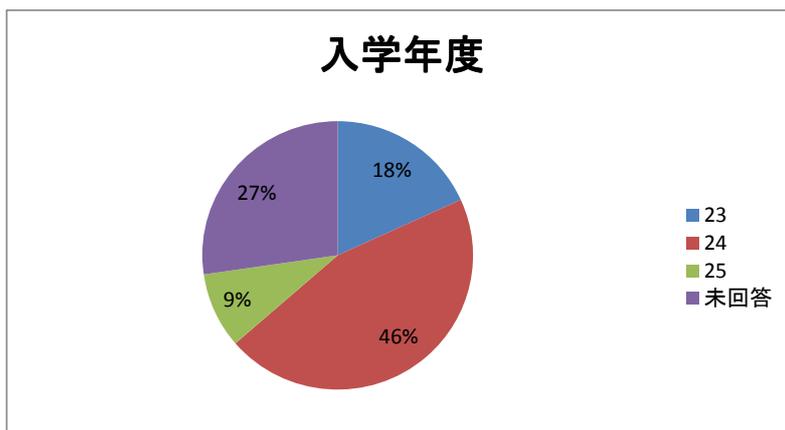
8-6 経済的支援が得られれば後期課程へ進学した

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	5
あてはまる	4
未回答	0



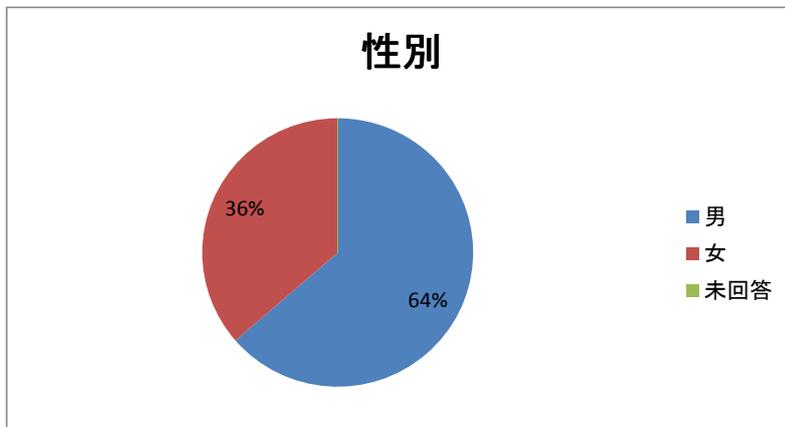
入学年度

入学年度	回答
23	2
24	5
25	1
未回答	3



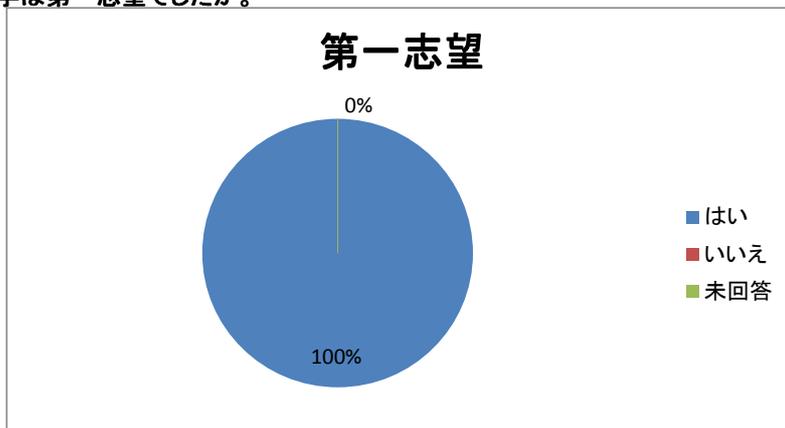
性別

選択肢	回答
男	7
女	4
未回答	0



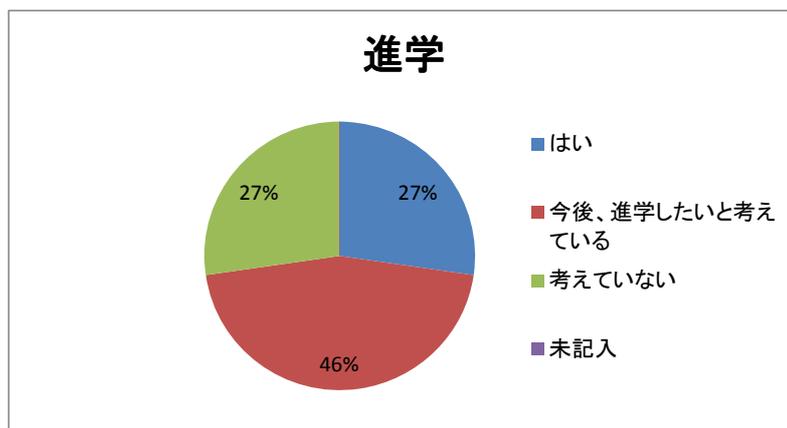
社会科学部研究科マネジメント専攻への進学は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	11
いいえ	0
未回答	0



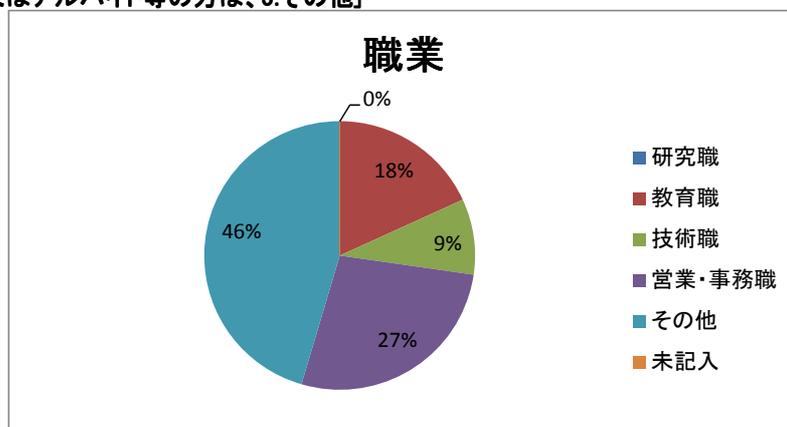
大学院修了後の進路について。
問1: 博士課程後期に進学しますか。

選択肢	回答
はい	3
今後、進学したいと考えている	5
考えていない	3
未記入	0



問2: 職業についてお尋ねします。[学生又はアルバイト等の方は、5.その他]

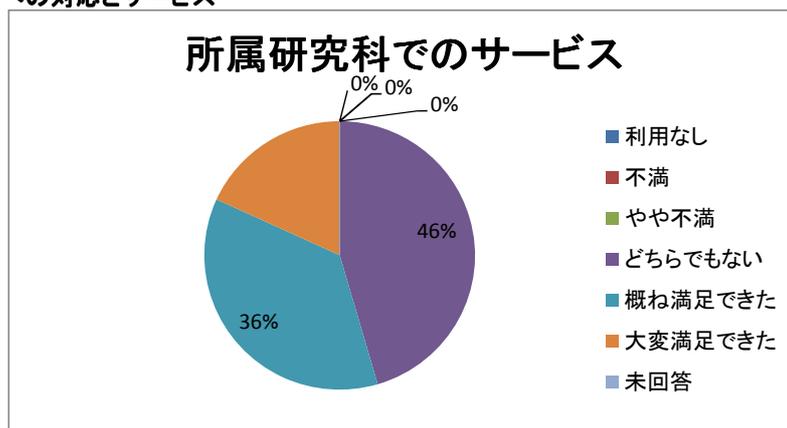
選択肢	回答
研究職	0
教育職	2
技術職	1
営業・事務職	3
その他	5
未記入	0



問1: 在学期間中の施設サービスに関する満足度についてお尋ねします。

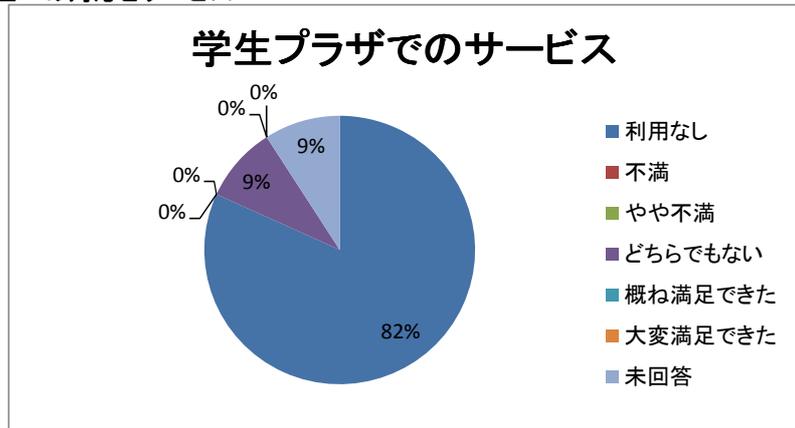
1-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	5
概ね満足できた	4
大変満足できた	2
未回答	0



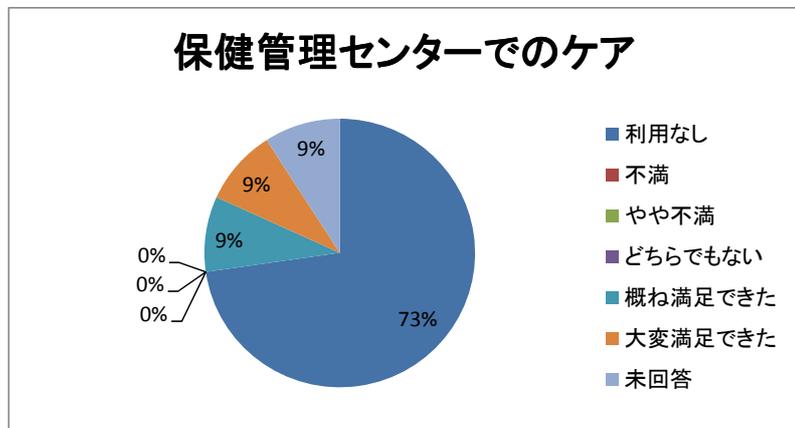
1-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	9
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	0
大変満足できた	0
未回答	1



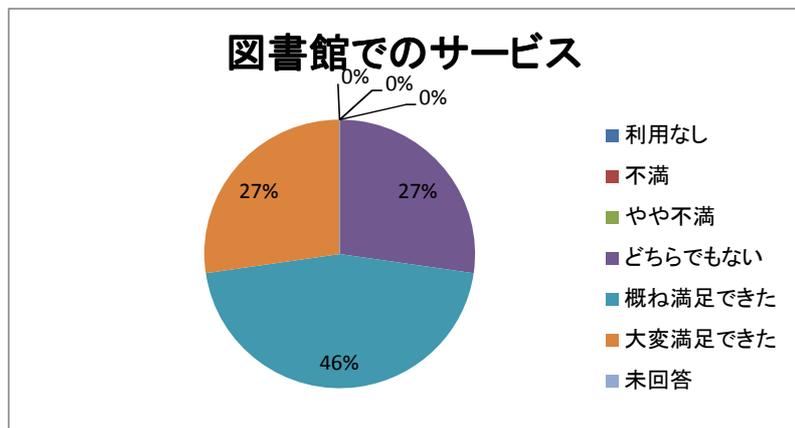
1-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	8
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	1
大変満足できた	1
未回答	1



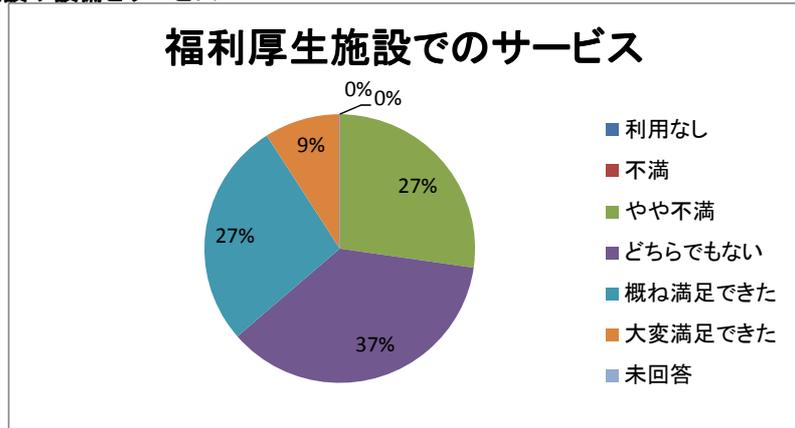
1-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	3
概ね満足できた	5
大変満足できた	3
未回答	0



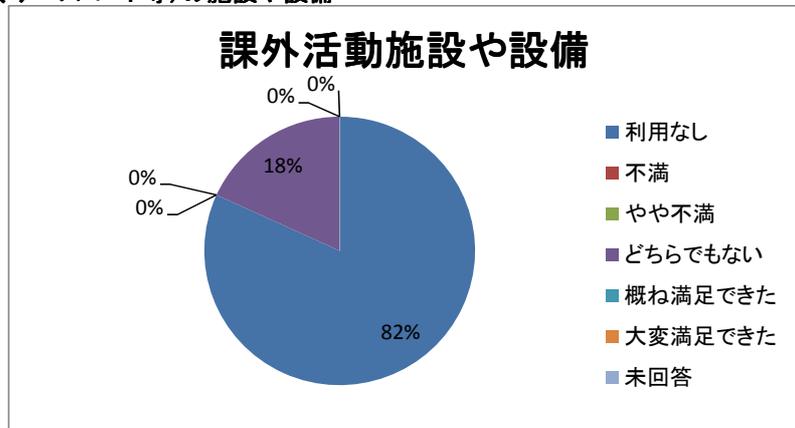
1-5 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	3
どちらでもない	4
概ね満足できた	3
大変満足できた	1
未回答	0



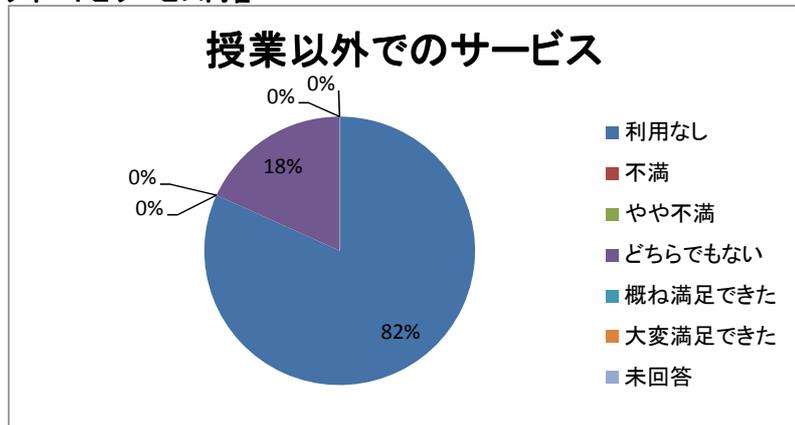
1-6 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	9
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	0
大変満足できた	0
未回答	0



1-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

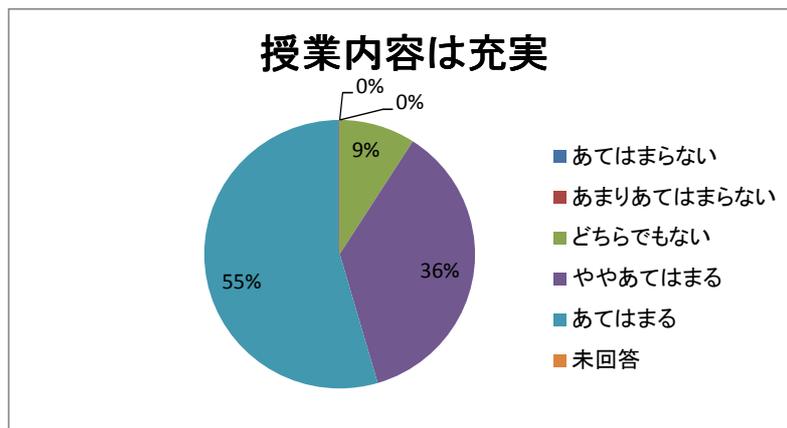
選択肢	回答
利用なし	5
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	6
概ね満足できた	0
大変満足できた	0
未回答	0



問2: 大学院で受けた教育内容や研究環境についてお尋ねします。

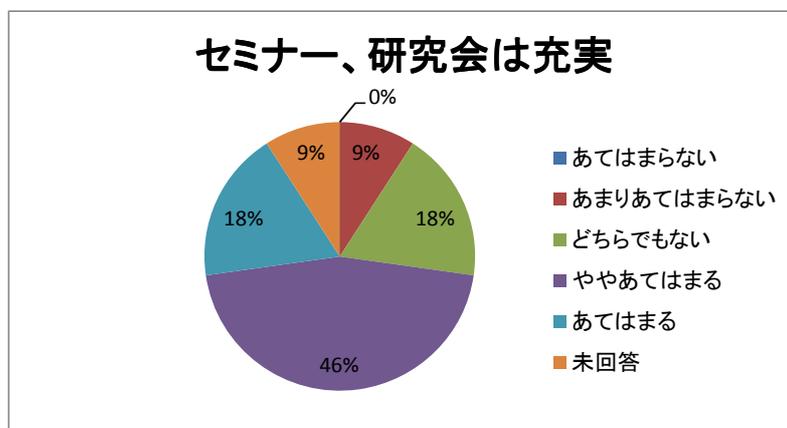
2-1 授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	4
あてはまる	6
未回答	0



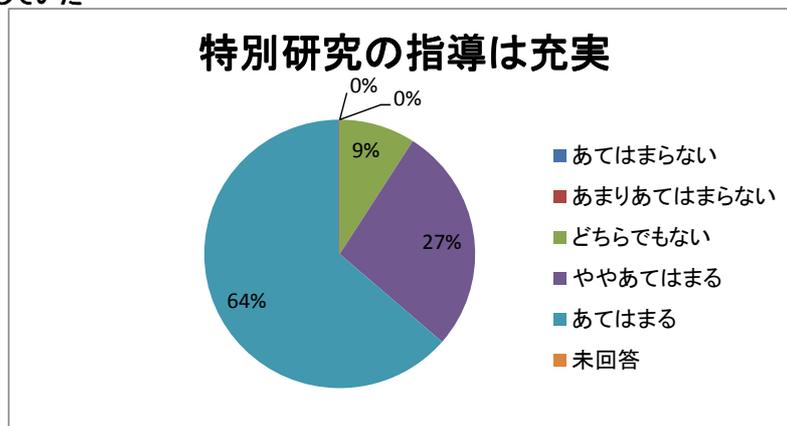
2-2 セミナー、研究会は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	5
あてはまる	2
未回答	1



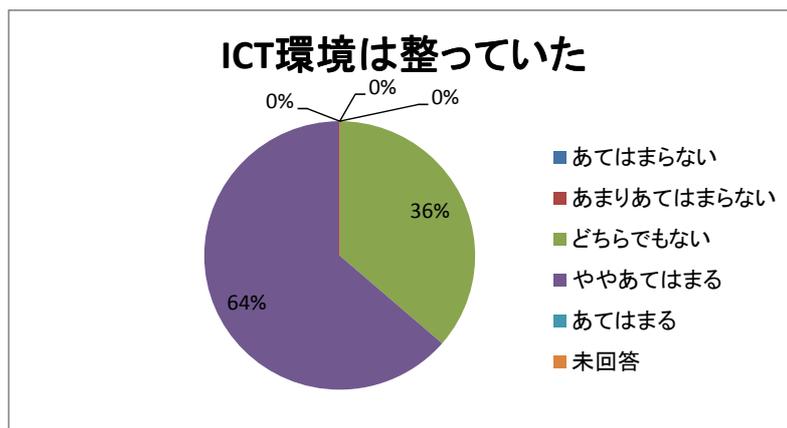
2-3 特別研究(修士論文)の指導は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	7
未回答	0



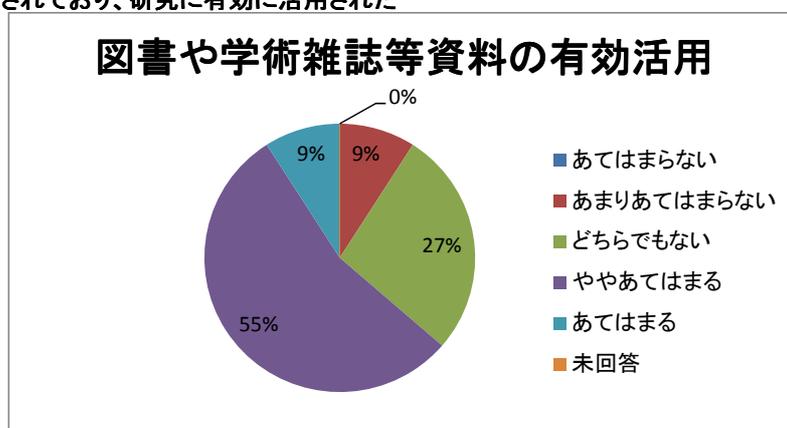
2-4 ICT環境は整っていた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	7
あてはまる	0
未回答	0



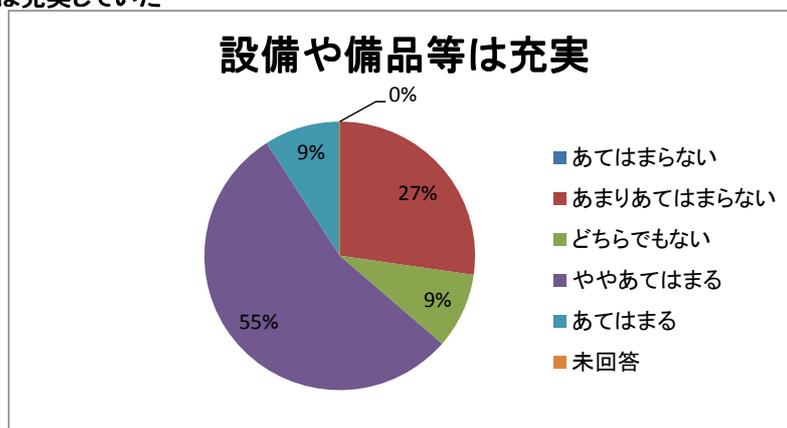
2-5 図書や学術雑誌、AV資料等が整備されており、研究に有効に活用された

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	6
あてはまる	1
未回答	0



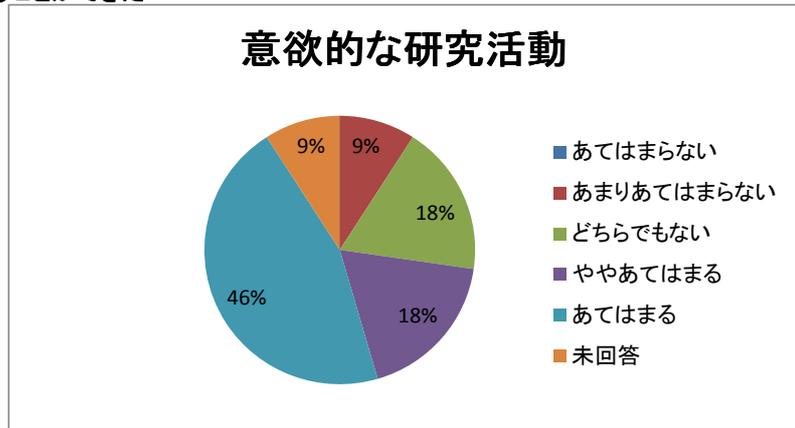
2-6 全体的に教育に係る設備や備品等は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	1
ややあてはまる	6
あてはまる	1
未回答	0



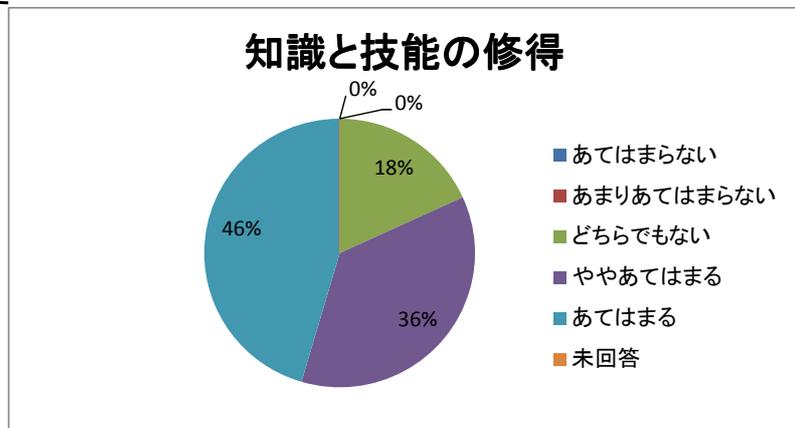
2-7 研究室では意欲的な研究活動を行うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	2
あてはまる	5
未回答	1



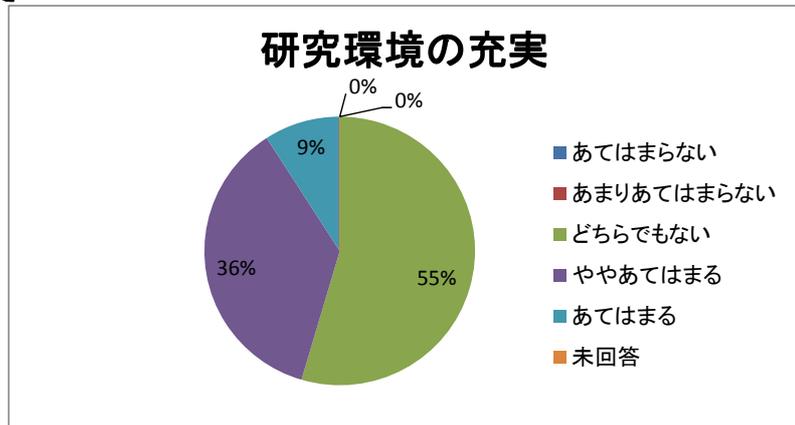
2-8 専門分野の知識と技能を修得できた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	4
あてはまる	5
未回答	0



2-9 自習室等の研究環境は充実していた

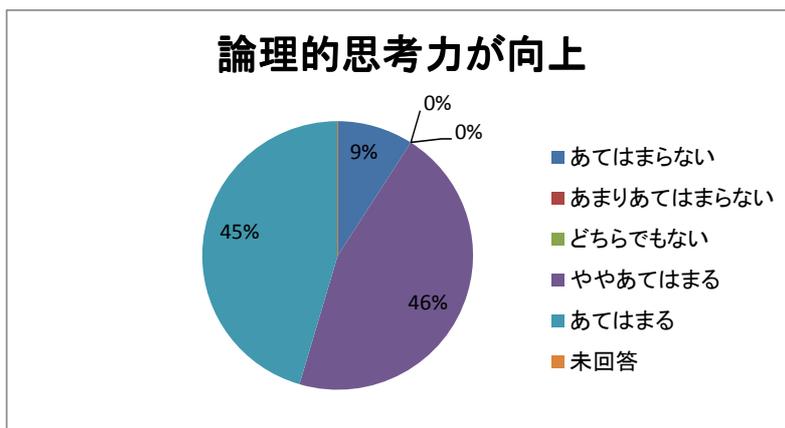
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	6
ややあてはまる	4
あてはまる	1
未回答	0



問3: 大学院での教育と研究の成果についてお尋ねします。

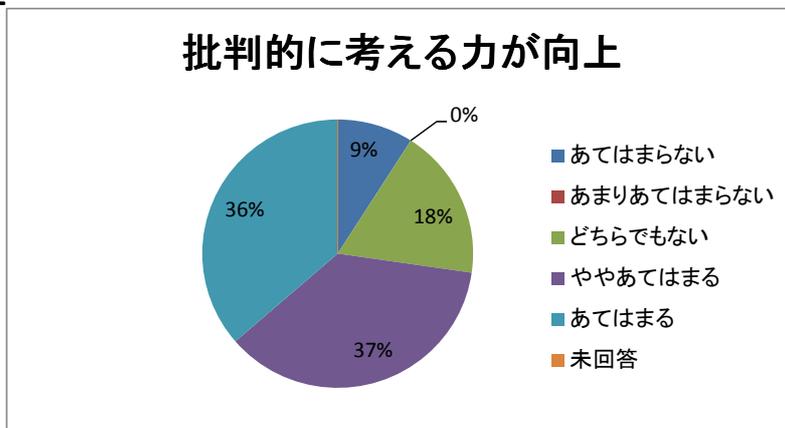
3-1 論理的思考力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	5
あてはまる	5
未回答	0



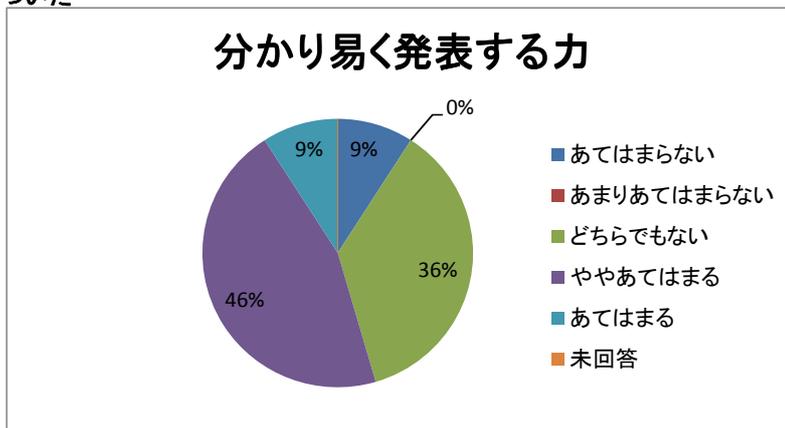
3-2 物事を批判的に考える力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	4
あてはまる	4
未回答	0



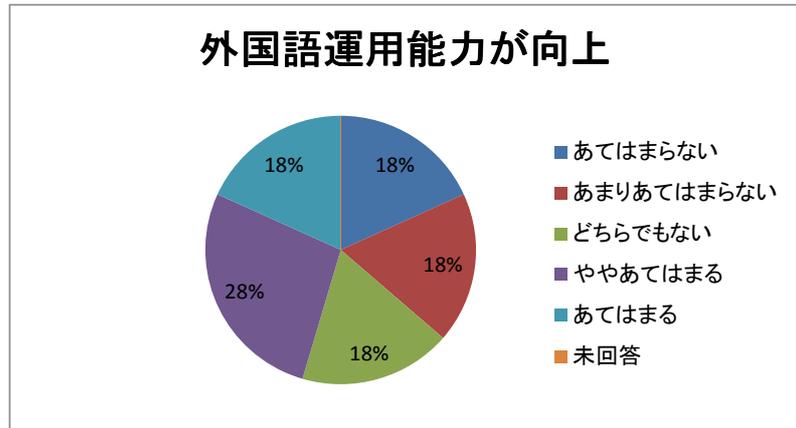
3-3 研究成果を分かり易く発表する力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	5
あてはまる	1
未回答	0



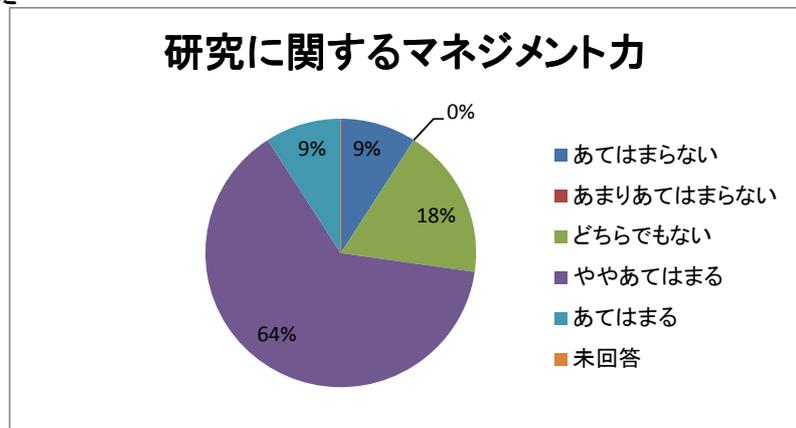
3-4 外国語運用能力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	2
未回答	0



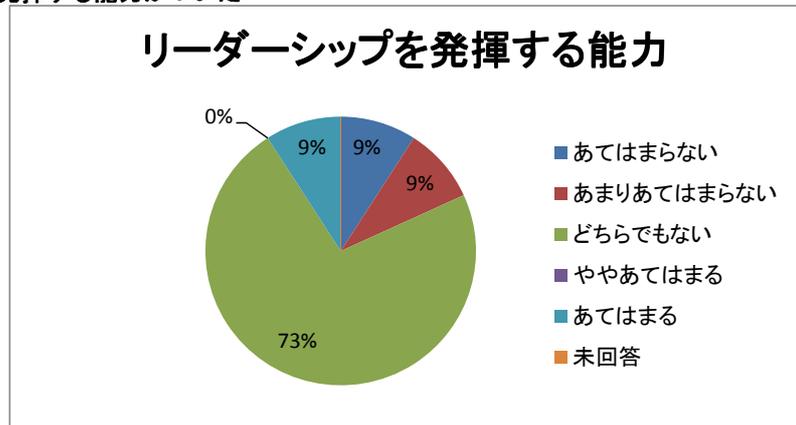
3-5 研究に関するマネジメント力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	7
あてはまる	1
未回答	0



3-6 研究推進においてリーダーシップを発揮する能力がついた

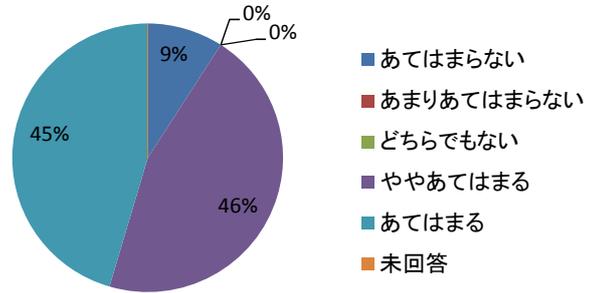
選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	8
ややあてはまる	0
あてはまる	1
未回答	0



3-7 研究等を通じて課題探求能力及び問題解決能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	5
あてはまる	5
未回答	0

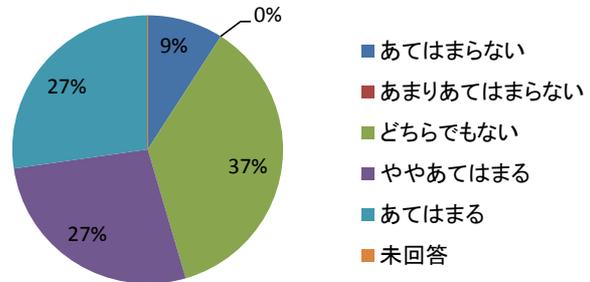
課題探求能力及び問題解決能力



3-8 専門分野で必要なスキルの習得で学修効果があった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	3
あてはまる	3
未回答	0

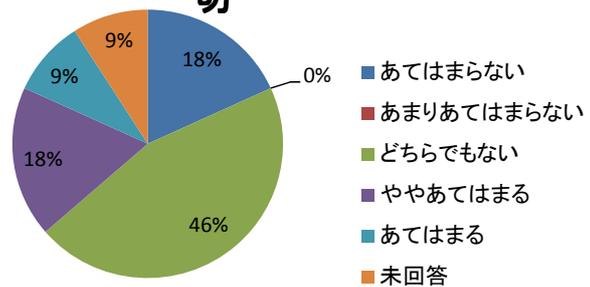
必要なスキルの習得



3-9 学会等での発表に際して、助言と指導、経済的支援が適切であった

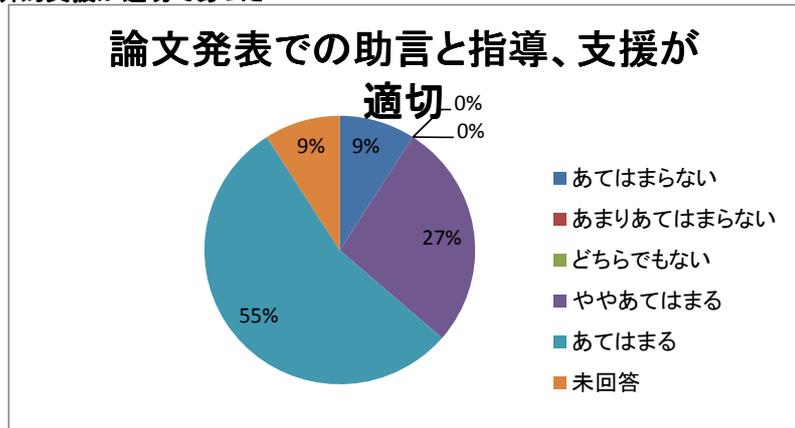
選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	5
ややあてはまる	2
あてはまる	1
未回答	1

学会等での助言と指導、支援が適切



3-10 論文発表に関する助言と指導、経済的支援が適切であった

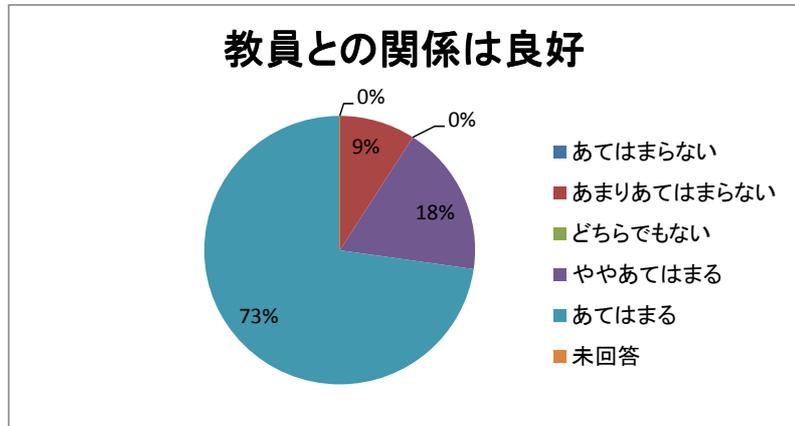
選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	3
あてはまる	6
未回答	1



問5: 大学院での学生生活についてお尋ねします。

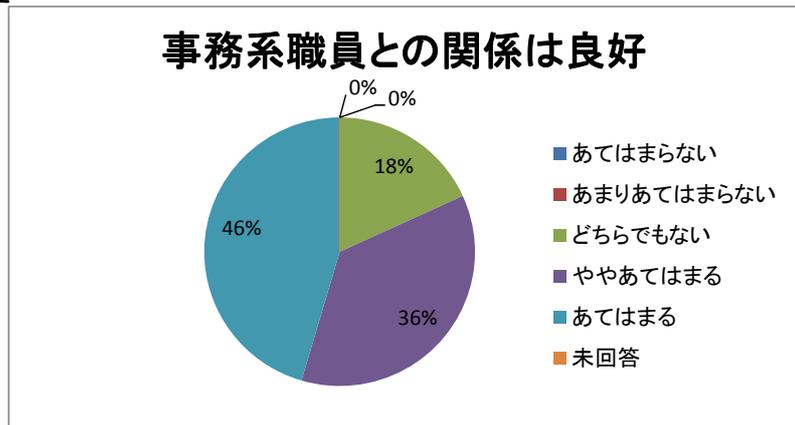
5-1 教員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	0
ややあてはまる	2
あてはまる	8
未回答	0



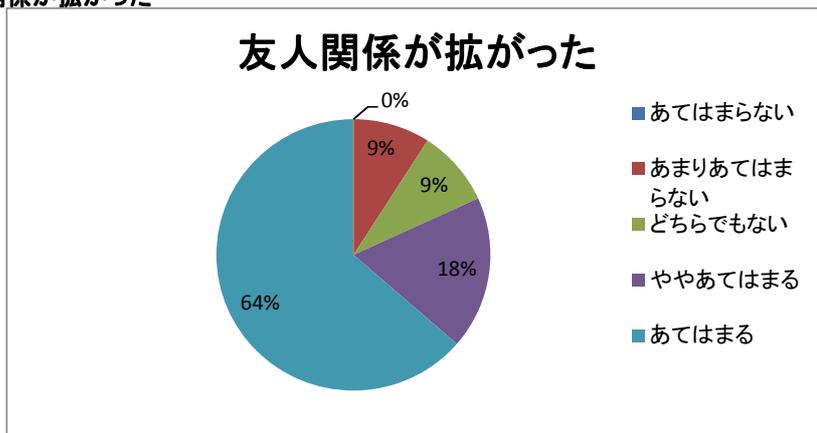
5-2 事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	4
あてはまる	5
未回答	0



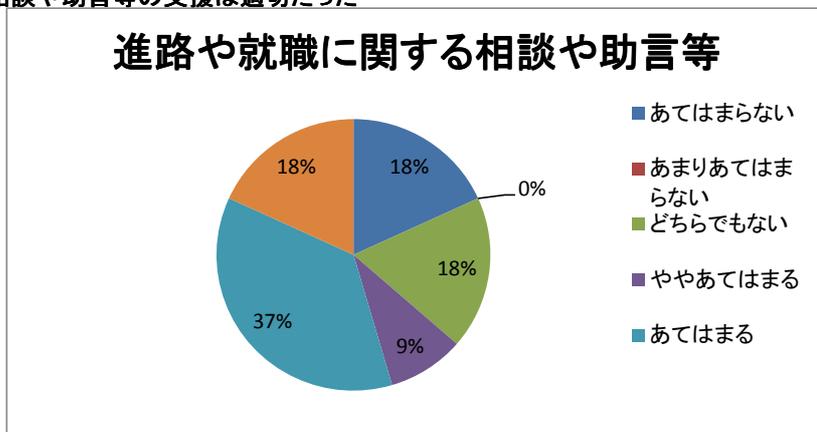
5-3 共同研究等の活動をとおして友人関係が広がった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	2
あてはまる	7
未回答	0



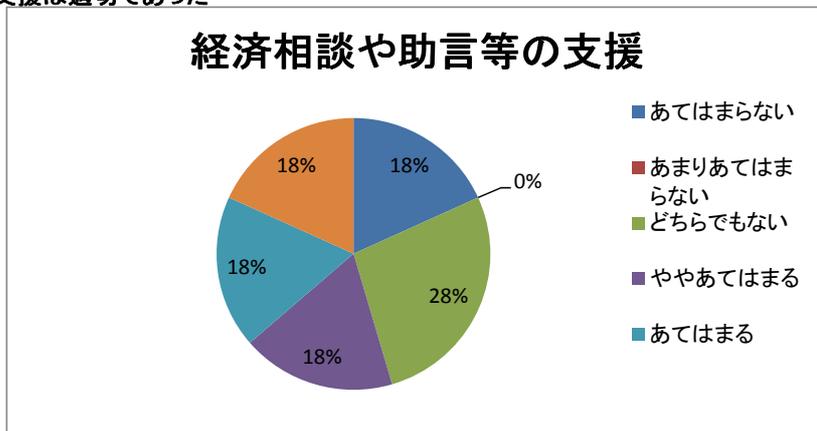
5-4 教職員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	1
あてはまる	4
未回答	2



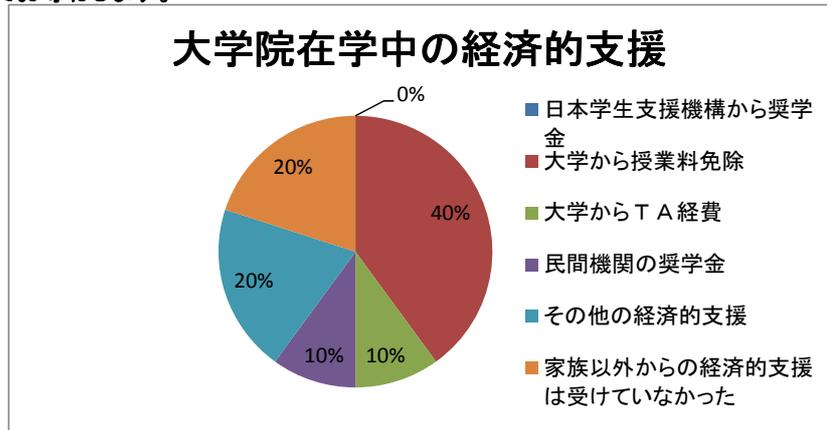
5-5 教職員による経済相談や助言等の支援は適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	2
あてはまる	2
未回答	2



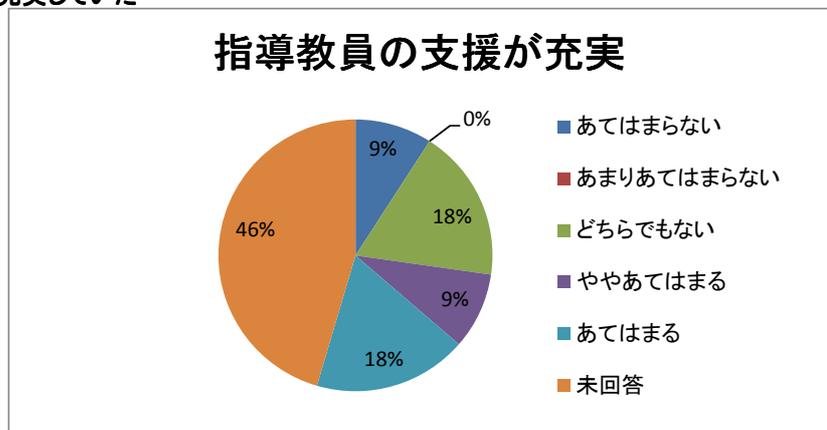
問6: 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

選択肢	回答
日本学生支援機構から奨学金	0
大学から授業料免除	4
大学からTA経費	1
民間機関の奨学金	1
その他の経済的支援	2
家族以外からの経済的支援は受けていなかった	2



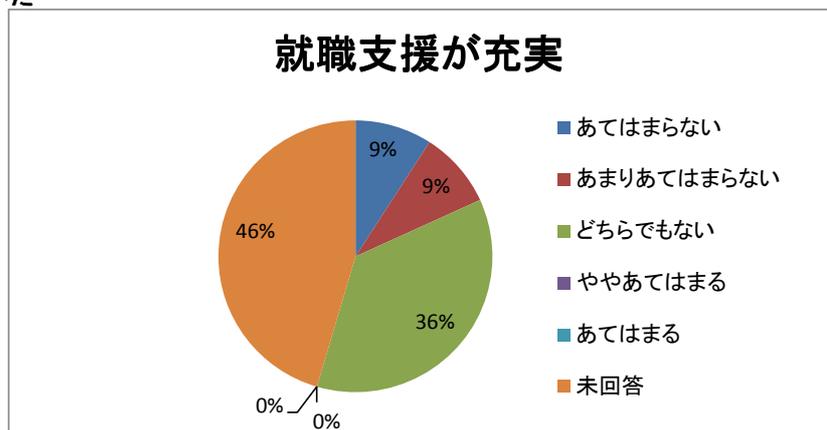
問8: 大学院修了後の進路選択についてお尋ねします。
8-1 指導教員(正・副)の支援(相談等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	1
あてはまる	2
未回答	5



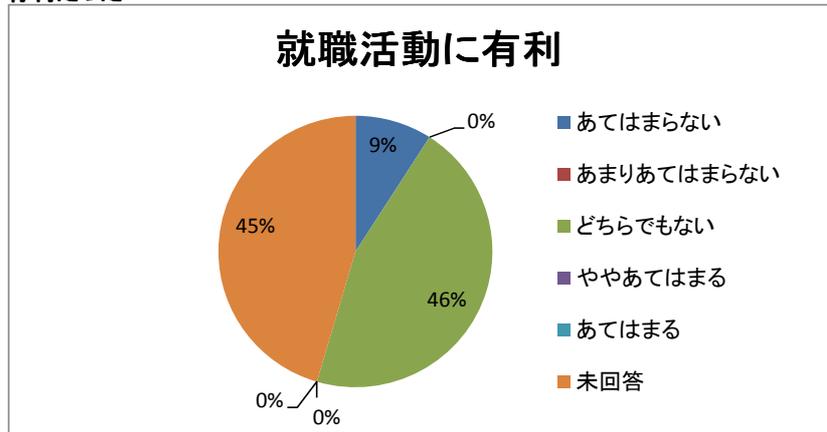
8-2 専攻における就職支援が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	4
ややあてはまる	0
あてはまる	0
未回答	5



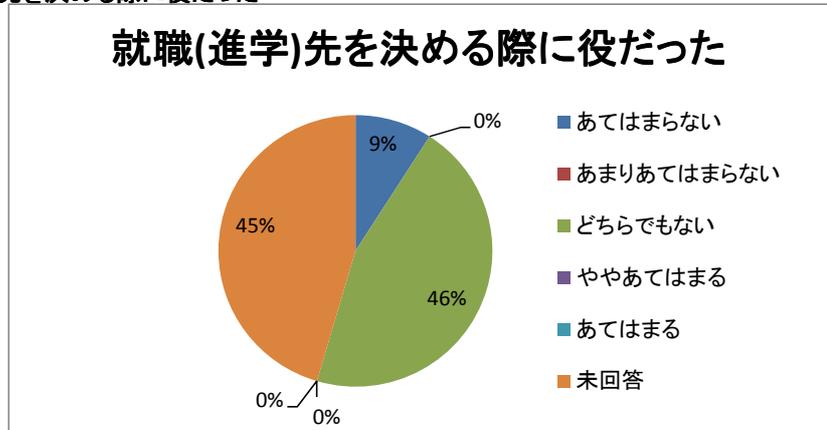
8-3 大学院で学修したことが就職活動に有利だった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	5
ややあてはまる	0
あてはまる	0
未回答	5



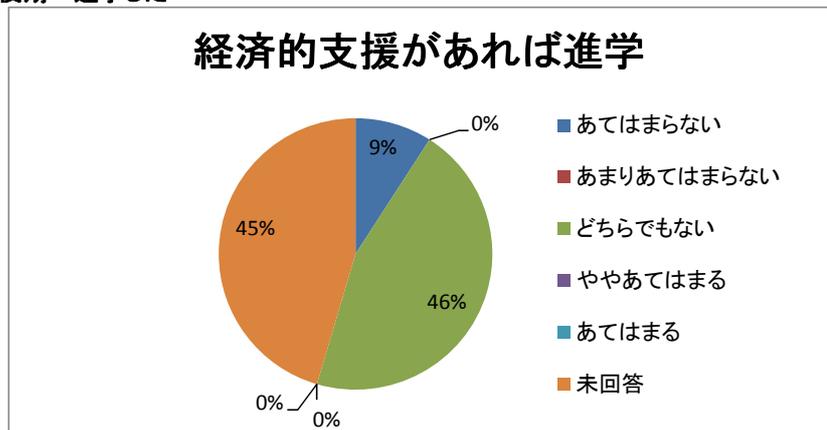
8-4 大学院で学修したことが就職(進学)先を決める際に役だった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	5
ややあてはまる	0
あてはまる	0
未回答	5



8-5 経済的支援が得られれば博士課程後期へ進学した

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	5
ややあてはまる	0
あてはまる	0
未回答	5



研究科総評

研究科： 理学研究科

1. 集計結果のまとめ

本終了時アンケートは、平成 26 年 3 月に修了予定の大学院生 147 名（前期課程修了者 138 名、後期課程修了者 9 名）に対しておこなった。大学院生が、理学研究科における講義・研究指導に対して感じた評価である。当然であるが前期課程、後期課程修了学生で感じるところが異なる。

大学院における教育に対する評価（問 7）は、前期・後期課程ともに概ね 70%以上の学生が満足している様子がうかがえる。研究指導に対する評価は、前期課程よりも後期課程で低く評価されているが、一方で論理的思考力・批判力が涵養されたかに関する質問（問 8）には、後期課程では前期課程よりも高く 90%以上が満足していると感じている。これは、後期課程に入り学生が独立した研究能力を持ち始めた証とみることができる。就職指導については（問 14）、前期課程では研究科・大学にあまり期待していない実態が見て取れる。博士学位取得後の進路では教員間のつながりや、教員を通して入ってくる情報が重要となるためか教員の就職指導に対する満足度が高い特徴がある。その裏返しとして、後期課程では研究科・大学に対する就職指導の依存性が 20%程度とさらに小さくなる。理学研究科・大学の就職指導に対する不満というよりは、理学系学生の就職活動が独自に情報収集する部分が多いためと考える。ただ、自由形式の記載には就職情報提供に具体的な要望もあり、下記のような対応を進めることが望ましい。

2. 次年度に向けた対応

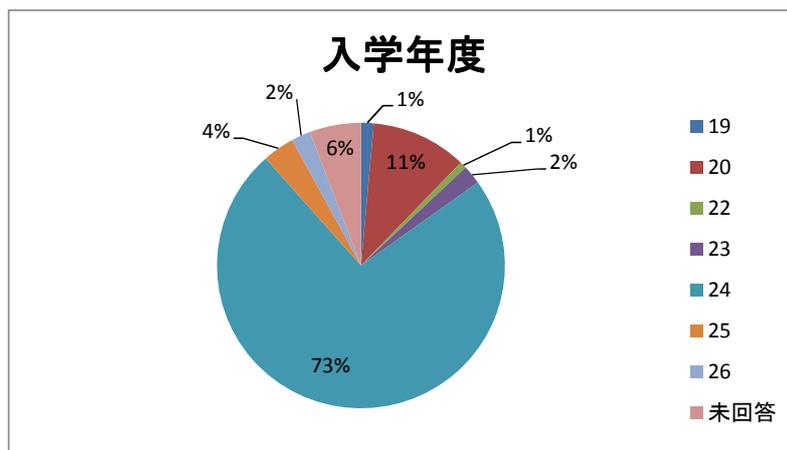
（1）就職指導等：前期課程の学生からは、企業で活躍する先輩や、自身が進める研究分野に近い企業の方の話を直接聞きたいという要望が複数ある。学生達は、就職に向けた技術的な支援よりも、自分の将来のロールモデルとなるイメージを得ることを求めているようである。学生達は、企業の文化が大学とは異なることは想像しているが、具体的にはどのように自分が活躍できるかというイメージをつかみたいと希望していると理解できる。

（2）経済的支援：授業料免除枠の拡大、TA/RA 経費による支援の増額など研究に専念できる経済的支援を要望する意見が後期課程の学生から複数出ている。留学生の増加による後期課程学生充足率を向上させる活動に加え、日本人学生、特に学部から広島大学で学んできた学生に対する経済的支援も後期課程で活躍する学生を増やすためにも積極的に進めることが必要かと思う。

（3）教育研究指導：前期課程の学生からは、自分の専門とは異なる研究分野の話題に触れることや、交流を望んでいる声が聞かれる。また、英語教育の充実を求める意見もあり、今後研究科で進める英語講義科目を増やすことは彼らの要望に応えることになる。

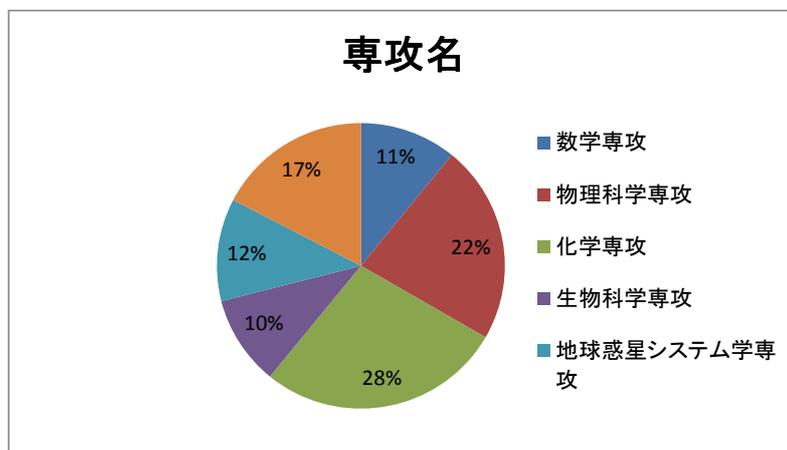
入学年度

入学年度	回答
19	2
20	15
22	1
23	3
24	102
25	5
26	3
未回答	8



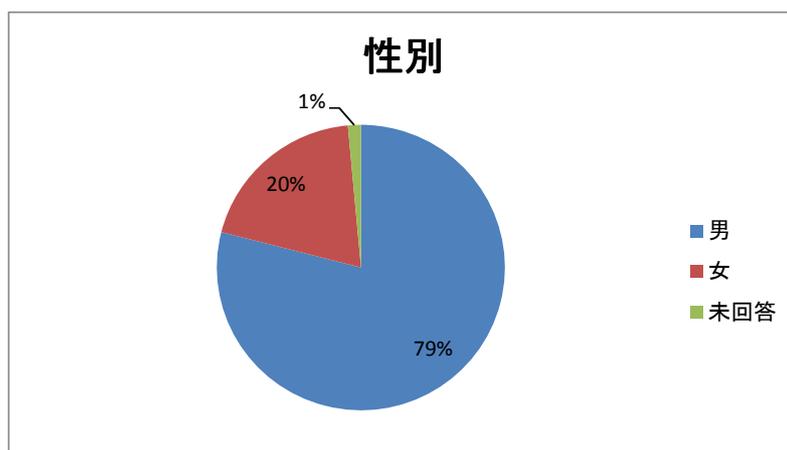
問1: 専攻名

選択肢	回答
数学専攻	15
物理科学専攻	31
化学専攻	38
生物科学専攻	14
地球惑星システム学専攻	16
数理分子生命理学専攻	24
未回答	0



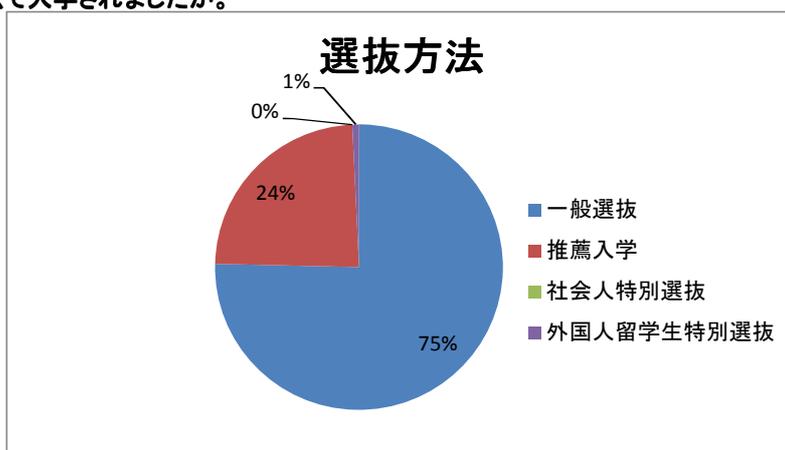
問1: 性別

選択肢	回答
男	109
女	27
未回答	2



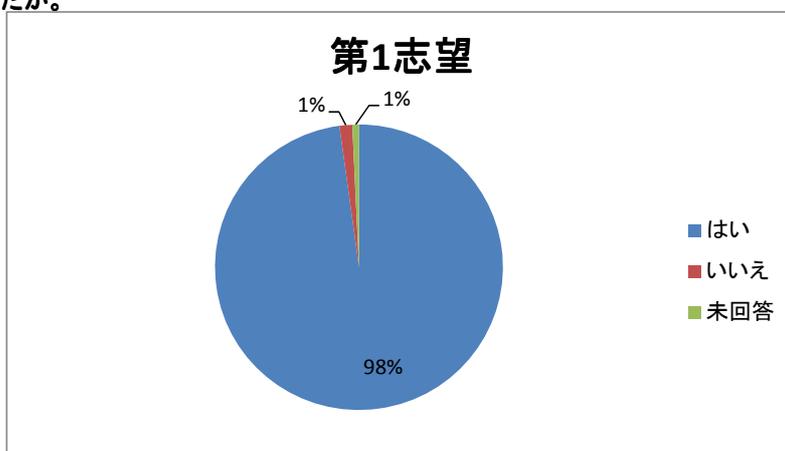
問3: 理学研究科へはどのような選抜方法で入学されましたか。

選抜肢	回答
一般選抜	104
推薦入学	33
社会人特別選抜	0
外国人留学生特別選抜	1
未回答	0



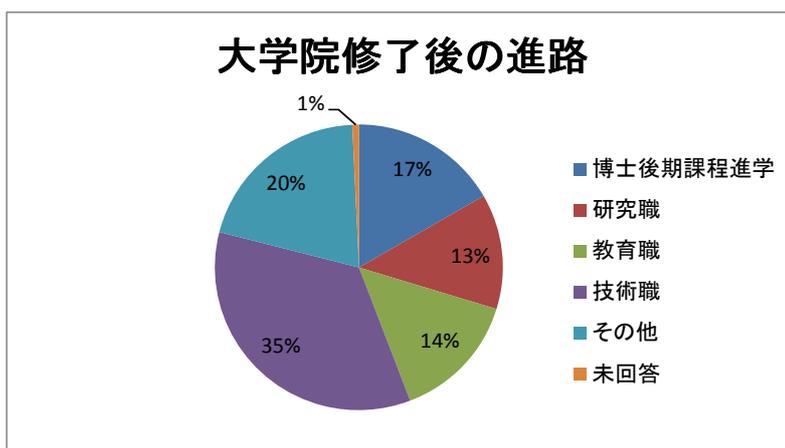
問4: 理学研究科への進学は第1志望でしたか。

選抜肢	回答
はい	135
いいえ	2
未回答	1



問5: 大学院修了後の進路について。

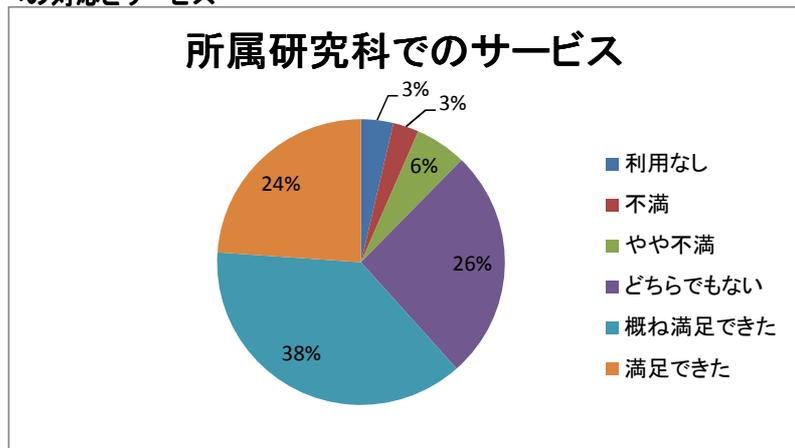
選抜肢	回答
博士後期課程進学	23
研究職	18
教育職	20
技術職	48
その他	28
未回答	1



問6: 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

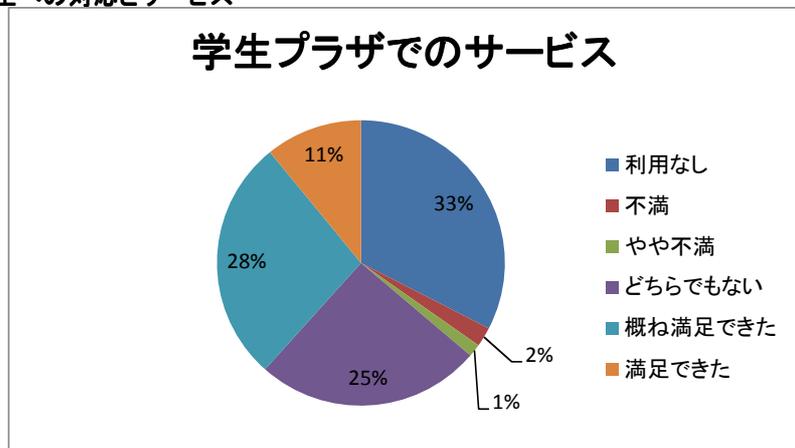
6-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	5
不満	4
やや不満	8
どちらでもない	36
概ね満足できた	52
満足できた	33
未回答	0



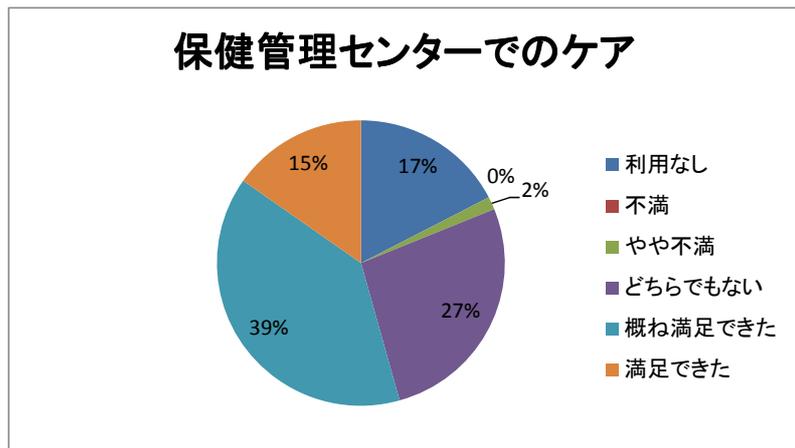
6-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	45
不満	3
やや不満	2
どちらでもない	35
概ね満足できた	38
満足できた	15
未回答	0



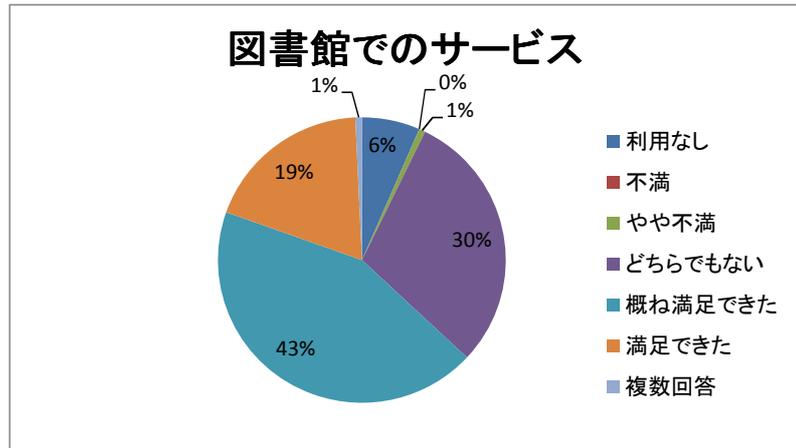
6-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	24
不満	0
やや不満	2
どちらでもない	37
概ね満足できた	54
満足できた	21
未回答	0



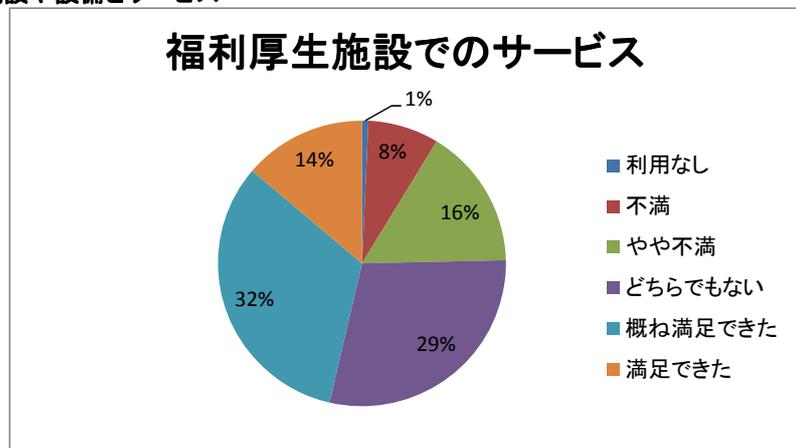
6-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	9
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	41
概ね満足できた	60
満足できた	26
複数回答	1



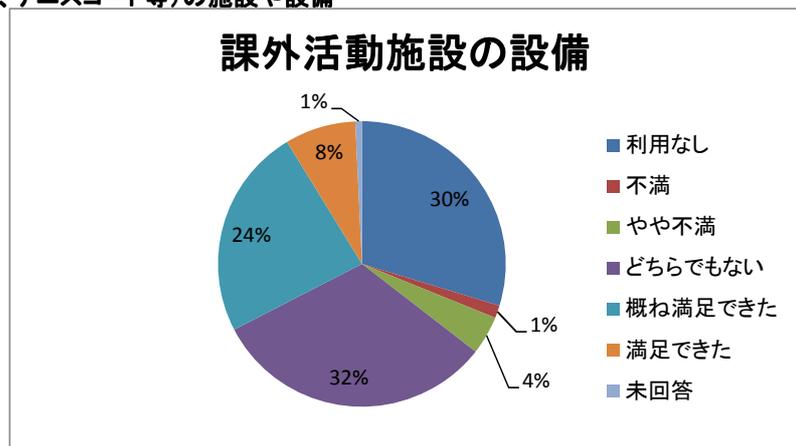
6-5 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	11
やや不満	22
どちらでもない	40
概ね満足できた	45
満足できた	19
未回答	0



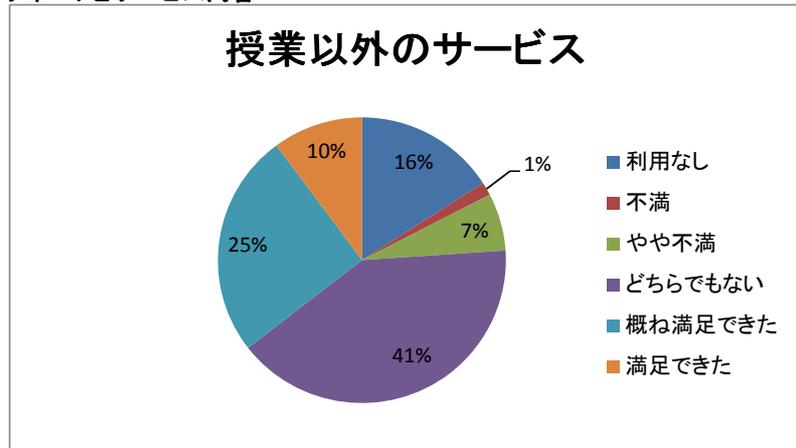
6-6 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	41
不満	2
やや不満	6
どちらでもない	44
概ね満足できた	33
満足できた	11
未回答	1



6-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

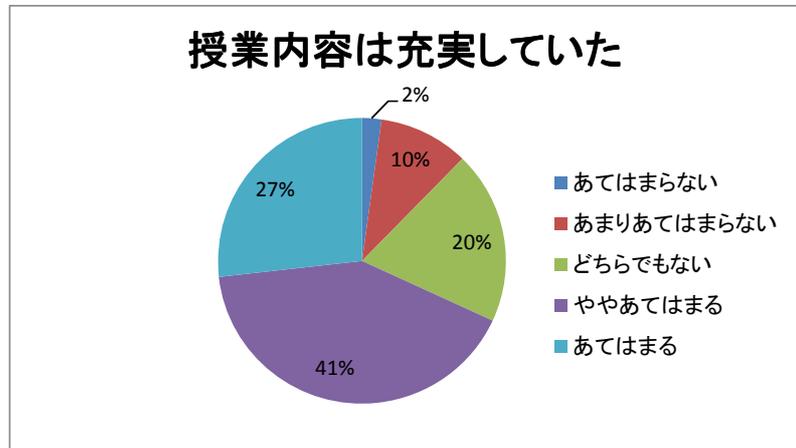
選択肢	回答
利用なし	22
不満	2
やや不満	9
どちらでもない	56
概ね満足できた	35
満足できた	14
未回答	0



問7: 大学院で受けた教育についてお尋ねします。

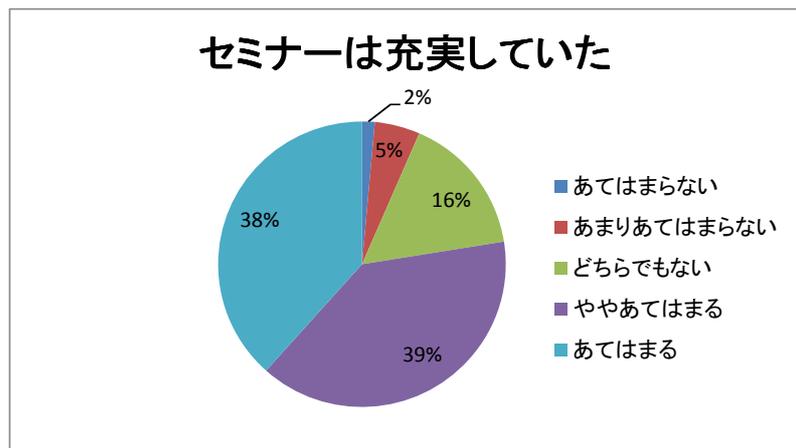
7-1 授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	14
どちらでもない	27
ややあてはまる	57
あてはまる	37
未回答	0



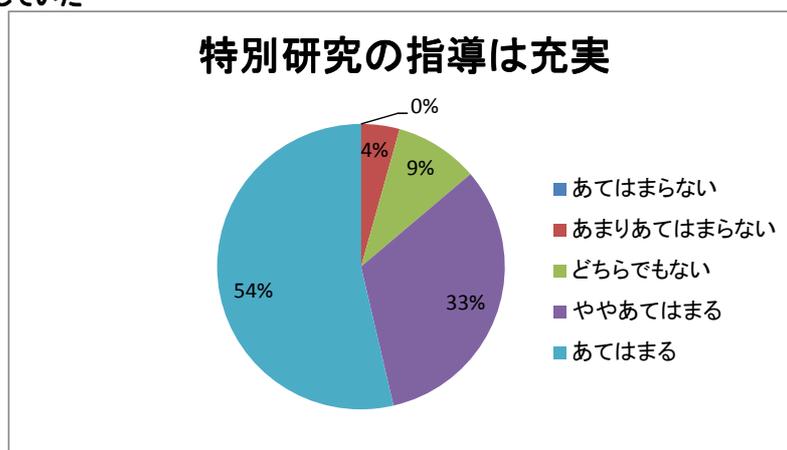
7-2 セミナーは充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	7
どちらでもない	22
ややあてはまる	54
あてはまる	53
未回答	0



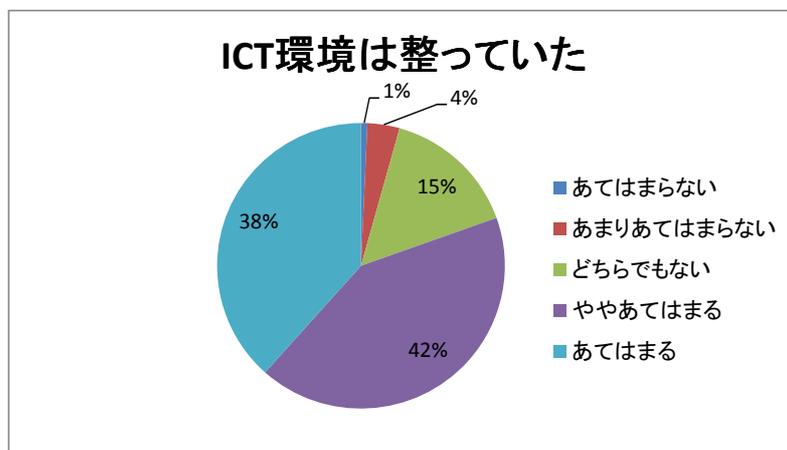
7-3 特別研究(修士論文)の指導は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	6
どちらでもない	13
ややあてはまる	45
あてはまる	74
未回答	0



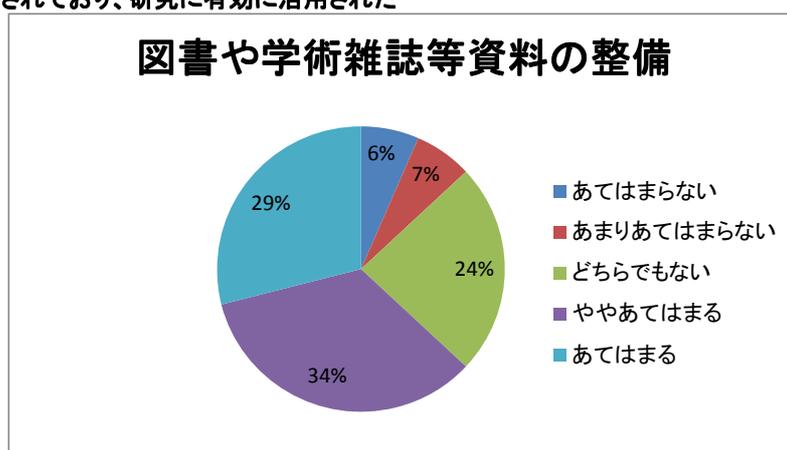
7-4 ICT(情報端末)環境は整っていた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	21
ややあてはまる	58
あてはまる	53
未回答	0



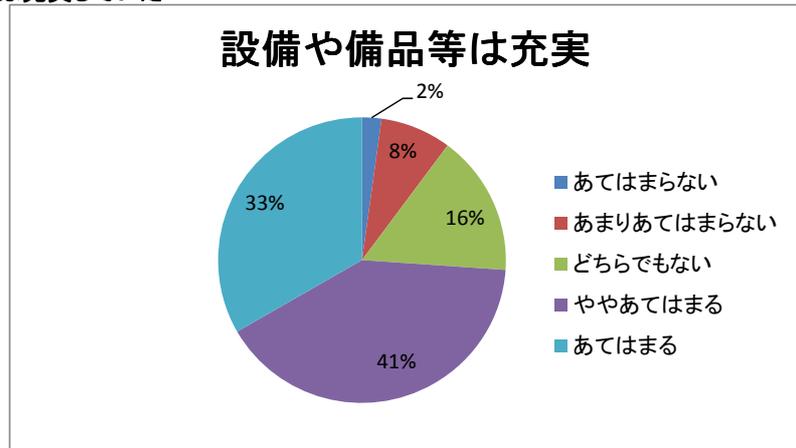
7-5 図書や学術雑誌、AV資料等が整備されており、研究に有効に活用された

選択肢	回答
あてはまらない	9
あまりあてはまらない	9
どちらでもない	33
ややあてはまる	47
あてはまる	40
未回答	0



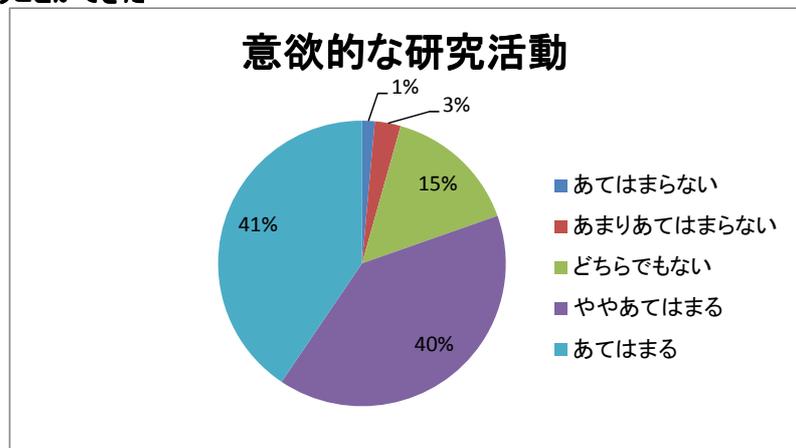
7-6 全体的に教育に係る設備や備品等は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	11
どちらでもない	22
ややあてはまる	56
あてはまる	46
未回答	0



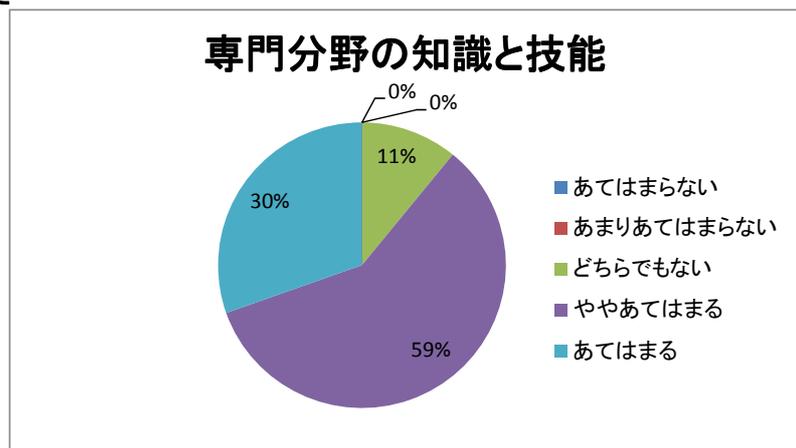
7-7 研究室では意欲的な研究活動を行うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	21
ややあてはまる	55
あてはまる	56
未回答	0



7-8 専門分野の知識と技能を修得できた

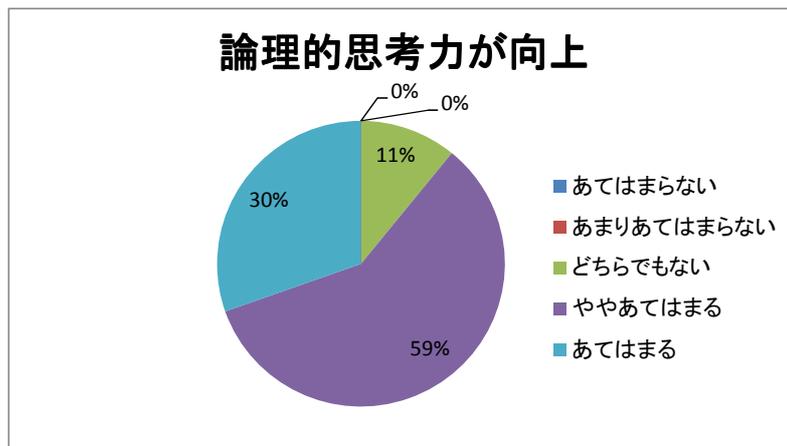
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	15
ややあてはまる	81
あてはまる	42
未回答	0



問8: 大学院での教育と研究の成果についてお尋ねします。

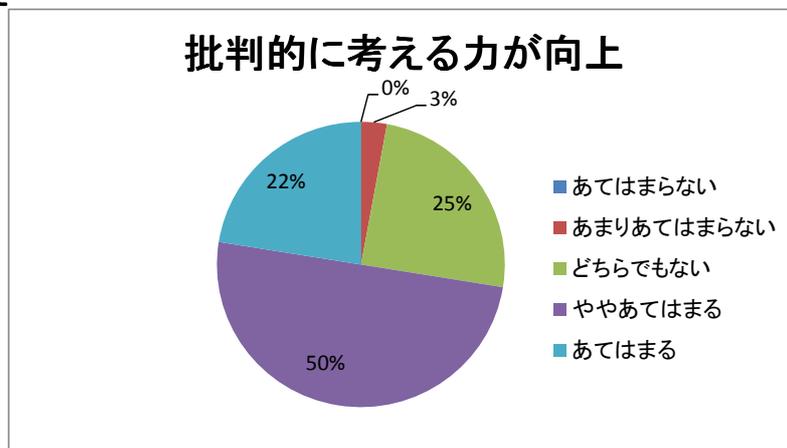
8-1 論理的思考力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	15
ややあてはまる	81
あてはまる	42
未回答	0



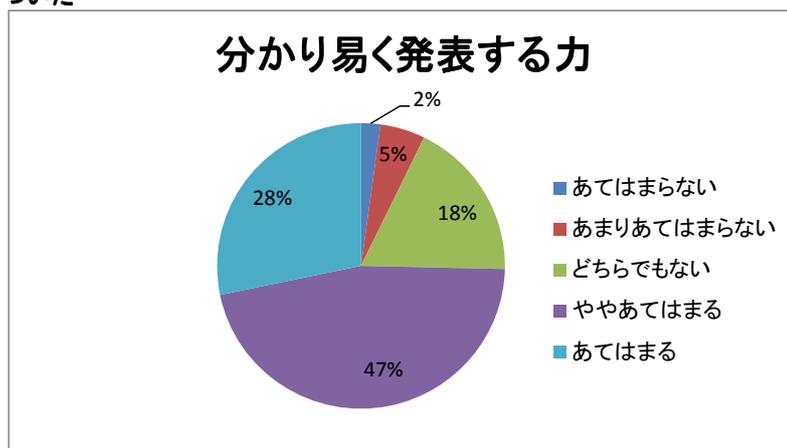
8-2 物事を批判的に考える力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	34
ややあてはまる	69
あてはまる	31
未回答	0



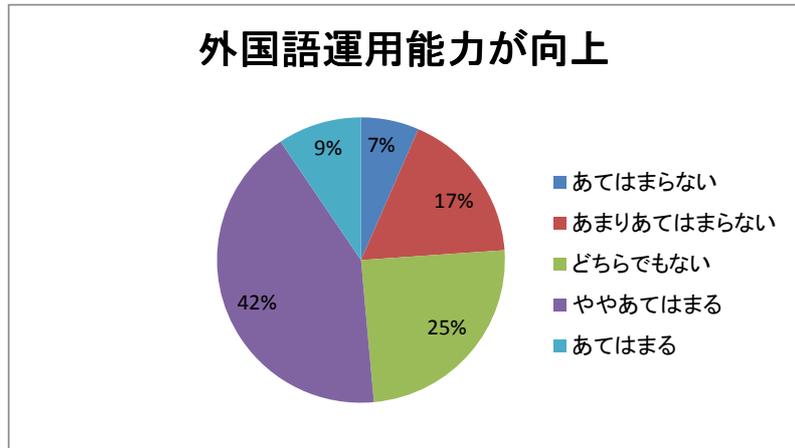
8-3 研究成果を分かり易く発表する力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	7
どちらでもない	25
ややあてはまる	64
あてはまる	39
未回答	0



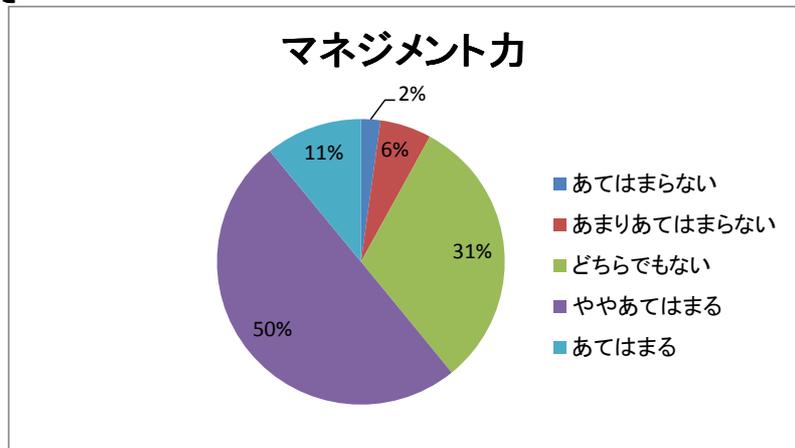
8-4 外国語(英語)運用能力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	9
あまりあてはまらない	24
どちらでもない	34
ややあてはまる	58
あてはまる	13
未回答	0



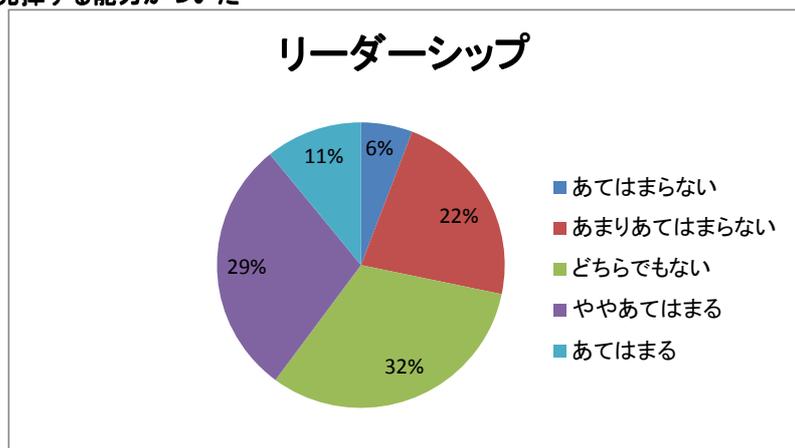
8-5 研究に関するマネジメント力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	8
どちらでもない	43
ややあてはまる	69
あてはまる	15
未回答	0



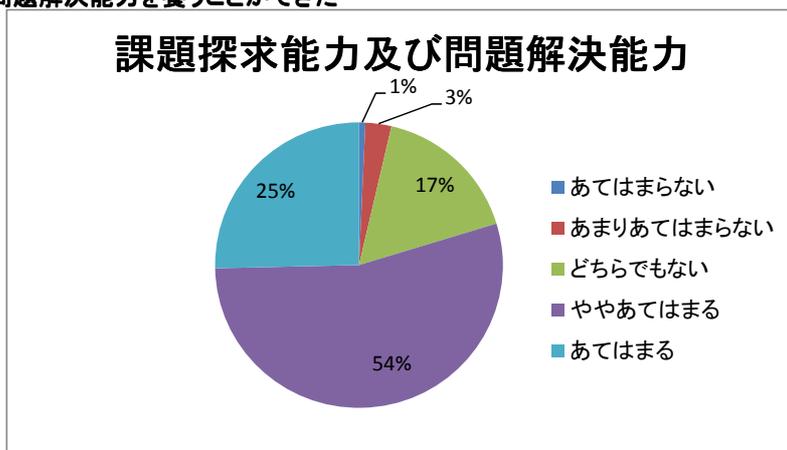
8-6 研究推進においてリーダーシップを発揮する能力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	8
あまりあてはまらない	31
どちらでもない	44
ややあてはまる	40
あてはまる	15
未回答	0



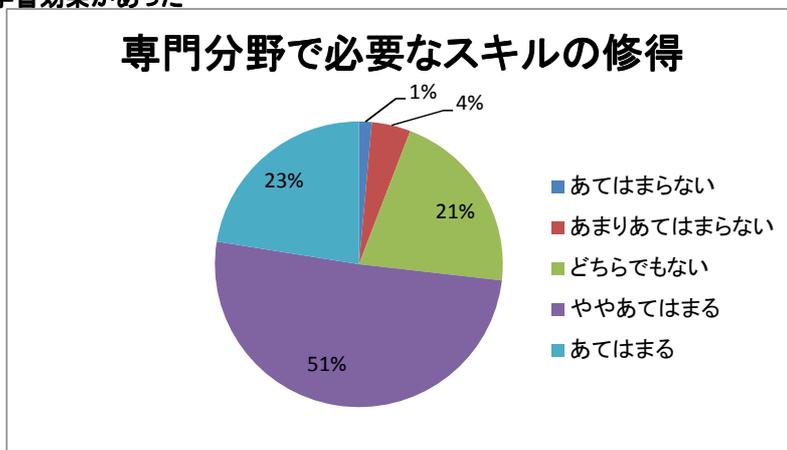
8-7 研究等を通じて課題探求能力及び問題解決能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	23
ややあてはまる	75
あてはまる	35
未回答	0



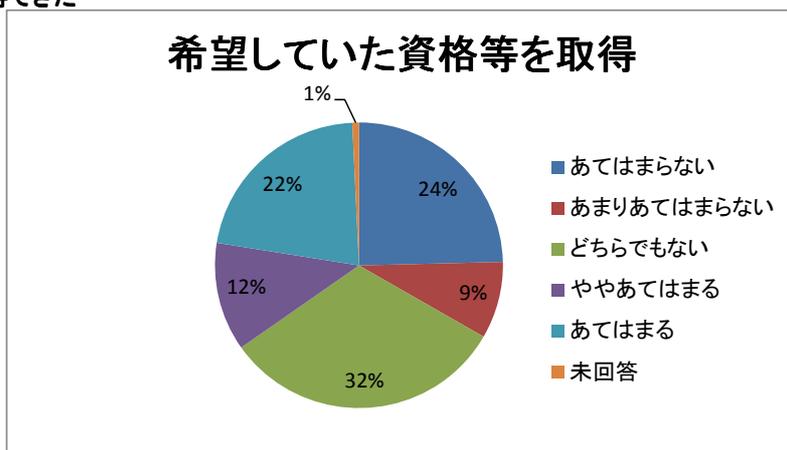
8-8 専門分野で必要なスキルの修得で学習効果があった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	6
どちらでもない	29
ややあてはまる	70
あてはまる	31
未回答	0



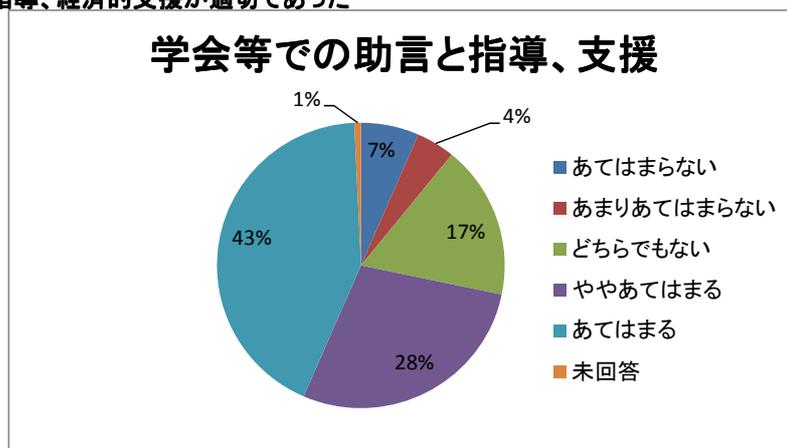
8-9 入学時に希望していた資格等を取得できた

選択肢	回答
あてはまらない	34
あまりあてはまらない	12
どちらでもない	44
ややあてはまる	17
あてはまる	30
未回答	1



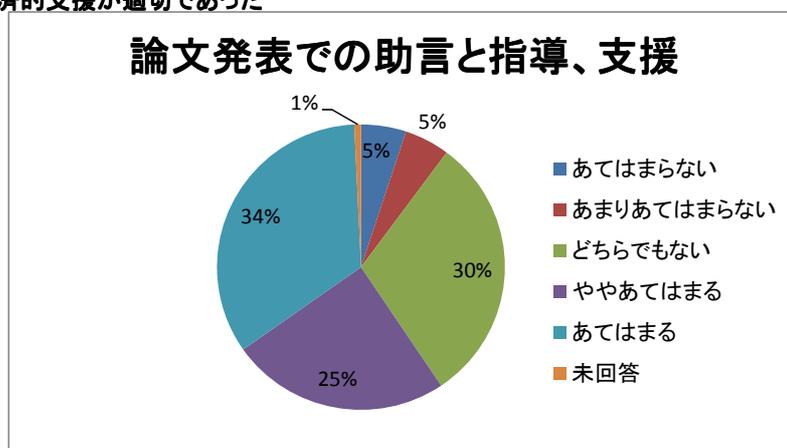
8-10 学会等での発表に際して、助言と指導、経済的支援が適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	9
あまりあてはまらない	6
どちらでもない	24
ややあてはまる	39
あてはまる	59
未回答	1



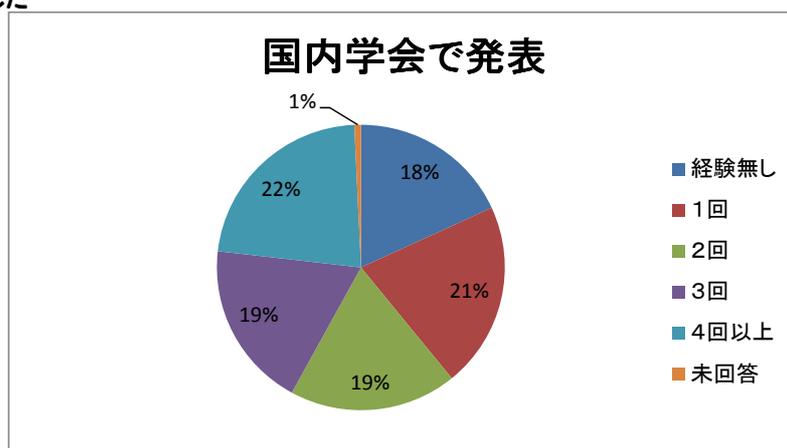
8-11 論文発表に関する助言と指導、経済的支援が適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	7
あまりあてはまらない	7
どちらでもない	42
ややあてはまる	34
あてはまる	47
未回答	1



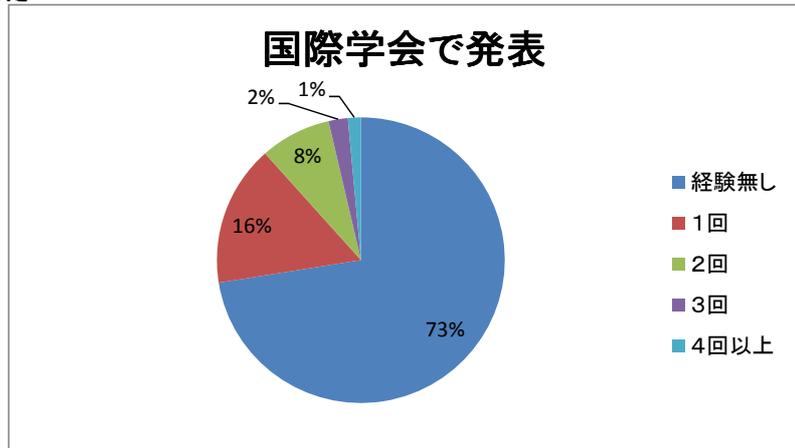
8-12 大学院在学中に国内学会で発表した

選択肢	回答
経験無し	25
1回	29
2回	26
3回	26
4回以上	31
未回答	1



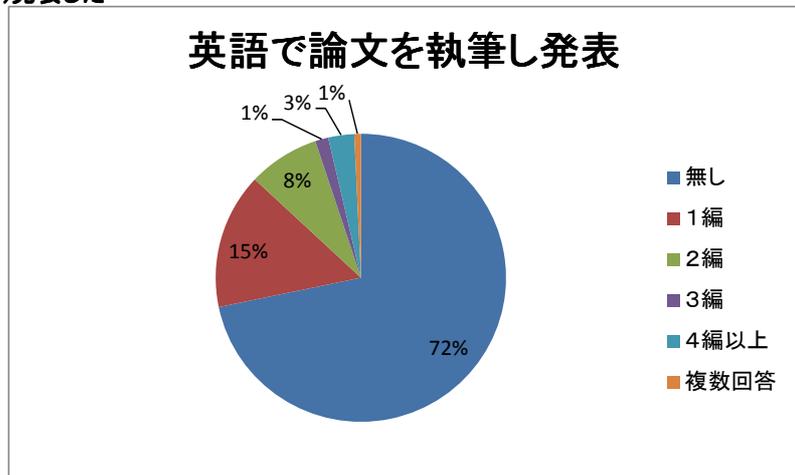
8-13 大学院在学中に国際学会で発表した

選択肢	回答
経験無し	100
1回	22
2回	11
3回	3
4回以上	2
未回答	0



8-14 英語で論文を執筆し(共著も含めて)発表した

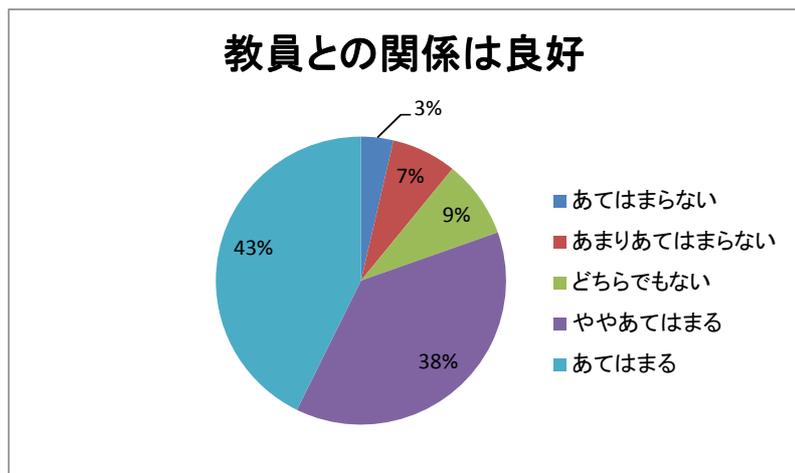
選択肢	回答
無し	99
1編	21
2編	11
3編	2
4編以上	4
複数回答	1



問10: 大学院での学生生活についてお尋ねします。

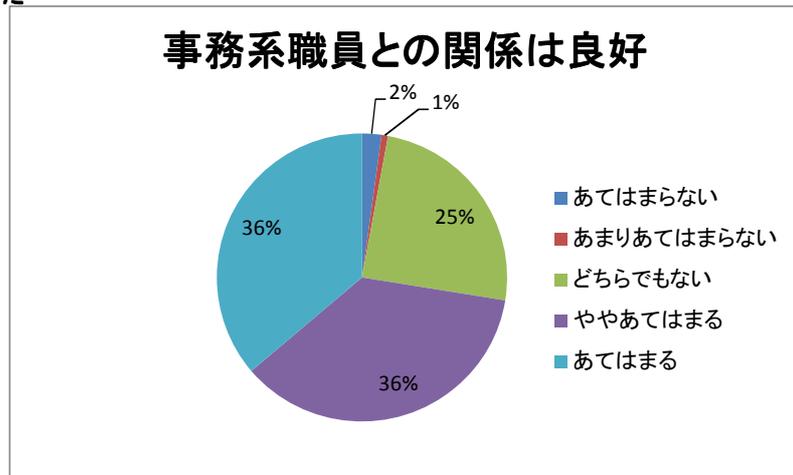
10-1 教員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	5
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	12
ややあてはまる	52
あてはまる	59
未回答	0



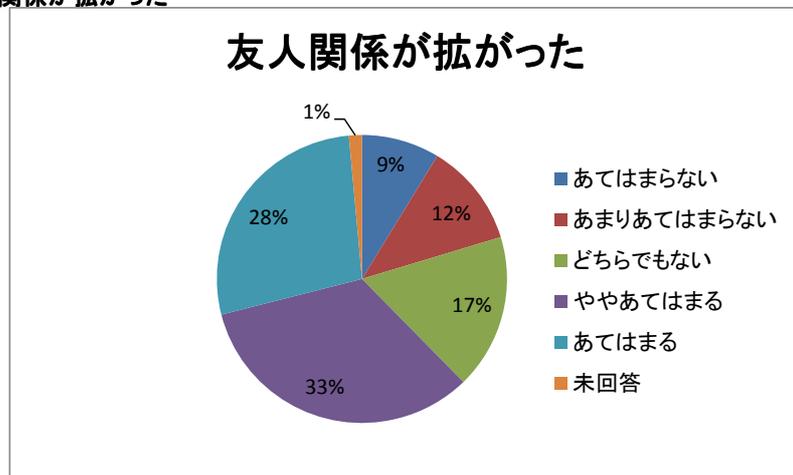
10-2 事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	34
ややあてはまる	50
あてはまる	50
未回答	0



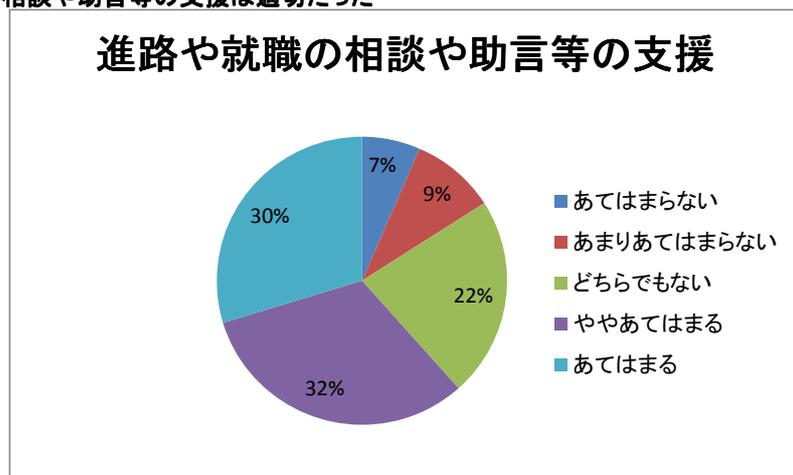
10-3 共同研究等の活動をととして友人関係が広がった

選択肢	回答
あてはまらない	12
あまりあてはまらない	16
どちらでもない	24
ややあてはまる	46
あてはまる	38
未回答	2



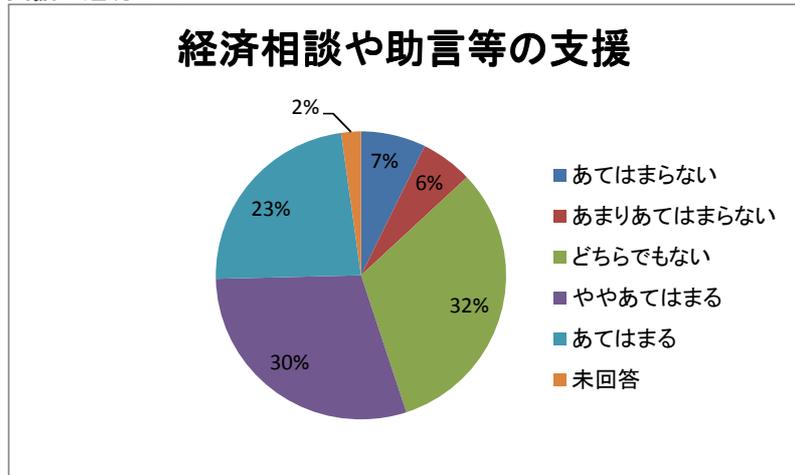
10-4 教職員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	9
あまりあてはまらない	13
どちらでもない	31
ややあてはまる	44
あてはまる	41
未回答	0



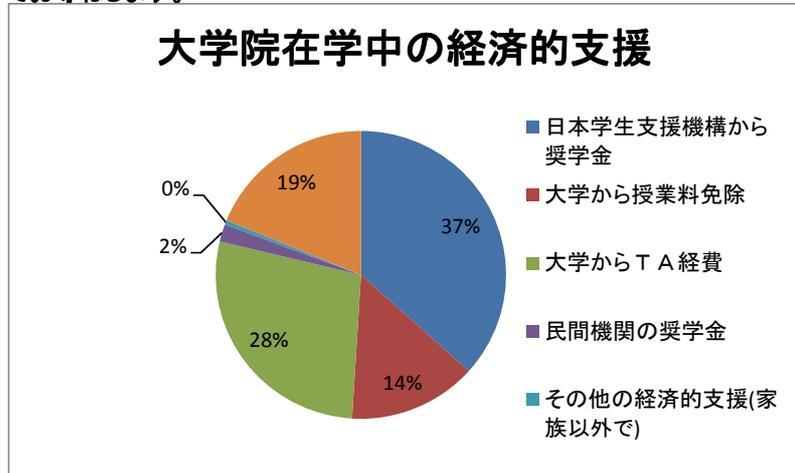
10-5 教職員による経済相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	10
あまりあてはまらない	8
どちらでもない	44
ややあてはまる	41
あてはまる	32
未回答	3



問12: 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

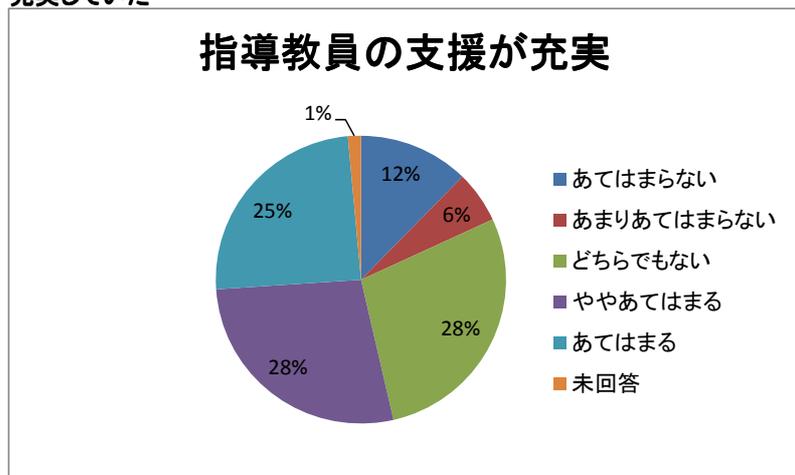
選択肢	回答
日本学生支援機構から奨学金	74
大学から授業料免除	29
大学からTA経費	56
民間機関の奨学金	4
その他の経済的支援(家族以外で)	1
公的な経済的支援は受けていなかった	38



問14: 大学院修了後の進路選択についてお尋ねします。

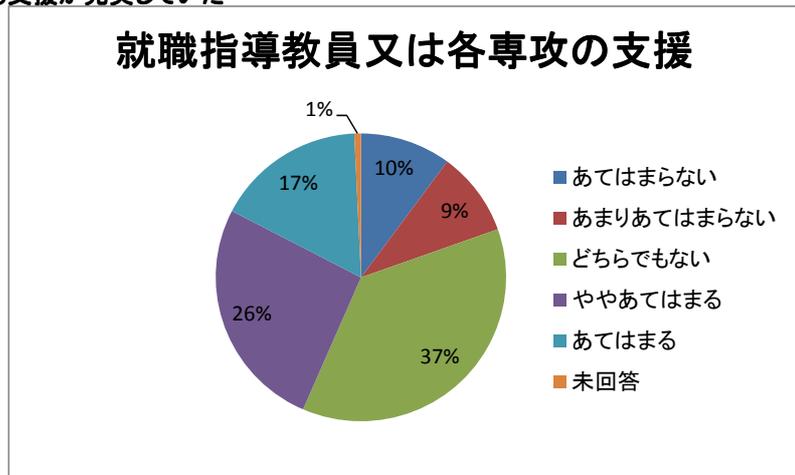
14-1 指導教員(正・副)の支援(相談等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	17
あまりあてはまらない	8
どちらでもない	39
ややあてはまる	38
あてはまる	34
未回答	2



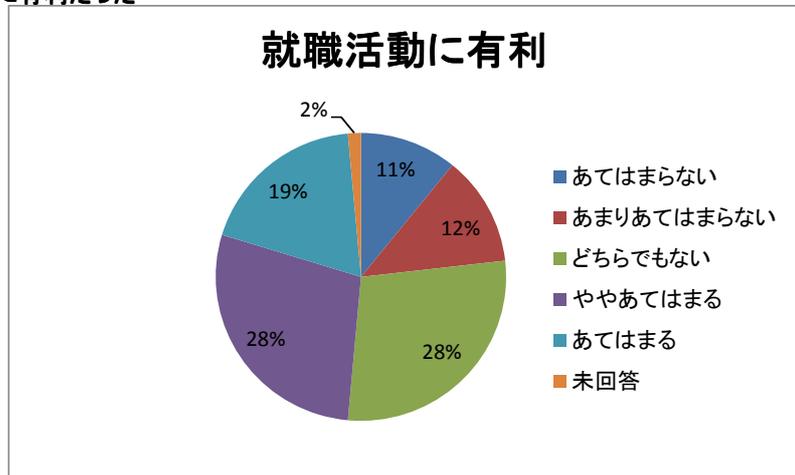
14-2 就職指導教員又は各専攻における支援が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	14
あまりあてはまらない	13
どちらでもない	51
ややあてはまる	36
あてはまる	23
未回答	1



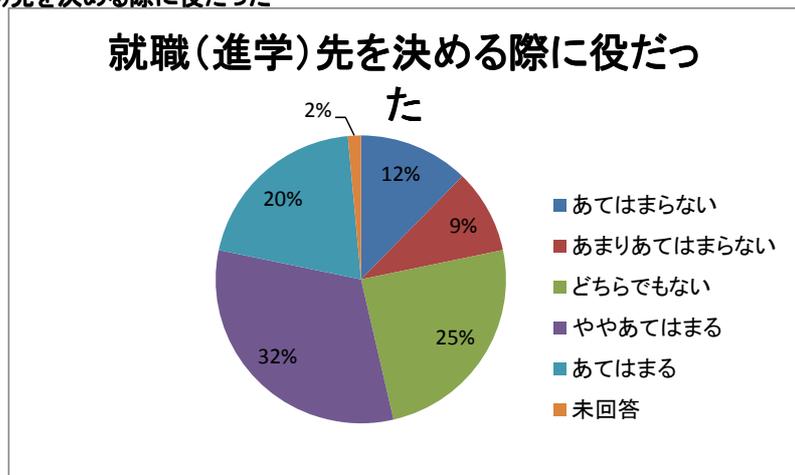
14-3 大学院で学修したことが就職活動に有利だった

選択肢	回答
あてはまらない	15
あまりあてはまらない	17
どちらでもない	39
ややあてはまる	39
あてはまる	26
未回答	2



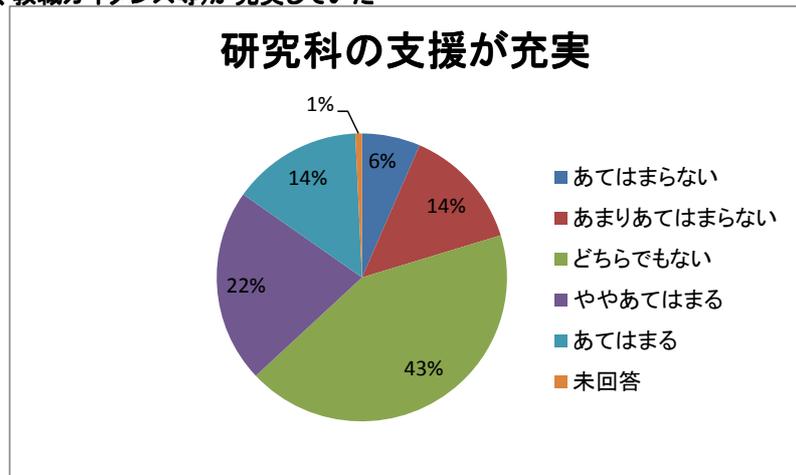
14-4 大学院で学修したことが就職(進学)先を決める際に役だった

選択肢	回答
あてはまらない	17
あまりあてはまらない	13
どちらでもない	34
ややあてはまる	44
あてはまる	28
未回答	2



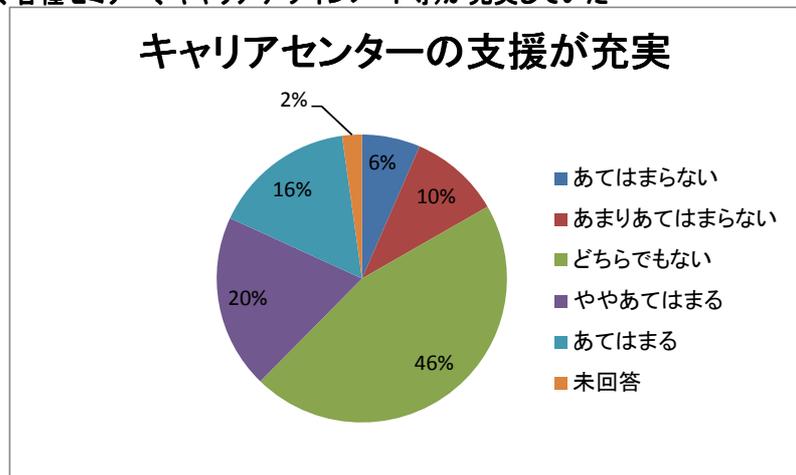
14-5 研究科の支援(キャリアガイダンス、教職ガイダンス等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	9
あまりあてはまらない	19
どちらでもない	59
ややあてはまる	30
あてはまる	20
未回答	1



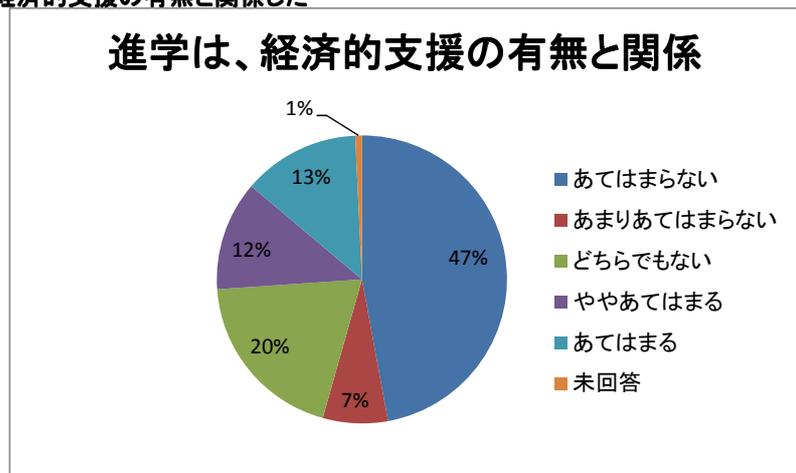
14-6 キャリアセンターの支援(進路相談、各種セミナー、キャリアデザインノート等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	9
あまりあてはまらない	14
どちらでもない	63
ややあてはまる	27
あてはまる	22
未回答	3



14-7 後期課程に進学するかどうかは、経済的支援の有無と関係した

選択肢	回答
あてはまらない	65
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	27
ややあてはまる	17
あてはまる	18
未回答	1



研究科総評

研究科： 先端物質科学研究科

1. 集計結果のまとめ

アンケートは web 上 (My もみじ) で実施した。調査対象学生は博士課程前期に所属の 91 名で、そのうち 48 名が回答し、回答率は 53%であった。

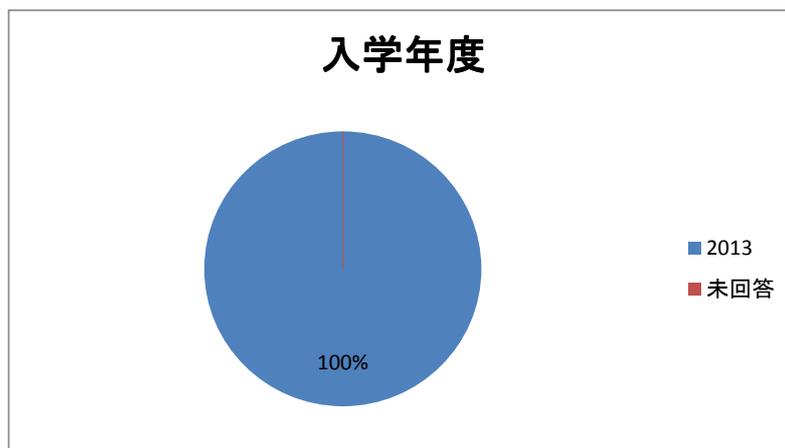
メールによる学生への周知を行い、また、修士論文題目 (提出期限：平成 26 年 1 月 20 日) 及び修士論文 (提出期限：平成 26 年 2 月 14 日) 提出にきた学生に対して学生支援室よりアンケートに回答するよう個別に案内した。これにより、回答率は平成 24 年度より向上した (43%→53%)。

2. 次年度に向けた対応

研究科の事業・支援体制についての質問「大学院学生海外派遣制度による海外での学会参加に対する支援」に対し、約 90%が「強くそう思う」又は「そう思う」と回答しており、平成 24 年度より高い満足度を示している。さらに修学支援を推進するため、平成 25 年度に新設された「大学院学生の国内における国際学会発表支援制度」等の各種制度を継続して実施する。また、平成 26 年度からは、「大学院学生短期留学支援制度」を導入し、留学に関する支援の充実を図る。

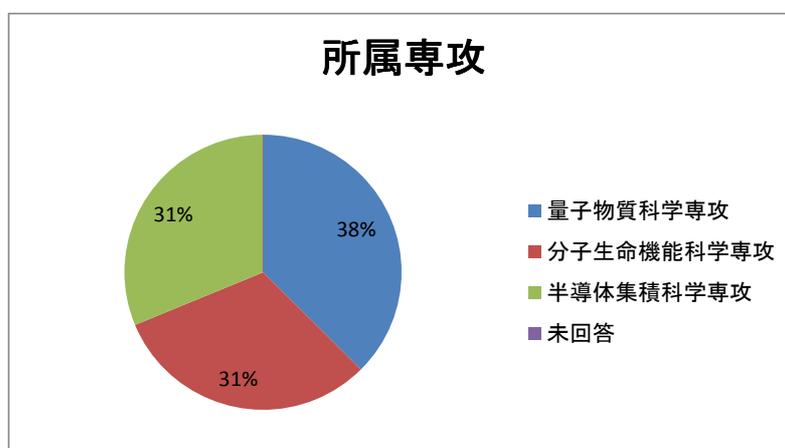
入学年度

入学年度	回答
2013	48
未回答	0



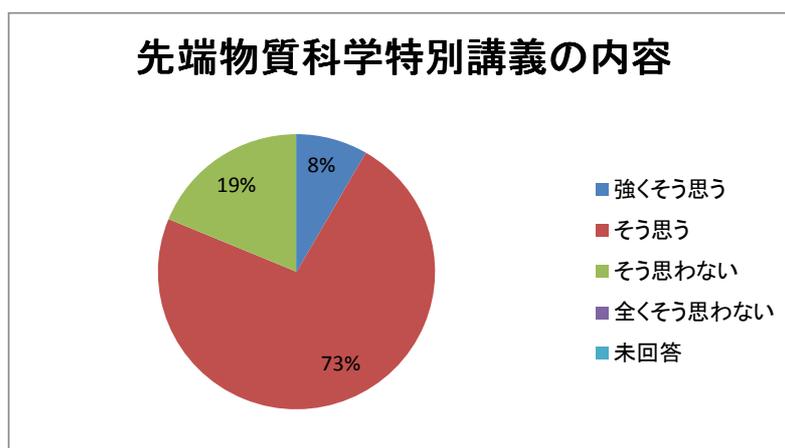
1: あなたの所属専攻を選択してください。

選択肢	回答
量子物質科学専攻	18
分子生命機能科学専攻	15
半導体集積科学専攻	15
未回答	0



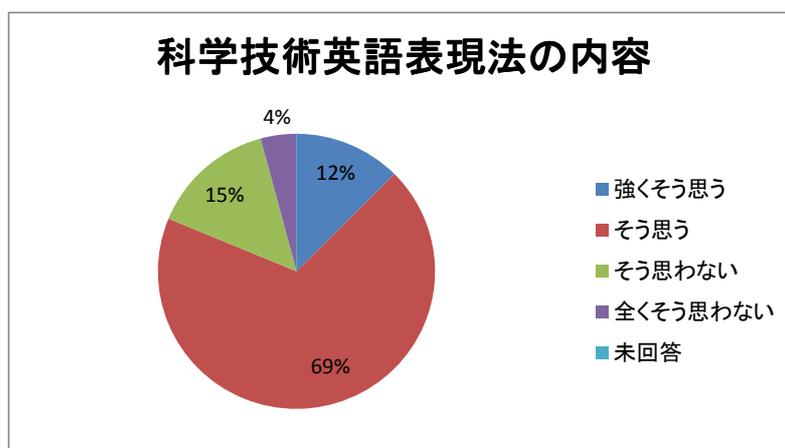
2: 必修科目「先端物質科学特別講義」は、研究科の教育研究分野全体を概観するための導入科目として有意義な内容でした。

選択肢	回答
強くそう思う	4
そう思う	35
そう思わない	9
全くそう思わない	0
未回答	0



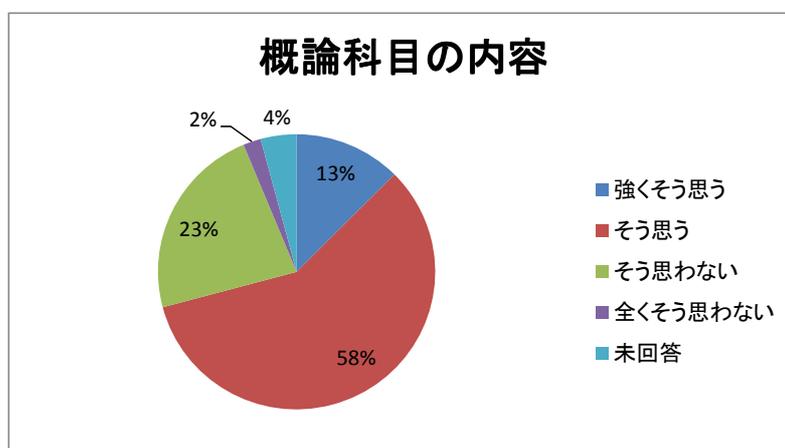
3: 必須科目「科学技術英語表現法」は、英語でのコミュニケーション能力及び論文作成能力の向上を図るために有意義な内容でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	6
そう思う	33
そう思わない	7
全くそう思わない	2
未回答	0



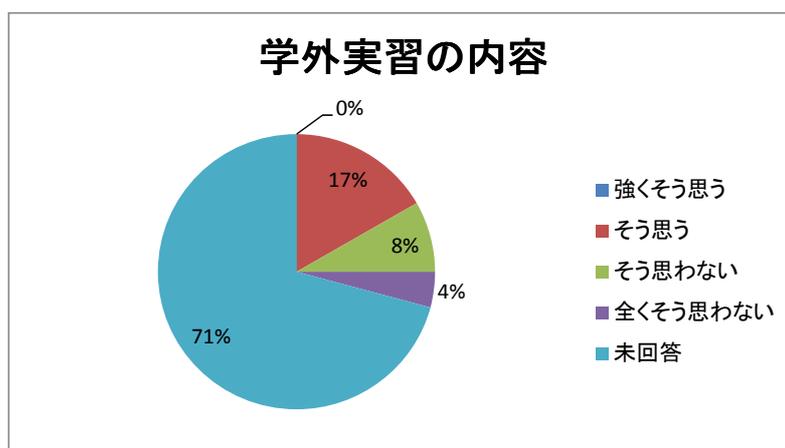
4: 概論科目(「物質科学概論」「生命科学概論」「エレクトロニクス概論」)は、他分野の基礎を学ぶ入門科目として有意義な内容でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	6
そう思う	28
そう思わない	11
全くそう思わない	1
未回答	2



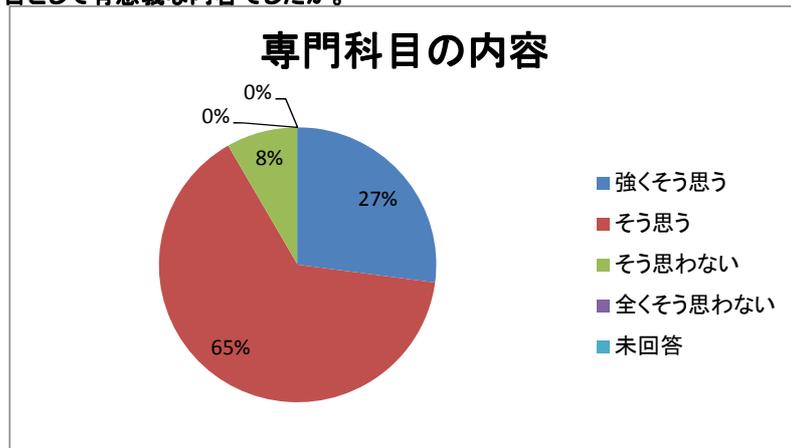
5: 「学外実習」(インターンシップ)は、社会から求められる実務能力を知り、自身の研究に活かすことのできるような内容でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	0
そう思う	8
そう思わない	4
全くそう思わない	2
未回答	34



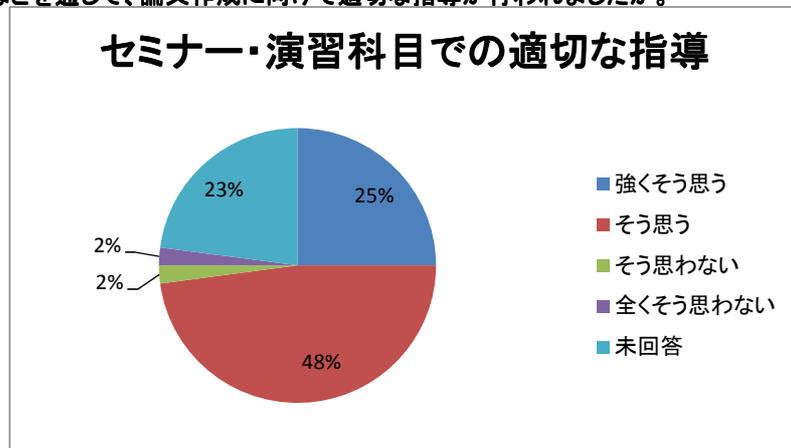
6: 専門科目は、高度な専門知識を養う科目として有意義な内容でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	13
そう思う	31
そう思わない	4
全くそう思わない	0
未回答	0



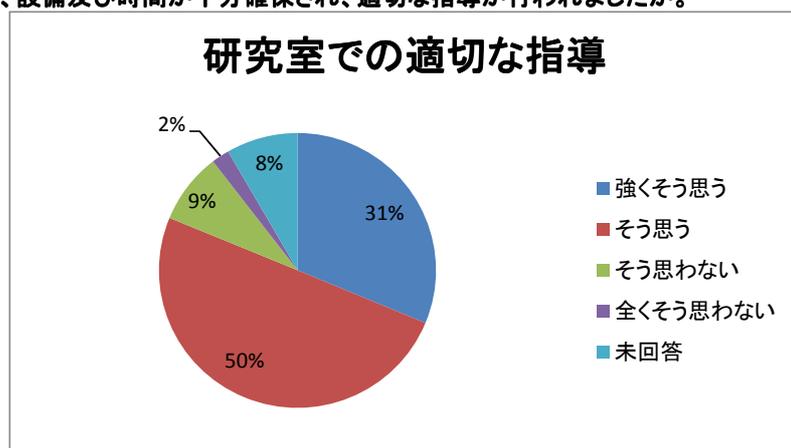
7: セミナー・演習科目では、発表や議論などを通じて、論文作成に向けて適切な指導が行われましたか。

選択肢	回答
強くそう思う	12
そう思う	23
そう思わない	1
全くそう思わない	1
未回答	11



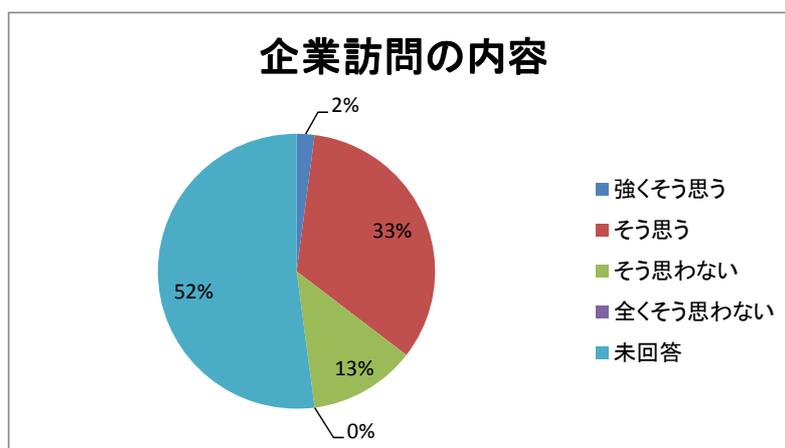
8: 研究室で行われている実験・実習では、設備及び時間が十分確保され、適切な指導が行われましたか。

選択肢	回答
強くそう思う	15
そう思う	24
そう思わない	4
全くそう思わない	1
未回答	4



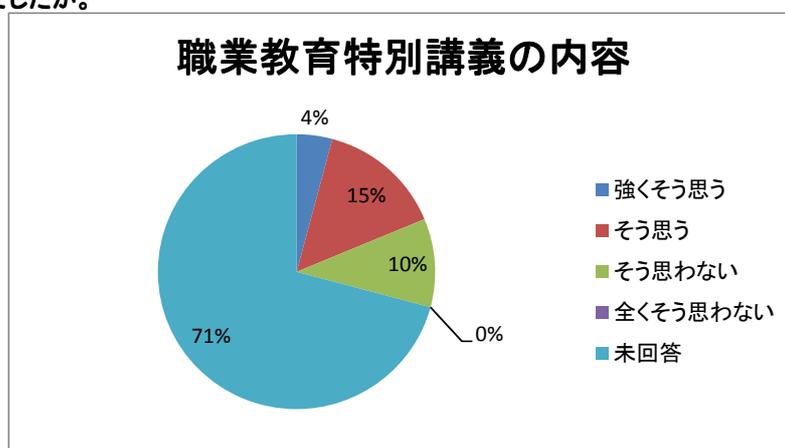
9: 社会交流事業「企業訪問」は、社会から求められる実務能力を知り、自身の研究や進路に活かすことのできるような内容でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	1
そう思う	16
そう思わない	6
全くそう思わない	0
未回答	25



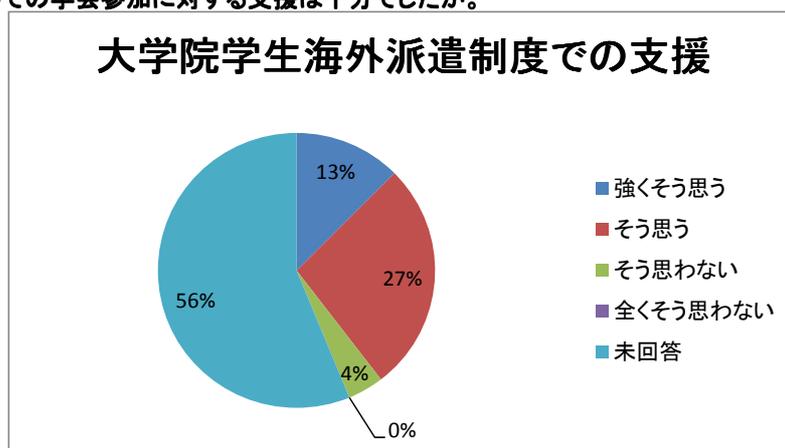
10: 「職業教育特別講義」(卒業生等を通じた社会交流事業講演会)は、社会から求められる実務能力を知り、自身の研究や進路に活かすことのできるような内容でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	2
そう思う	7
そう思わない	5
全くそう思わない	0
未回答	34



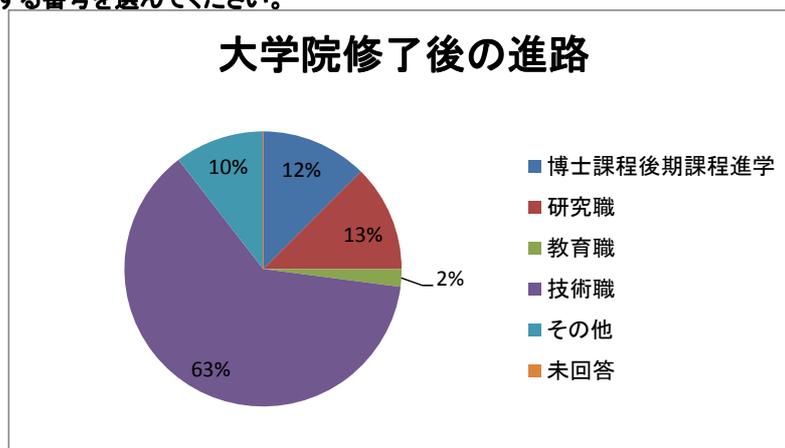
11: 大学院学生海外派遣制度による海外での学会参加に対する支援は十分でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	6
そう思う	13
そう思わない	2
全くそう思わない	0
未回答	27



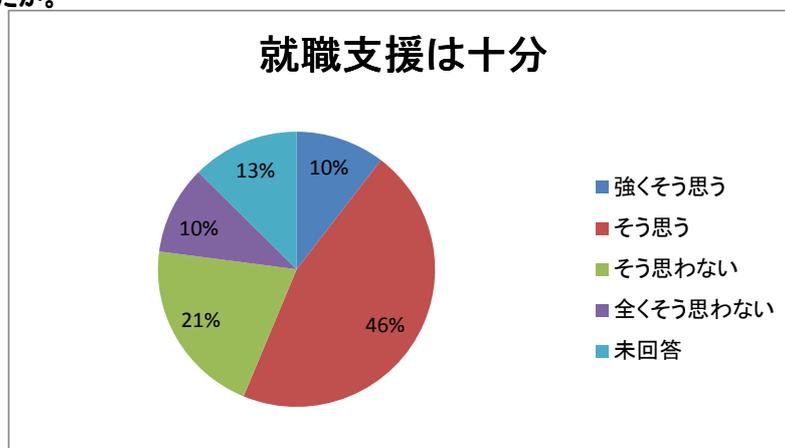
12: 大学院修了後の進路について、該当する番号を選んでください。

選択肢	回答
博士課程後期課程進学	6
研究職	6
教育職	1
技術職	30
その他	5
未回答	0



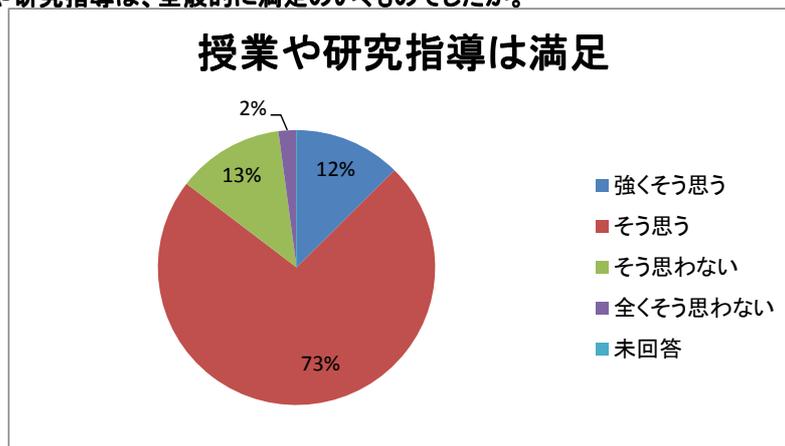
13: 各専攻における就職支援は十分でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	5
そう思う	22
そう思わない	10
全くそう思わない	5
未回答	6



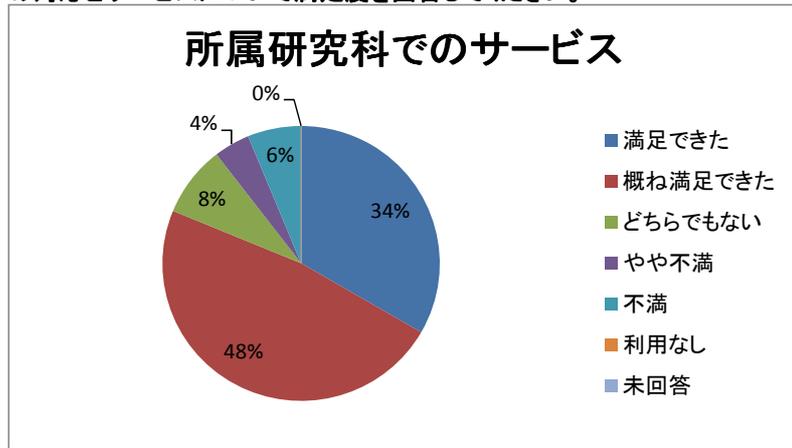
14: これまで本研究科で受けてきた授業や研究指導は、一般的に満足のものでしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	6
そう思う	35
そう思わない	6
全くそう思わない	1
未回答	0



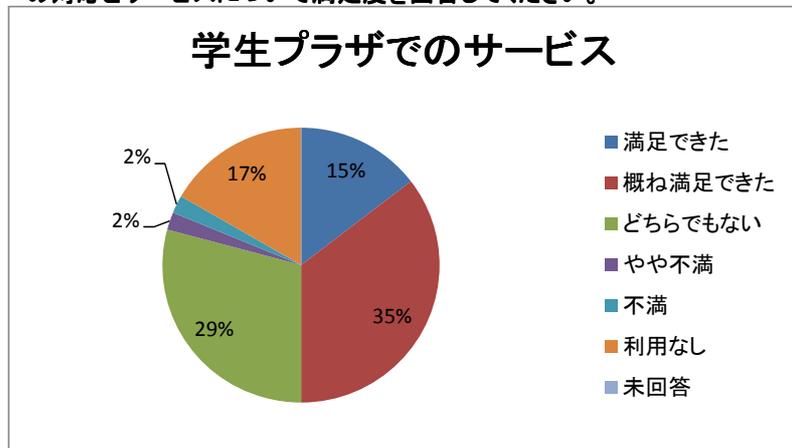
15: 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービスについて満足度を回答してください。

選択肢	回答
満足できた	16
概ね満足できた	23
どちらでもない	4
やや不満	2
不満	3
利用なし	0
未回答	0



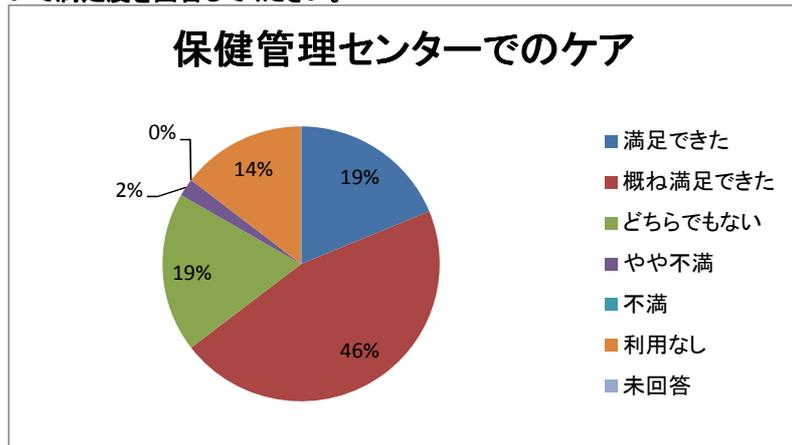
16: 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービスについて満足度を回答してください。

選択肢	回答
満足できた	7
概ね満足できた	17
どちらでもない	14
やや不満	1
不満	1
利用なし	8
未回答	0



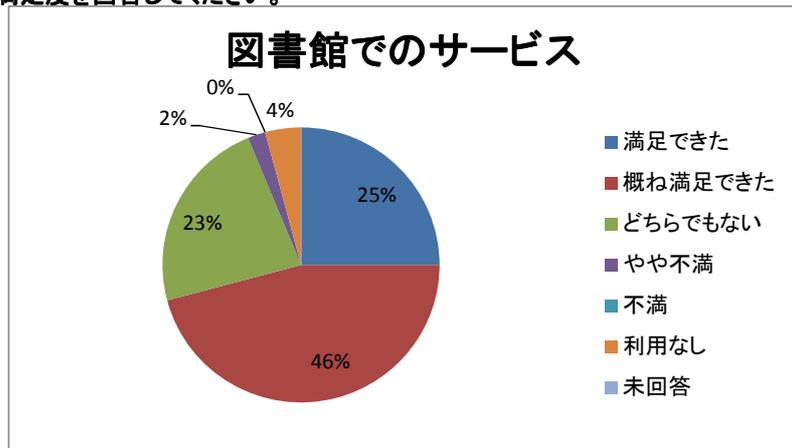
17: 保健管理センターでの対応とケアについて満足度を回答してください。

選択肢	回答
満足できた	9
概ね満足できた	22
どちらでもない	9
やや不満	1
不満	0
利用なし	7
未回答	0



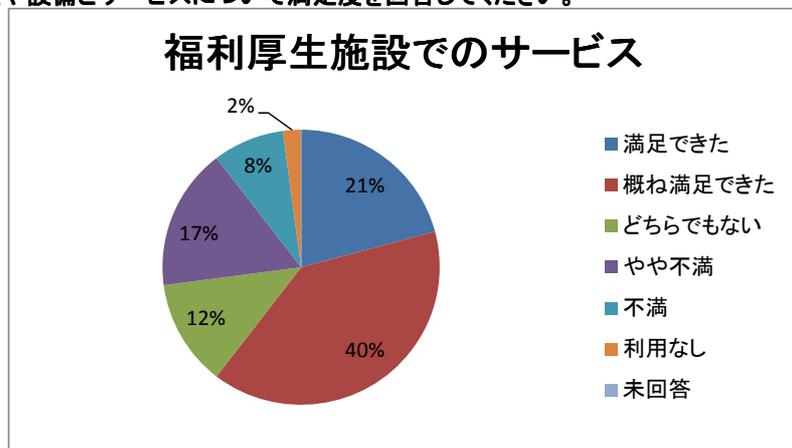
18: 図書館での対応やサービスについて満足度を回答してください。

選択肢	回答
満足できた	12
概ね満足できた	22
どちらでもない	11
やや不満	1
不満	0
利用なし	2
未回答	0



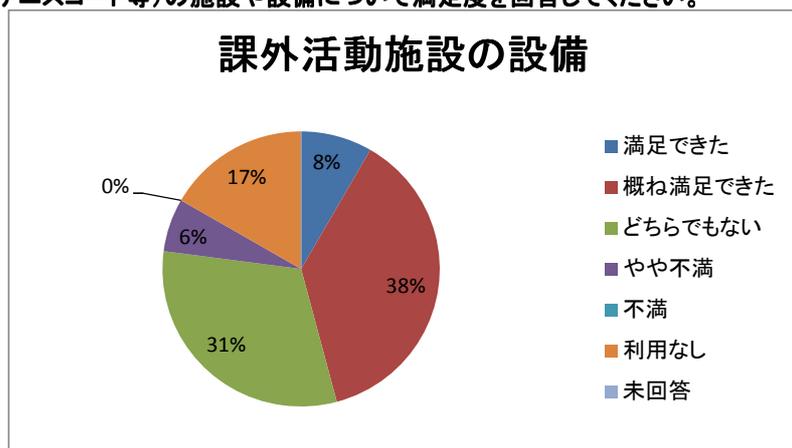
19: 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービスについて満足度を回答してください。

選択肢	回答
満足できた	10
概ね満足できた	19
どちらでもない	6
やや不満	8
不満	4
利用なし	1
未回答	0



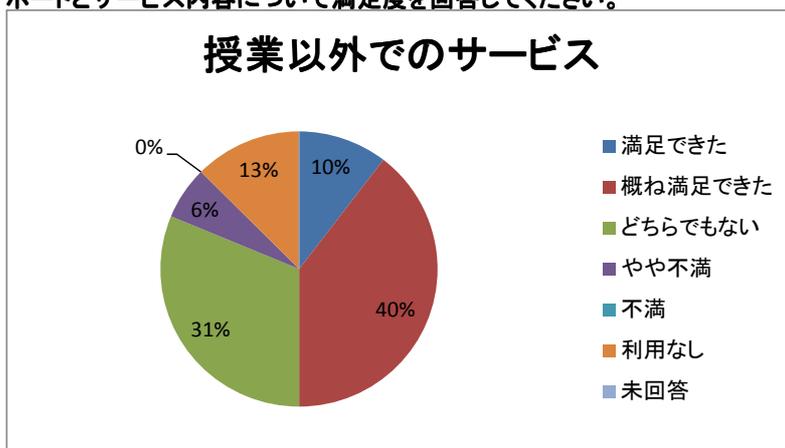
20: 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備について満足度を回答してください。

選択肢	回答
満足できた	4
概ね満足できた	18
どちらでもない	15
やや不満	3
不満	0
利用なし	8
未回答	0



21: 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容について満足度を回答してください。

選択肢	回答
満足できた	5
概ね満足できた	19
どちらでもない	15
やや不満	3
不満	0
利用なし	6
未回答	0



研究科総評

研究科：医歯薬保健学研究科

1. 集計結果のまとめ

平成25年度アンケートは平成24年度と同様に紙媒体で実施した。

調査対象学生数は、修士課程及び博士課程前期に所属する62名で、そのうち32名が回答し、回答率は52%で、全学の平均回答率69%を下回ってしまった。これは、一つの専攻の回答率が低いことが影響したためであり、その専攻の修了予定者に対する協力依頼のアナウンス等が不十分であったという理由が考えられる。

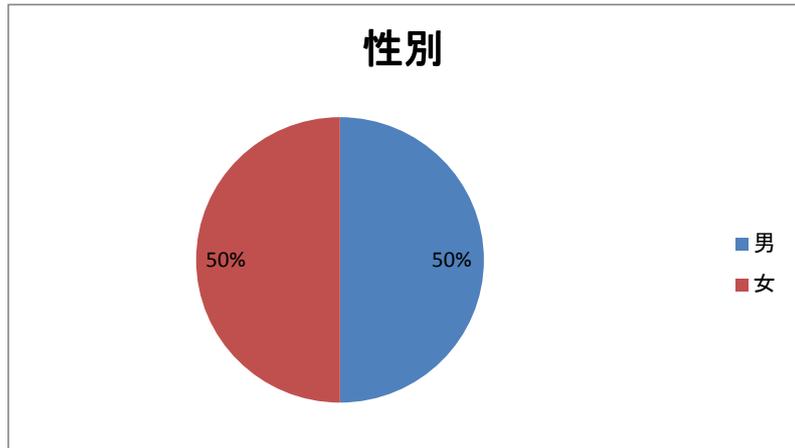
今回の設問の中で、設問6の修学・履修に関する項目では、概ね6割以上の回答者が充実（満足）していたと回答している。また、設問7の能力に関する項目では、概ね7割以上の回答者が大学院入学時と比べて能力が向上したと回答している。これらのことから医歯薬保健学研究科博士課程前期（修士課程）における教育内容は学生に受け入れられ、成果が出ているものとする。

2. 次年度に向けた対応

平成25年度アンケートでは、一部協力が得られなかった点を反省し、平成26年度は回答率を上げる依頼方法を検討したうえでアンケートを実施する必要がある。アンケートの回答率が上がることにより、アンケート結果がより信頼できる内容となれば大学院博士課程前期（修士課程）における自己点検とその改善等の基礎資料として活用できるものとする。

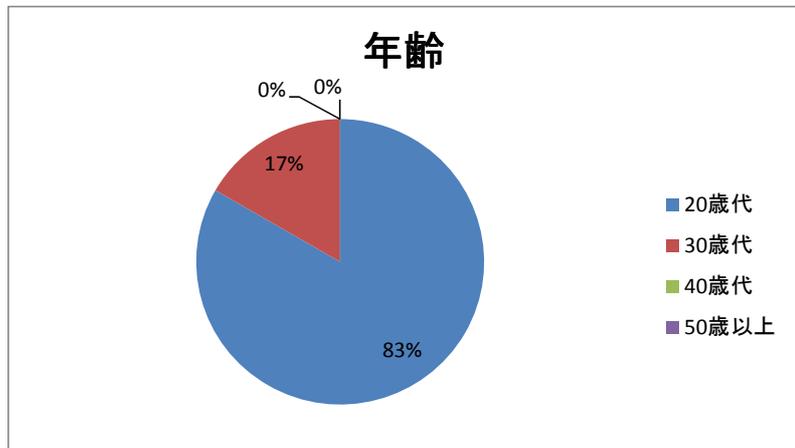
性別

選択肢	回答
男	3
女	3
未回答	0



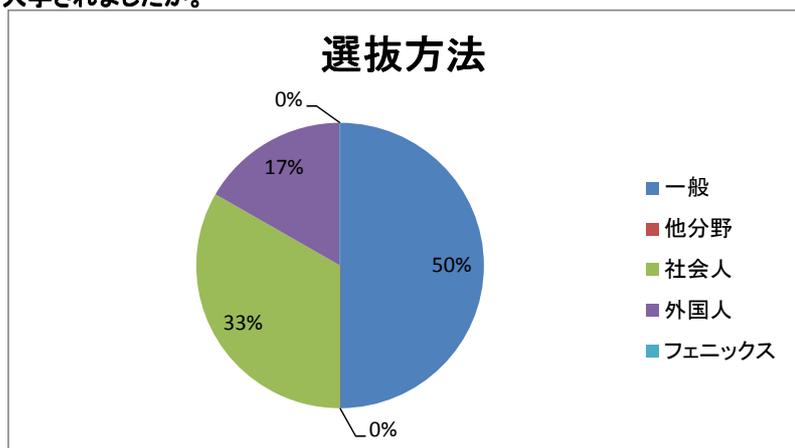
年齢

選択肢	回答
20歳代	5
30歳代	1
40歳代	0
50歳以上	0
未回答	0



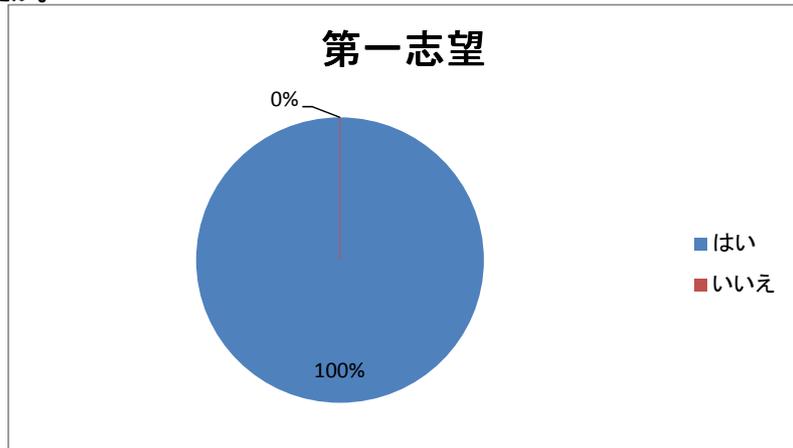
問2: 本研究科へはどのような選抜方法で入学されましたか。

選択肢	回答
一般	3
他分野	0
社会人	2
外国人	1
フェニックス	0
未回答	0



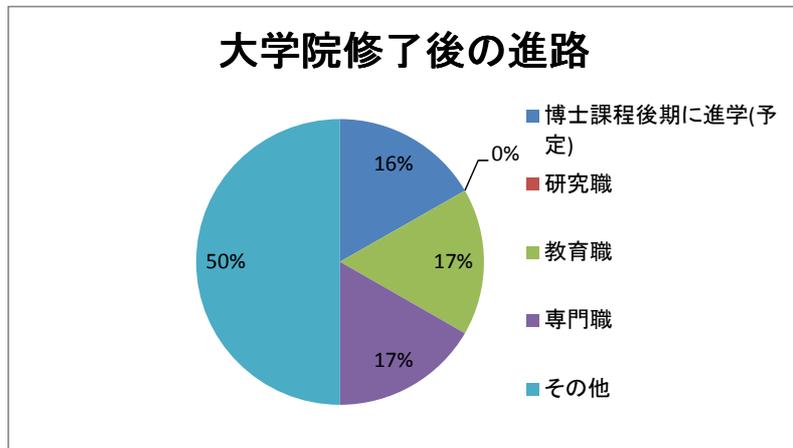
問3: 本研究科への進学は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	6
いいえ	0
未回答	0



問4: 大学院修了後の進路について。

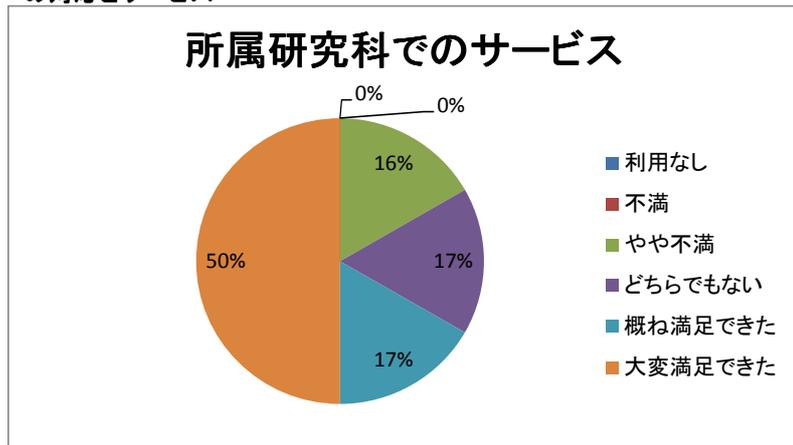
選択肢	回答
博士課程後期に進学(予定)	1
研究職	0
教育職	1
専門職	1
その他	3
未回答	0



問5: 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

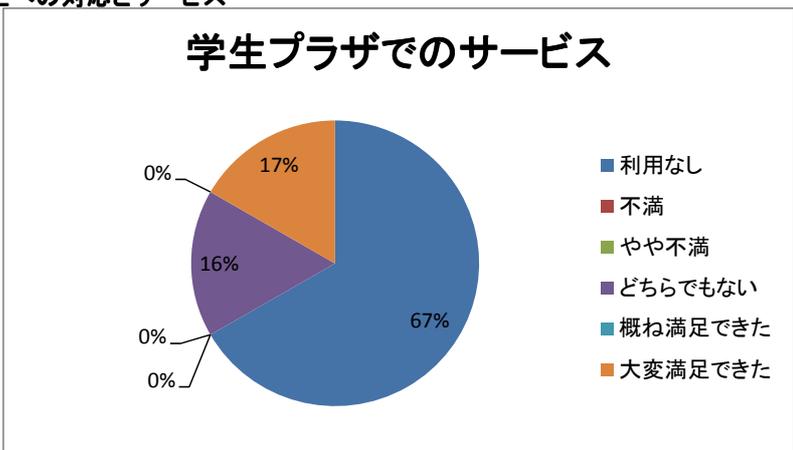
5-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	1
概ね満足できた	1
大変満足できた	3
未回答	0



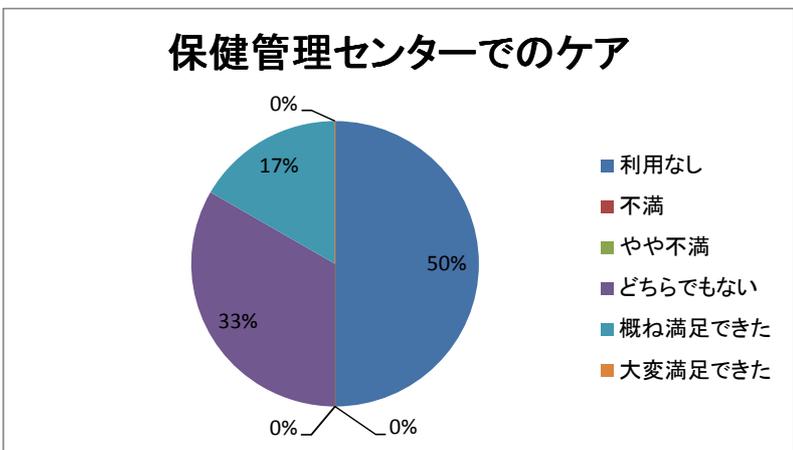
5-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	4
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	0
大変満足できた	1
未回答	0



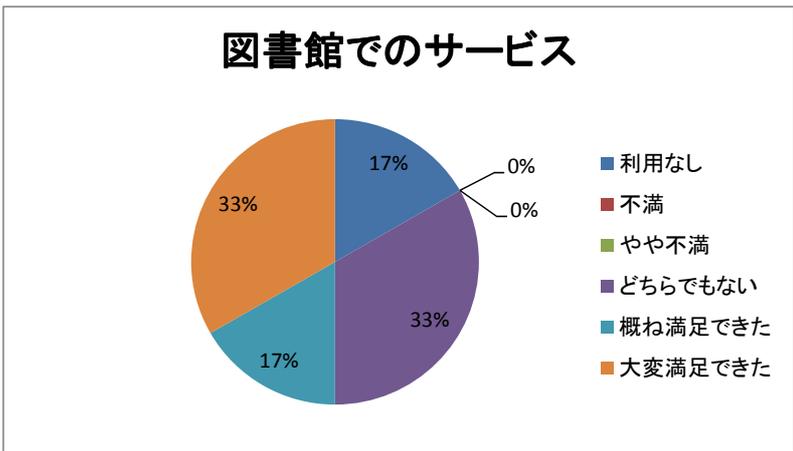
5-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	3
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	1
大変満足できた	0
未回答	0



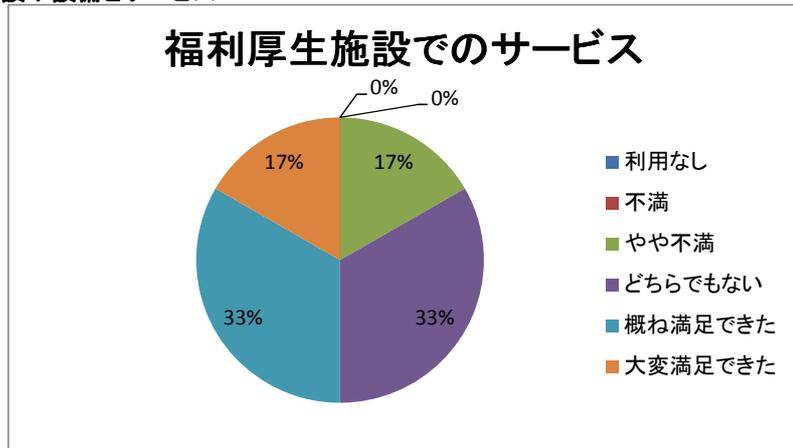
5-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	1
大変満足できた	2
未回答	0



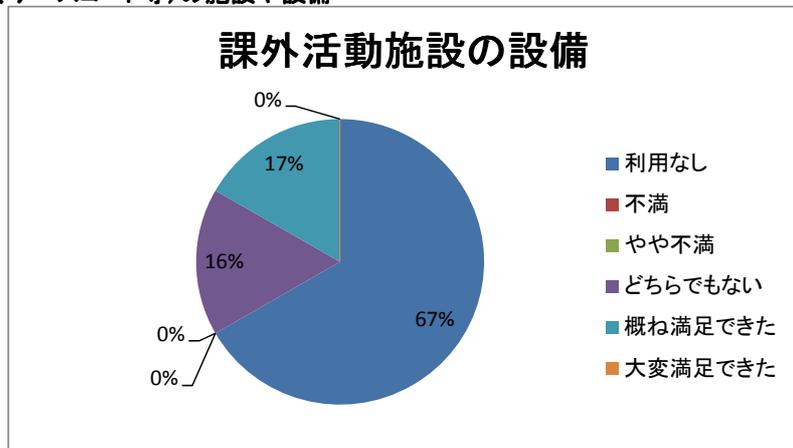
5-5 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	2
概ね満足できた	2
大変満足できた	1
未回答	0



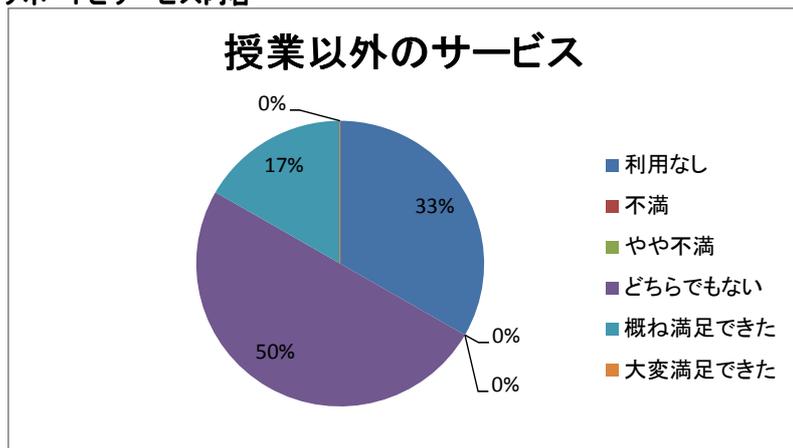
5-6 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	4
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	1
大変満足できた	0
未回答	0



5-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

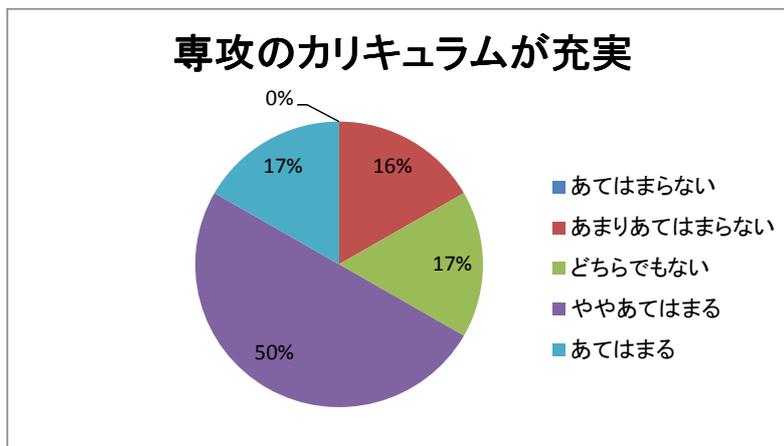
選択肢	回答
利用なし	2
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	3
概ね満足できた	1
大変満足できた	0
未回答	0



問6: 修学・履修に関する以下の項目についてお尋ねします。

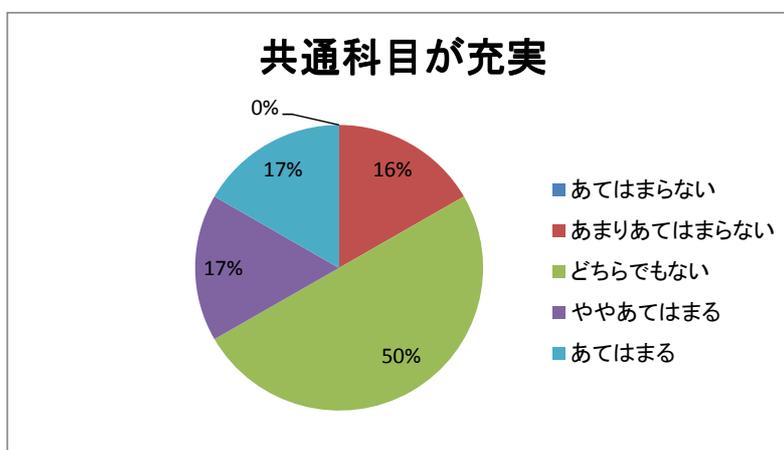
6-1 専攻のカリキュラムが充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	1
未回答	0



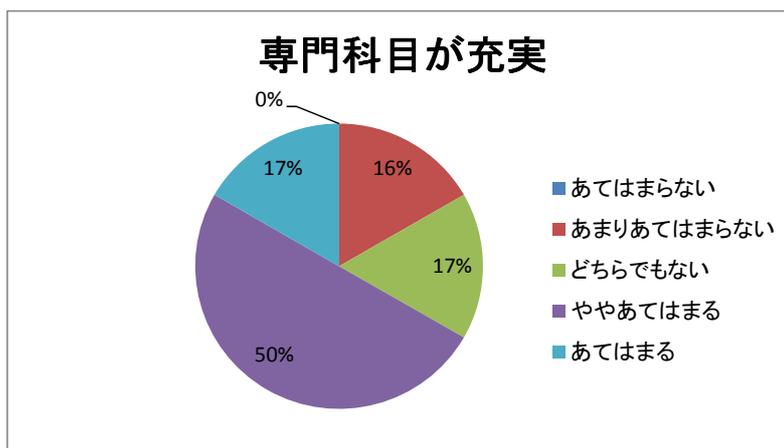
6-2 共通科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	1
あてはまる	1
未回答	0



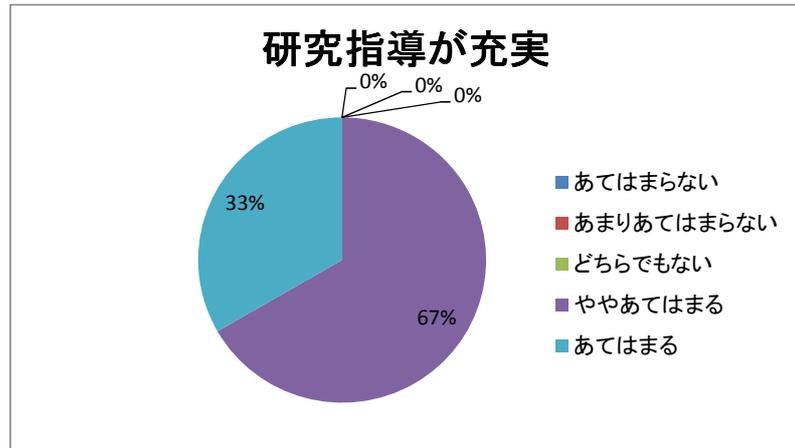
6-3 専門科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	1
未回答	0



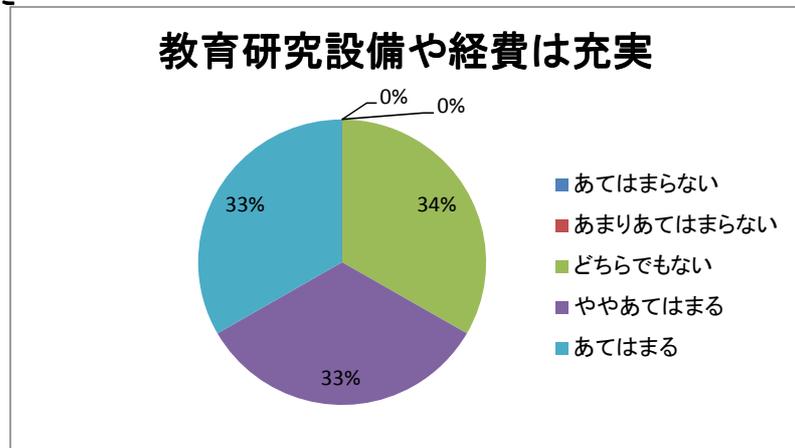
6-4 研究指導が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	4
あてはまる	2
未回答	0



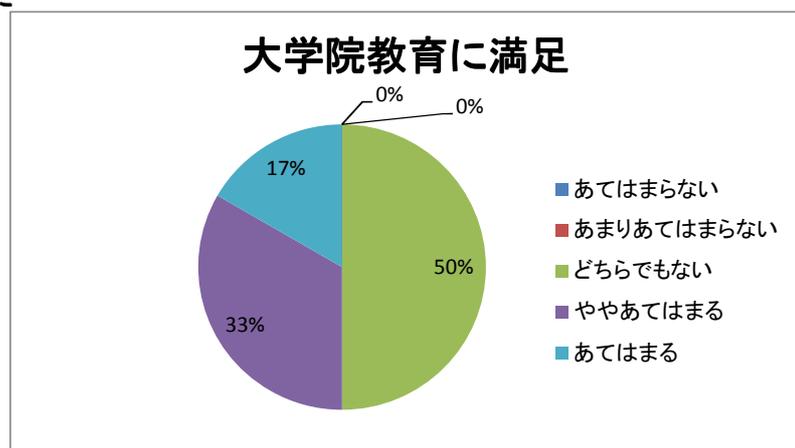
6-5 教育研究設備や経費は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	2
あてはまる	2
未回答	0



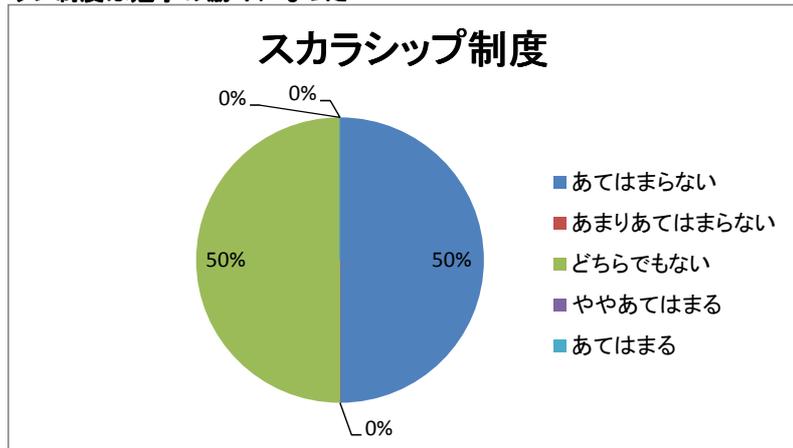
6-6 全体的に大学院教育に満足であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	2
あてはまる	1
未回答	0



6-7 エクセレント・スチューデント・スカラシップ制度は勉学の励みになった

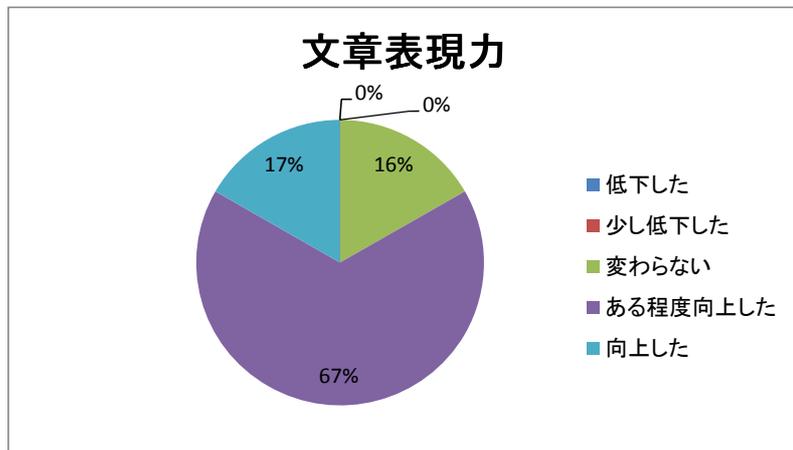
選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	0
あてはまる	0
未回答	0



問7: 大学院入学時と比較して、貴方の以下の能力はどの程度変化しましたか？

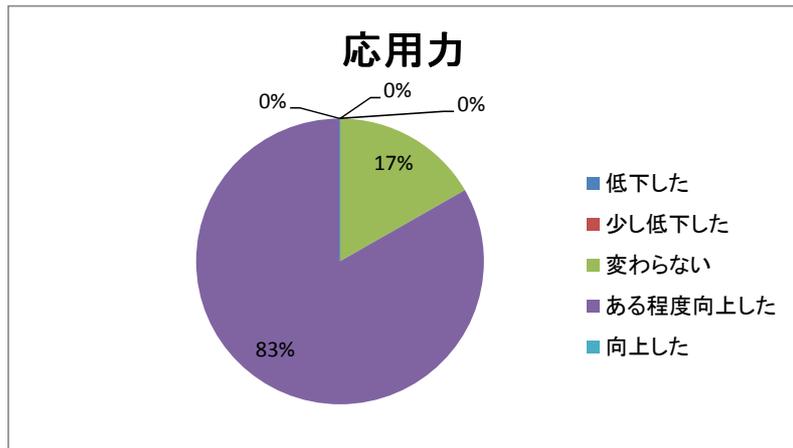
7-1 文章表現力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	1
ある程度向上した	4
向上した	1
未回答	0



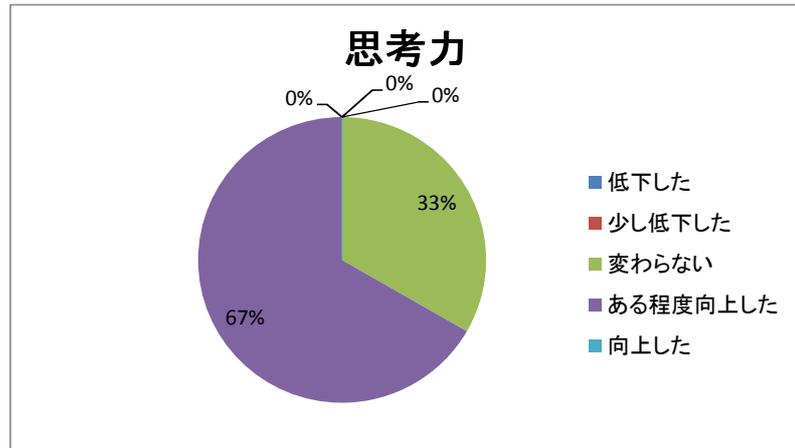
7-2 応用力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	1
ある程度向上した	5
向上した	0
未回答	0



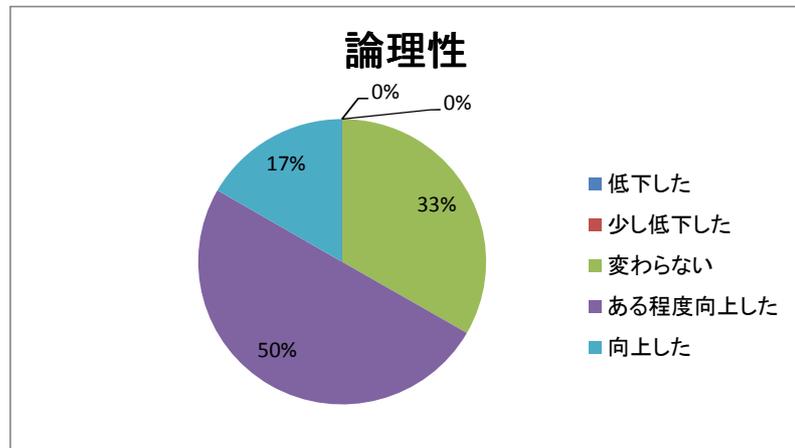
7-3 思考力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	2
ある程度向上した	4
向上した	0
未回答	0



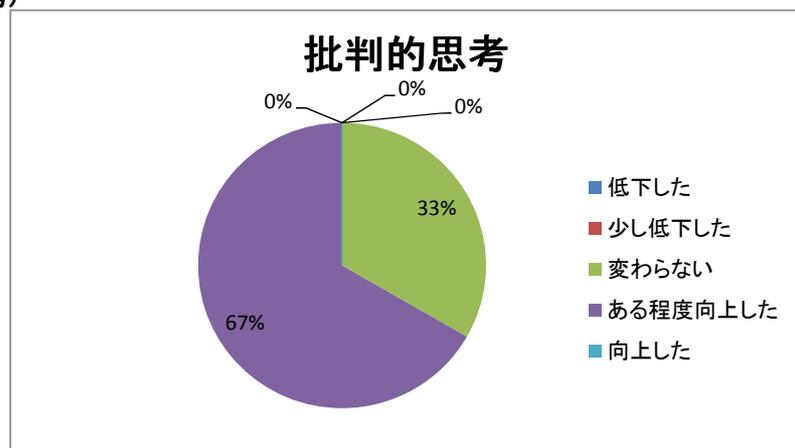
7-4 論理性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	2
ある程度向上した	3
向上した	1
未回答	0



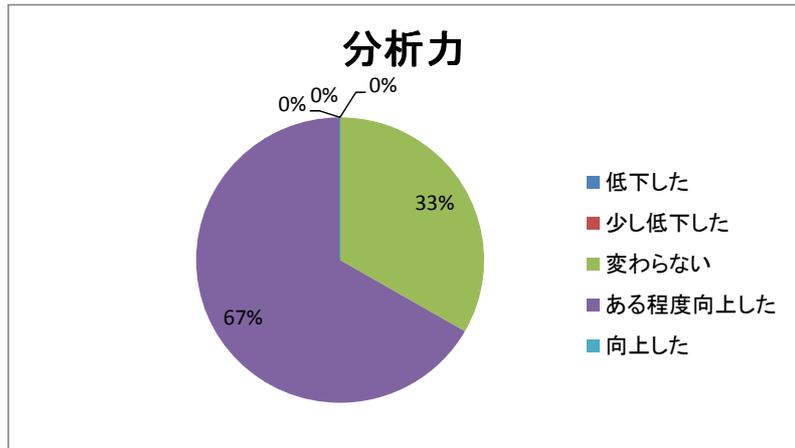
7-5 クリティカル・シンキング(批判的思考)

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	2
ある程度向上した	4
向上した	0
未回答	0



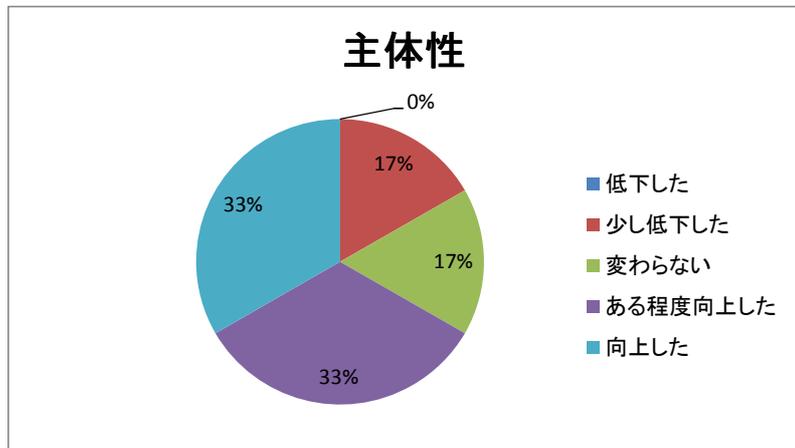
7-6 分析力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	2
ある程度向上した	4
向上した	0
未回答	0



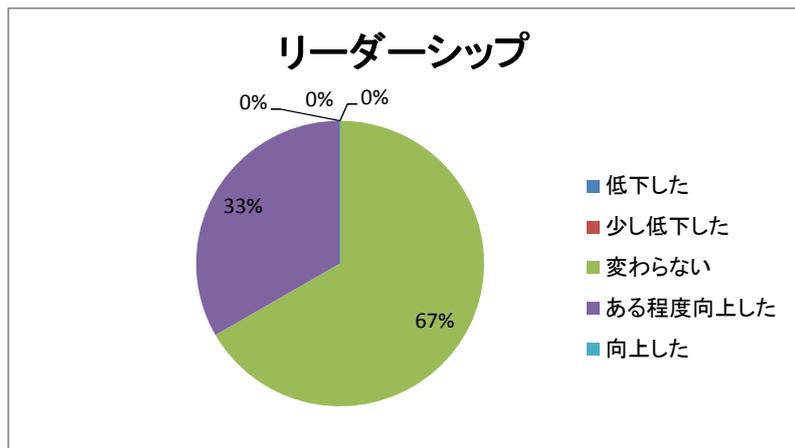
7-7 主体性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	1
変わらない	1
ある程度向上した	2
向上した	2
未回答	0



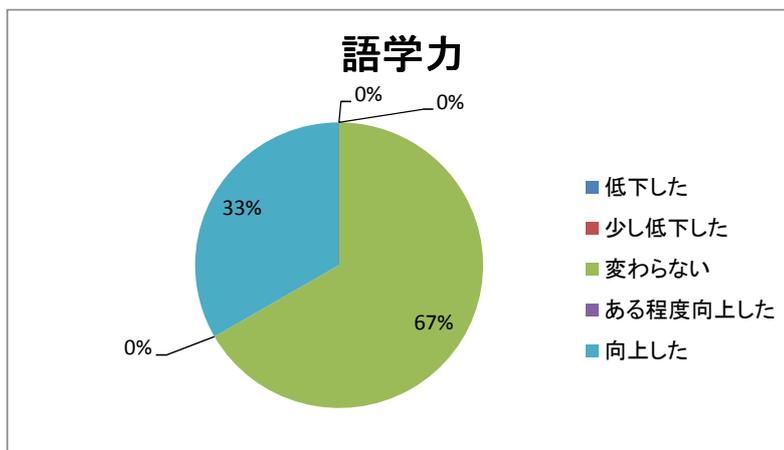
7-8 リーダーシップ

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	4
ある程度向上した	2
向上した	0
未回答	0



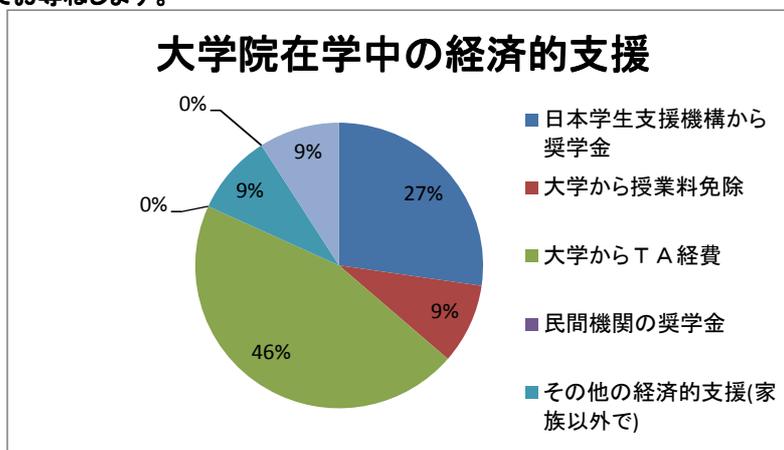
7-9 語学力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	4
ある程度向上した	0
向上した	2
未回答	0



問8: 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

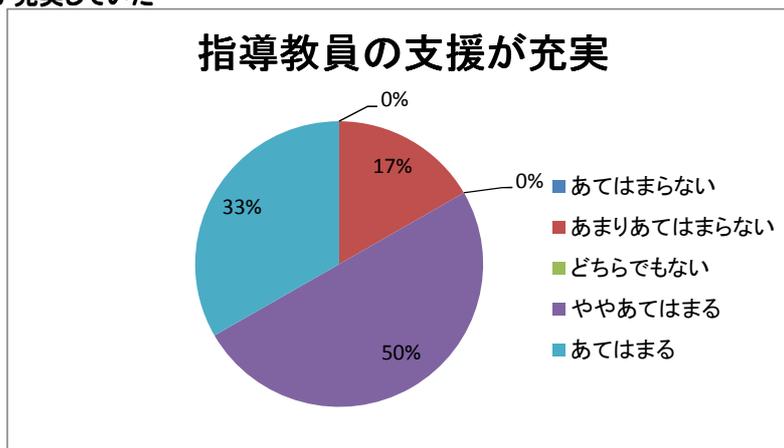
選択肢	回答
日本学生支援機構から奨学金	3
大学から授業料免除	1
大学からTA経費	5
民間機関の奨学金	0
その他の経済的支援(家族以外で)	1
勤務先から援助	0
公的な経済的支援は全く受けていなかった	1



問9: 大学院での学生生活についてお尋ねします。

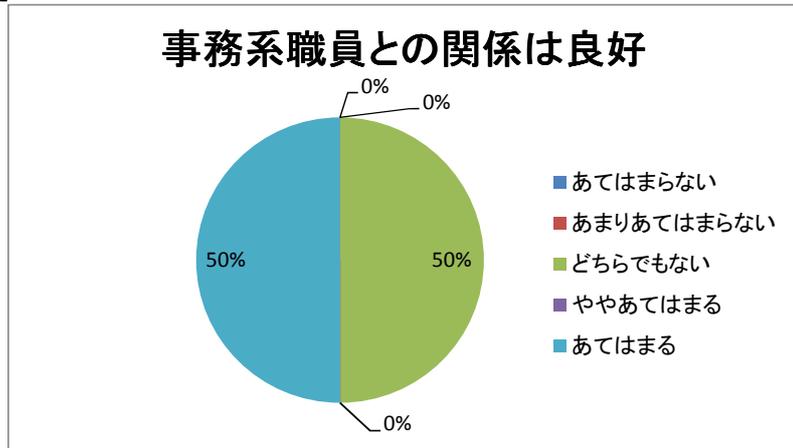
9-1 指導教員(正・副)の支援(相談など)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	0
ややあてはまる	3
あてはまる	2
未回答	0



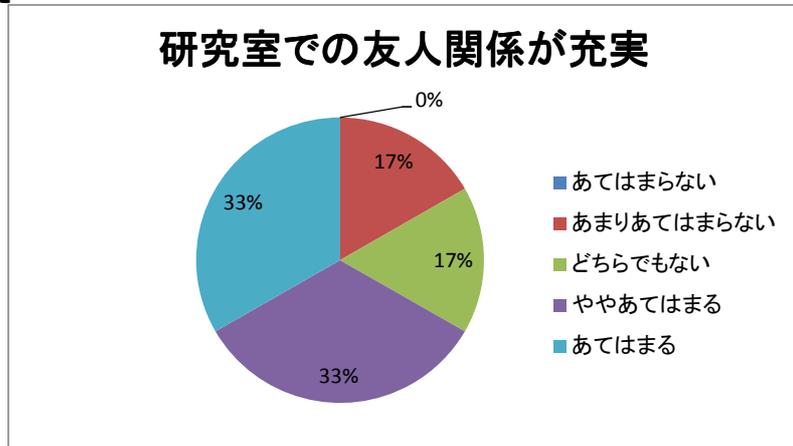
9-2 事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	0
あてはまる	3
未回答	0



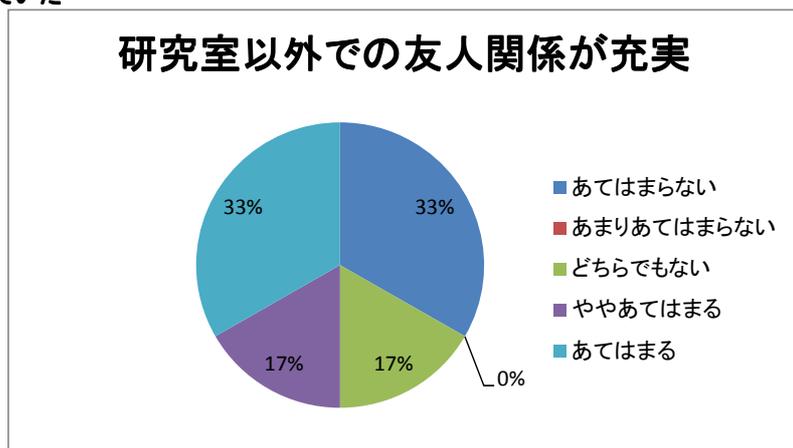
9-3 研究室での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	2
あてはまる	2
未回答	0



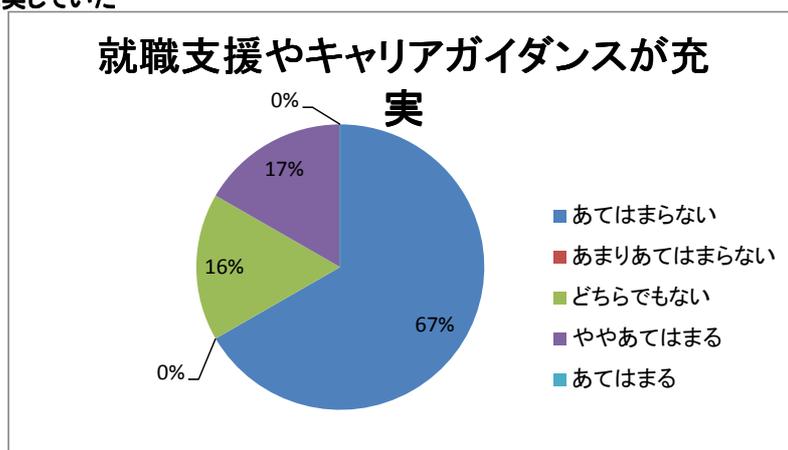
9-4 研究室以外での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	1
あてはまる	2
未回答	0



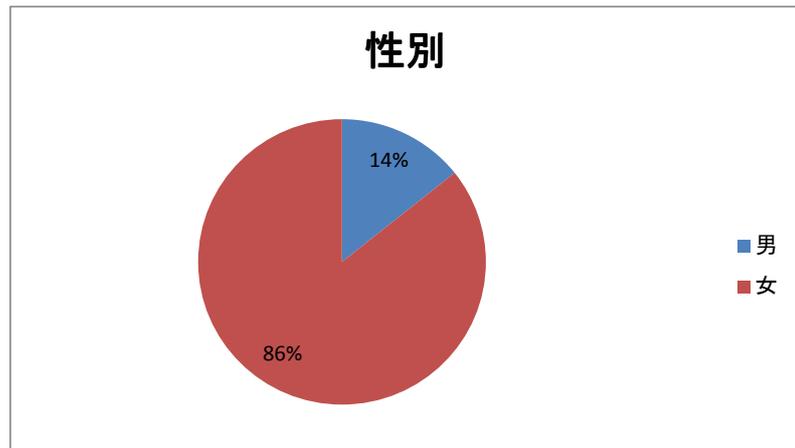
9-5 就職支援やキャリアガイダンスが充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	1
あてはまる	0
未回答	0



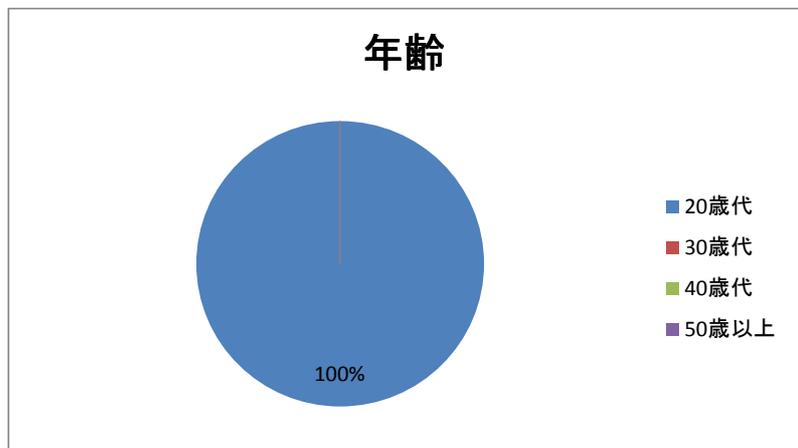
性別

選択肢	回答
男	1
女	6
未回答	0



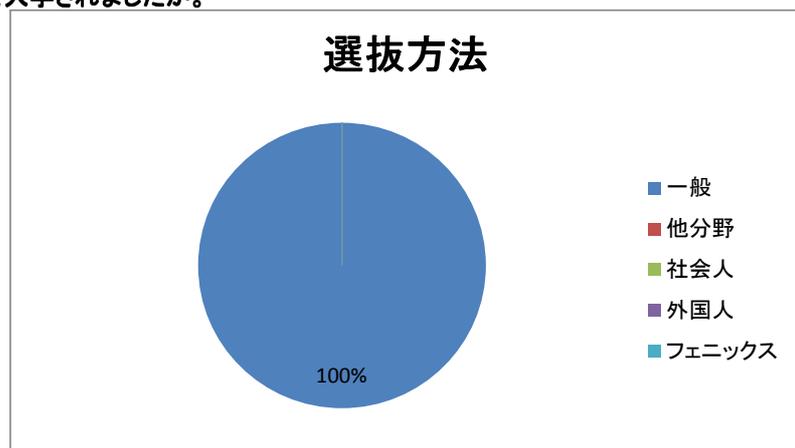
年齢

選択肢	回答
20歳代	7
30歳代	0
40歳代	0
50歳以上	0
未回答	0



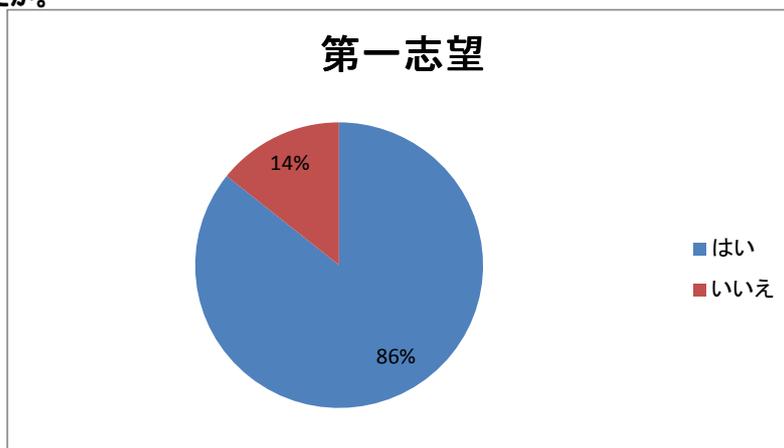
問2: 本研究科へはどのような選抜方法で入学されましたか。

選択肢	回答
一般	7
他分野	0
社会人	0
外国人	0
フェニックス	0
未回答	0



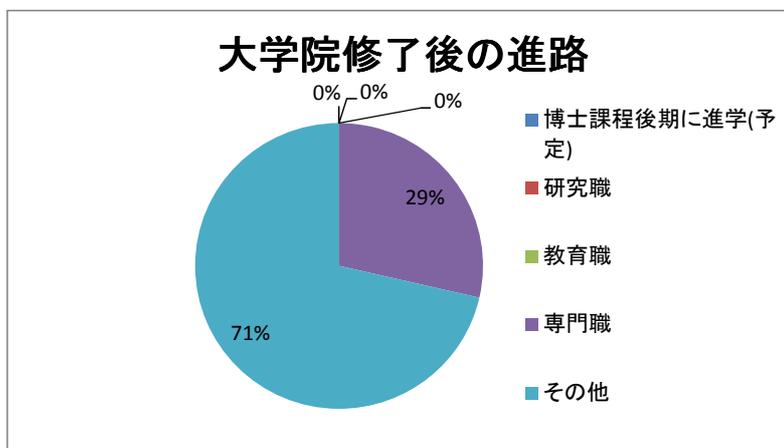
問3: 本研究科への進学は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	6
いいえ	1
未回答	0



問4: 大学院修了後の進路について。

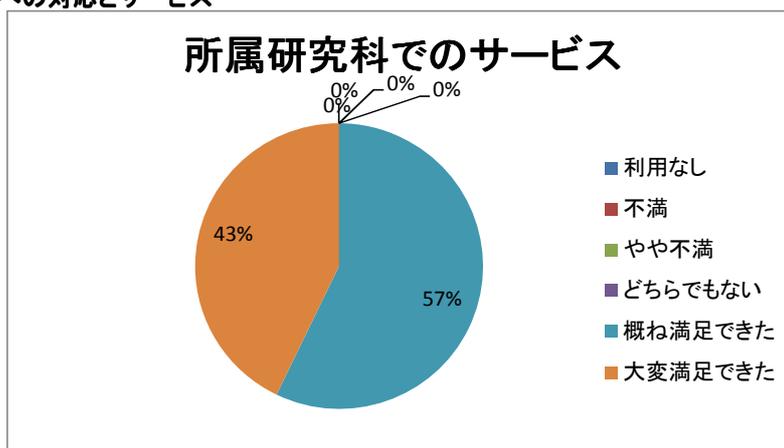
選択肢	回答
博士課程後期に進学(予定)	0
研究職	0
教育職	0
専門職	2
その他	5
未回答	0



問5: 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

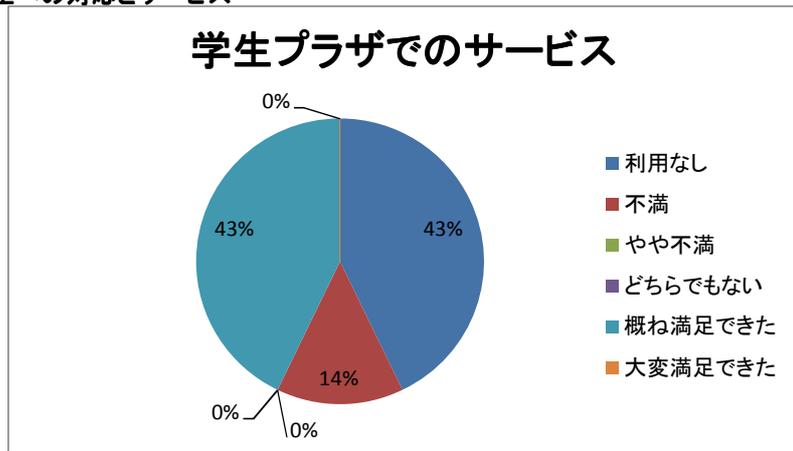
5-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	4
大変満足できた	3
未回答	0



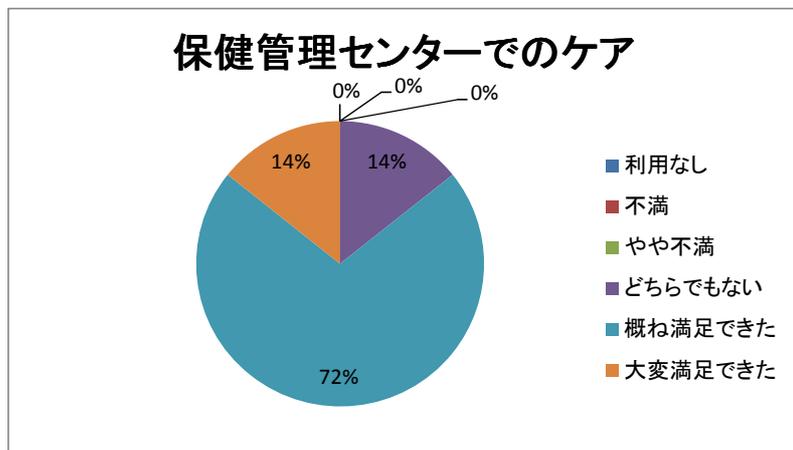
5-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	3
不満	1
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	3
大変満足できた	0
未回答	0



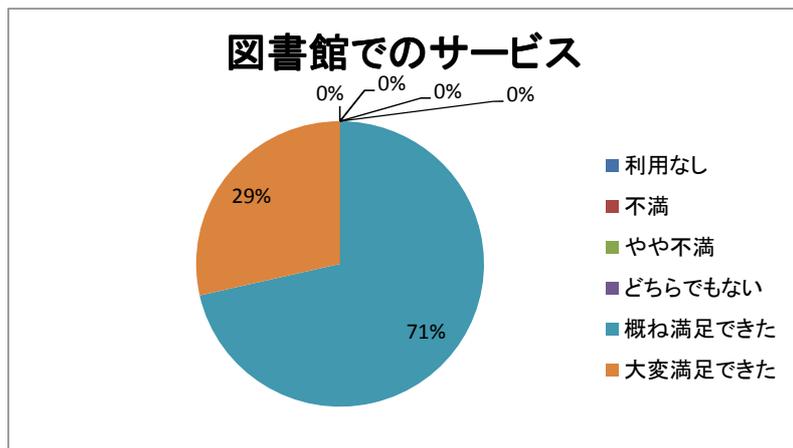
5-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	5
大変満足できた	1
未回答	0



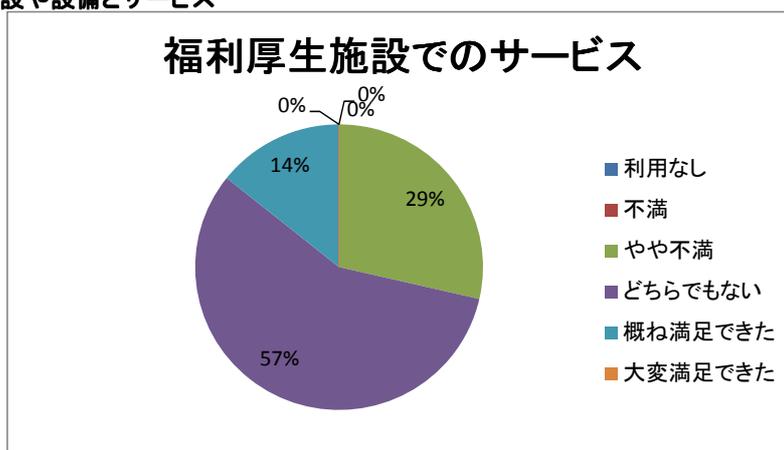
5-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	5
大変満足できた	2
未回答	0



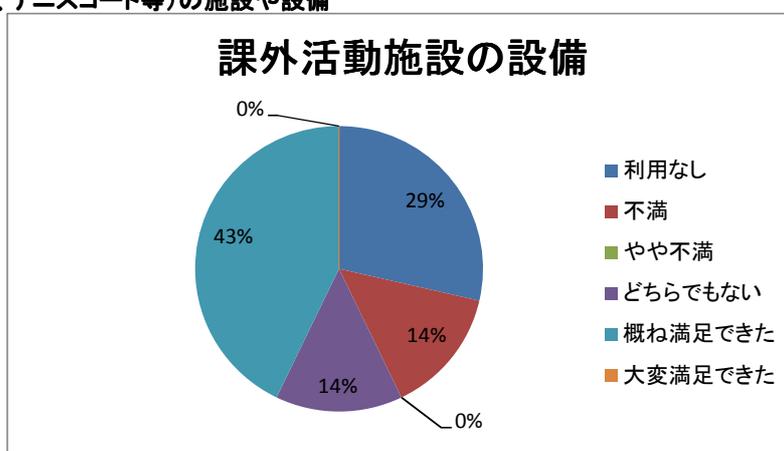
5-5 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	2
どちらでもない	4
概ね満足できた	1
大変満足できた	0
未回答	0



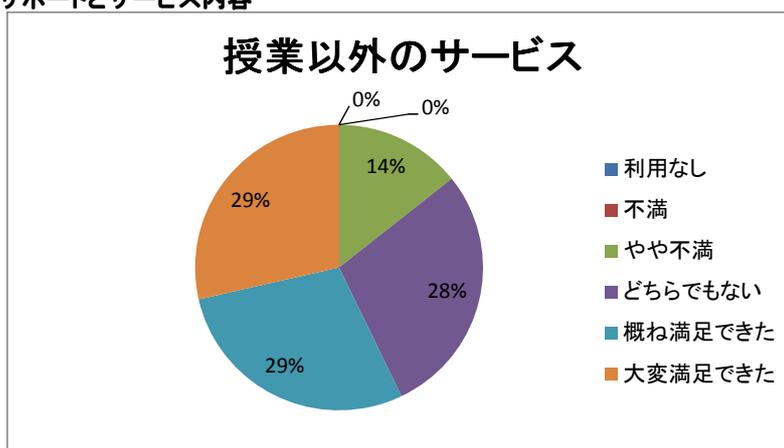
5-6 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	2
不満	1
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	3
大変満足できた	0
未回答	0



5-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

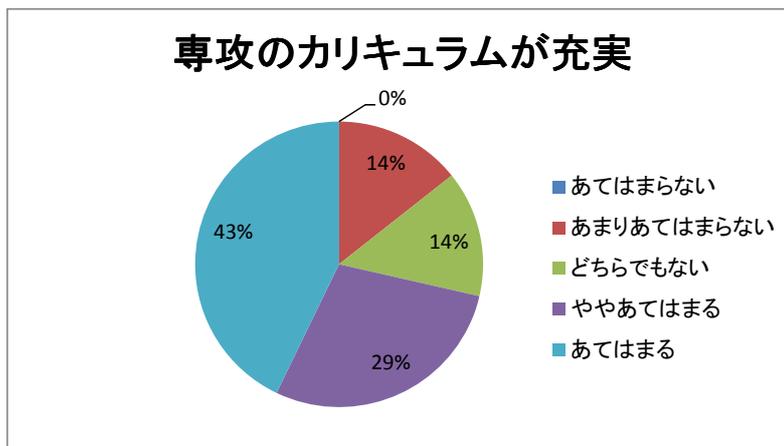
選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	2
概ね満足できた	2
大変満足できた	2
未回答	0



問6: 修学・履修に関する以下の項目についてお尋ねします。

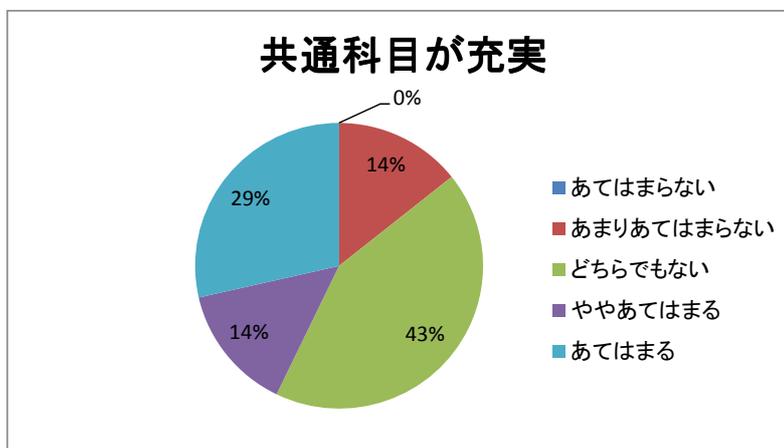
6-1 専攻のカリキュラムが充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	2
あてはまる	3
未回答	0



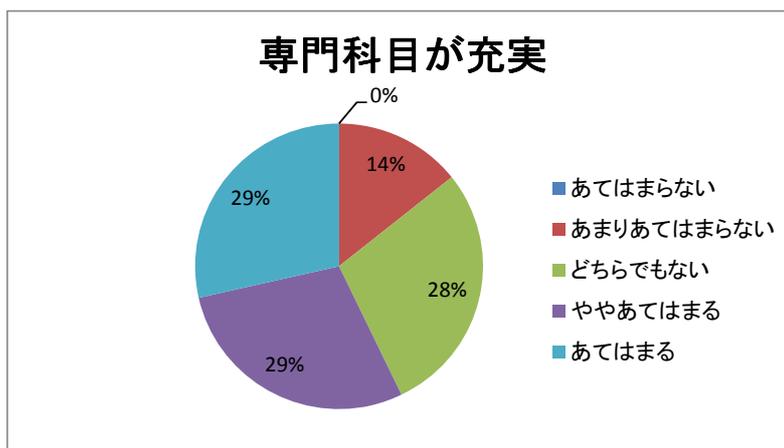
6-2 共通科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	1
あてはまる	2
未回答	0



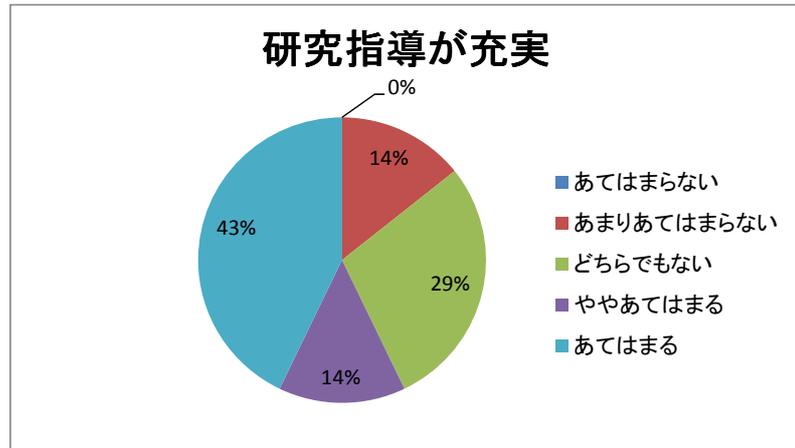
6-3 専門科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	2
あてはまる	2
未回答	0



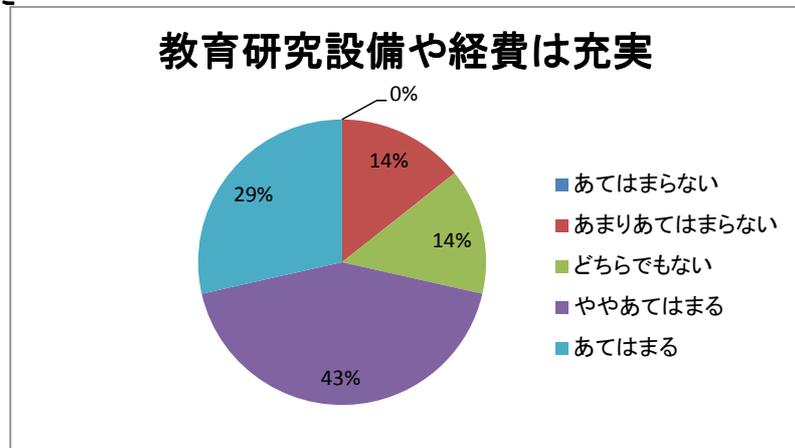
6-4 研究指導が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	1
あてはまる	3
未回答	0



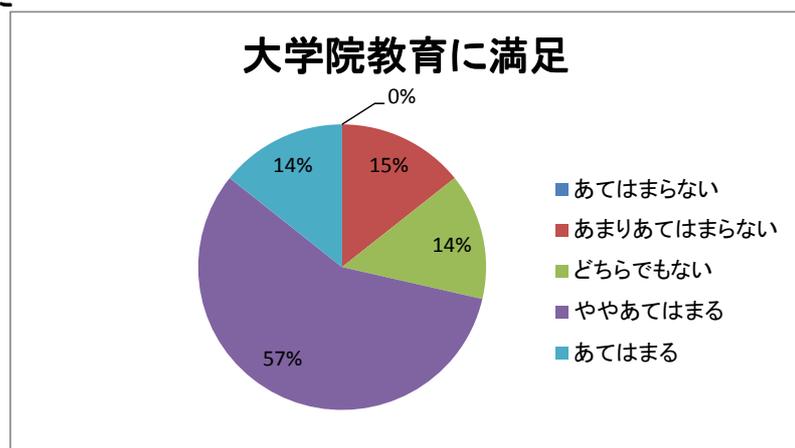
6-5 教育研究設備や経費は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	2
未回答	0



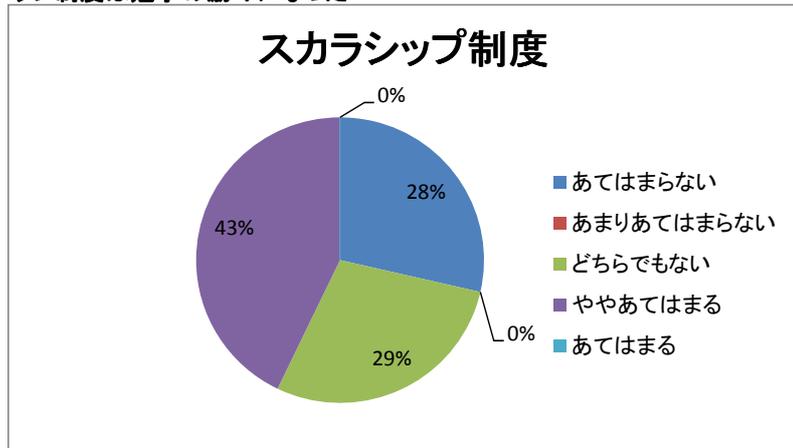
6-6 全体的に大学院教育に満足であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	4
あてはまる	1
未回答	0



6-7 エクセレント・スチューデント・スカラシップ制度は勉学の励みになった

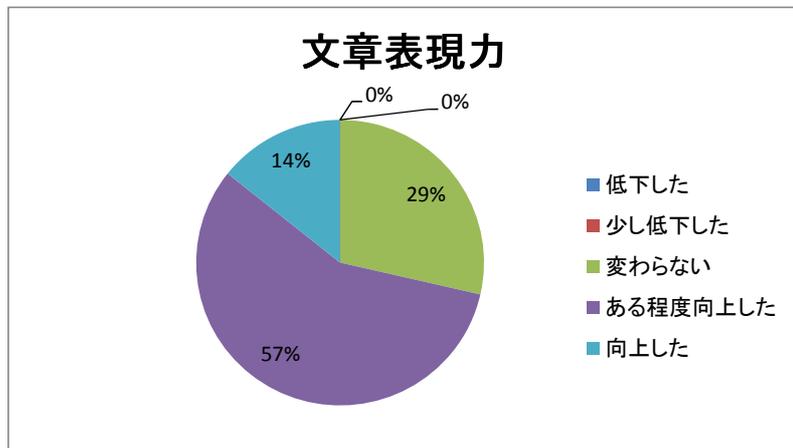
選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	0
未回答	0



問7: 大学院入学時と比較して、貴方の以下の能力はどの程度変化しましたか？

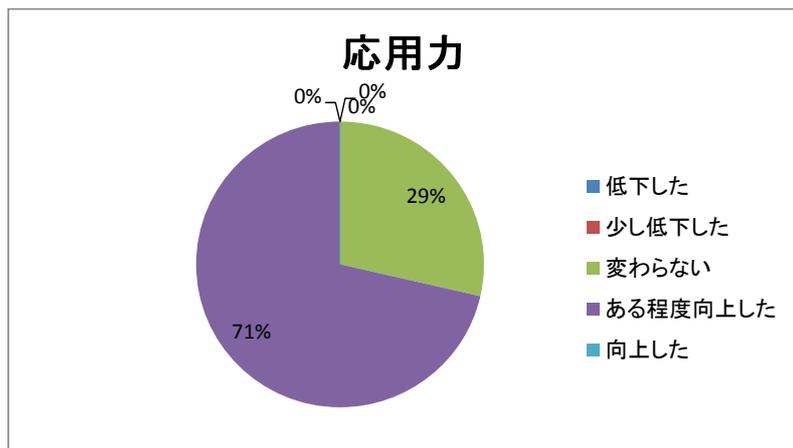
7-1 文章表現力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	2
ある程度向上した	4
向上した	1
未回答	0



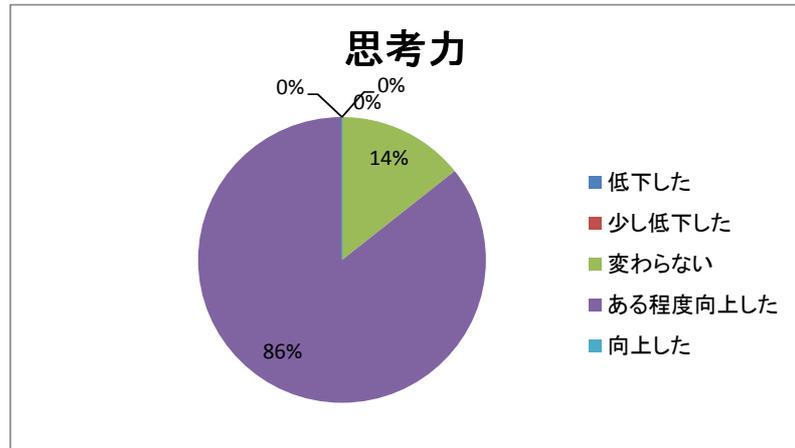
7-2 応用力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	2
ある程度向上した	5
向上した	0
未回答	0



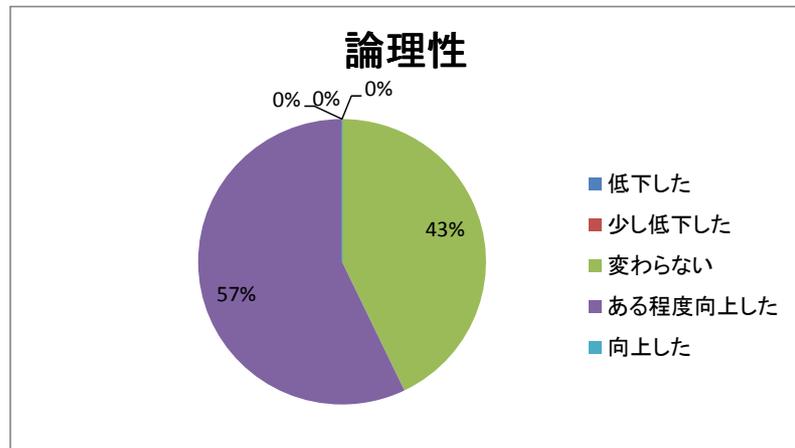
7-3 思考力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	1
ある程度向上した	6
向上した	0
未回答	0



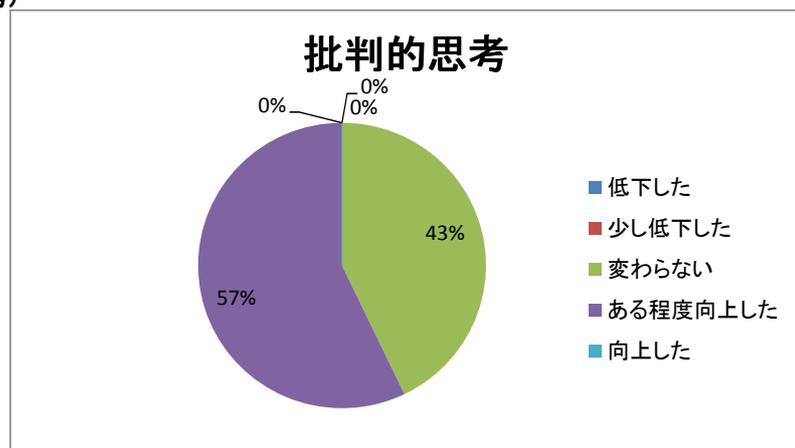
7-4 論理性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	3
ある程度向上した	4
向上した	0
未回答	0



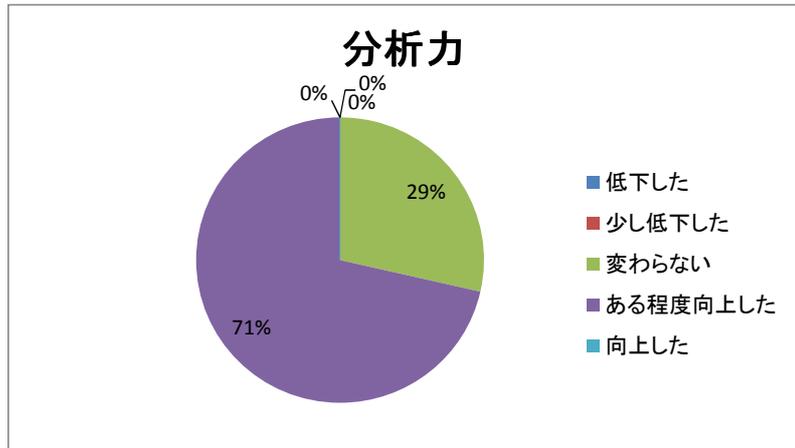
7-5 クリティカル・シンキング(批判的思考)

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	3
ある程度向上した	4
向上した	0
未回答	0



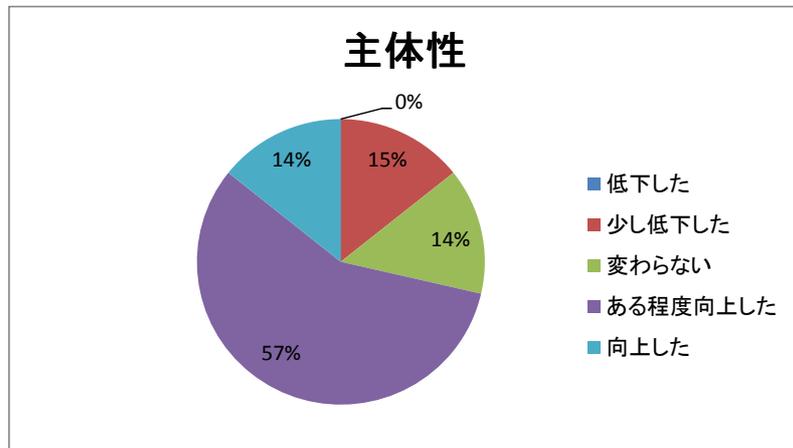
7-6 分析力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	2
ある程度向上した	5
向上した	0
未回答	0



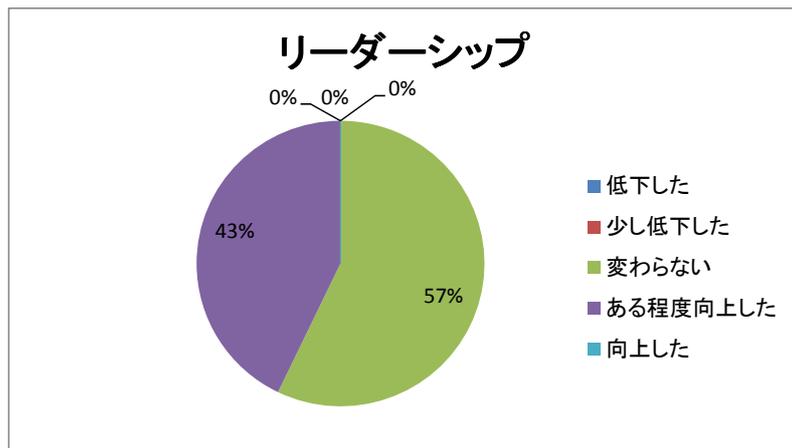
7-7 主体性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	1
変わらない	1
ある程度向上した	4
向上した	1
未回答	0



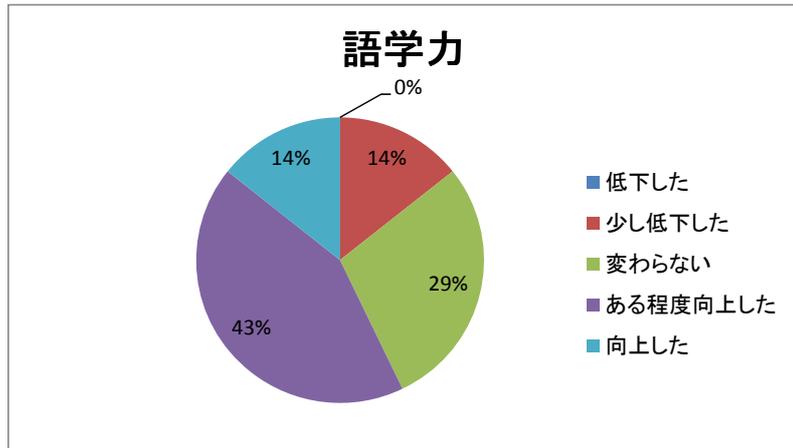
7-8 リーダーシップ

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	4
ある程度向上した	3
向上した	0
未回答	0



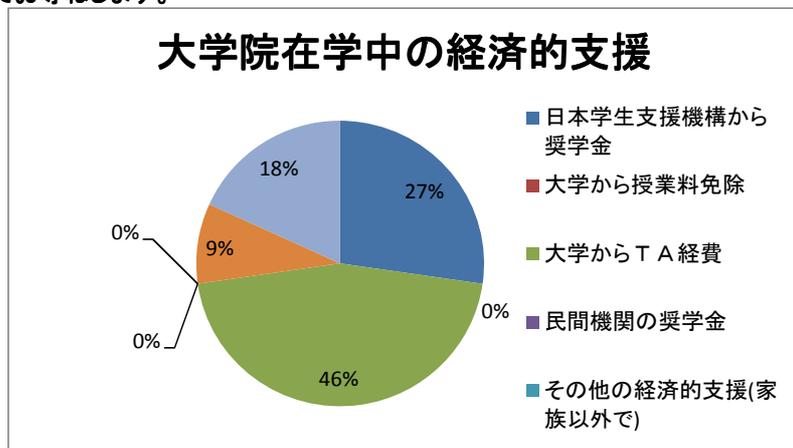
7-9 語学力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	1
変わらない	2
ある程度向上した	3
向上した	1
未回答	0



問8: 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

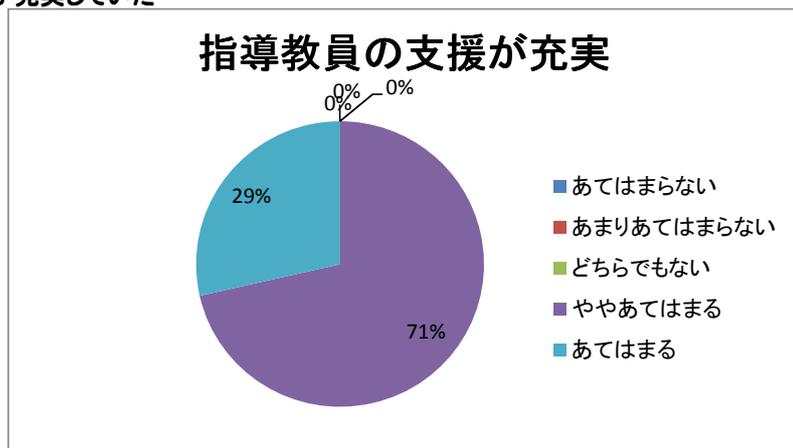
選択肢	回答
日本学生支援機構から奨学金	3
大学から授業料免除	0
大学からTA経費	5
民間機関の奨学金	0
その他の経済的支援(家族以外で)	0
勤務先から援助	1
公的な経済的支援は全く受けていなかった	2



問9: 大学院での学生生活についてお尋ねします。

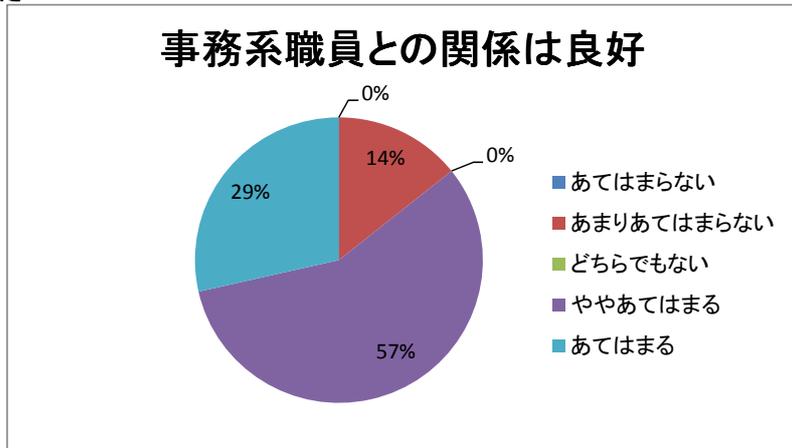
9-1 指導教員(正・副)の支援(相談など)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	5
あてはまる	2
未回答	0



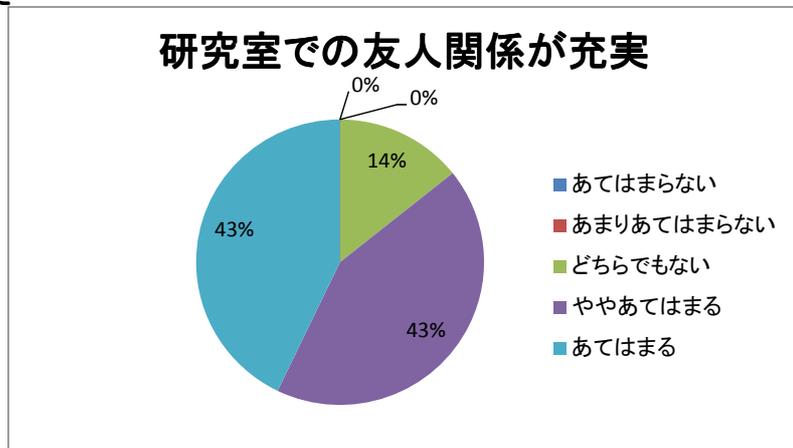
9-2 事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	0
ややあてはまる	4
あてはまる	2
未回答	0



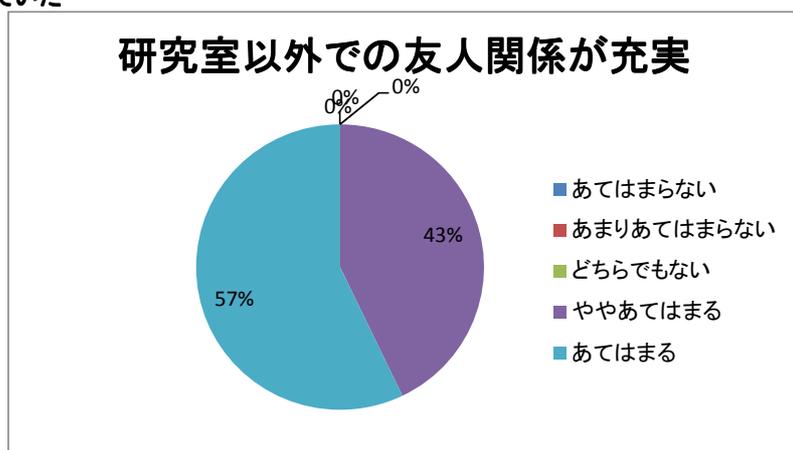
9-3 研究室での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	3
未回答	0



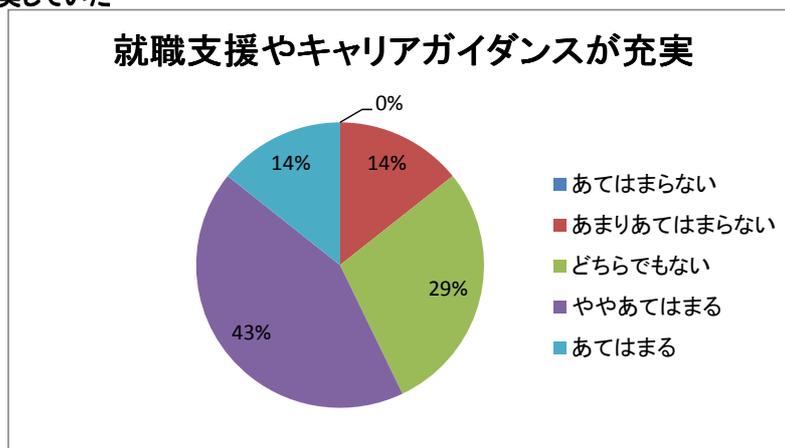
9-4 研究室以外での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	3
あてはまる	4
未回答	0



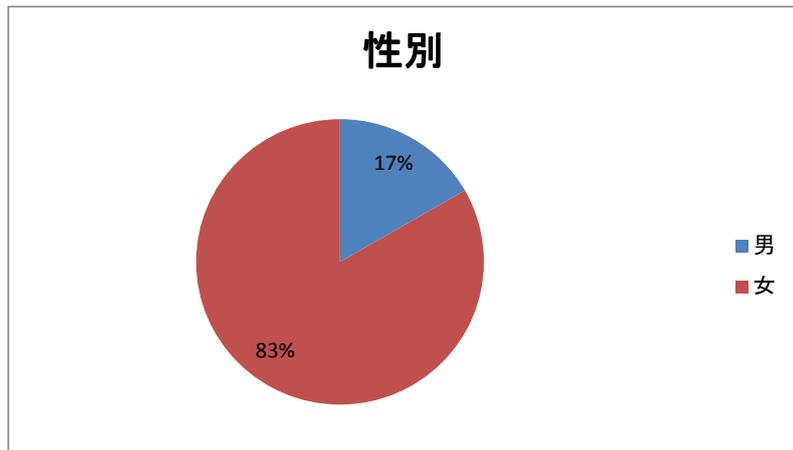
9-5 就職支援やキャリアガイダンスが充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	1
未回答	0



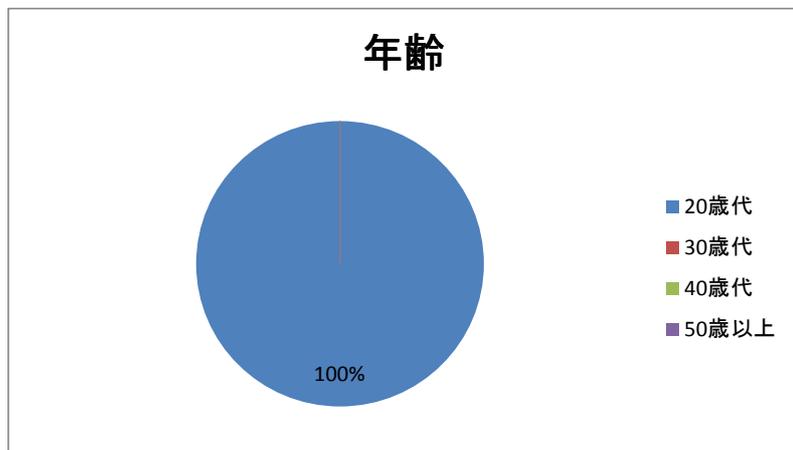
性別

選択肢	回答
男	2
女	10
未回答	0



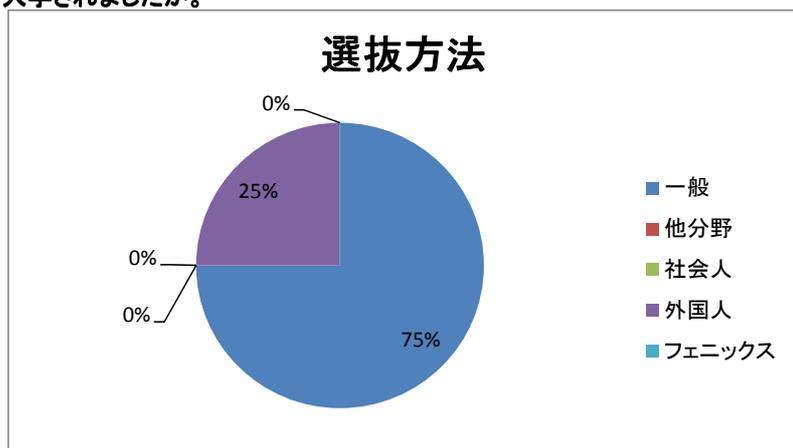
年齢

選択肢	回答
20歳代	12
30歳代	0
40歳代	0
50歳以上	0
未回答	0



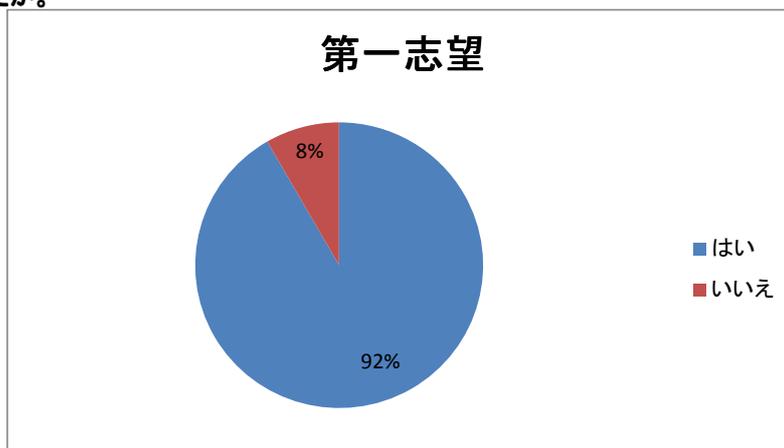
問2: 本研究科へはどのような選抜方法で入学されましたか。

選択肢	回答
一般	9
他分野	0
社会人	0
外国人	3
フェニックス	0
未回答	0



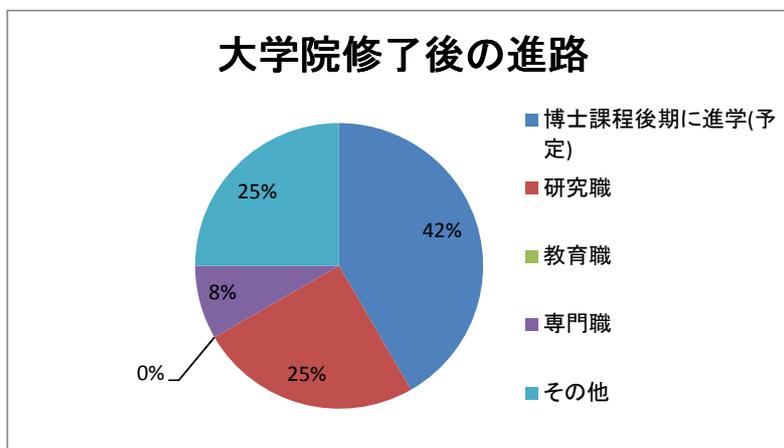
問3: 本研究科への進学は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	11
いいえ	1
未回答	0



問4: 大学院修了後の進路について。

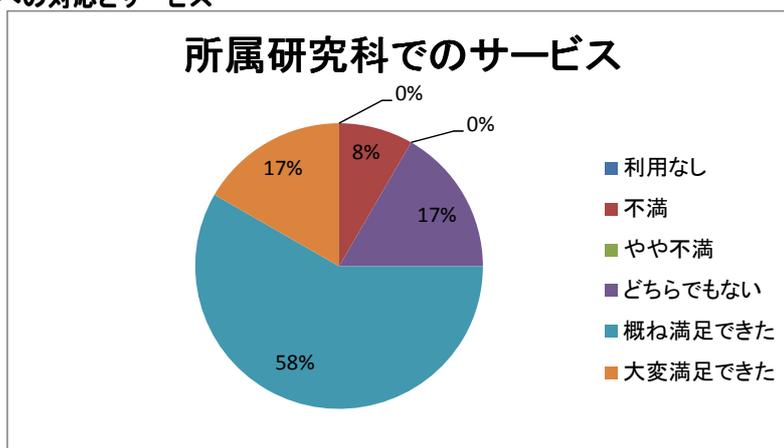
選択肢	回答
博士課程後期に進学(予定)	5
研究職	3
教育職	0
専門職	1
その他	3
未回答	0



問5: 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

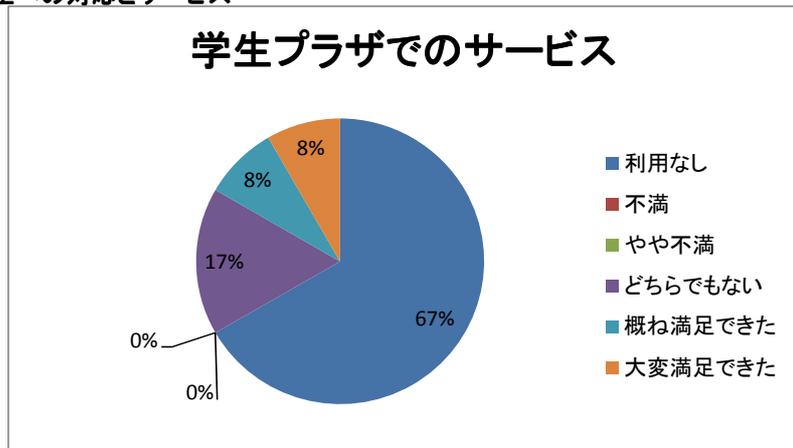
5-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	1
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	7
大変満足できた	2
未回答	0



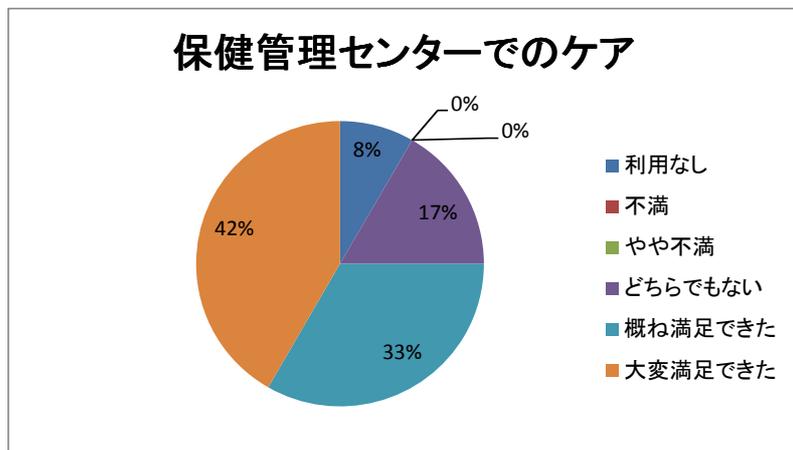
5-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	8
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	1
大変満足できた	1
未回答	0



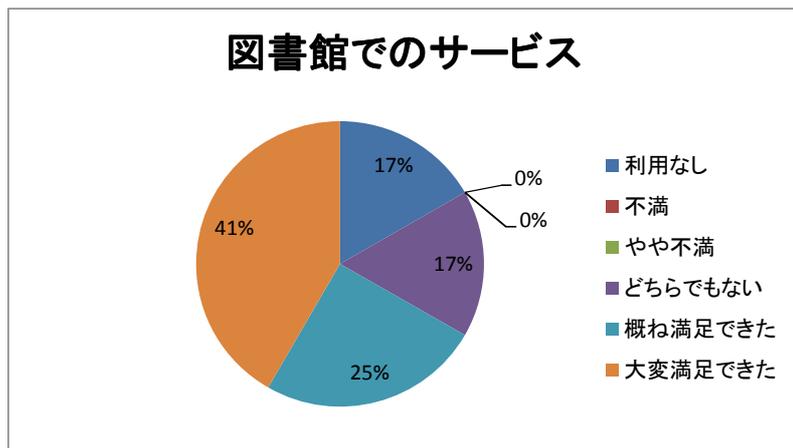
5-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	1
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	4
大変満足できた	5
未回答	0



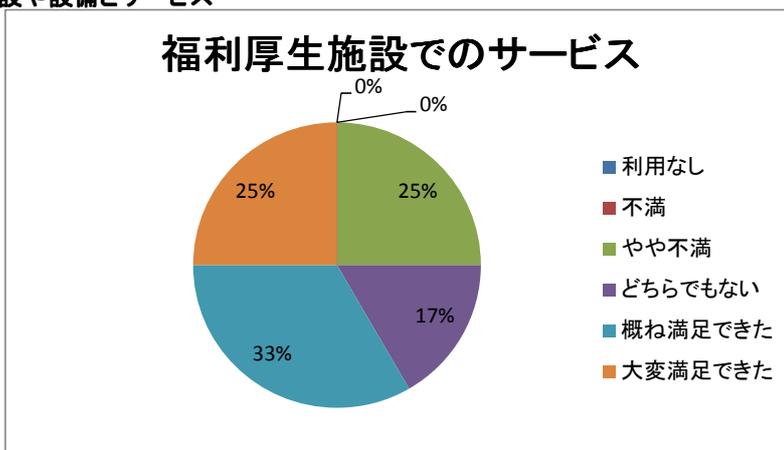
5-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	2
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	3
大変満足できた	5
未回答	0



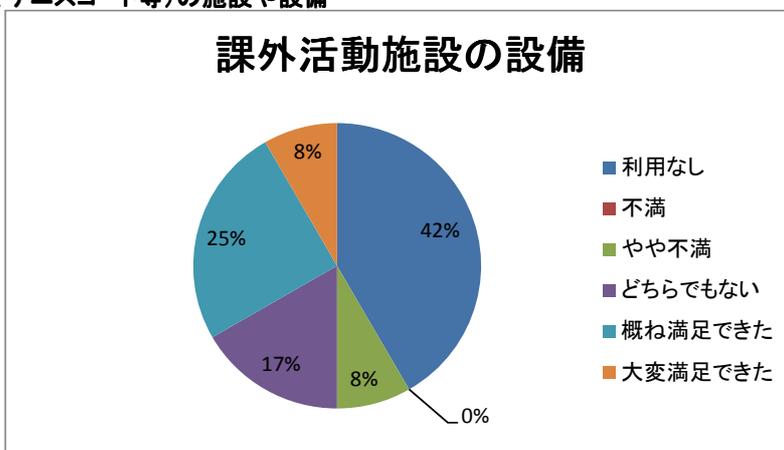
5-5 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	3
どちらでもない	2
概ね満足できた	4
大変満足できた	3
未回答	0



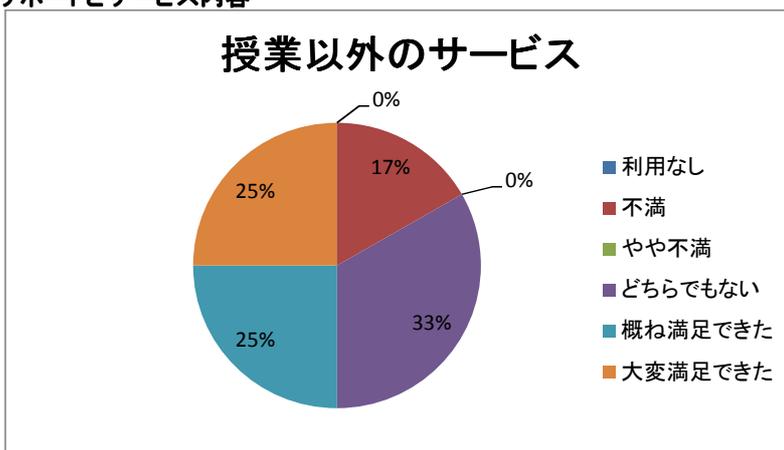
5-6 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	5
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	2
概ね満足できた	3
大変満足できた	1
未回答	0



5-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

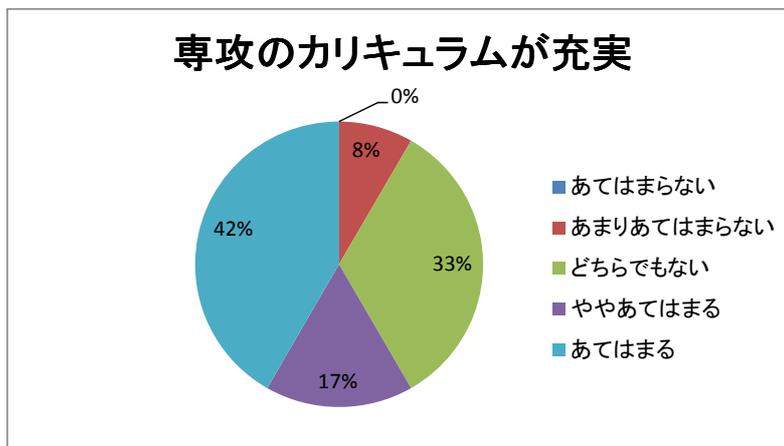
選択肢	回答
利用なし	0
不満	2
やや不満	0
どちらでもない	4
概ね満足できた	3
大変満足できた	3
未回答	0



問6: 修学・履修に関する以下の項目についてお尋ねします。

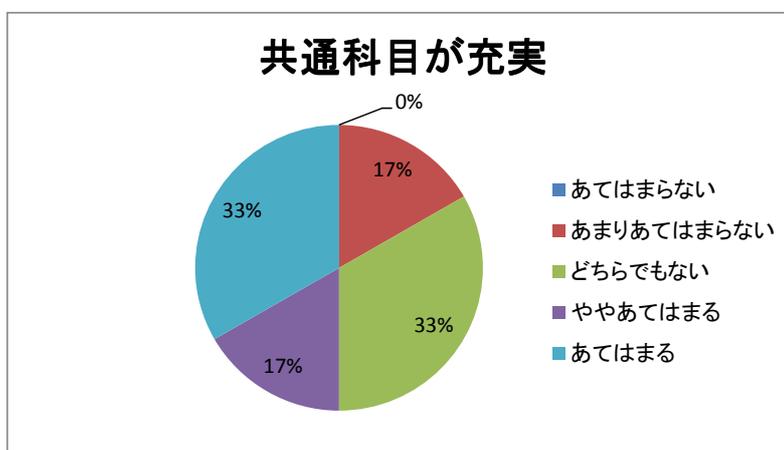
6-1 専攻のカリキュラムが充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	4
ややあてはまる	2
あてはまる	5
未回答	0



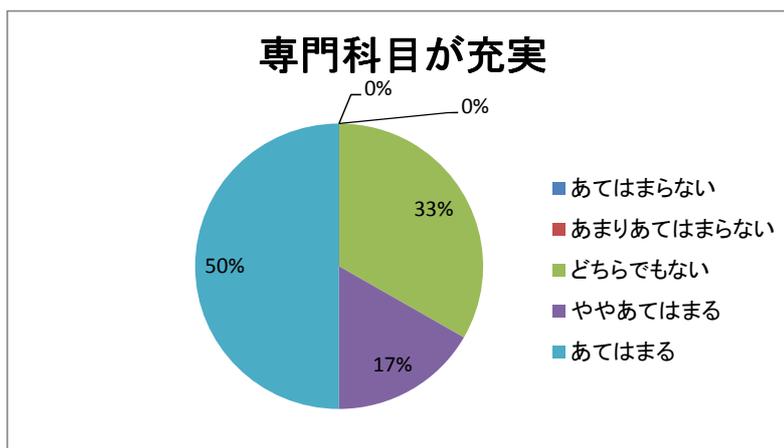
6-2 共通科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	4
ややあてはまる	2
あてはまる	4
未回答	0



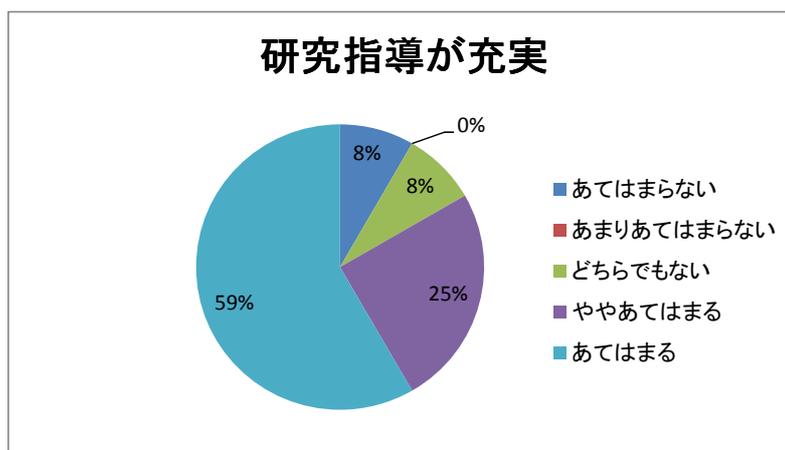
6-3 専門科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	2
あてはまる	6
未回答	0



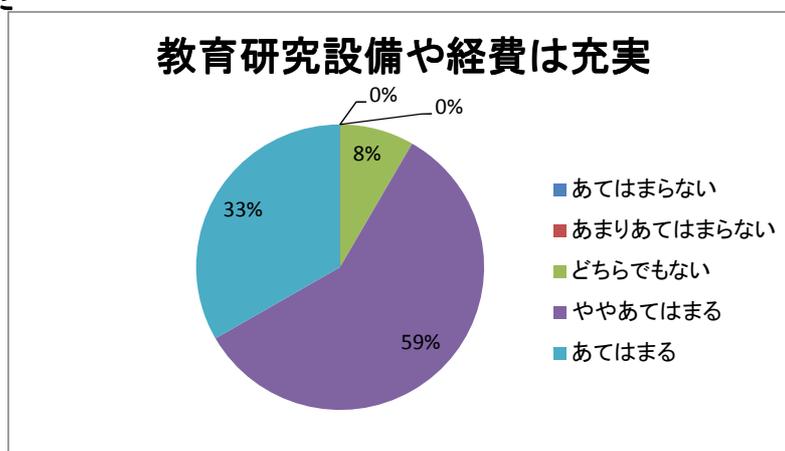
6-4 研究指導が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	7
未回答	0



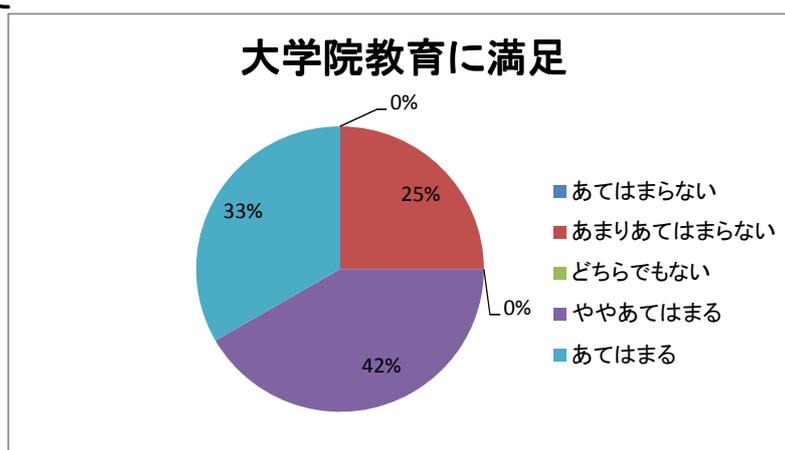
6-5 教育研究設備や経費は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	7
あてはまる	4
未回答	0



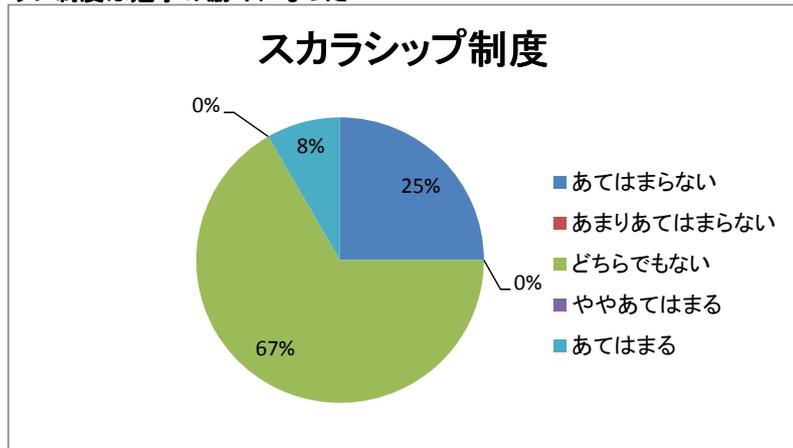
6-6 全体的に大学院教育に満足であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	0
ややあてはまる	5
あてはまる	4
未回答	0



6-7 エクセレント・スチューデント・スカラシップ制度は勉学の励みになった

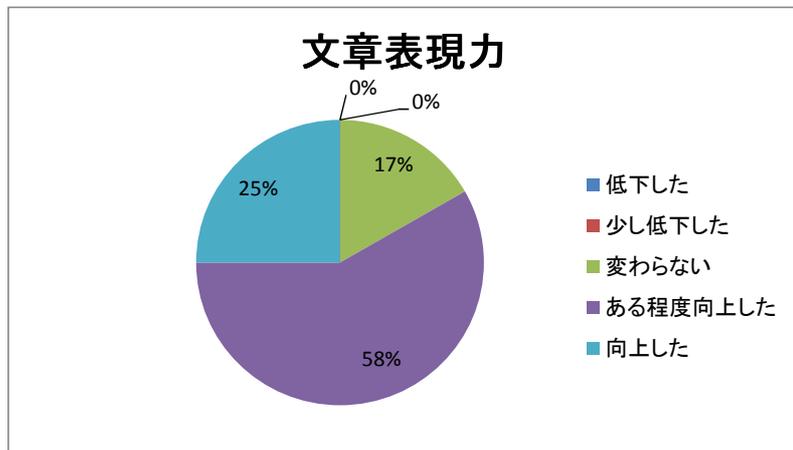
選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	8
ややあてはまる	0
あてはまる	1
未回答	0



問7: 大学院入学時と比較して、貴方の以下の能力はどの程度変化しましたか？

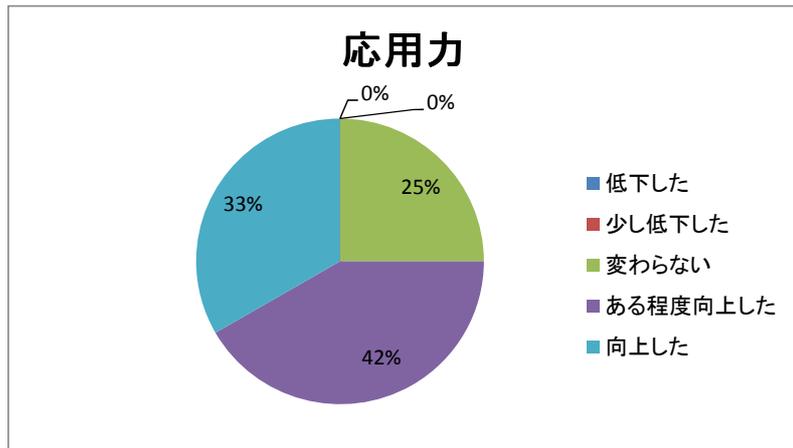
7-1 文章表現力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	2
ある程度向上した	7
向上した	3
未回答	0



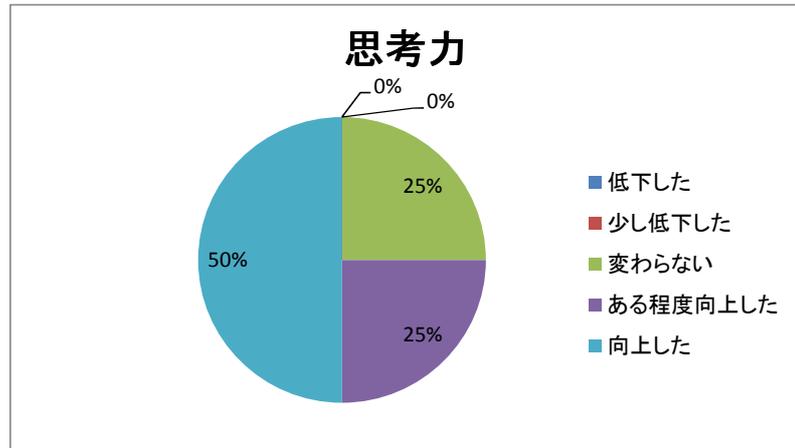
7-2 応用力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	3
ある程度向上した	5
向上した	4
未回答	0



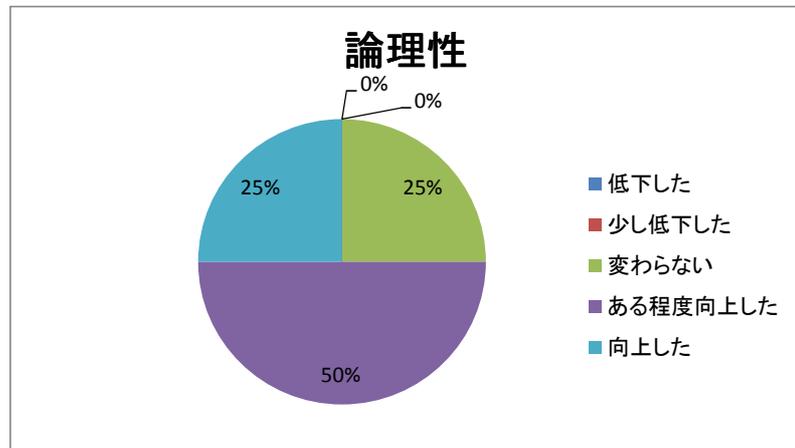
7-3 思考力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	3
ある程度向上した	3
向上した	6
未回答	0



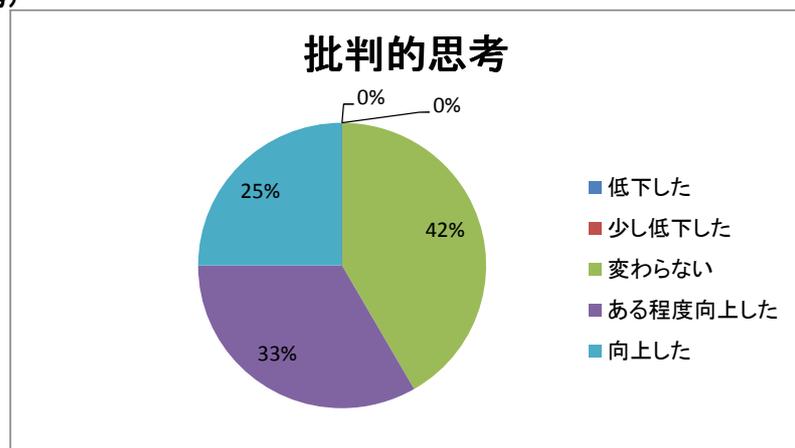
7-4 論理性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	3
ある程度向上した	6
向上した	3
未回答	0



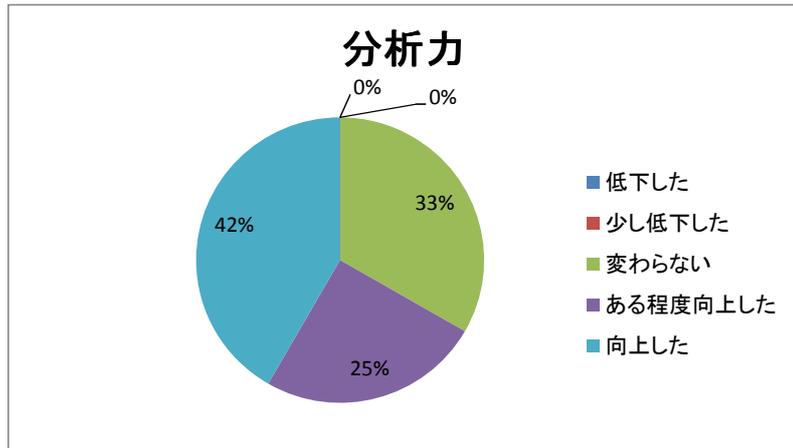
7-5 クリティカル・シンキング(批判的思考)

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	5
ある程度向上した	4
向上した	3
未回答	0



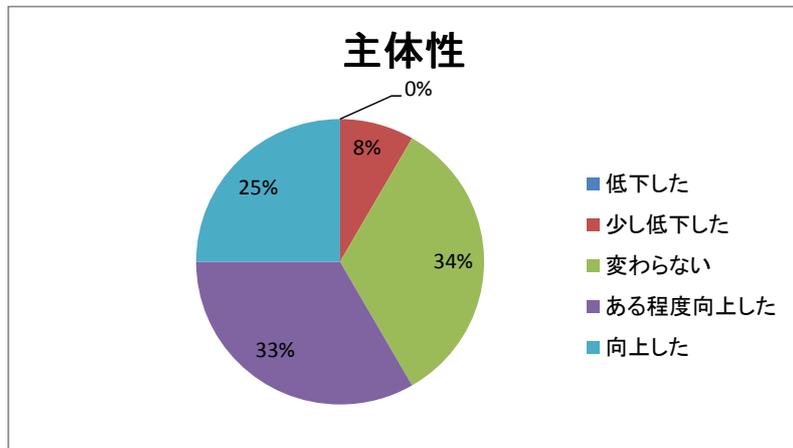
7-6 分析力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	4
ある程度向上した	3
向上した	5
未回答	0



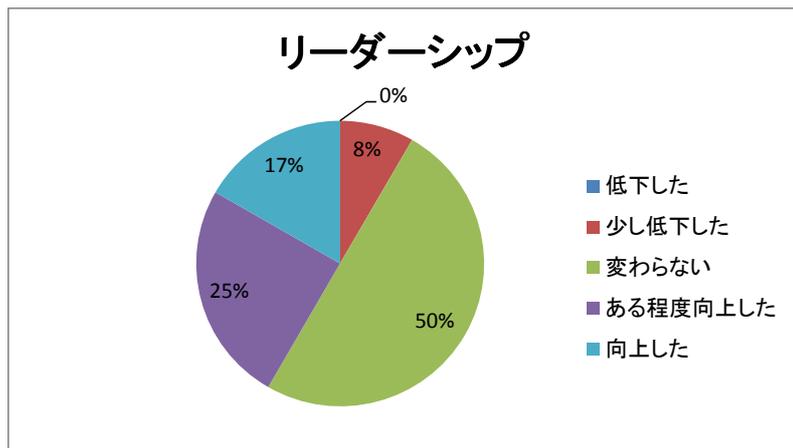
7-7 主体性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	1
変わらない	4
ある程度向上した	4
向上した	3
未回答	0



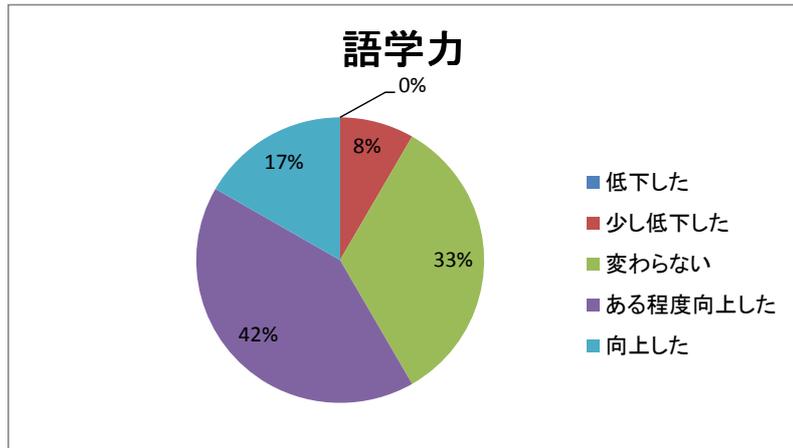
7-8 リーダーシップ

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	1
変わらない	6
ある程度向上した	3
向上した	2
未回答	0



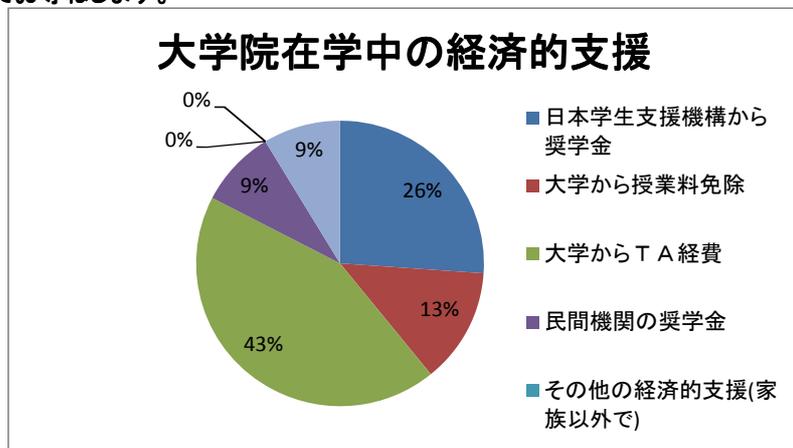
7-9 語学力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	1
変わらない	4
ある程度向上した	5
向上した	2
未回答	0



問8: 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

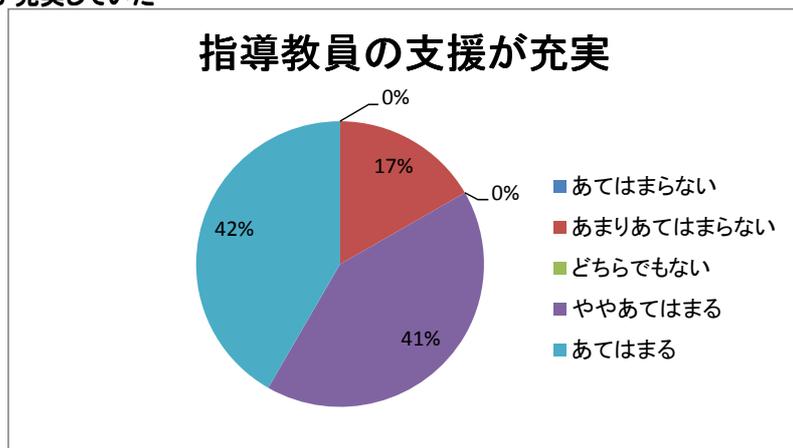
選択肢	回答
日本学生支援機構から奨学金	6
大学から授業料免除	3
大学からTA経費	10
民間機関の奨学金	2
その他の経済的支援(家族以外で)	0
勤務先から援助	0
公的な経済的支援は全く受けていなかった	2



問9: 大学院での学生生活についてお尋ねします。

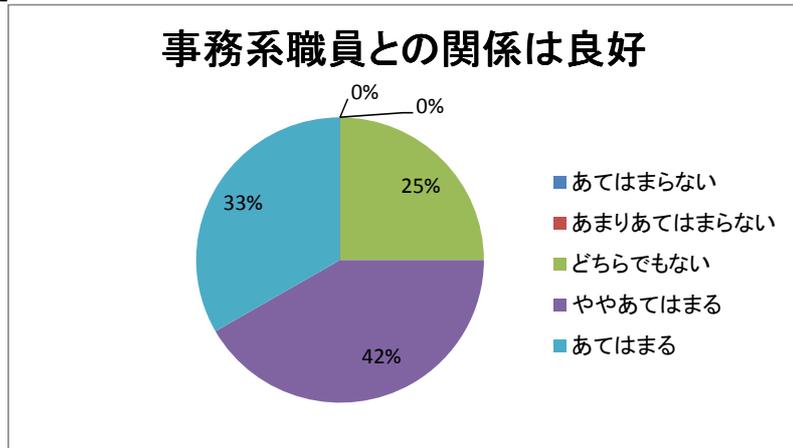
9-1 指導教員(正・副)の支援(相談など)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	0
ややあてはまる	5
あてはまる	5
未回答	0



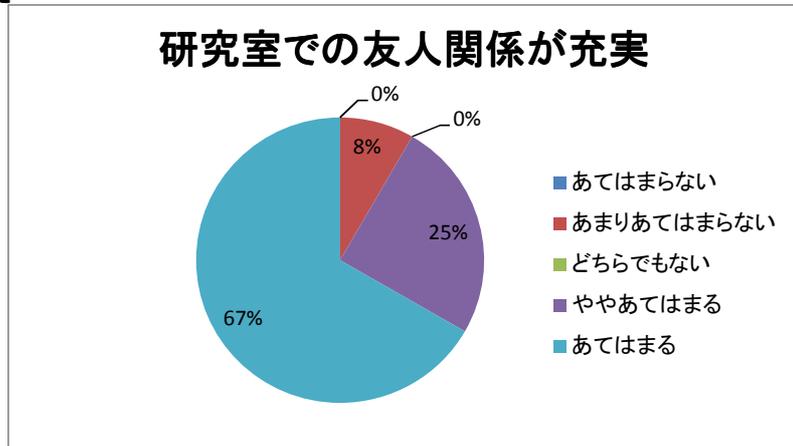
9-2 事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	5
あてはまる	4
未回答	0



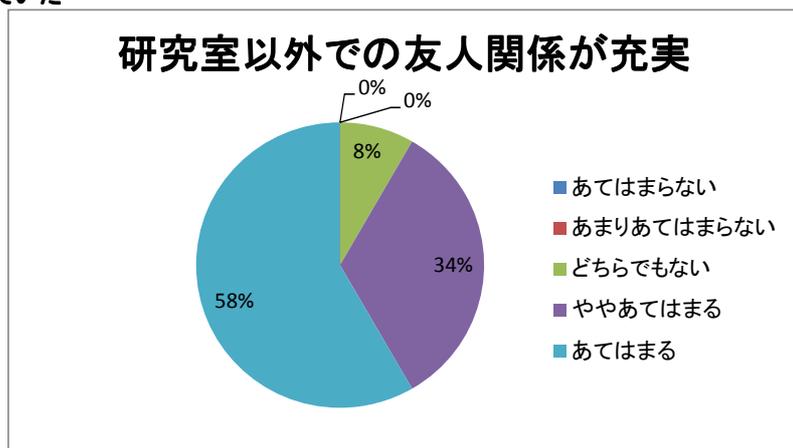
9-3 研究室での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	0
ややあてはまる	3
あてはまる	8
未回答	0



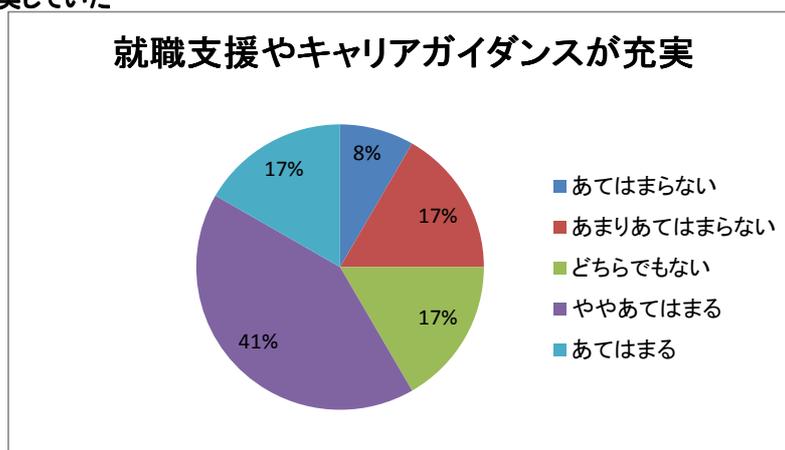
9-4 研究室以外での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	4
あてはまる	7
未回答	0



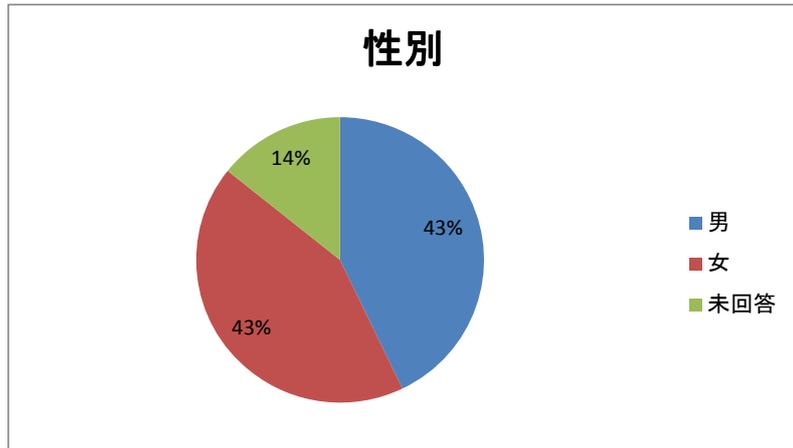
9-5 就職支援やキャリアガイダンスが充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	2
ややあてはまる	5
あてはまる	2
未回答	0



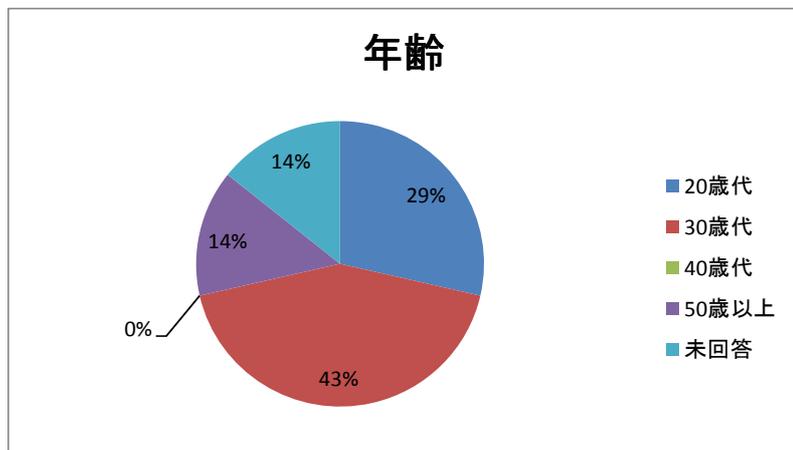
性別

選択肢	回答
男	3
女	3
未回答	1



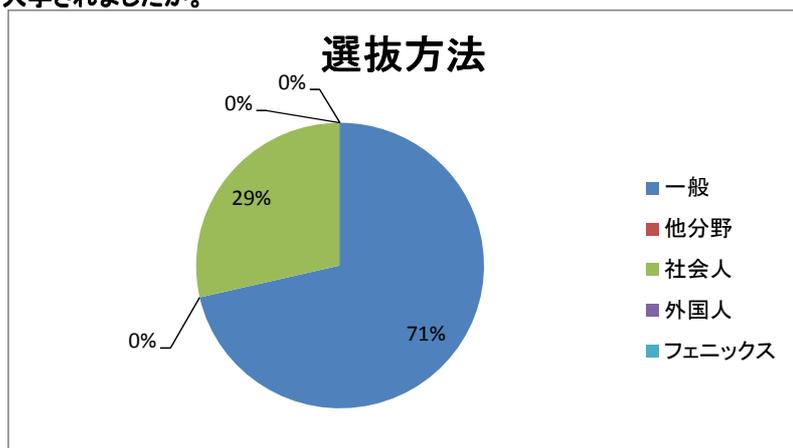
年齢

選択肢	回答
20歳代	2
30歳代	3
40歳代	0
50歳以上	1
未回答	1



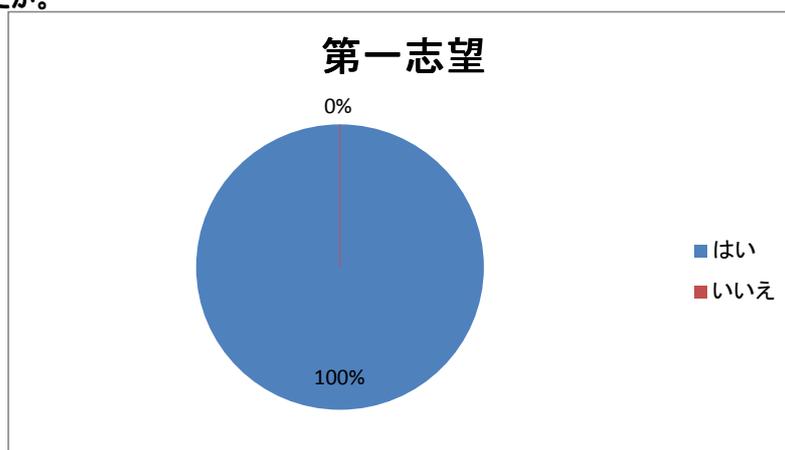
問2: 本研究科へはどのような選抜方法で入学されましたか。

選択肢	回答
一般	5
他分野	0
社会人	2
外国人	0
フェニックス	0
未回答	0



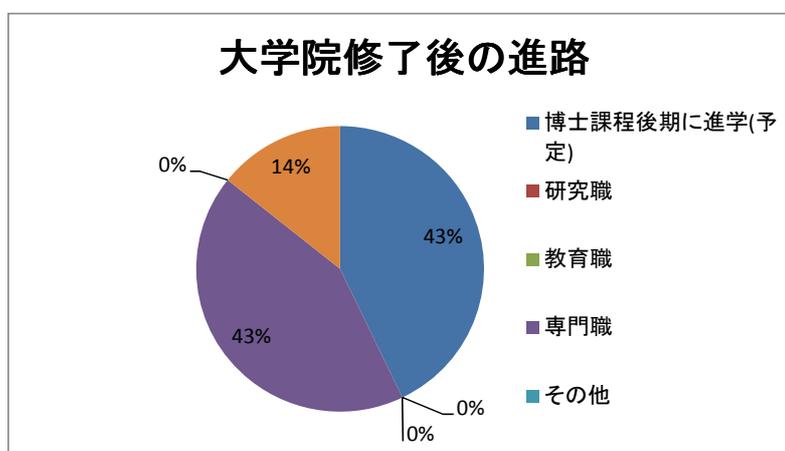
問3: 本研究科への進学は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	7
いいえ	0
未回答	0



問4: 大学院修了後の進路について。

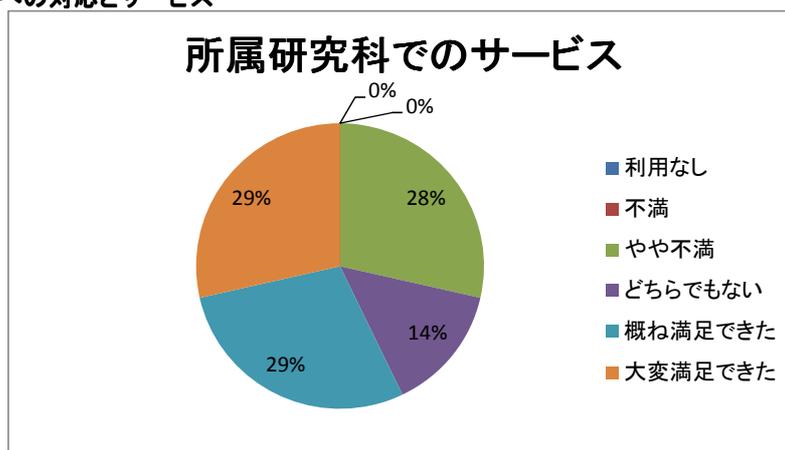
選択肢	回答
博士課程後期に進学(予定)	3
研究職	0
教育職	0
専門職	3
その他	0
複数回答	1



問5: 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

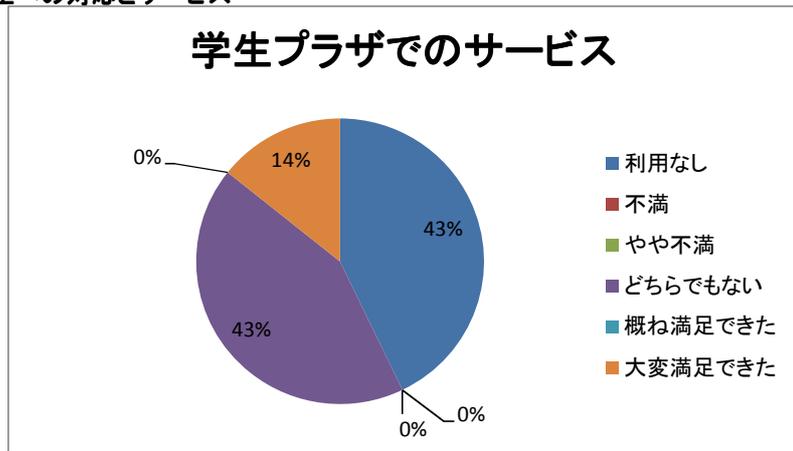
5-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	2
どちらでもない	1
概ね満足できた	2
大変満足できた	2
未回答	0



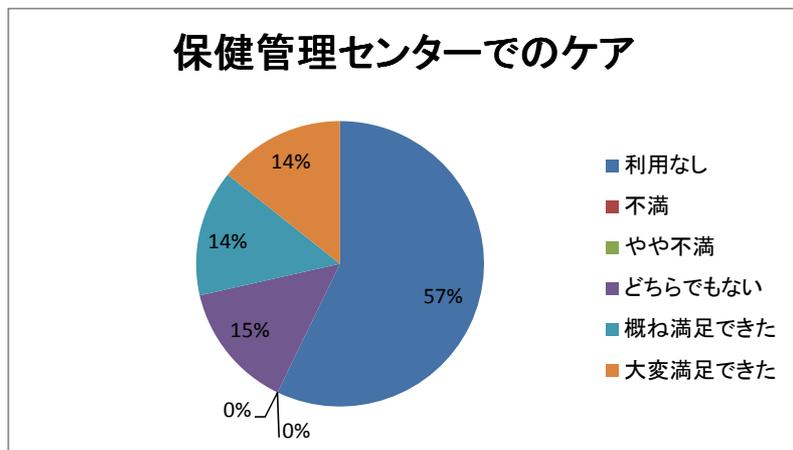
5-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	3
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	3
概ね満足できた	0
大変満足できた	1
未回答	0



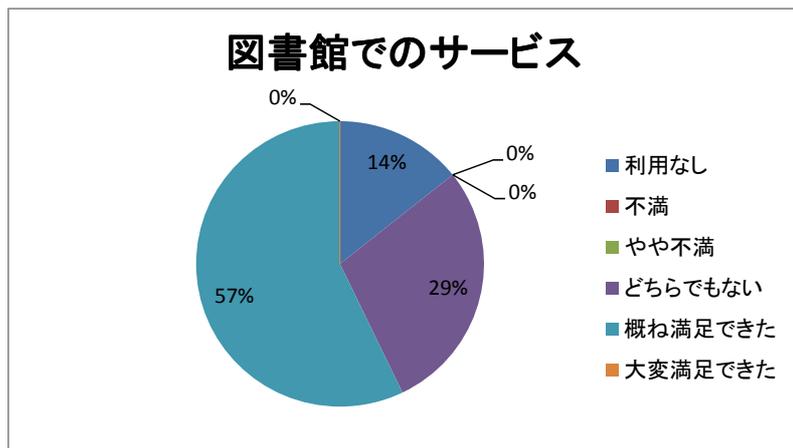
5-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	4
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	1
大変満足できた	1
未回答	0



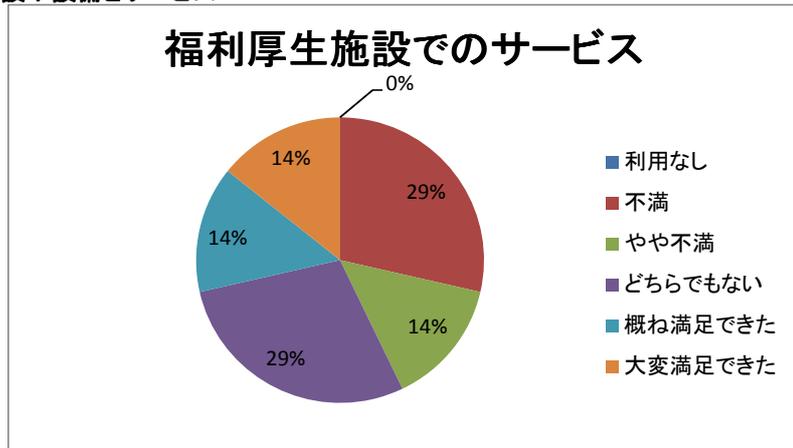
5-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	4
大変満足できた	0
未回答	0



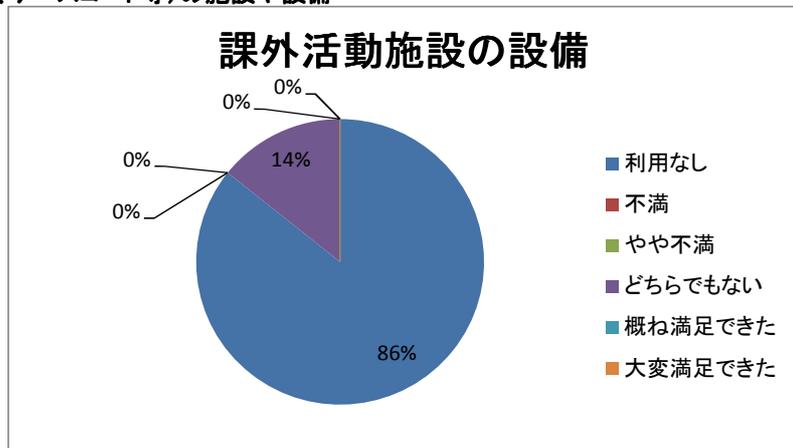
5-5 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	2
やや不満	1
どちらでもない	2
概ね満足できた	1
大変満足できた	1
未回答	0



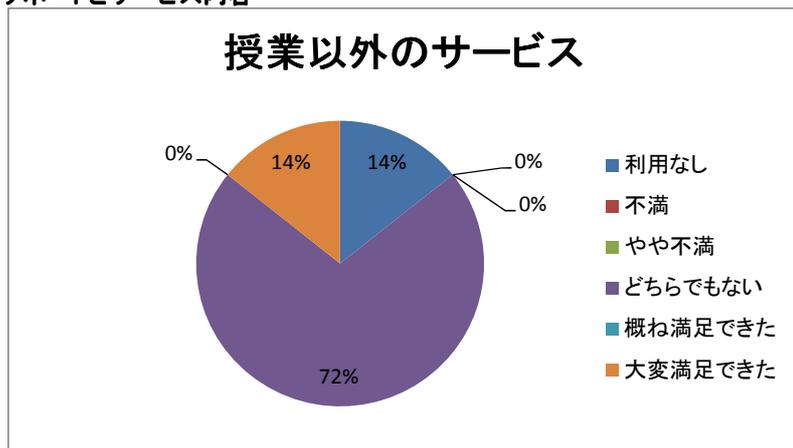
5-6 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	6
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	0
大変満足できた	0
未回答	0



5-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

選択肢	回答
利用なし	1
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	5
概ね満足できた	0
大変満足できた	1
未回答	0

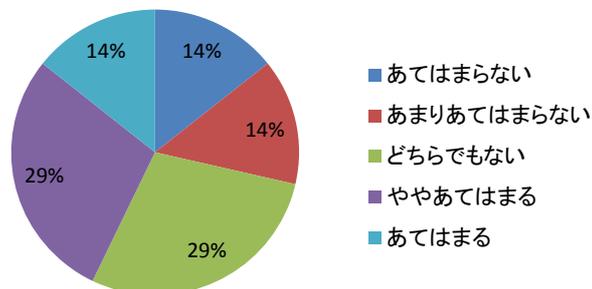


問6: 修学・履修に関する以下の項目についてお尋ねします。

6-1 専攻のカリキュラムが充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	2
あてはまる	1
未回答	0

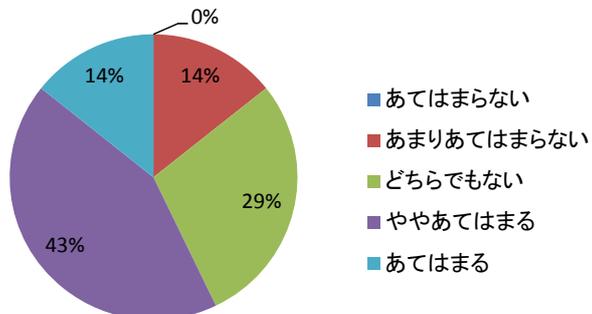
専攻のカリキュラムが充実



6-2 共通科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	1
未回答	0

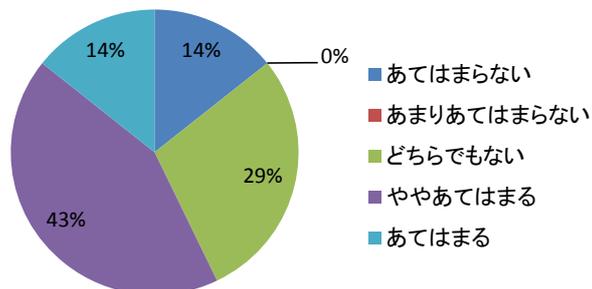
共通科目が充実



6-3 専門科目が充実していた

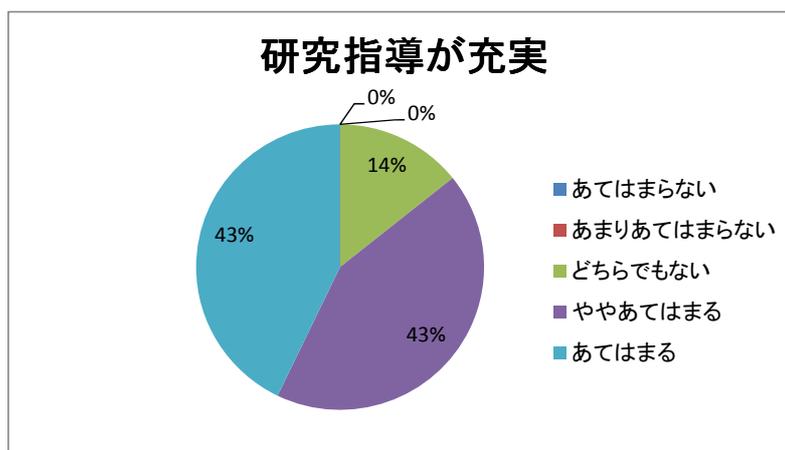
選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	1
未回答	0

専門科目が充実



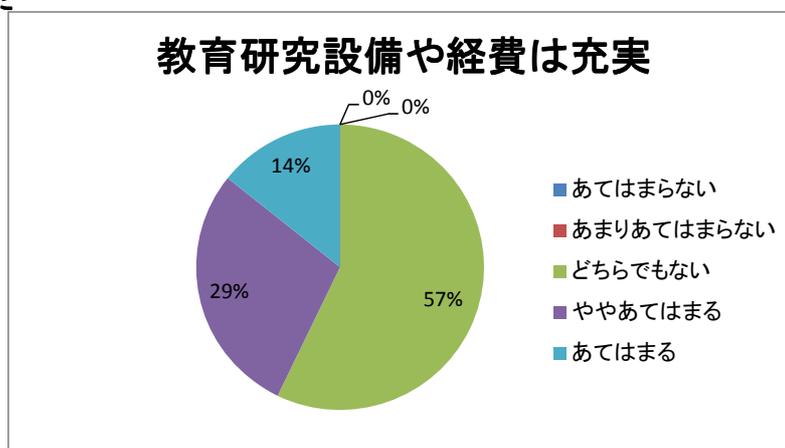
6-4 研究指導が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	3
未回答	0



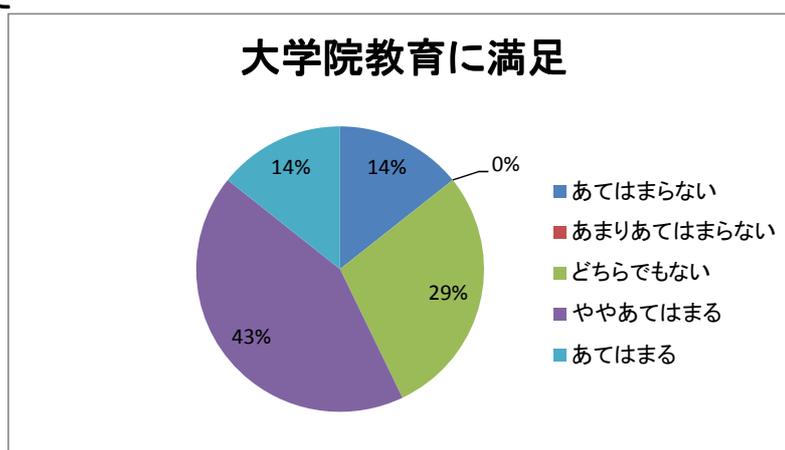
6-5 教育研究設備や経費は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	2
あてはまる	1
未回答	0



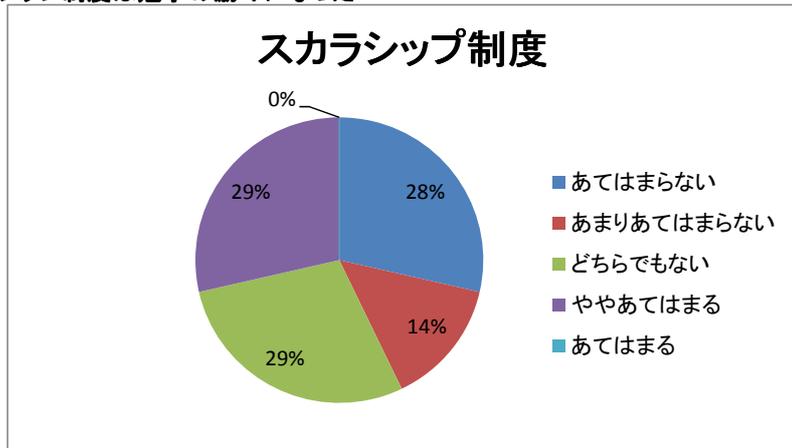
6-6 全体的に大学院教育に満足であった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	1
未回答	0



6-7 エクセレント・スチューデント・スカラシップ制度は勉学の励みになった

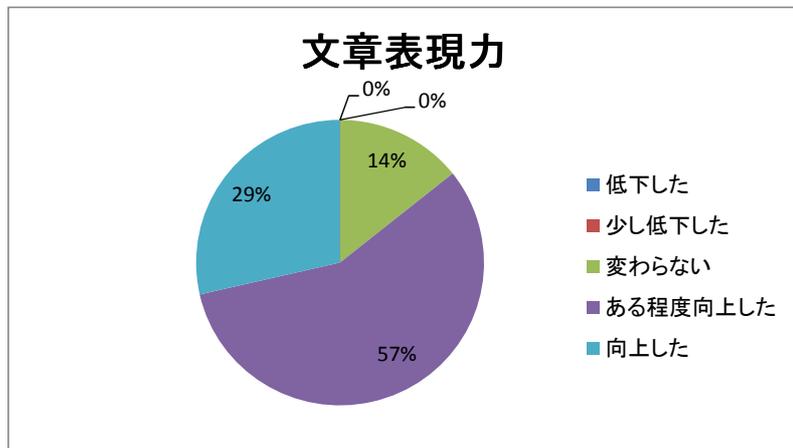
選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	2
あてはまる	0
未回答	0



問7: 大学院入学時と比較して、貴方の以下の能力はどの程度変化しましたか？

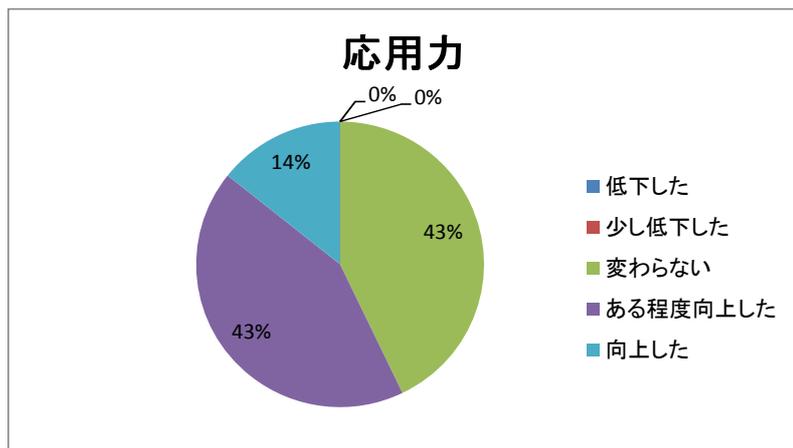
7-1 文章表現力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	1
ある程度向上した	4
向上した	2
未回答	0



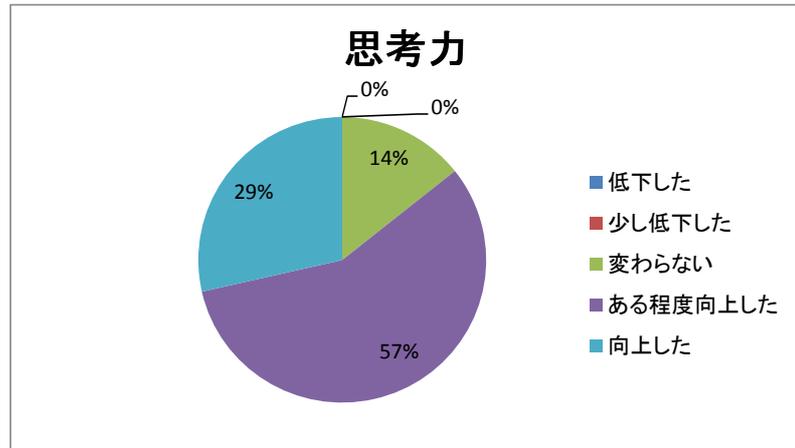
7-2 応用力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	3
ある程度向上した	3
向上した	1
未回答	0



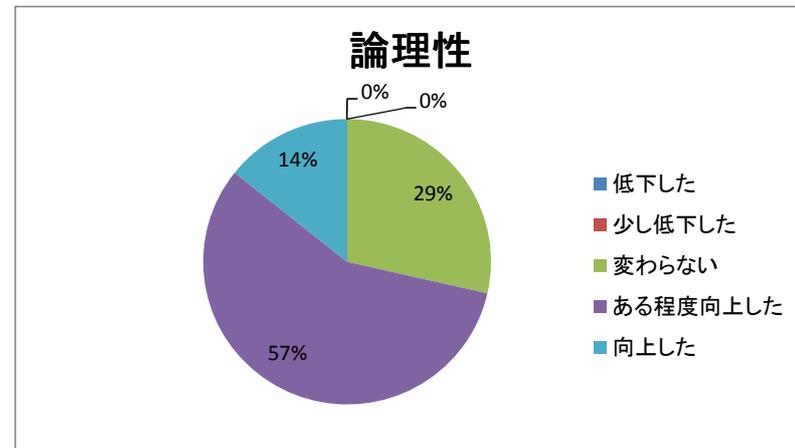
7-3 思考力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	1
ある程度向上した	4
向上した	2
未回答	0



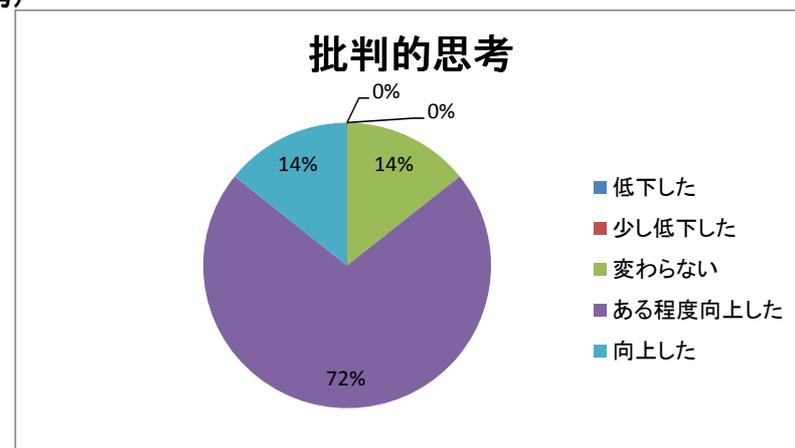
7-4 論理性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	2
ある程度向上した	4
向上した	1
未回答	0



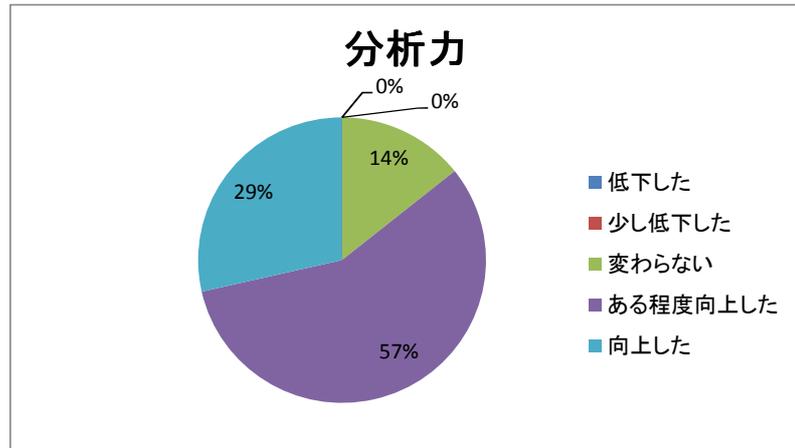
7-5 クリティカル・シンキング(批判的思考)

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	1
ある程度向上した	5
向上した	1
未回答	0



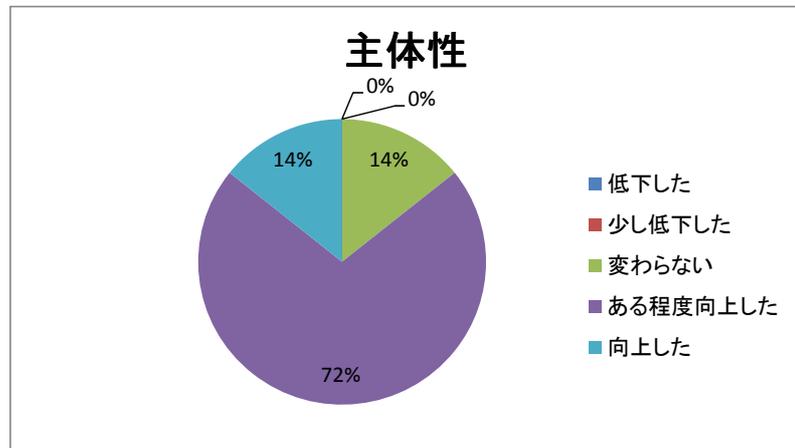
7-6 分析力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	1
ある程度向上した	4
向上した	2
未回答	0



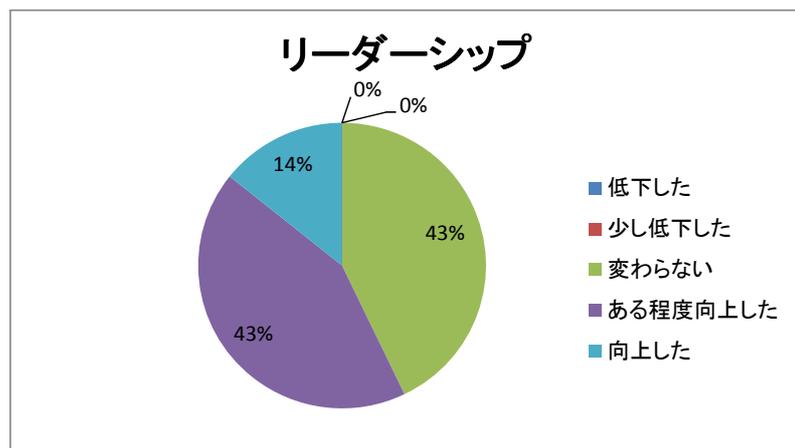
7-7 主体性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	1
ある程度向上した	5
向上した	1
未回答	0



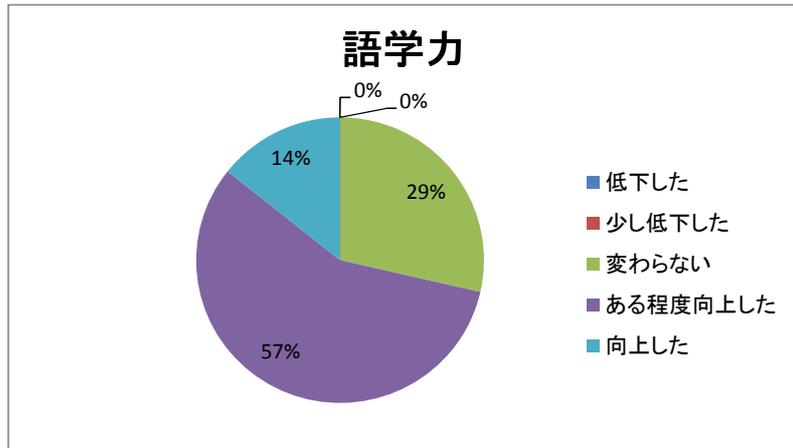
7-8 リーダーシップ

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	3
ある程度向上した	3
向上した	1
未回答	0



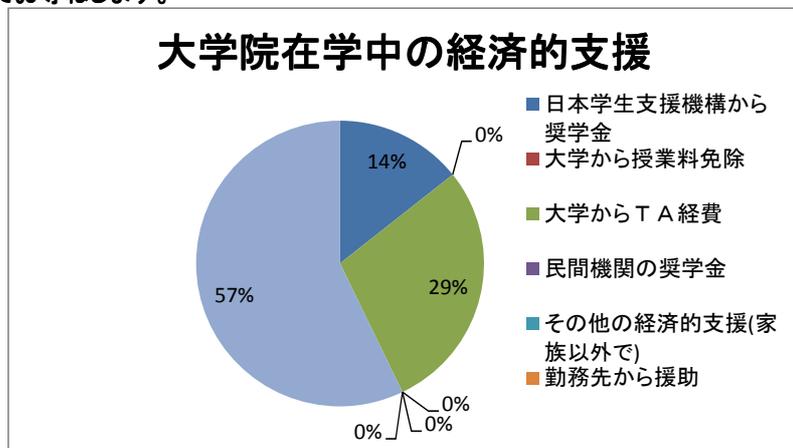
7-9 語学力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	2
ある程度向上した	4
向上した	1
未回答	0



問8: 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

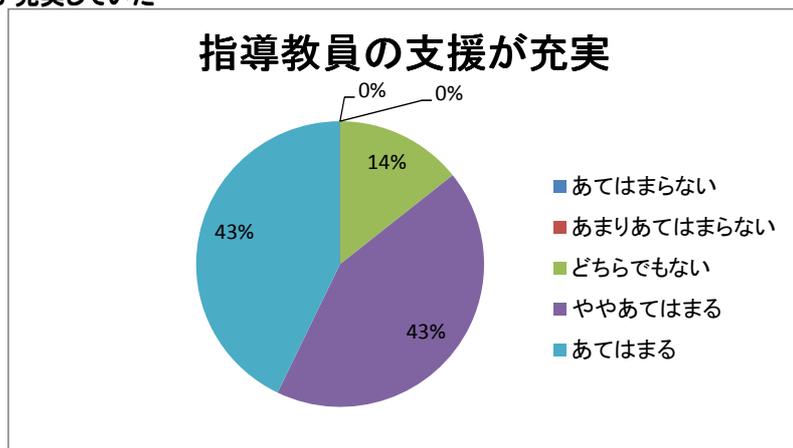
選択肢	回答
日本学生支援機構から奨学金	1
大学から授業料免除	0
大学からTA経費	2
民間機関の奨学金	0
その他の経済的支援(家族以外で)	0
勤務先から援助	0
全般的な経済的支援は全く受けていなかった	4



問9: 大学院での学生生活についてお尋ねします。

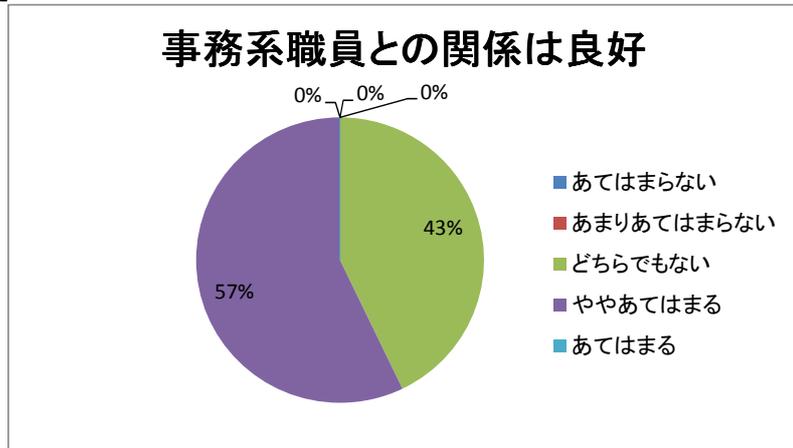
9-1 指導教員(正・副)の支援(相談など)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	3
未回答	0



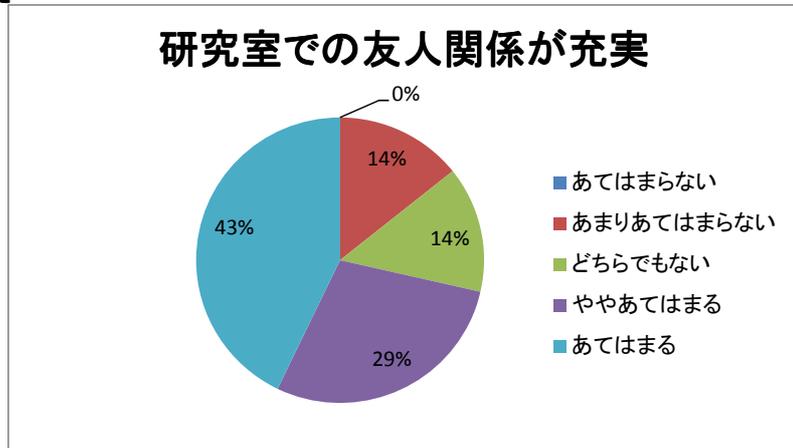
9-2 事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	4
あてはまる	0
未回答	0



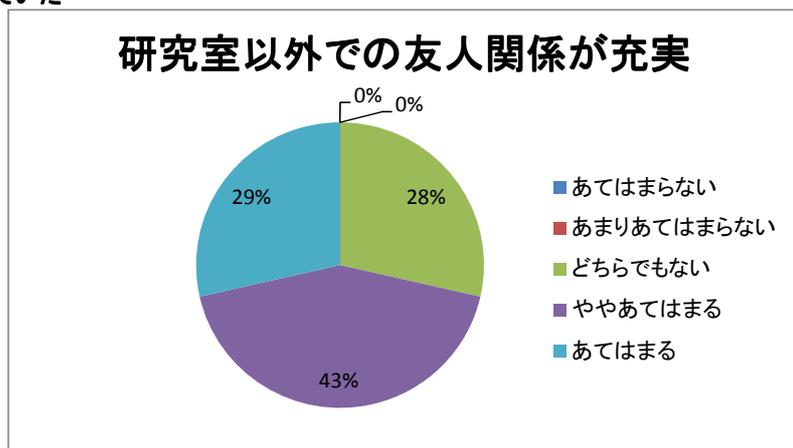
9-3 研究室での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	2
あてはまる	3
未回答	0



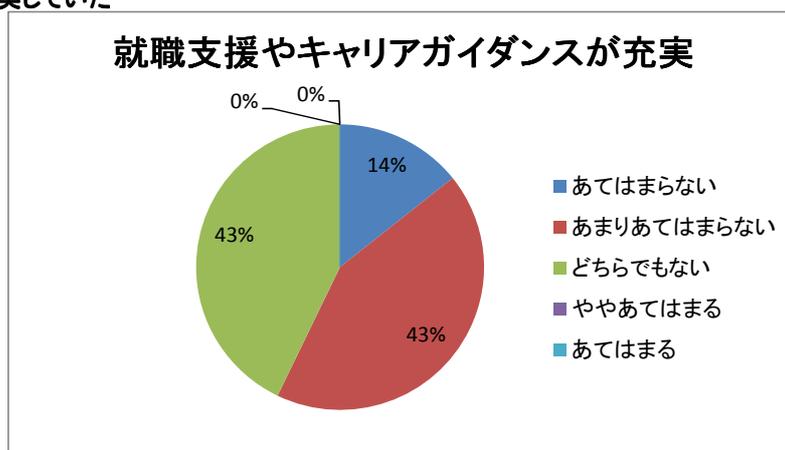
9-4 研究室以外での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	2
未回答	0



9-5 就職支援やキャリアガイダンスが充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	3
ややあてはまる	0
あてはまる	0
未回答	0



研究科総評

研究科： 工学研究科

1. 集計結果のまとめ

アンケートは Web で実施し、調査対象学生数は、博士課程前期に所属する 296 名、そのうち 162 名が回答し、回答率は 55% だった。これは全学の調査対象学生数 1,037 名の 3 割弱に相当する学生数であり、回答者の 2 割強に相当する。全学の回答率平均を下回るのは、紙媒体で実施しなかったこと及び設問数が 58 と多かったことが影響したと思われる。しかし、昨年は 47% に留まったので、いくらか改善された。これは学生への働きかけ、特に専攻事務室から呼びかけたためであり、一定の効果があったと思われる。

また、今回の設問の中で、設問 19, 24, 25 は、研究科が掲げる人材養成の目的である「自ら課題を設定し、それを解決できる能力を有する高度専門技術者を養成する」という趣旨に沿った結果が反映されたものと考えられる。

設問 19 「論理的思考が向上した」については、87% が肯定的な回答をしている。

設問 25 「研究等を通じて課題探求能力及び問題解決能力を養うことができた」についても、82% が肯定的な回答をしている。

2. 次年度に向けた対応

昨年同様に、研究科全体として英語運用能力が弱い傾向があることが見て取れる（設問 22, 29, 31）。

設問 22, 31 については、英語力が必ずしも必須でない分野もあるが、計画的に学習していないことが影響していると考ええる。

設問 29 については、英語力だけではなく、海外渡航という経済的な側面によって 35% に留まっていると考ええる。

今後の国際社会での活躍には英語力の向上は必須であることから、これらの 2 点について、次のような取り組みを継続し、改善していきたい。

設問 22, 31 については、25 年度から英語の専門教育機関である外国語教育センターの科目を活用し、必修科目として履修するようにした。

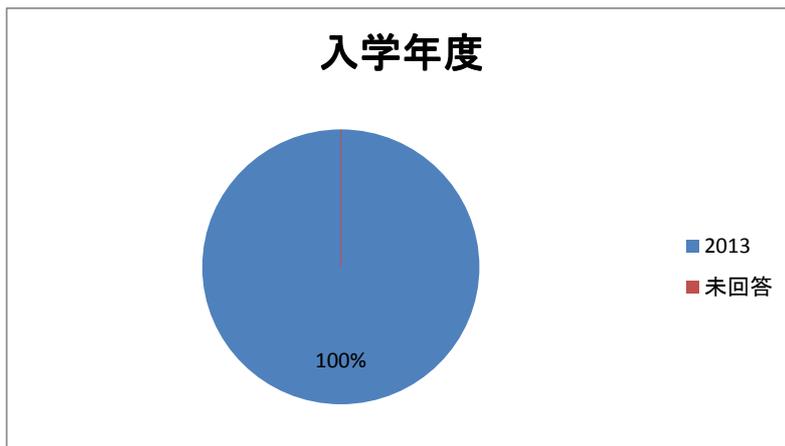
設問 29 については、学会発表に限定せず、海外共同研究、海外インターンシップ等、海外で活動する機会を増やすため、後援会、広島大学工学同窓会の協力を得て経済的援助を実施する。特に広島大学工学同窓会には、更なる海外渡航への追加支援を依頼した。

また、博士課程後期進学に関する設問 58 において、25% の学生が経済的理由で進学を断念していることがわかった。工学研究科では、博士課程後期の充足率向上の観点から

「工学研究科奨学金」の制度を創設し、25年度は1,000万円強の支援を行った。博士課程後期の入学者数については、過去10年間で最多となり、一定の効果があったと理解している。しかし、支出額については想定の半分程度に留まっているため、今後、更なる経済的援助を実施し、博士課程後期の充足を目指したい。

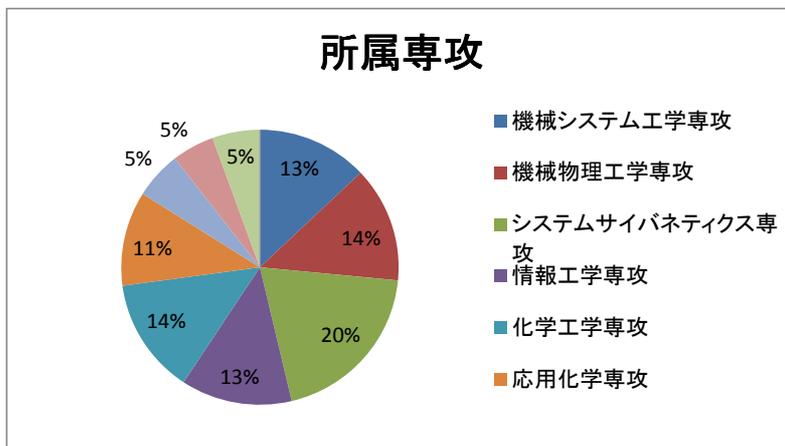
入学年度

入学年度	回答
2013	162
未回答	0



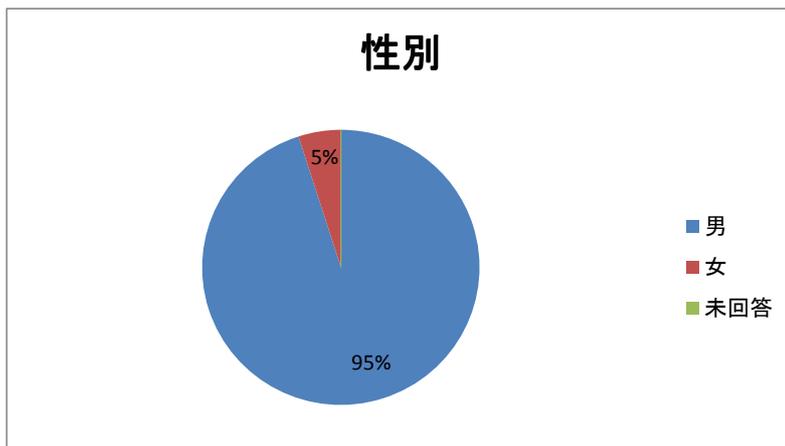
問1:現在所属する専攻を選んでください。

選択肢	回答
機械システム工学専攻	21
機械物理学専攻	22
システムサイバネティクス専攻	32
情報工学専攻	21
化学工学専攻	22
応用化学専攻	18
社会基盤環境工学専攻	9
輸送・環境システム専攻	8
建築学専攻	9
未回答	0



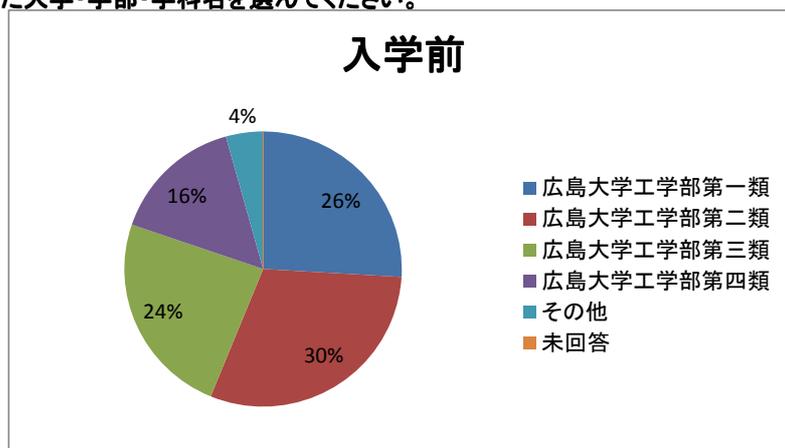
問2:あなたの性別を選んでください。

選択肢	回答
男	154
女	8
未回答	0



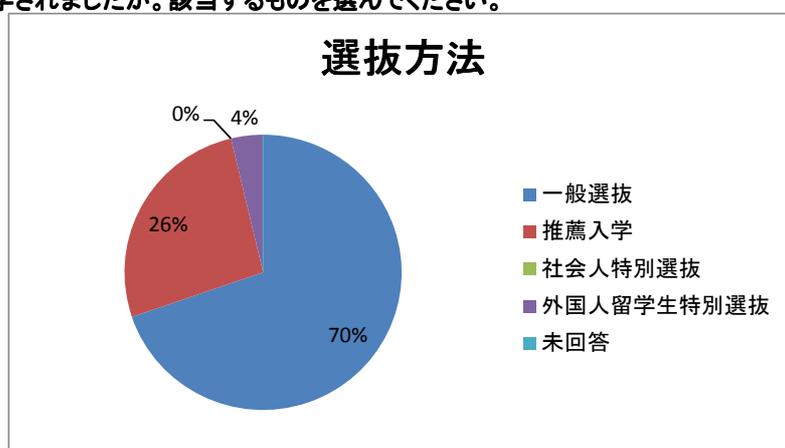
問3:工学研究科へ入学する前に、卒業した大学・学部・学科名を選んでください。

選択肢	回答
広島大学工学部第一類	42
広島大学工学部第二類	49
広島大学工学部第三類	39
広島大学工学部第四類	25
その他	7
未回答	0



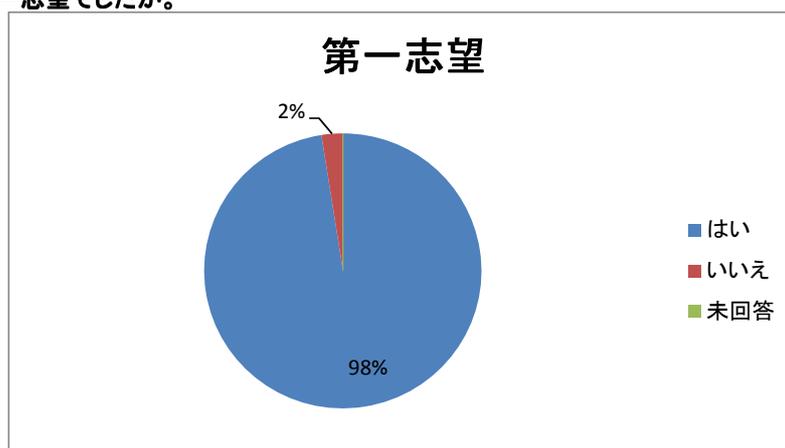
問5:工学研究科へはどの選抜方法で入学されましたか。該当するものを選んでください。

選択肢	回答
一般選抜	113
推薦入学	43
社会人特別選抜	0
外国人留学生特別選抜	6
未回答	0



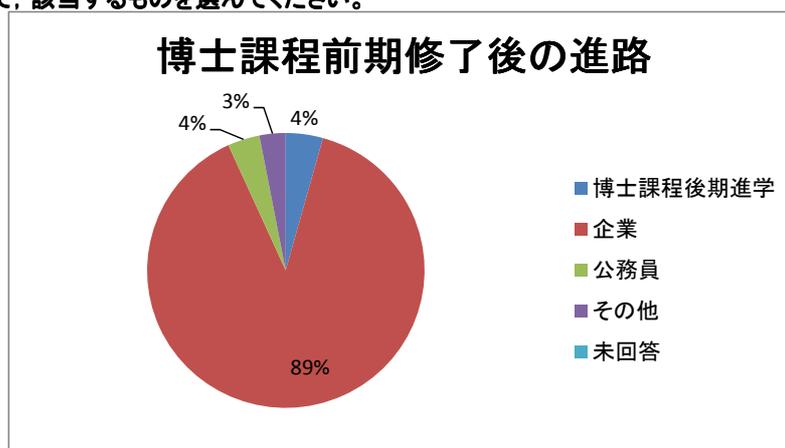
問6:広島大学工学研究科への進学は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	158
いいえ	4
未回答	0



問8:博士課程前期修了後の進路について、該当するものを選んでください。

選択肢	回答
博士課程後期進学	7
企業	144
公務員	6
その他	5
未回答	0



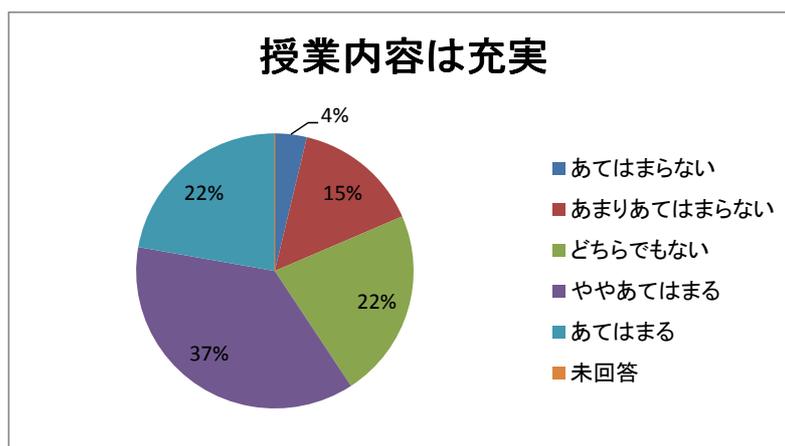
問9:進学先・勤務先の所在国はどこですか。該当するものを選んでください。

選択肢	回答
日本	160
日本以外の母国	2
その他の国	0
未回答	0



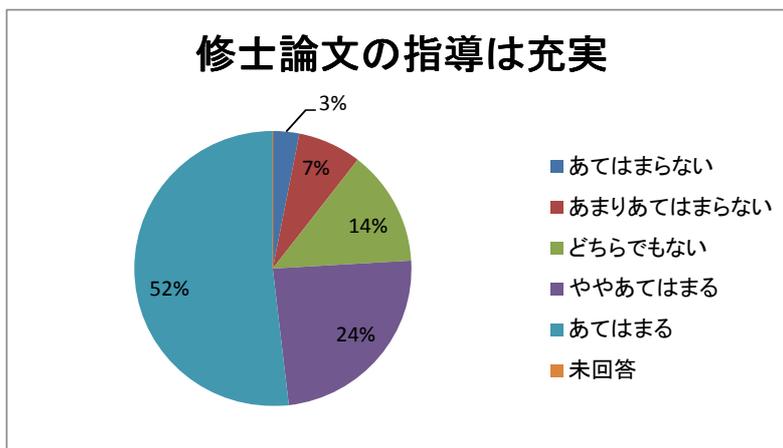
問12:授業内容は充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	6
あまりあてはまらない	24
どちらでもない	36
ややあてはまる	60
あてはまる	36
未回答	0



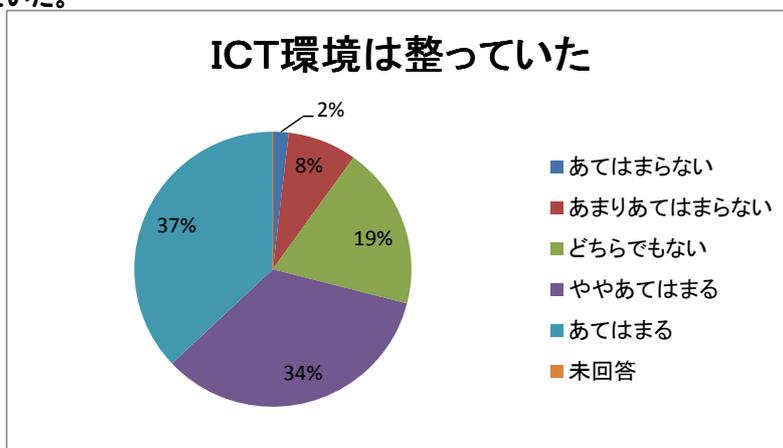
問13:修士論文の指導は充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	5
あまりあてはまらない	12
どちらでもない	22
ややあてはまる	39
あてはまる	84
未回答	0



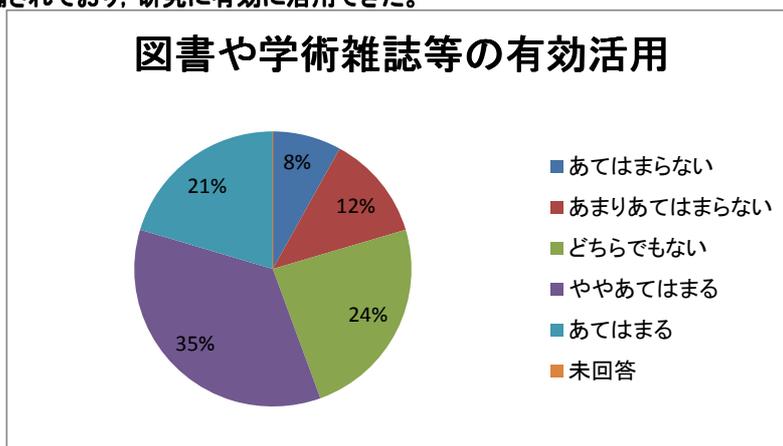
問14:大学のICT(情報端末)環境は整っていた。

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	13
どちらでもない	31
ややあてはまる	55
あてはまる	60
未回答	0



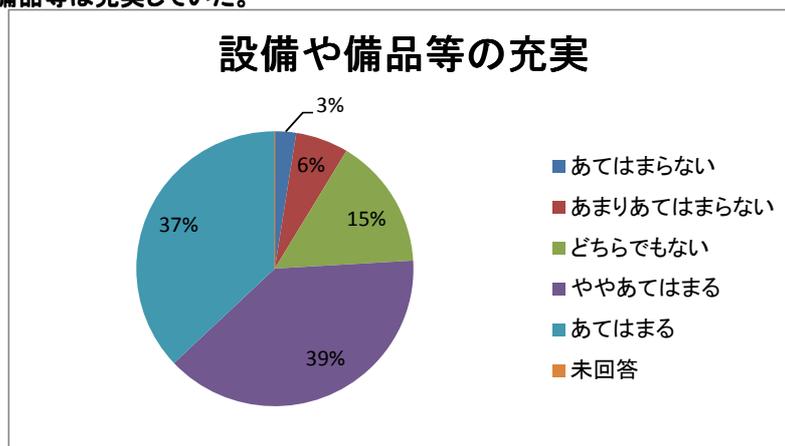
問15:図書や学術雑誌, AV資料等が整備されており, 研究に有効に活用できた。

選択肢	回答
あてはまらない	13
あまりあてはまらない	20
どちらでもない	39
ややあてはまる	57
あてはまる	33
未回答	0



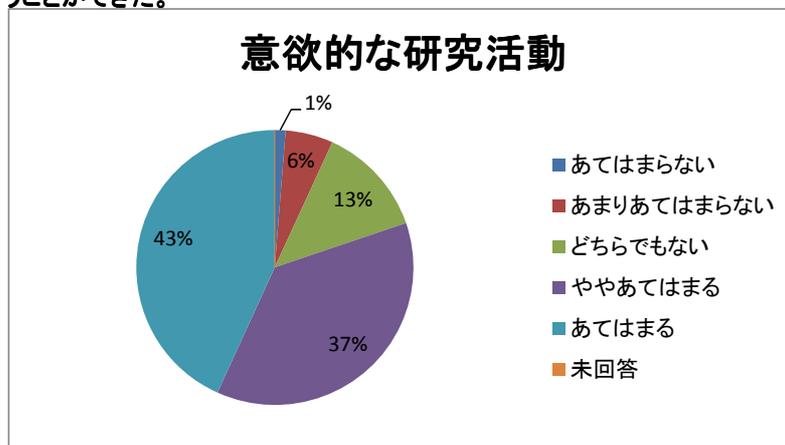
問16:全体的に教育・研究に係る設備や備品等は充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	25
ややあてはまる	63
あてはまる	60
未回答	0



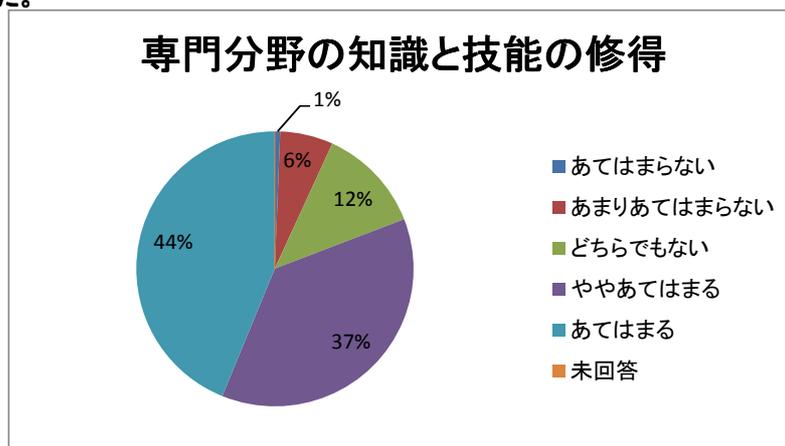
問17:研究室では意欲的な研究活動を行うことができた。

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	9
どちらでもない	21
ややあてはまる	60
あてはまる	70
未回答	0



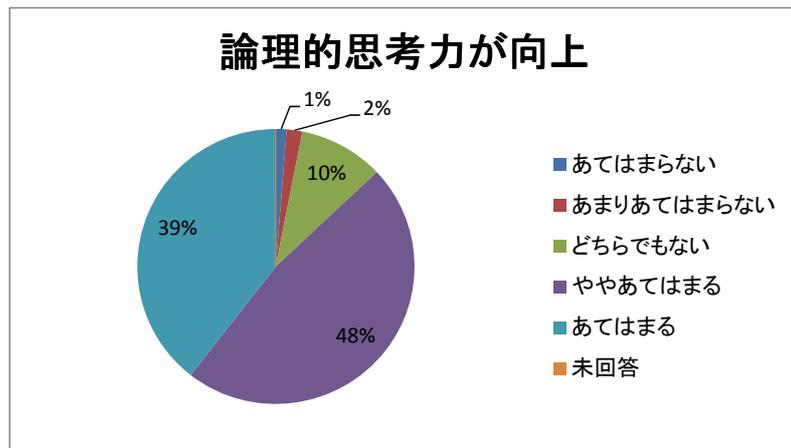
問18:専門分野の知識と技能を修得できた。

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	20
ややあてはまる	60
あてはまる	71
未回答	0



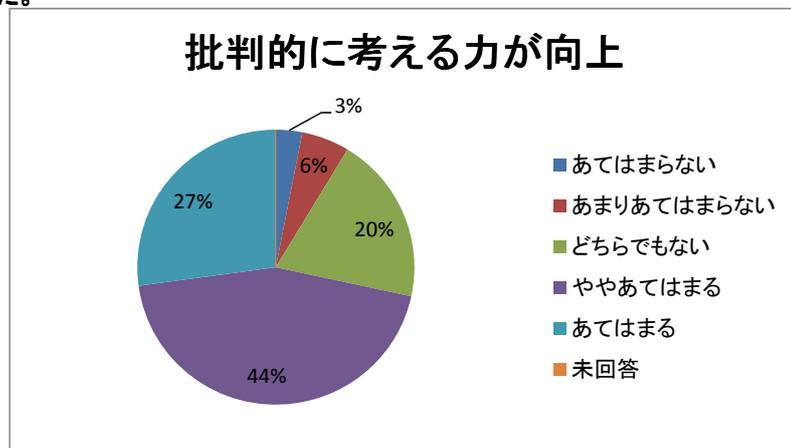
問19:論理的思考力が向上した。

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	16
ややあてはまる	77
あてはまる	64
未回答	0



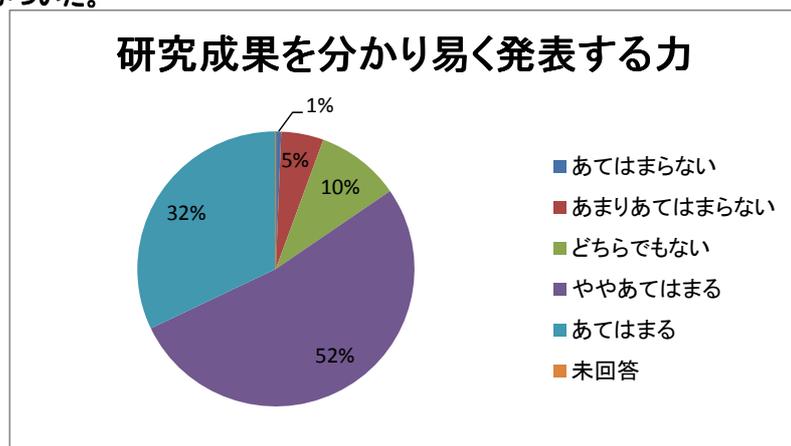
問20:物事を批判的に考える力が向上した。

選択肢	回答
あてはまらない	5
あまりあてはまらない	9
どちらでもない	32
ややあてはまる	72
あてはまる	44
未回答	0



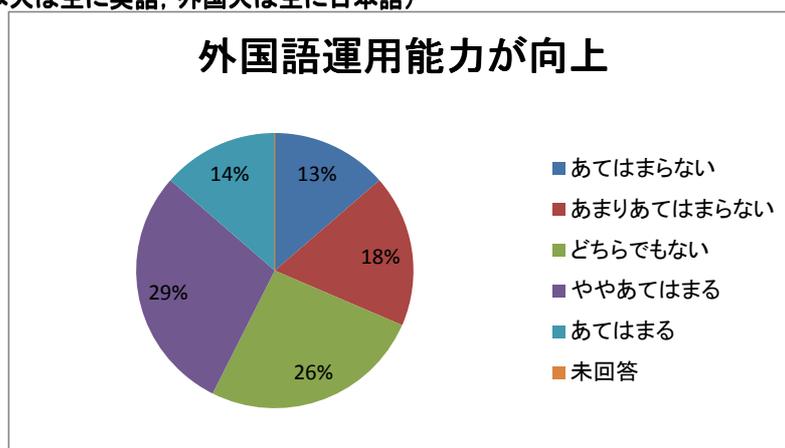
問21:研究成果を分かり易く発表する力がついた。

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	8
どちらでもない	16
ややあてはまる	85
あてはまる	52
未回答	0



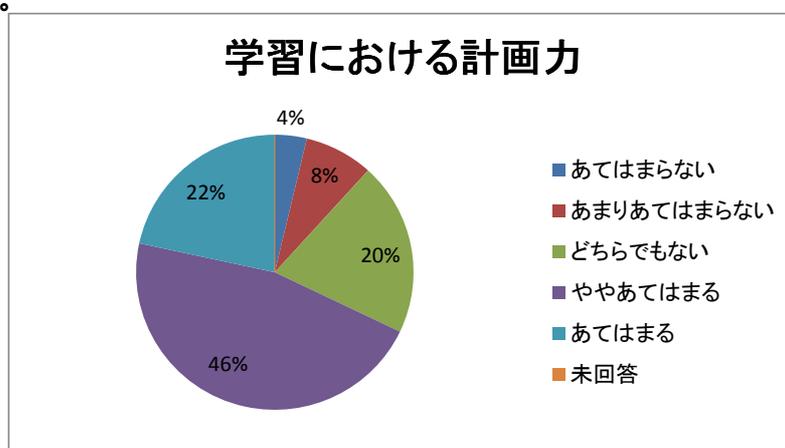
問22:外国語運用能力が向上した。(日本人は主に英語, 外国人は主に日本語)

選択肢	回答
あてはまらない	22
あまりあてはまらない	29
どちらでもない	42
ややあてはまる	47
あてはまる	22
未回答	0



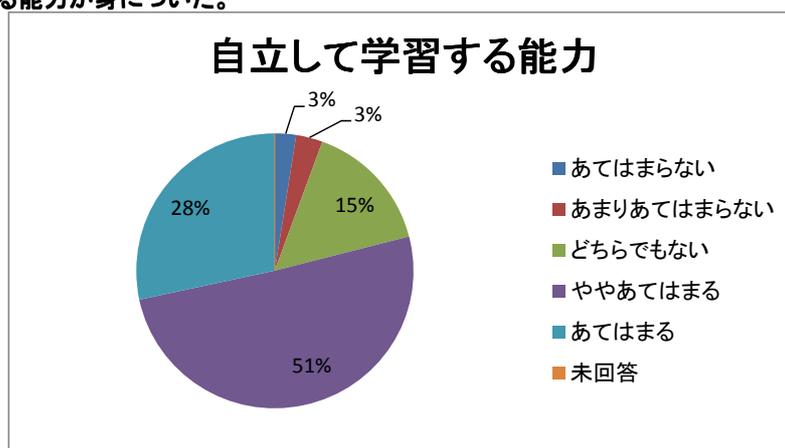
問23:学習における計画力が身についた。

選択肢	回答
あてはまらない	6
あまりあてはまらない	13
どちらでもない	33
ややあてはまる	75
あてはまる	35
未回答	0



問24:研究推進において自立して学習する能力が身についた。

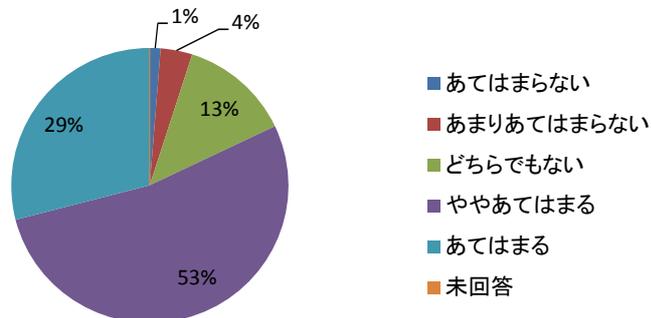
選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	25
ややあてはまる	82
あてはまる	46
未回答	0



問25:研究等を通じて課題探求能力及び問題解決能力を養うことができた。

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	6
どちらでもない	21
ややあてはまる	86
あてはまる	47
未回答	0

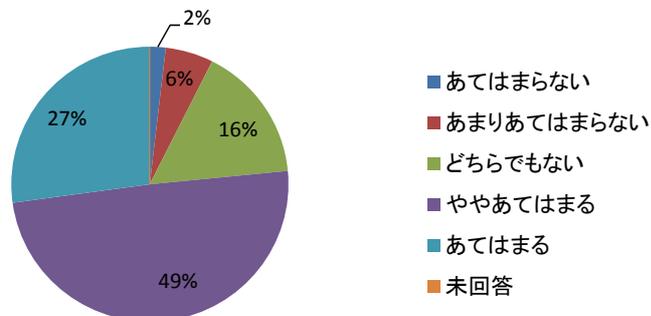
課題探求能力及び問題解決能力



問26:専門分野で必要なスキルを修得できた。

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	9
どちらでもない	26
ややあてはまる	80
あてはまる	44
未回答	0

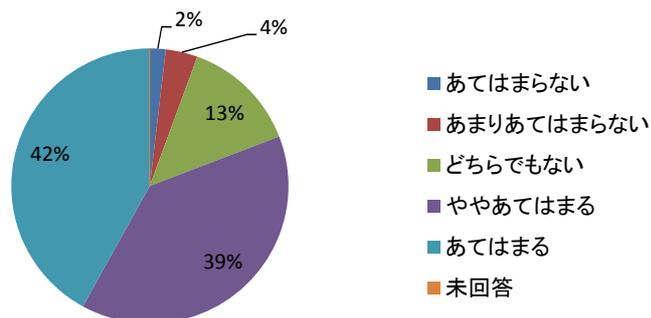
スキルの修得



問27:学会等での発表に際して、助言と指導が適切であった。

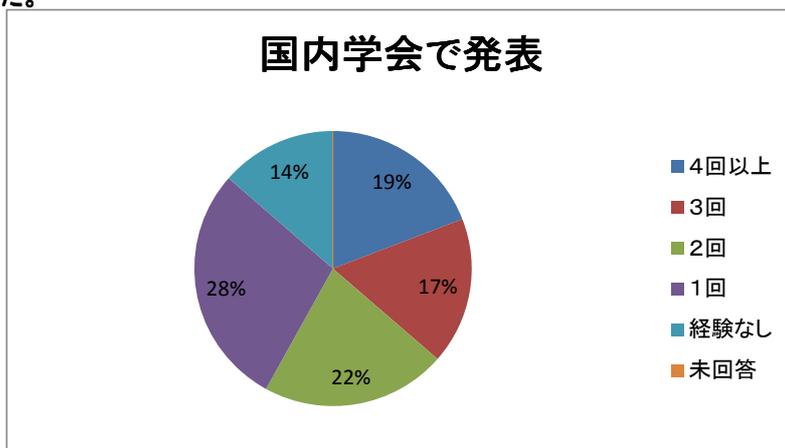
選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	6
どちらでもない	22
ややあてはまる	63
あてはまる	68
未回答	0

学会等での発表への助言と指導



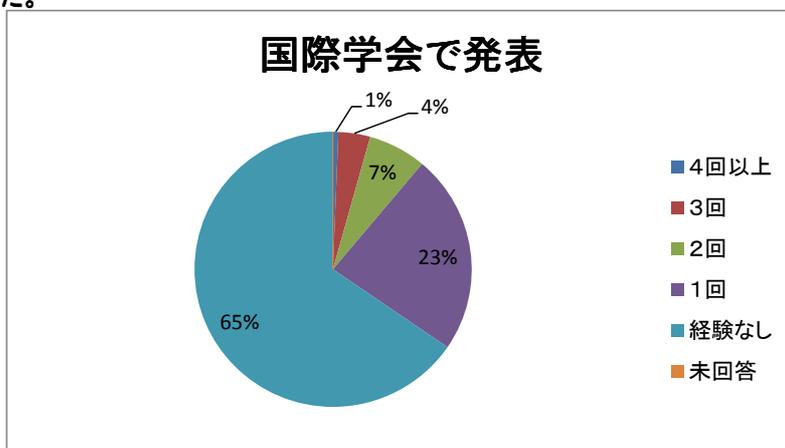
問28:大学院在学中に国内学会で発表した。

選択肢	回答
4回以上	31
3回	28
2回	35
1回	46
経験なし	22
未回答	0



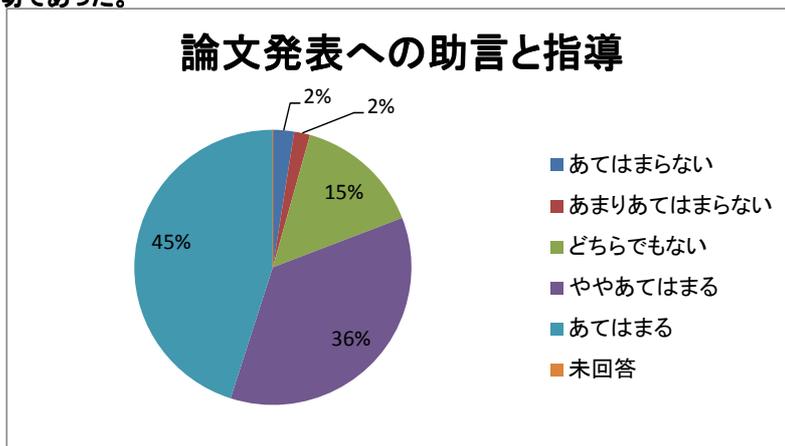
問29:大学院在学中に国際学会で発表した。

選択肢	回答
4回以上	1
3回	6
2回	11
1回	38
経験なし	106
未回答	0



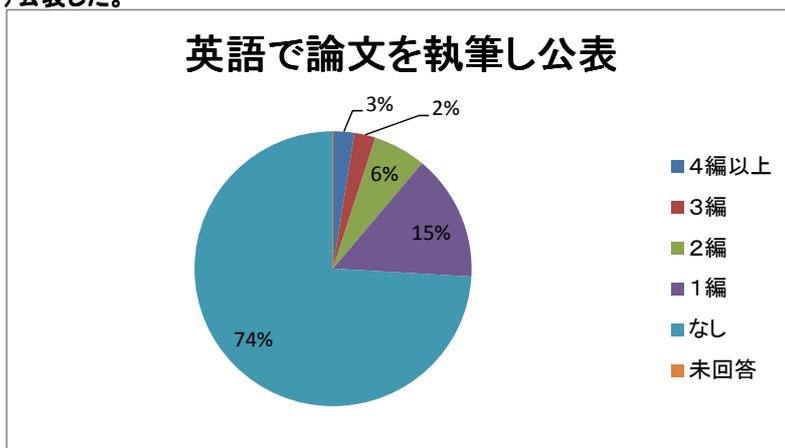
問30:論文発表に関する助言と指導が適切であった。

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	24
ややあてはまる	58
あてはまる	73
未回答	0



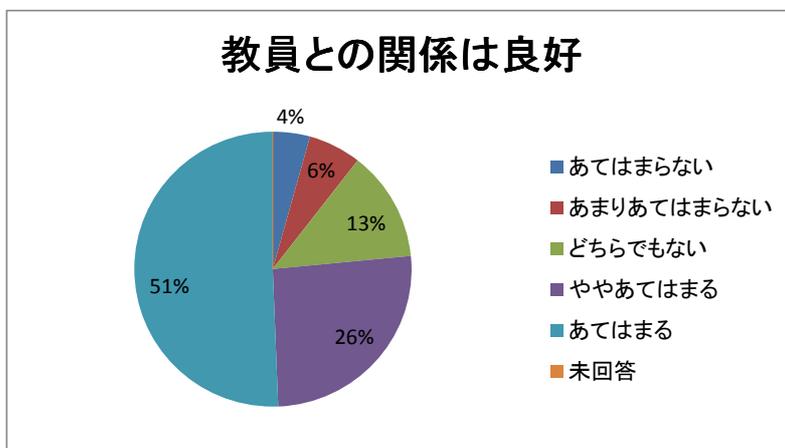
問31:英語で論文を執筆し(共著も含めて)公表した。

選択肢	回答
4編以上	4
3編	4
2編	10
1編	24
なし	120
未回答	0



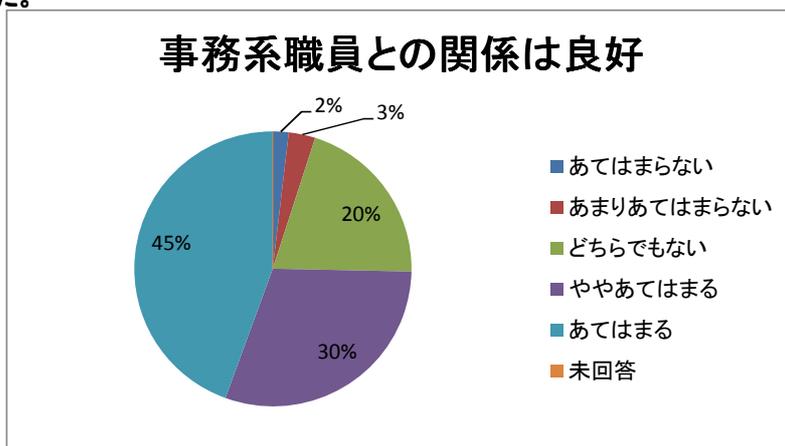
問33:教員との関係は良好であった。

選択肢	回答
あてはまらない	7
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	21
ややあてはまる	42
あてはまる	82
未回答	0



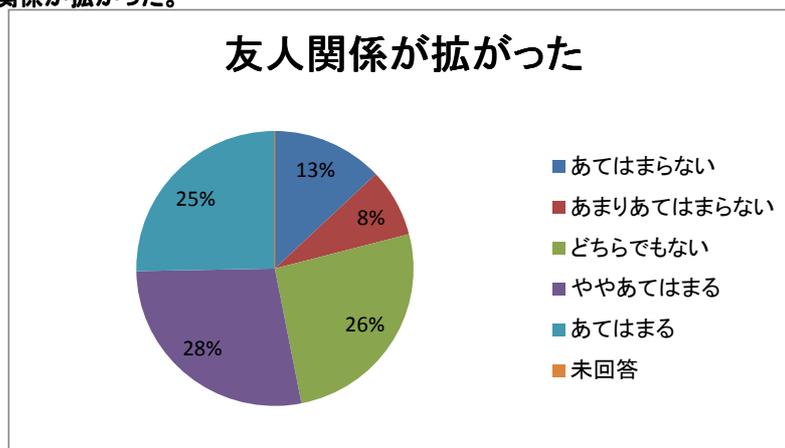
問34:事務系職員との関係は良好であった。

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	33
ややあてはまる	49
あてはまる	72
未回答	0



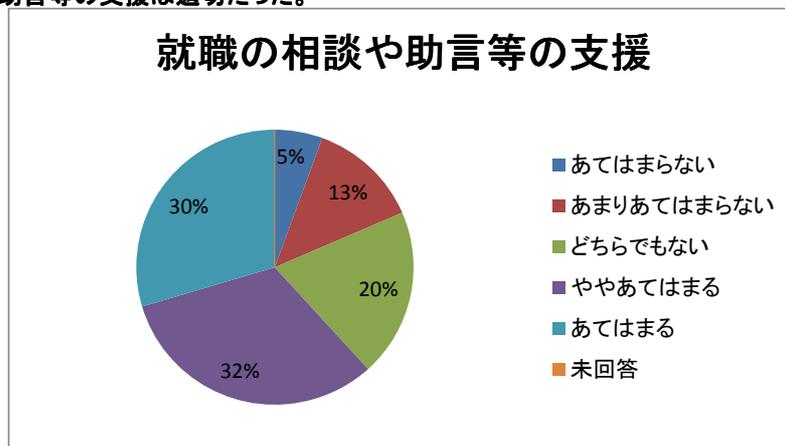
問35:共同研究等の活動をとおりて友人関係が拡がった。

選択肢	回答
あてはまらない	21
あまりあてはまらない	13
どちらでもない	42
ややあてはまる	45
あてはまる	41
未回答	0



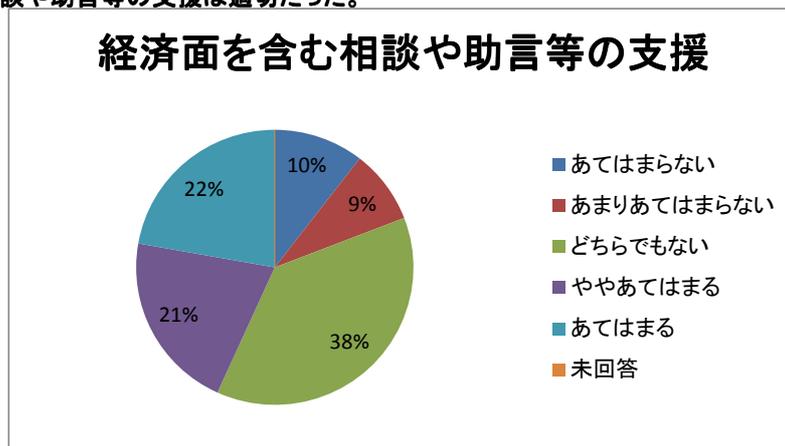
問36:教職員による就職に関する相談や助言等の支援は適切だった。

選択肢	回答
あてはまらない	9
あまりあてはまらない	21
どちらでもない	32
ややあてはまる	52
あてはまる	48
未回答	0



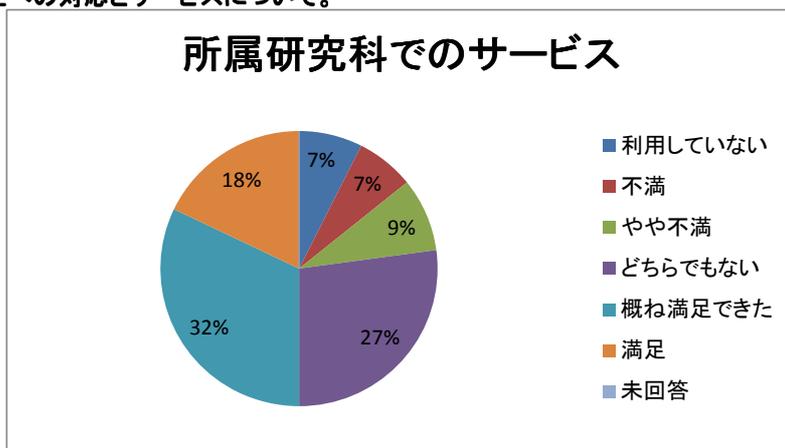
問37:教職員による経済面を含む生活相談や助言等の支援は適切だった。

選択肢	回答
あてはまらない	17
あまりあてはまらない	14
どちらでもない	61
ややあてはまる	34
あてはまる	36
未回答	0



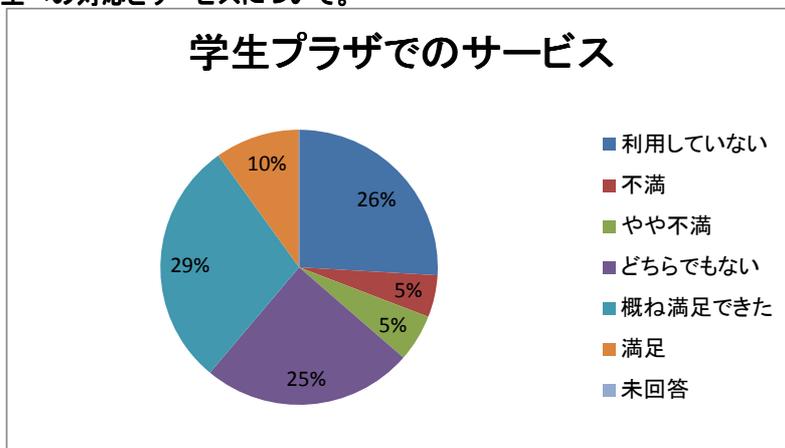
問38:所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービスについて。

選択肢	回答
利用していない	12
不満	11
やや不満	14
どちらでもない	44
概ね満足できた	52
満足	29
未回答	0



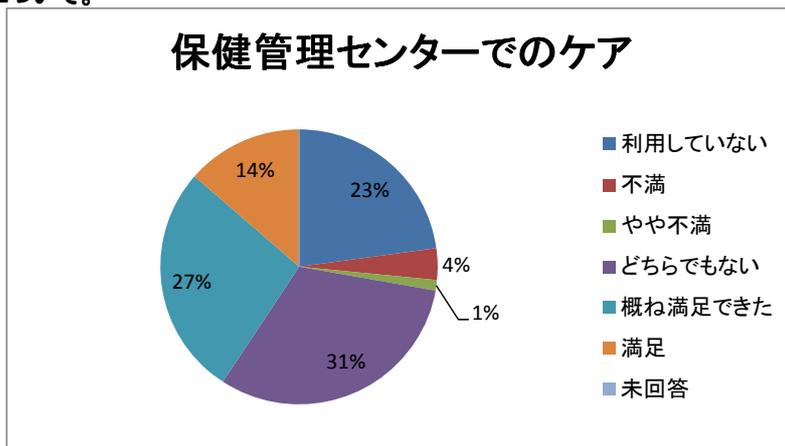
問39:学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービスについて。

選択肢	回答
利用していない	42
不満	8
やや不満	9
どちらでもない	40
概ね満足できた	47
満足	16
未回答	0



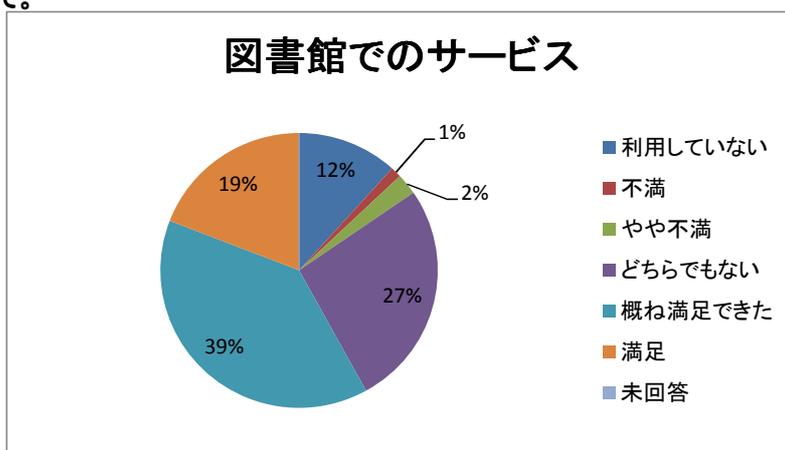
問40:保健管理センターでの対応とケアについて。

選択肢	回答
利用していない	37
不満	6
やや不満	2
どちらでもない	51
概ね満足できた	44
満足	22
未回答	0



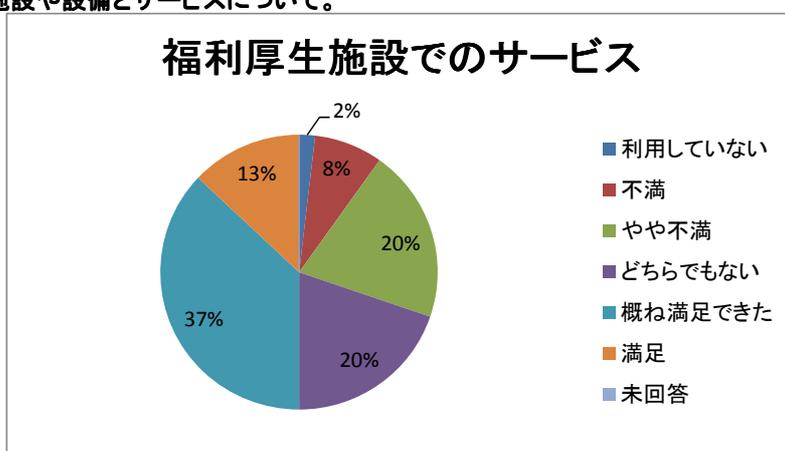
問41:図書館での対応やサービスについて。

選択肢	回答
利用していない	19
不満	2
やや不満	4
どちらでもない	43
概ね満足できた	63
満足	31
未回答	0



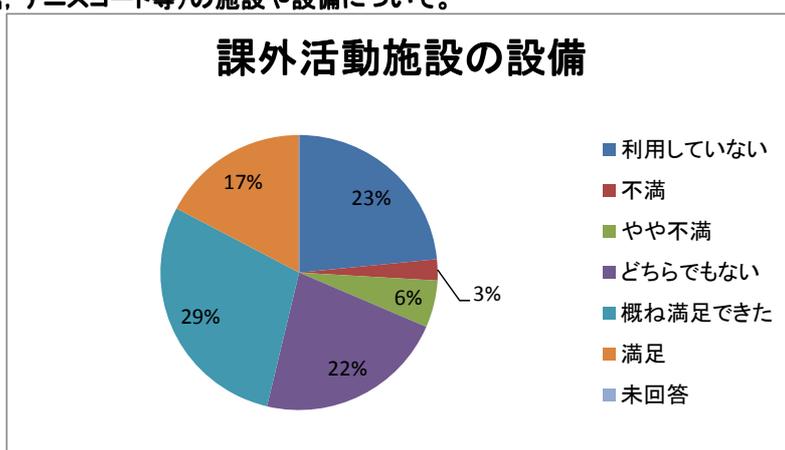
問42:福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービスについて。

選択肢	回答
利用していない	3
不満	13
やや不満	33
どちらでもない	32
概ね満足できた	60
満足	21
未回答	0



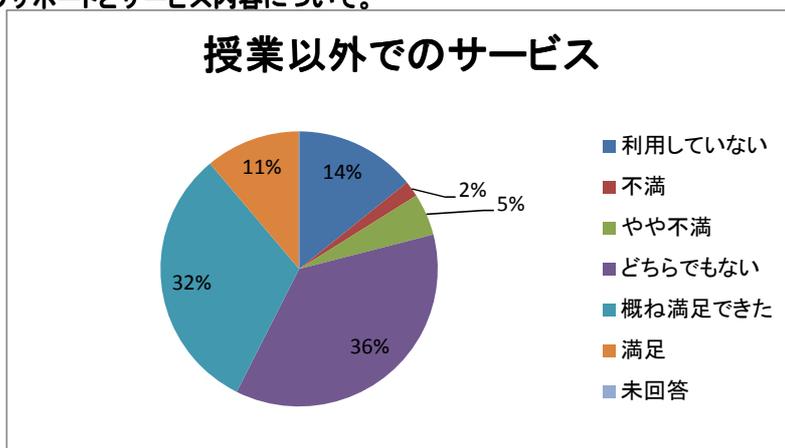
問43:課外活動施設(グラウンドや体育館, テニスコート等)の施設や設備について。

選択肢	回答
利用していない	38
不満	4
やや不満	9
どちらでもない	36
概ね満足できた	47
満足	28
未回答	0



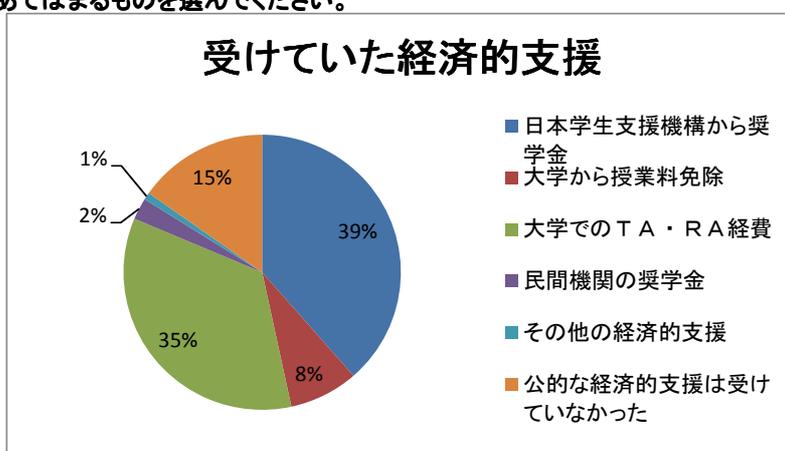
問44:授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容について。

選択肢	回答
利用していない	23
不満	3
やや不満	8
どちらでもない	59
概ね満足できた	51
満足	18
未回答	0



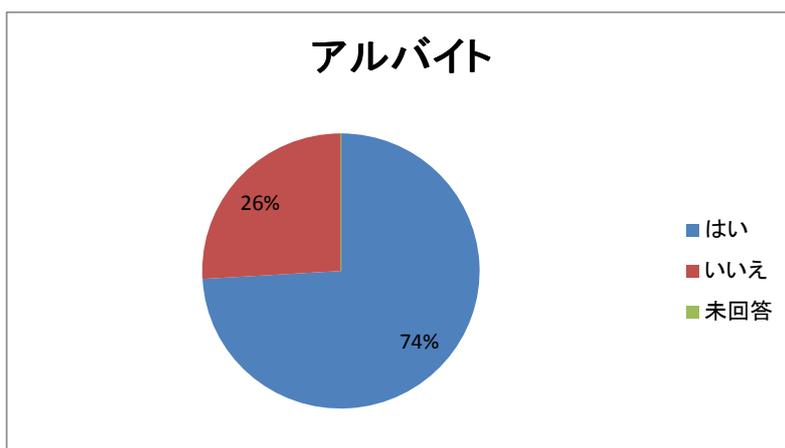
問46:あなたが受けていた経済的支援であてはまるものを選んでください。

選択肢	回答
日本学生支援機構から奨学金	91
大学から授業料免除	19
大学でのTA・RA経費	82
民間機関の奨学金	6
その他の経済的支援	2
公的な経済的支援は受けていなかった	36



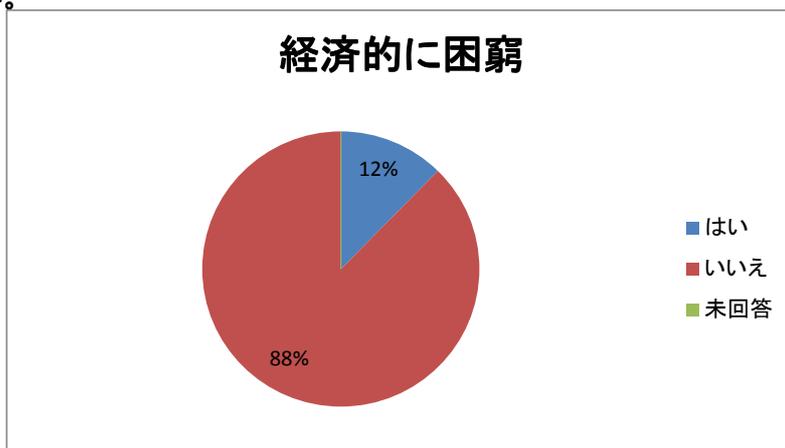
問48:アルバイトをしていましたか。

選択肢	回答
はい	120
いいえ	42
未回答	0



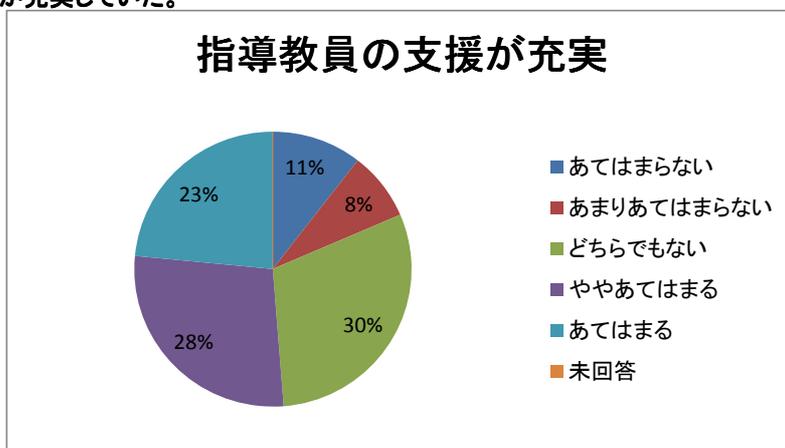
問49:経済的に困窮したことはありますか。

選択肢	回答
はい	20
いいえ	142
未回答	0



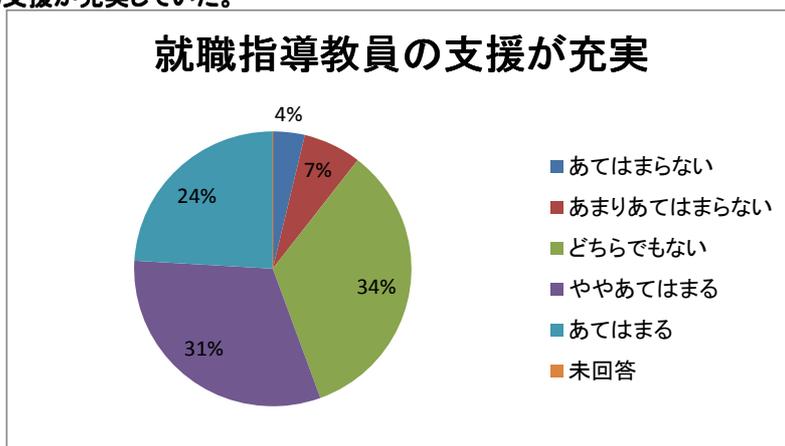
問52:指導教員(正・副)の支援(相談等)が充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	17
あまりあてはまらない	13
どちらでもない	49
ややあてはまる	45
あてはまる	38
未回答	0



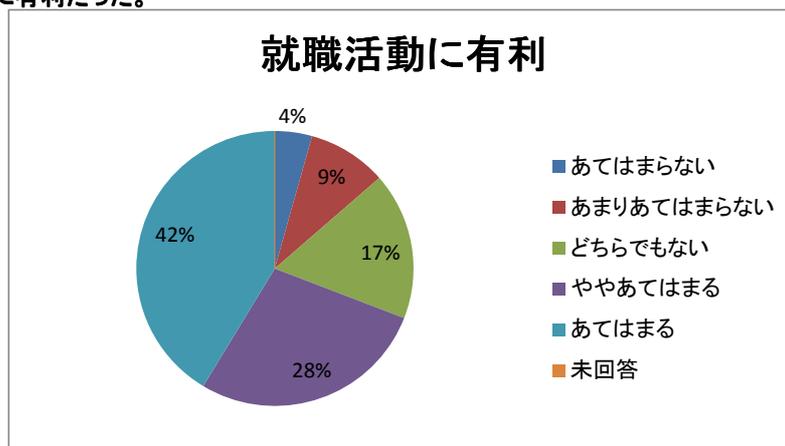
問53:就職指導教員又は各専攻における支援が充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	6
あまりあてはまらない	11
どちらでもない	55
ややあてはまる	51
あてはまる	39
未回答	0



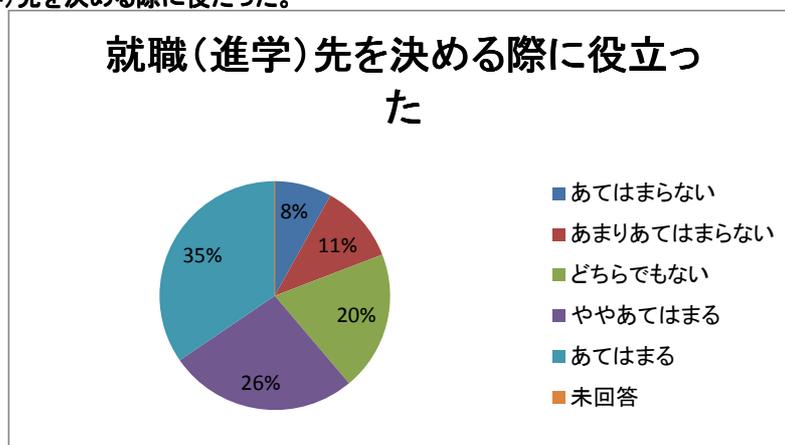
問54:大学院で学修したことが就職活動に有利だった。

選択肢	回答
あてはまらない	7
あまりあてはまらない	15
どちらでもない	28
ややあてはまる	45
あてはまる	67
未回答	0



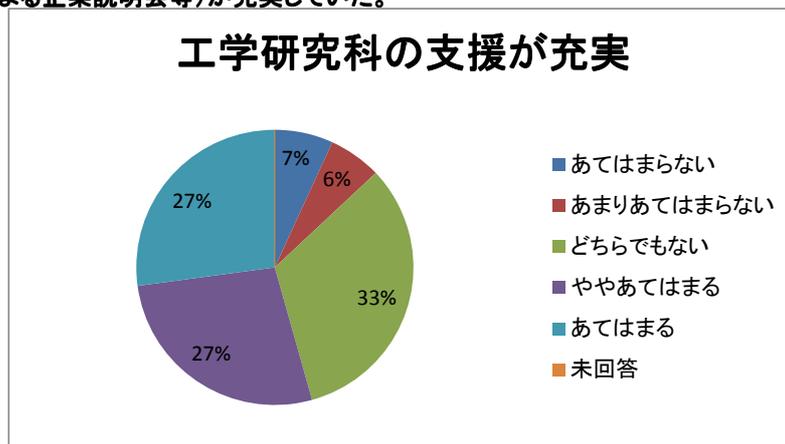
問55:大学院で学修したことが就職(進学)先を決める際に役立った。

選択肢	回答
あてはまらない	13
あまりあてはまらない	18
どちらでもない	32
ややあてはまる	43
あてはまる	56
未回答	0



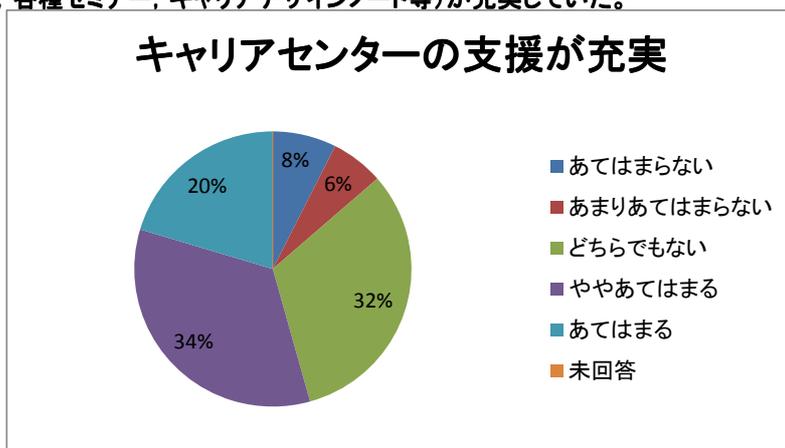
問56:工学研究科の支援(工学同窓会による企業説明会等)が充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	11
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	53
ややあてはまる	44
あてはまる	44
未回答	0



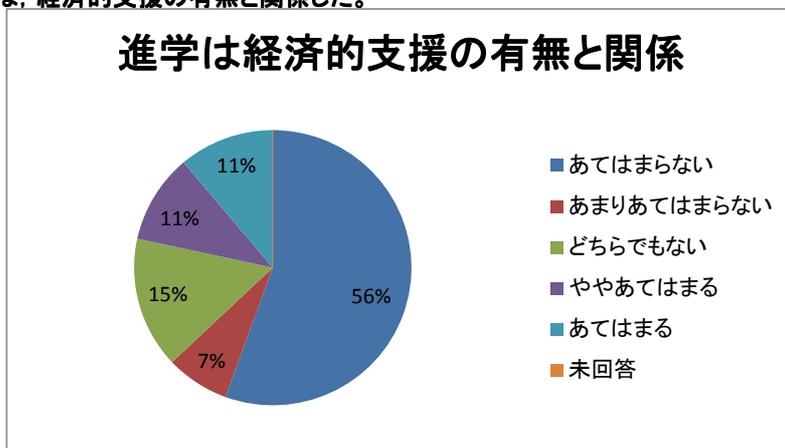
問57:キャリアセンターの支援(進路相談, 各種セミナー, キャリアデザインノート等)が充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	12
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	52
ややあてはまる	55
あてはまる	33
未回答	0



問58:博士課程後期に進学するかどうかは, 経済的支援の有無と関係した。

選択肢	回答
あてはまらない	90
あまりあてはまらない	12
どちらでもない	25
ややあてはまる	17
あてはまる	18
未回答	0



研究科総評

研究科： 生物圏科学研究科

1. 集計結果のまとめ

アンケートは紙媒体で実施し、調査対象学生は、博士課程前期に所属する 68 名で、そのうち 45 名が回答し、回答率は 66% であった。

設問 1-1 については、「概ね満足」と「大変満足」を合わせて 89% であり、学生支援に対する取り組みが評価されたものと判断される。また、設問 2 については「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせて 82%、設問 4 については「大変役立っている」と「多少役立っている」を合わせて 84%、設問 5 については「大変役立つと思う」と「多少役立つと思う」を合わせて 80% となっており、講義科目に対する満足度は、かなり高いと判断される。一方、設問 9 の「共同セミナーが現在役立っているか」と設問 12 の「修士論文研究は満足か」について、それぞれ「役立っている（大変，多少）」が 60%、「満足（大変，ほぼ）」が 71% と多少低かった点が気になるところである。修士論文研究を通したさまざまな知識、技術、能力の習得については、ある程度十分であったと判断される。ただし、論文（日本語）作成能力の習得（設問 27）よりも科学英語論文作成能力の習得（設問 29）の方が十分であったと考える割合が高かったことについては、若干疑問が残る。

2. 次年度に向けた対応

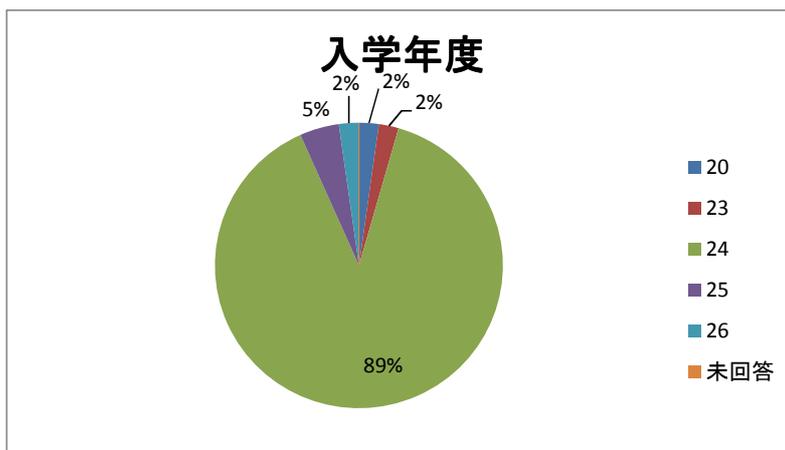
今回のアンケート結果では、本研究科の学生支援室におけるサービスの満足度がかなり高かったことは特筆すべきことである。また、講義科目の満足度は比較的高かったが、「大変満足」や「大変役立っている」の割合が低かったことから、もう少し教員の努力が必要であると考えられる（設問 2, 4, 5）。

設問 9 については、共同セミナーが役立っていると考えている割合が若干低かった。共同セミナーは異なる分野について知識を広げることを目的としている部分もあるため、すぐに役立つと考える割合を増やすことは難しいかもしれない。しかし、今後満足度を高めていく努力が必要であると考えられる。

修士論文研究（設問 12, 14, 15）の「満足」、「役立つ」の割合や研究を通した様々な知識、技術などの習得（設問 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29）が普通以上であると考えられる割合はかなり高かったが、さらに「十分であった」と考える割合を増やすよう努力をする必要がある。

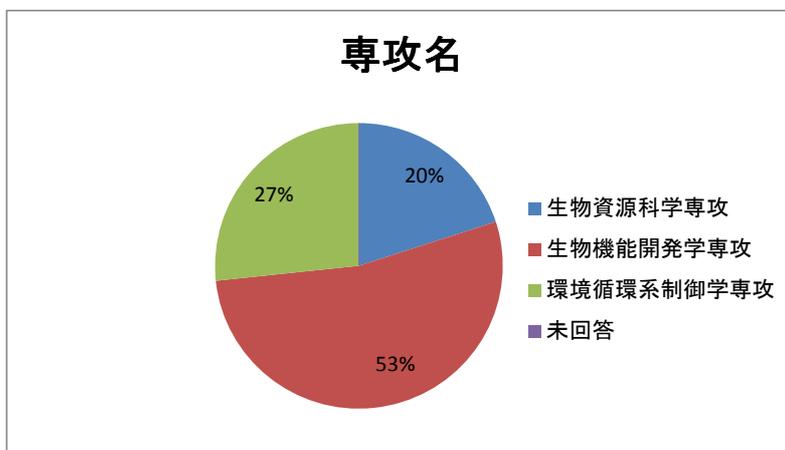
入学年度

入学年度	入学年度集計
20	1
23	1
24	40
25	2
26	1
未回答	0



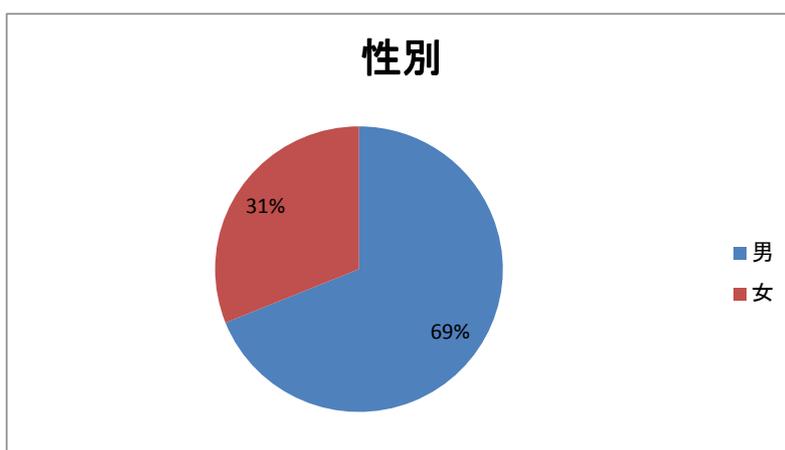
専攻名

選択肢	回答
生物資源科学専攻	9
生物機能開発学専攻	24
環境循環系制御学専攻	12
未回答	0



性別

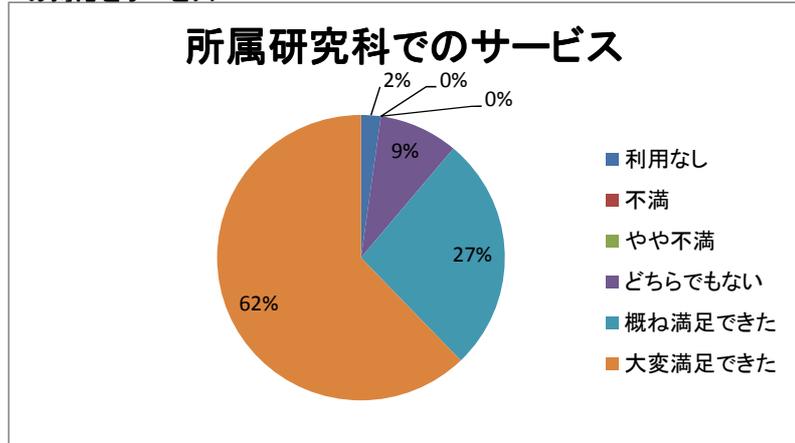
選択肢	回答
男	31
女	14
未回答	0



問1: 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

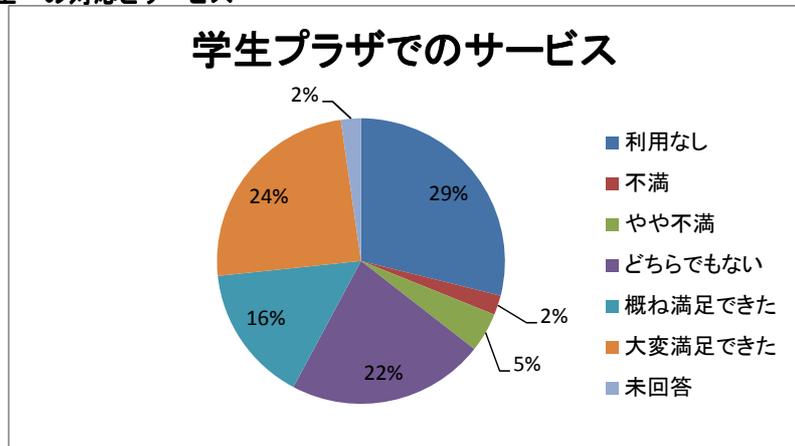
1-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	4
概ね満足できた	12
大変満足できた	28
未回答	0



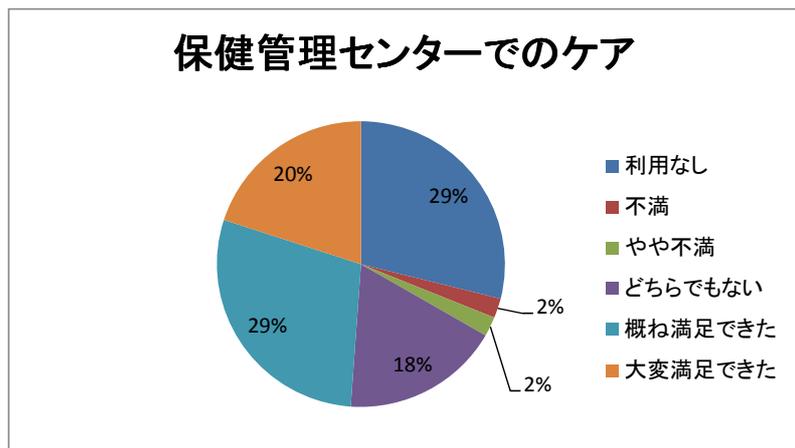
1-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	13
不満	1
やや不満	2
どちらでもない	10
概ね満足できた	7
大変満足できた	11
未回答	1



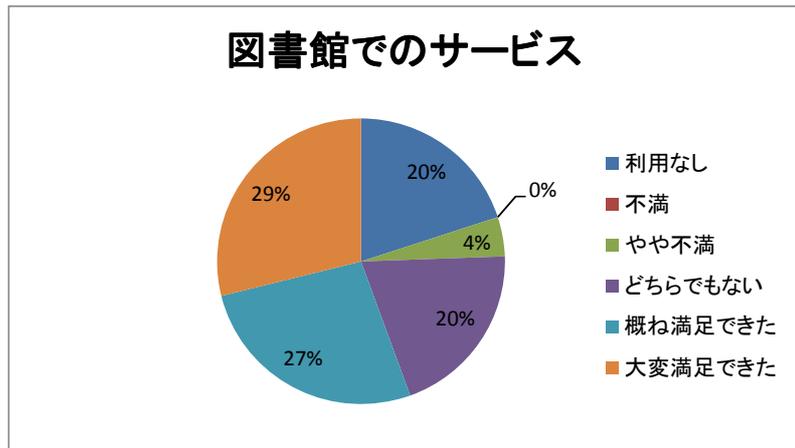
1-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	13
不満	1
やや不満	1
どちらでもない	8
概ね満足できた	13
大変満足できた	9
未回答	0



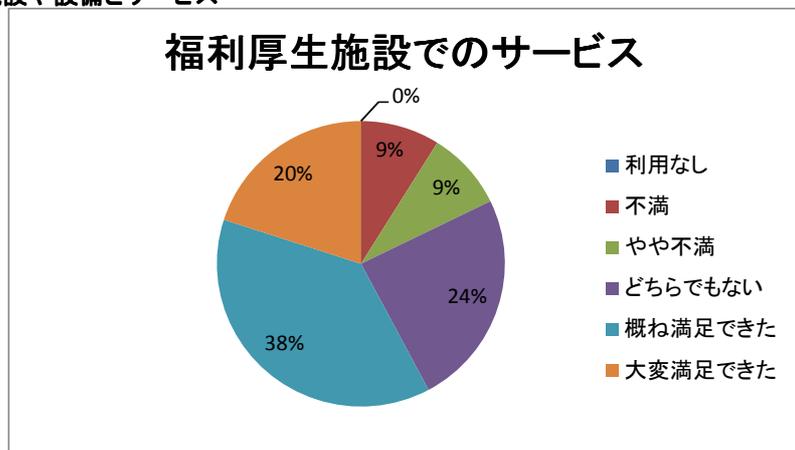
1-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	9
不満	0
やや不満	2
どちらでもない	9
概ね満足できた	12
大変満足できた	13
未回答	0



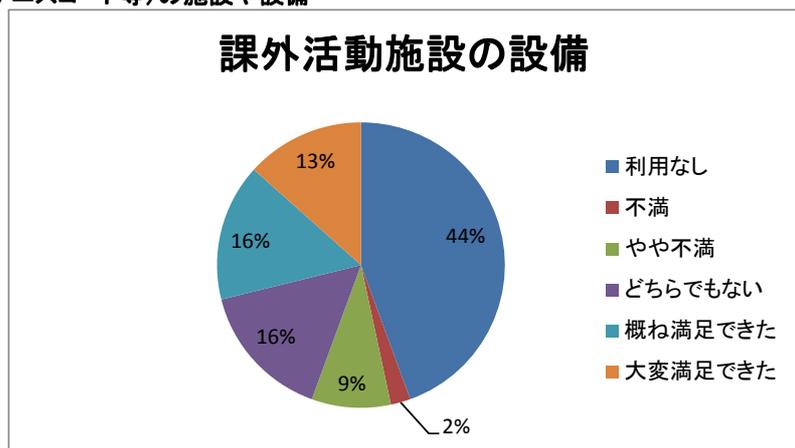
1-5 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	4
やや不満	4
どちらでもない	11
概ね満足できた	17
大変満足できた	9
未回答	0



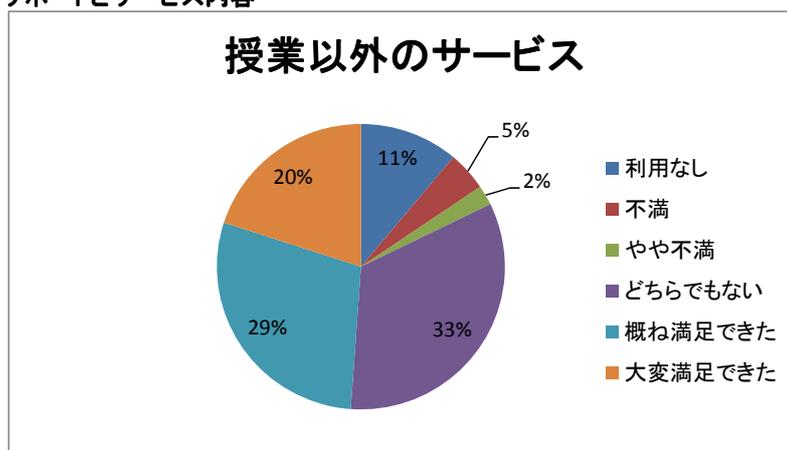
1-6 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	20
不満	1
やや不満	4
どちらでもない	7
概ね満足できた	7
大変満足できた	6
未回答	0



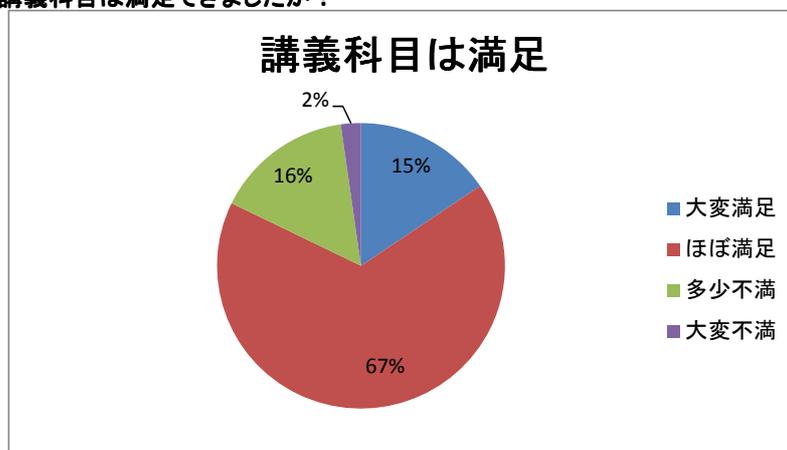
1-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

選択肢	回答
利用なし	5
不満	2
やや不満	1
どちらでもない	15
概ね満足できた	13
大変満足できた	9
未回答	0



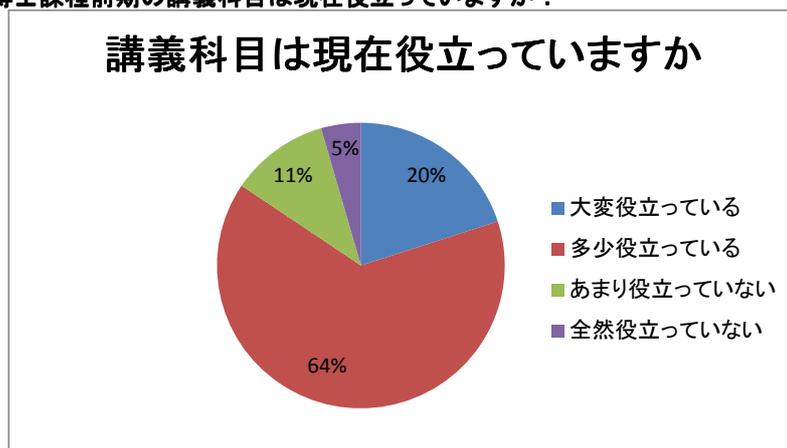
問2: 生物圏科学研究科博士課程前期の講義科目は満足できましたか？

選択肢	回答
大変満足	7
ほぼ満足	30
多少不満	7
大変不満	1
未回答	0



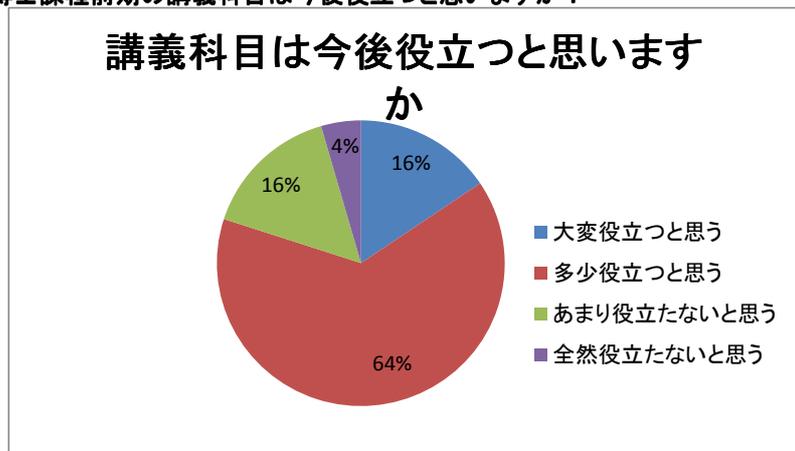
問4: あなたが受けた生物圏科学研究科博士課程前期の講義科目は現在役立っていますか？

選択肢	回答
大変役立っている	9
多少役立っている	29
あまり役立っていない	5
全然役立っていない	2
未回答	0



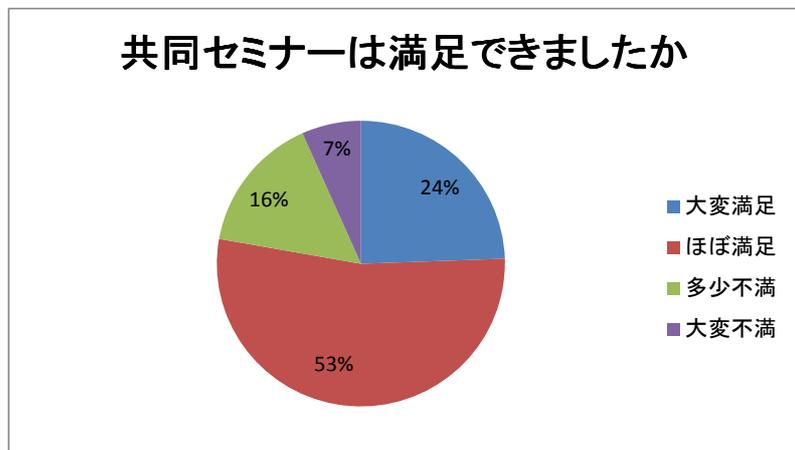
問5: あなたが受けた生物圏科学研究科博士課程前期の講義科目は今後役立つと思いますか？

選択肢	回答
大変役立つと思う	7
多少役立つと思う	29
あまり役立たないと思う	7
全然役立たないと思う	2
未回答	0



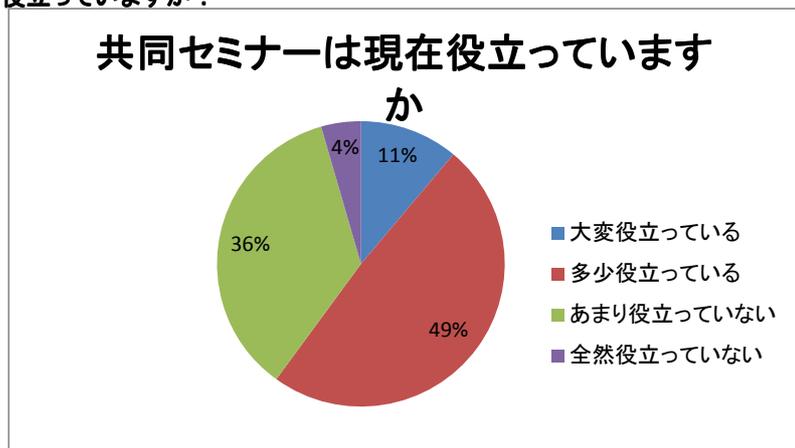
問7: 共同セミナーは満足できましたか？

選択肢	回答
大変満足	11
ほぼ満足	24
多少不満	7
大変不満	3
未回答	0



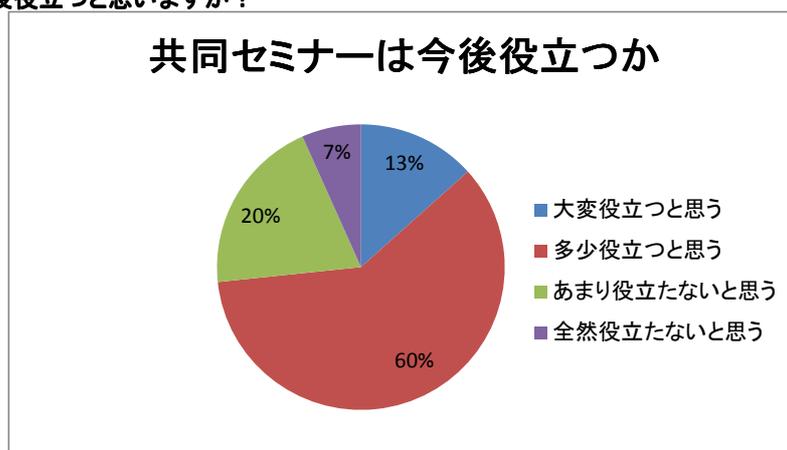
問9: あなたが受けた共同セミナーは現在役立っていますか？

選択肢	回答
大変役立っている	5
多少役立っている	22
あまり役立っていない	16
全然役立っていない	2
未回答	0



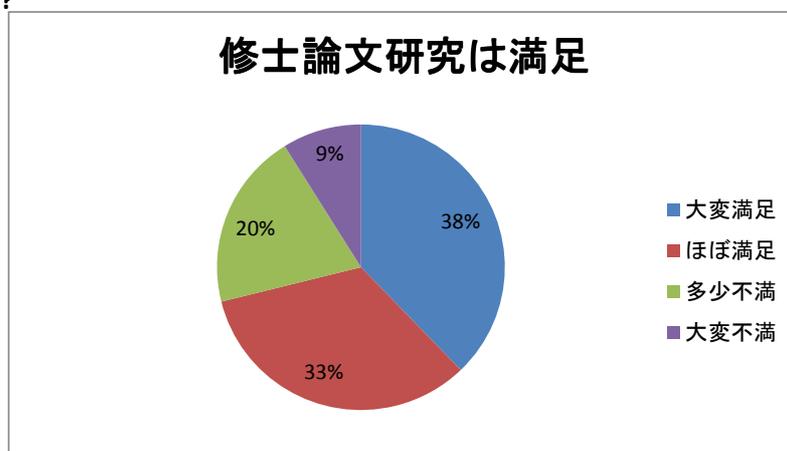
問10: あなたが受けた共同セミナーは今後役立つと思いますか？

選択肢	回答
大変役立つと思う	6
多少役立つと思う	27
あまり役立たないと思う	9
全然役立たないと思う	3
未回答	0



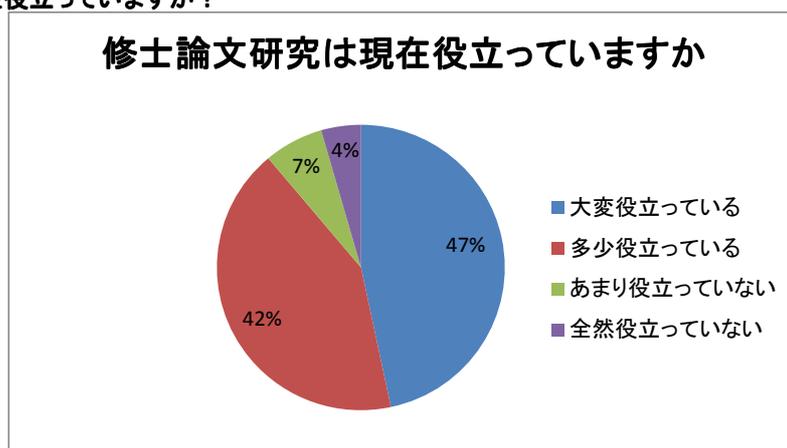
問12: 修士論文研究は満足できましたか？

選択肢	回答
大変満足	17
ほぼ満足	15
多少不満	9
大変不満	4
未回答	0



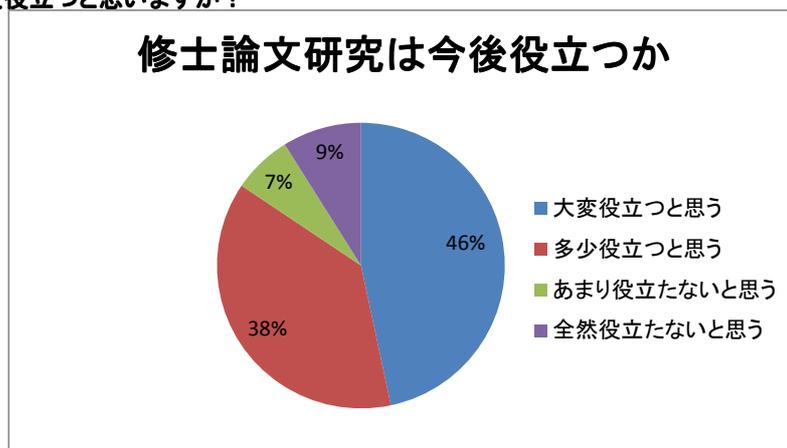
問14: 指導を受けた修士論文研究は現在役立っていますか？

選択肢	回答
大変役立っている	21
多少役立っている	19
あまり役立っていない	3
全然役立っていない	2
未回答	0



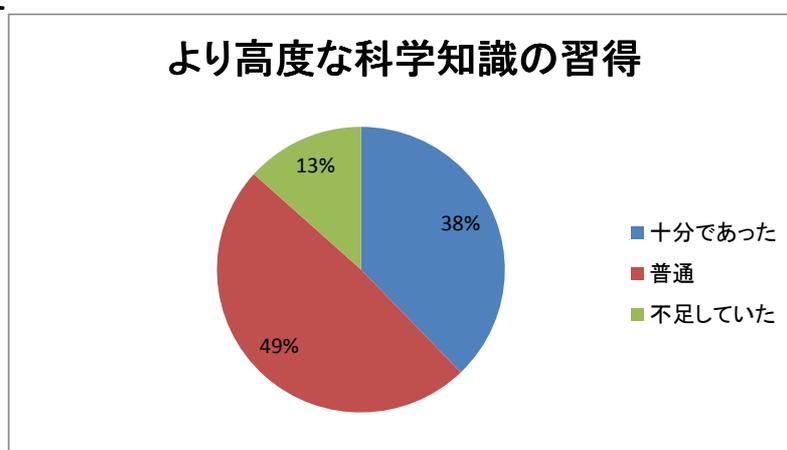
問15: 指導を受けた修士論文研究は今後役立つと思いますか？

選択肢	回答
大変役立つと思う	21
多少役立つと思う	17
あまり役立たないと思う	3
全然役立たないと思う	4
未回答	0



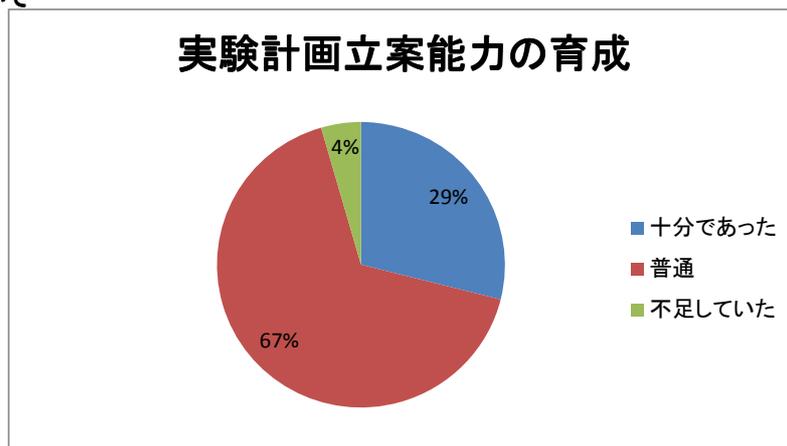
問17: 生物圏科学研究科では、博士課程前期の教育目標として高度専門技術者養成を掲げています。「学部講義と比較してより高度な科学知識の習得」について

選択肢	回答
十分であった	17
普通	22
不足していた	6
未回答	0



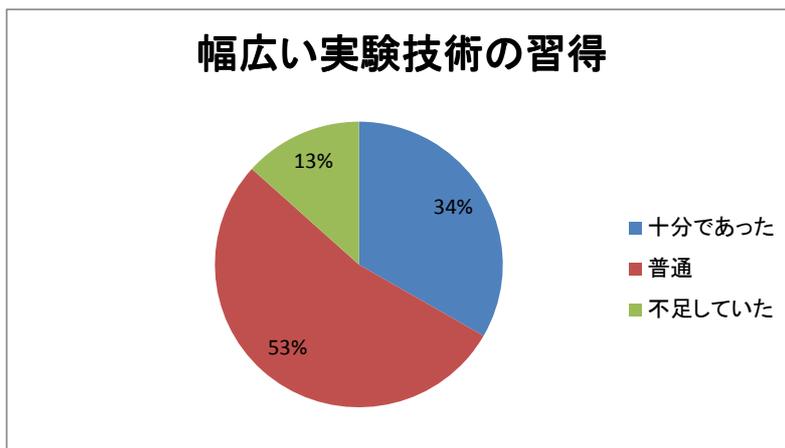
問19: 「実験計画立案能力の育成」について

選択肢	回答
十分であった	13
普通	30
不足していた	2
未回答	0



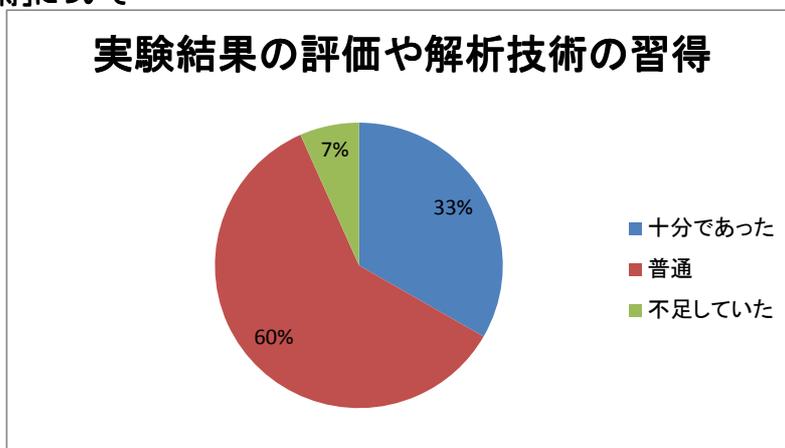
問21:「幅広い実験技術の習得」について

選択肢	回答
十分であった	15
普通	24
不足していた	6
未回答	0



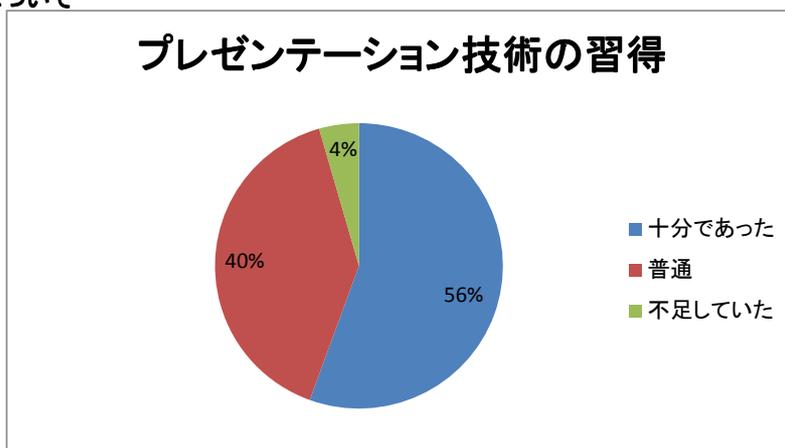
問23:「実験結果の評価や解析技術の習得」について

選択肢	回答
十分であった	15
普通	27
不足していた	3
未回答	0



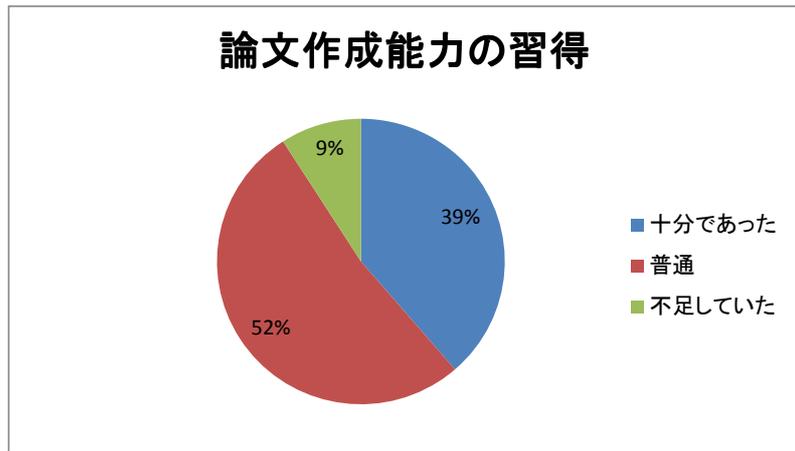
問25:「プレゼンテーション技術の習得」について

選択肢	回答
十分であった	25
普通	18
不足していた	2
未回答	0



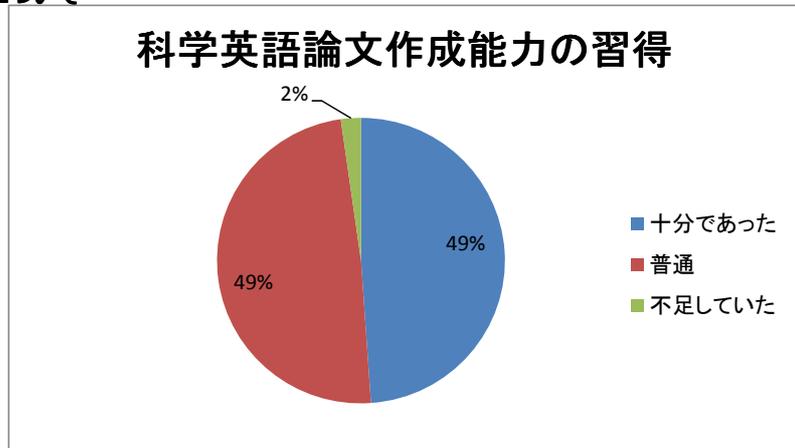
問27:「論文作成能力の習得」について

選択肢	回答
十分であった	17
普通	23
不足していた	4
未回答	0



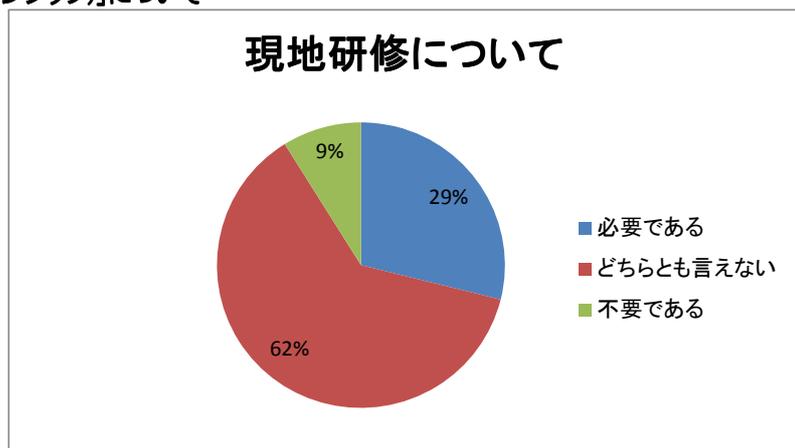
問29:「科学英語論文作成能力の習得」について

選択肢	回答
十分であった	22
普通	22
不足していた	1
未回答	0



問31:「企業などで行う現地研修(インターンシップ)」について

選択肢	回答
必要である	13
どちらとも言えない	28
不要である	4
未回答	0



研究科総評

研究科： 国際協力研究科

1. 集計結果のまとめ

アンケートは Web 上で実施し、調査対象学生数は、博士課程前期に所属する 21 名で、そのうち 19 名が回答し、回答率は 90% だった。これは、博士課程前期における全学の平均回答率 69% より高い。また、紙媒体で実施した前年度の回答率 48% を大幅に上回った。回答率が高まったのは、各指導教員と学生支援グループが修了生にアンケートの主旨を伝え回答依頼を徹底したことと、IDEC 学生の 7 割程度を占める留学生に Web による回答が答えやすかったことの二つが原因と考えられる。

設問 14～20 については、多くの学生がサービスを利用しており、満足度の平均は利用者だけを見ると設問 19 と 20 を除いて 5 点（概ね満足）に近く、概ね満足しているということがわかる。特に、設問 14 の所属研究科の学生支援室の対応とサービスについては、平均が 5.28 点で最も高く、外国人留学生の多い中で学生支援室がよく支援を行っていることがわかる。設問 19（グラウンド等）と 20（その他）については、平均点が 4（どちらでもない）よりやや上であり、満足度は他の項目に比べて低い。

設問 21～24 は、大学院で受けた教育の充実度に関するものである。ここでは 3 が「どちらでもない」となっているので、設問 21（授業）の平均 3.8、設問 22（セミナー）の平均 4.2、設問 23（修士論文指導）と設問 24（研究室での研究活動）の平均 4.4 は、いずれも高いと考えられる。中でも、学生たちは特に修士論文指導と研究室での研究活動に強い充実感を感じていたことがわかった。

設問 25～28 は、それぞれ教育が問題解決能力の向上、知識・技能の向上、勉学態度の向上と進路に貢献したかを問うものである。平均は設問 25 と 26 について 4.6、設問 27 では 4.5 と高く、設問 28 では 4.0 と少し低くなるものの、学生たちが教育の成果に概ね満足していることを示すものである。

設問 29～32 は、在学中の学会発表や論文投稿の実績を問うものである。19 人の回答者のうち、国内学会での発表と国際学会での発表を経験した者は、それぞれ 7 人と 8 人であった。また、英語論文を公表した者は 2 人、論文を発表した者は 3 人であった。

2. 次年度に向けた対応

今回のアンケート結果では、研究科全体として学生が勉学と学生支援の両面で概ね満足しており、教育の成果についてはかなり高い評価をしていることがわかった。

しかし、設問21で明らかになった授業の充実度3.8は、設問23と24で明らかになった修士論文指導や研究室での研究活動の充実度(4.4)に比べて、やや低い。回答者が修士論文を書き終わった直後であり、授業のほとんどが一年前の経験であることを考慮しても、授業を充実させる必要があると考える。

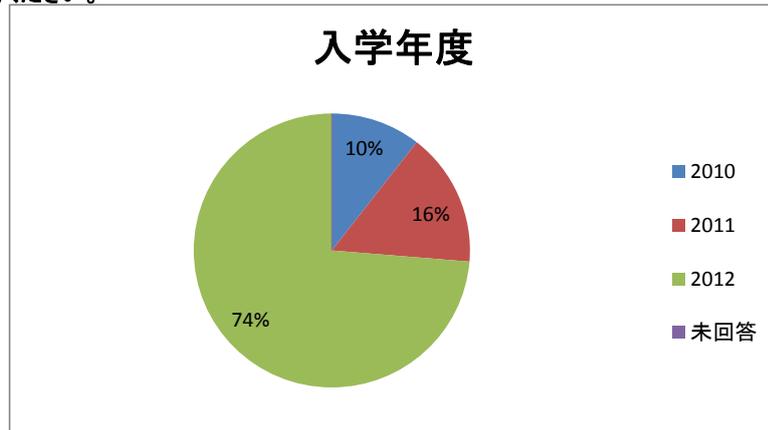
授業については、授業評価結果を反映し、教員と研究科のそれぞれにおいて改善策を講じているところである。学生の期待と教育側の実態とのギャップを埋めるために、各種外部教育資金の獲得などを通じて、教育体系の見直しを行い、教育内容の充実を引き続き図っていく。

設問29～32の研究成果の公表については、昨年度と比べてあまり改善がみられなかった。多くの学生は研究・教育機関以外のところに就職することが多く、学生側のニーズが低かったのは原因の一部であると認めない。一方、教員側の指導姿勢にも課題がないとは言えない。研究成果の発表を通じて、教育の効果を外部から評価するという役割があるため、上記のいずれの場合についても、問題視すべきである。

今後、科研費などの研究資金の獲得と活用、学生の研究発表を積極的に支援する教員へのインセンティブ賦与などを通じて、学生の研究発表を促す環境づくりをもっと積極的に進めていく。

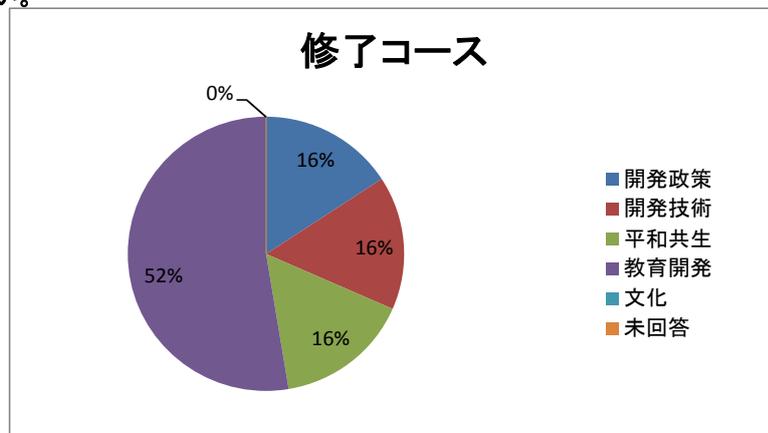
1:博士課程前期への入学年度を選択してください。

入学年度	入学年度集計
2010	2
2011	3
2012	14
未回答	0



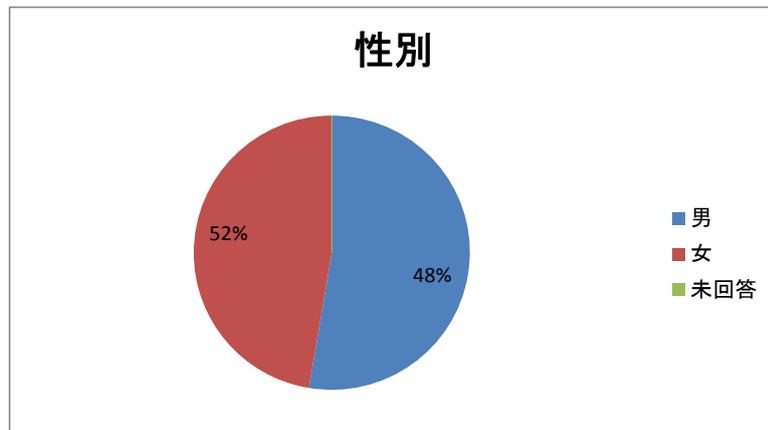
2:修了するコースを次から選択してください。

選択肢	回答
開発政策	3
開発技術	3
平和共生	3
教育開発	10
文化	0
未回答	0



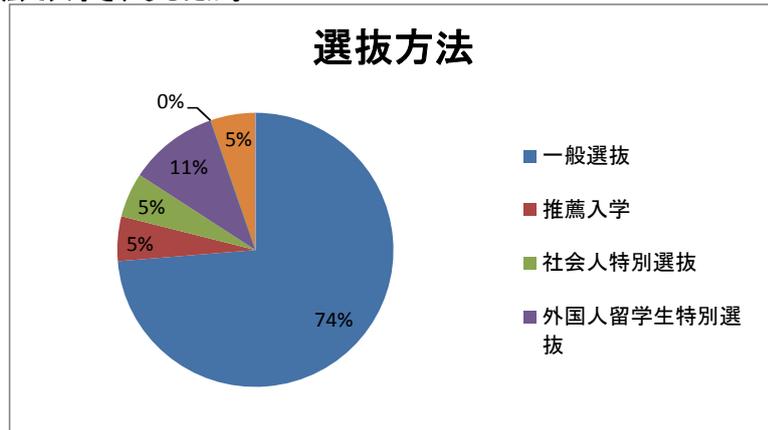
3:性別を選択してください。

選択肢	回答
男	10
女	9
未回答	0



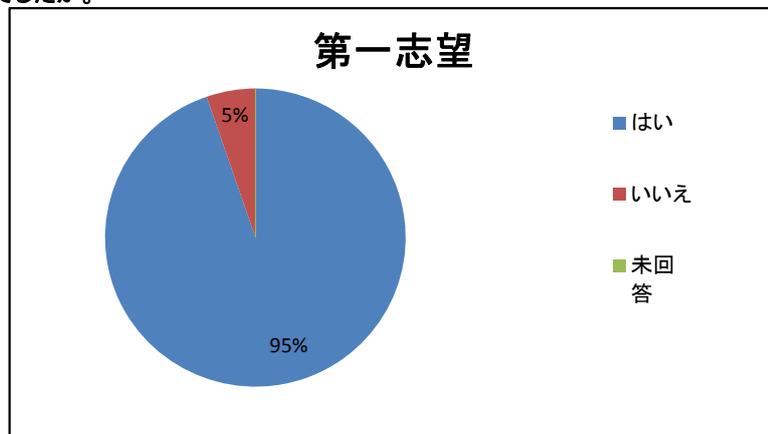
8:国際協力研究科へはどのような選抜方法で入学されましたか。

選択肢	回答
一般選抜	14
推薦入学	1
社会人特別選抜	1
外国人留学生特別選抜	2
特定資格選抜	0
フェニックス特別選抜	1
未回答	0



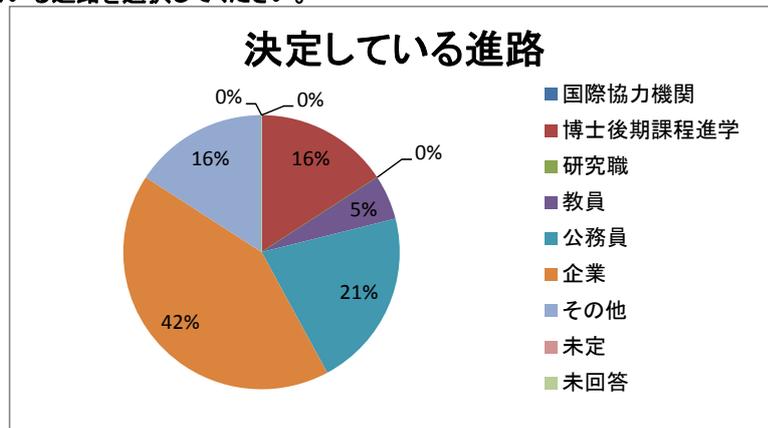
9:国際協力研究科への進学は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	18
いいえ	1
未回答	0



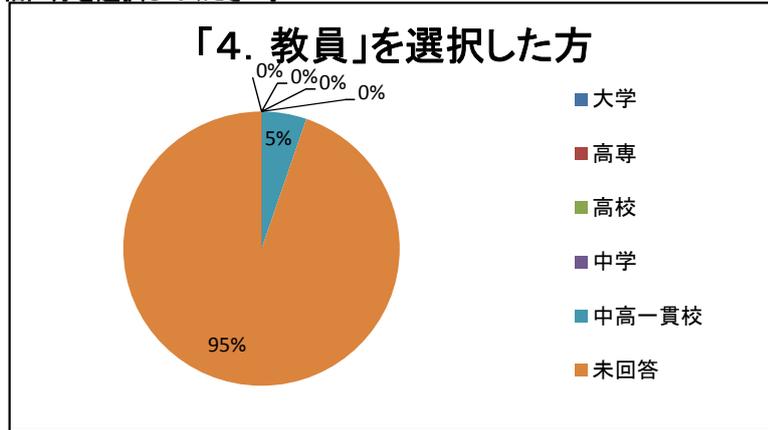
11:大学院修了後、現状において決定している進路を選択してください。

選択肢	回答
国際協力機関	0
博士後期課程進学	3
研究職	0
教員	1
公務員	4
企業	8
その他	3
未定	0
未回答	0



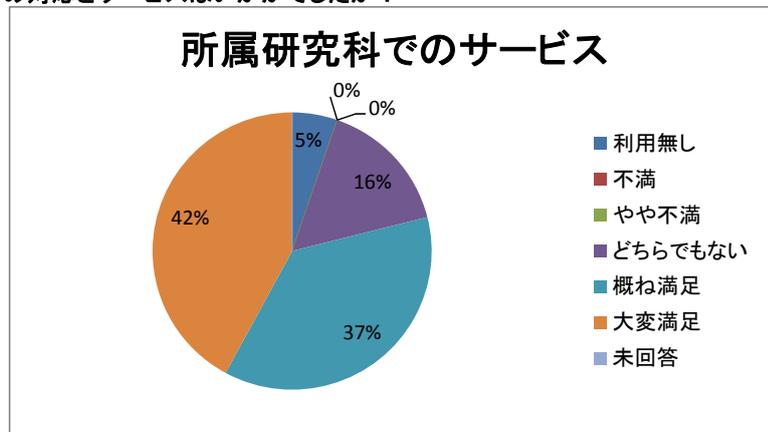
12:設問11で「4.教員」を選択した方は、詳細区分を選択してください。

選択肢	回答
大学	0
高専	0
高校	0
中学	0
中高一貫校	1
未回答	18



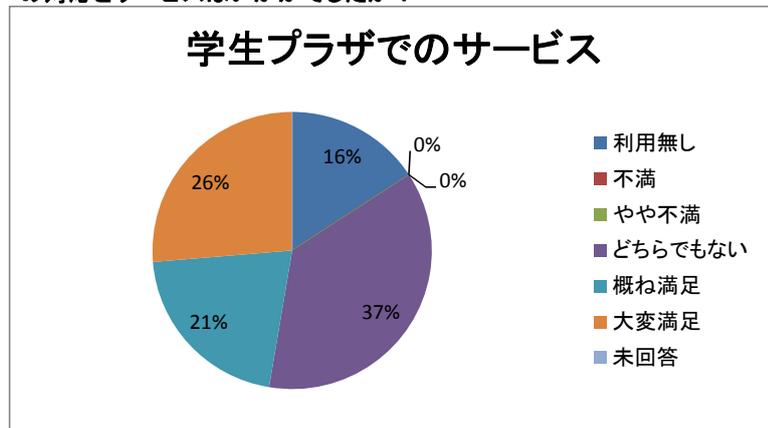
14:所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービスはいかがでしたか？

選択肢	回答
利用無し	1
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	3
概ね満足	7
大変満足	8
未回答	0



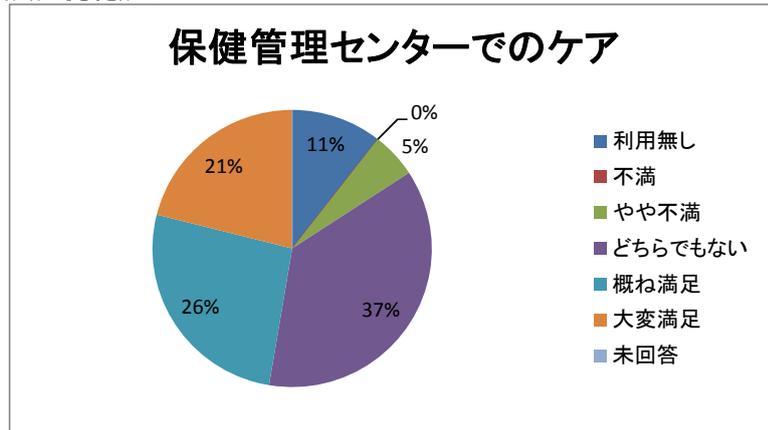
15:学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービスはいかがでしたか？

選択肢	回答
利用無し	3
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	7
概ね満足	4
大変満足	5
未回答	0



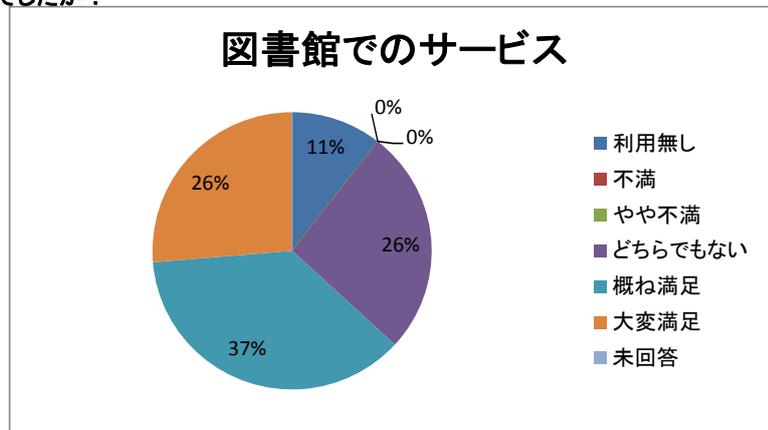
16:保健管理センターでの対応とケアはいかがでしたか？

選択肢	回答
利用無し	2
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	7
概ね満足	5
大変満足	4
未回答	0



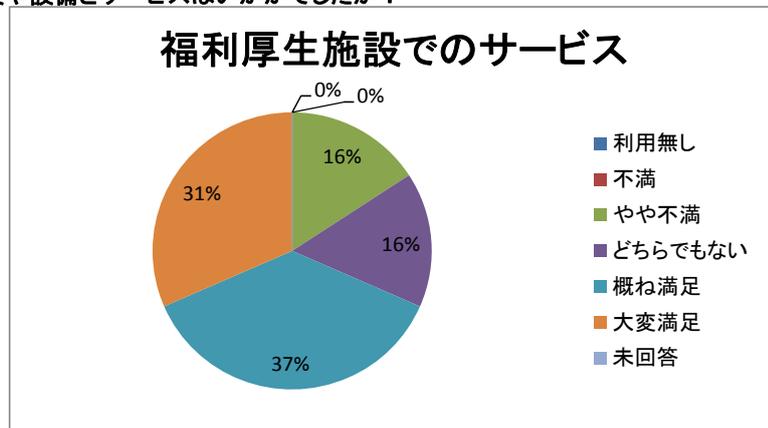
17:図書館での対応やサービスはいかがでしたか？

選択肢	回答
利用無し	2
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	5
概ね満足	7
大変満足	5
未回答	0



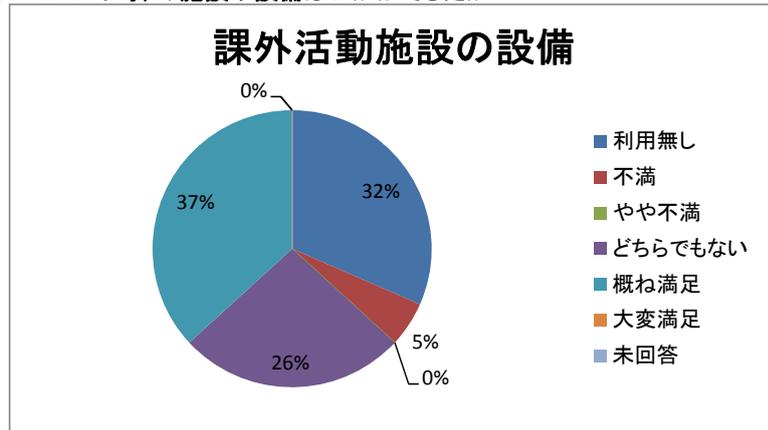
18:福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービスはいかがでしたか？

選択肢	回答
利用無し	0
不満	0
やや不満	3
どちらでもない	3
概ね満足	7
大変満足	6
未回答	0



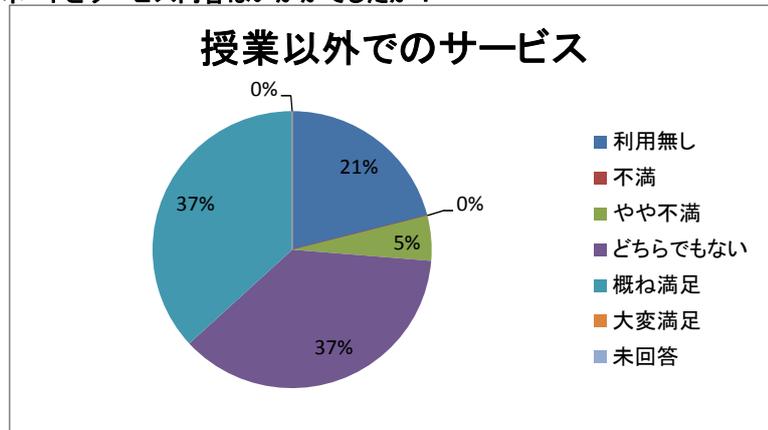
19:課外活動施設(グラウンドや体育館, テニスコート等)の施設や設備はいかがでしたか?

選択肢	回答
利用無し	6
不満	1
やや不満	0
どちらでもない	5
概ね満足	7
大変満足	0
未回答	0



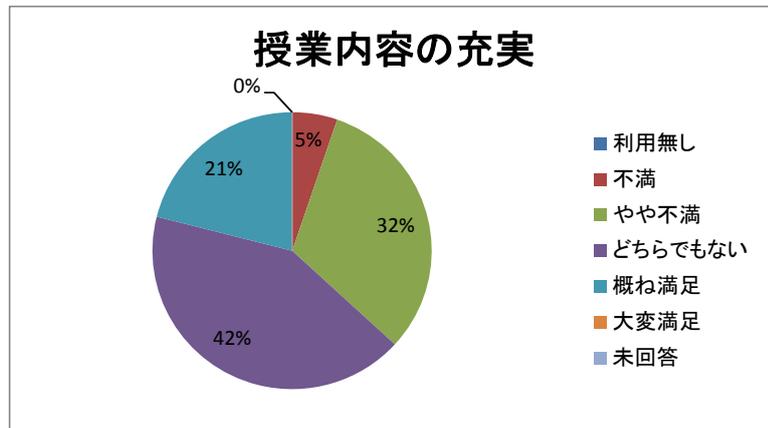
20:授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容はいかがでしたか?

選択肢	回答
利用無し	4
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	7
概ね満足	7
大変満足	0
未回答	0



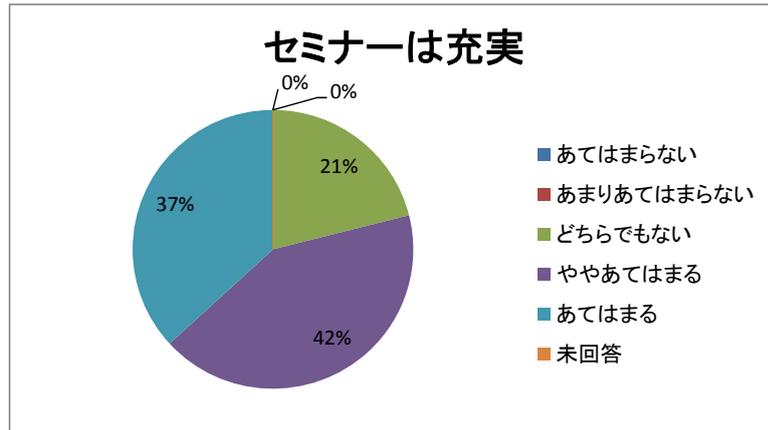
21:授業内容は充実していましたか?

選択肢	回答
利用無し	0
不満	1
やや不満	6
どちらでもない	8
概ね満足	4
大変満足	0
未回答	0



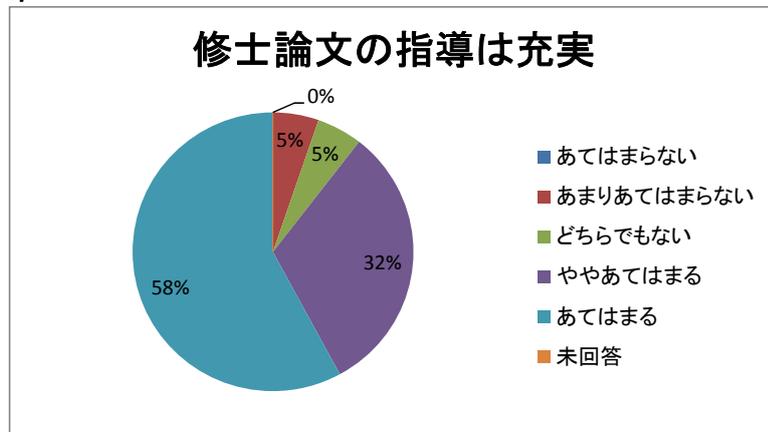
22:セミナーは充実していましたか？

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	8
あてはまる	7
未回答	0



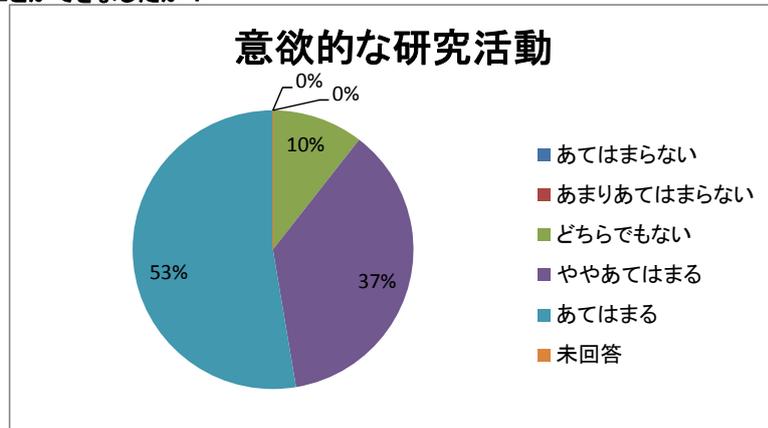
23:修士論文の指導は充実していましたか？

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	6
あてはまる	11
未回答	0



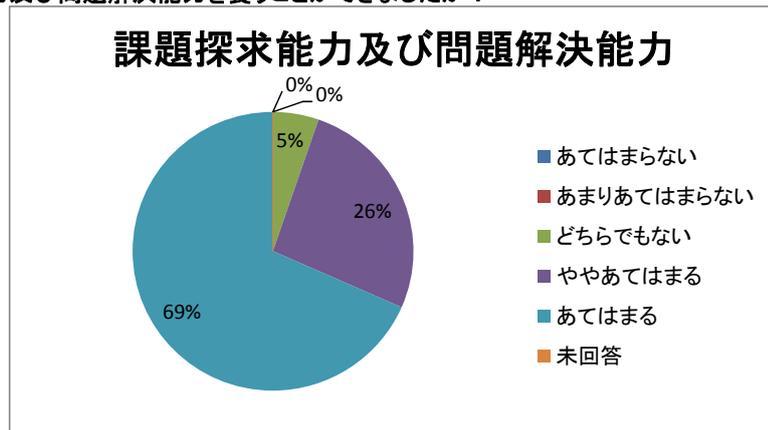
24:研究室では意欲的な研究活動を行うことができましたか？

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	7
あてはまる	10
未回答	0



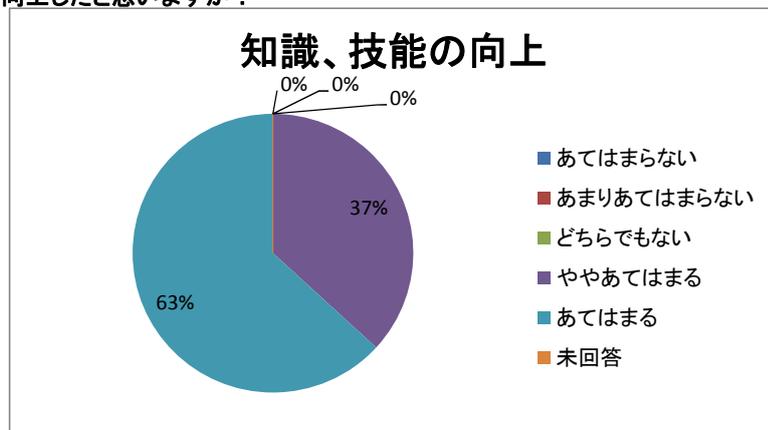
25:研究科の教育を通して、課題探求能力及び問題解決能力を養うことができましたか？

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	5
あてはまる	13
未回答	0



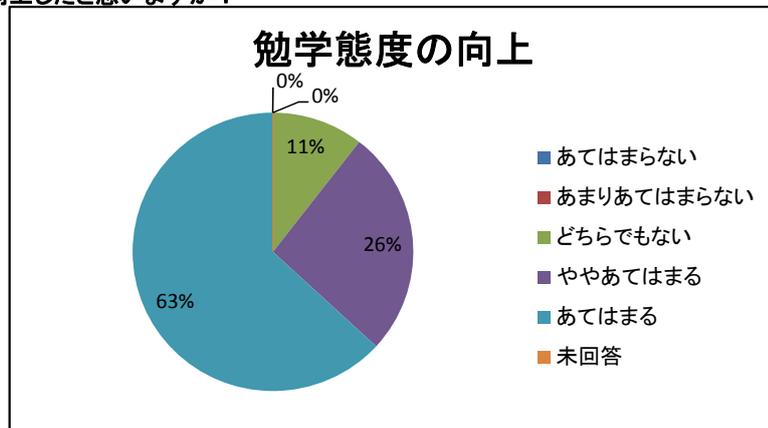
26:研究科の教育を通して、知識、技能は向上したと思いますか？

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	7
あてはまる	12
未回答	0



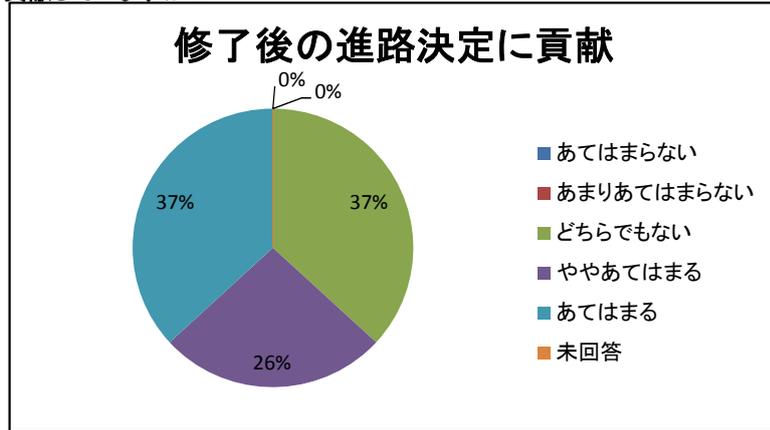
27:研究科の教育を通して、勉学態度は向上したと思いますか？

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	5
あてはまる	12
未回答	0



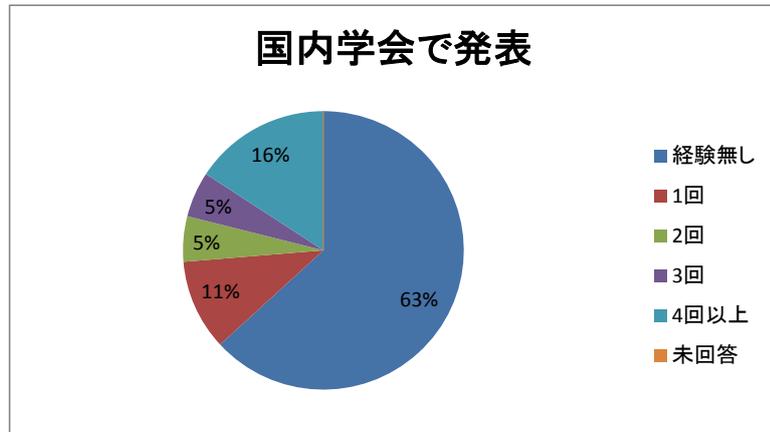
28:修了後の進路決定に研究科の教育が貢献していますか？

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	7
ややあてはまる	5
あてはまる	7
未回答	0



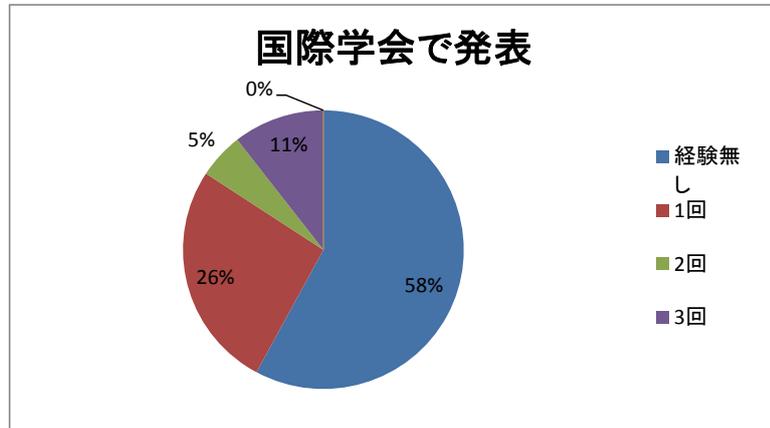
29:国内学会で発表しましたか？

選択肢	回答
経験無し	12
1回	2
2回	1
3回	1
4回以上	3
未回答	0



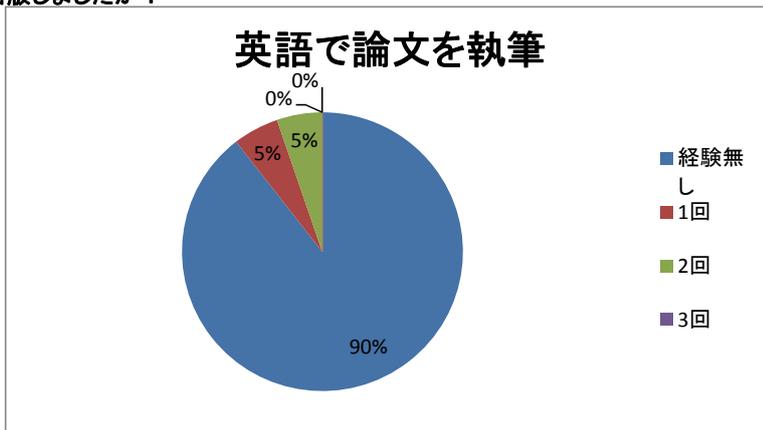
30:国際学会で発表しましたか？

選択肢	回答
経験無し	11
1回	5
2回	1
3回	2
4回以上	0
未回答	0



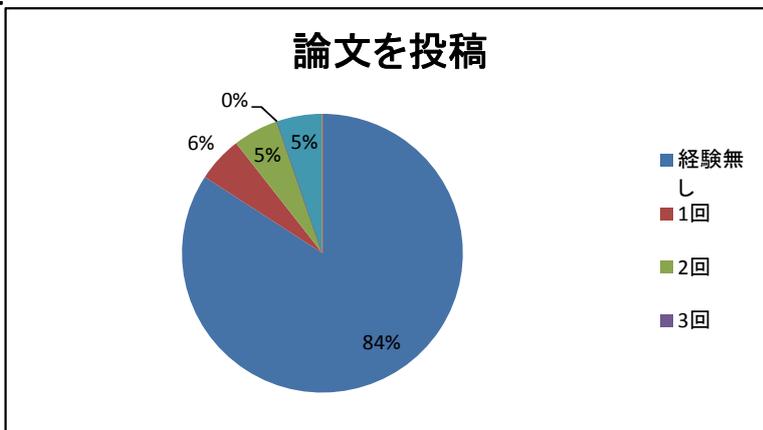
31:英語で論文を執筆し(共著も含めて)出版しましたか？

選択肢	回答
経験無し	17
1回	1
2回	1
3回	0
4回以上	0
未回答	0



31:論文(共著も含めて)を投稿しましたか？

選択肢	回答
経験無し	16
1回	1
2回	1
3回	0
4回以上	1
未回答	0



研究科総評

研究科： 法務研究科

1. 集計結果のまとめ

(1) はじめに

アンケートは、卒業予定の学生全員に対して実施された最終試験の当日に紙媒体で書式を配布し、回収した。そのため、回収率は100%(対象者26名全員が回答)となっている。

当研究科は専門職大学院であり、修了要件としての論文作成と、これに伴う研究指導が存しない。このため、それに代えて、研究科で実施された講義内容や、教員による指導が、司法試験の合格に必要な知識や知見の修得、また法曹として実務を遂行するための技能や倫理観の修得に有用であったかについて、質問した。なお、講義以外の学生生活のサポート等に関する質問項目については、他の研究科と共通である。

以下、回答の集計結果についてコメントする。

(2) 各学年の講義について

各学年の講義の満足度について、「授業内容は充実していたか」「授業内容を理解することができたか」「教員の指導方法は適切だったか」の3つの観点から質問した。

授業内容の充実については、肯定的な評価(「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した者を合せた割合)は、1年次の講義については42%、2年次の講義については50%、3年次の講義については46%である。授業内容の理解については、肯定的評価が1年次講義では39%、2年次講義では46%、3年次講義では35%、教員の指導方法については、肯定的評価が1年次講義では46%、2年次講義では50%、3年次講義では38%である。なお、1年次の集計については、未回答者は既修生(1年次の講義を受講していない2年コースの学生)と考えられるため、未回答者を算入しないで割合を算出している。

全体に昨年と比較して、満足度が低下しており、かつ3年次の講義に対する満足度が、特に授業の理解および教員の指導方法については低いことが目立つ。もっとも、積極的な否定的な評価(「あてはまらない」または「あまりあてはまらない」)が増えているわけではなく、「どちらでもない」という評価を控える回答が増えている。

1年次の講義については、別に「はじめて法律を学ぶ者にも配慮した講義であったか」について問うている。この問には、非法学部出身者のみに回答してもらっている。実際に回答した者15名の中で、肯定的評価が1名に留まっており、非法学部出身者にとっては1年次の講義が理解の困難なものであったことが、全体的な満足度の低下の一因にはなつたと推測される。

(3) 科目群毎の評価について

講義科目の系統別の満足度についても質問している。法律基本科目については、「法律の基本的知識を得ることができたか」に対する肯定的評価が58%、「法的思考力を修得することができたか」に対する肯定的評価が50%であり、「司法試験に合格するうえで有用な講義であったか」については、肯定的評価が若干低下するものの、なお42%が肯定的に評価する。

法曹としての技能や責任感を修得することを目的とする法律実務科目については、法曹としての倫理観の修得については肯定的評価が73%であり、訴訟書類や契約書などの法文書の作成に必要な知識を得たかについては肯定的評価が50%、裁判実務の基礎的技能の修得については肯定的評価が57%であり、相対的には満足度が高い。

展開・先端科目および基礎法学・隣接科目については、司法試験の選択科目に該当する科目では、講義の受講を肯定的に評価する回答が61%、全体として将来の法曹としての活動に有用な知識の修得については肯定的評価が54%にのぼっている。その他の科目では、社会に対する考察を深めるため必要な広い視野を得ることができたかについて肯定的に評価する者が47%となっている。

(4) 講義以外の学生生活のサポート等

回答比率の高い、学生支援室での学生への対応、図書館、食堂・売店等の福利厚生施設についてみると、学生支援室での学生への対応とサービスについては、肯定的な評価が42%であり、昨年よりは改善した。図書館の対応については、肯定的な評価が38%にとどまる。

食堂・売店等の福利厚生施設については、肯定的な評価が35%、不満ないしやや不満と回答する者が30%であり、施設の現状を考えるとむしろ職員の善戦を評価するべきかもしれない。

研究科独自のサポート体制である、教員のチューター制度、および先輩弁護士によるサポートについては、まず教員のチューター制度については肯定的な評価が38%、否定的な評価は12%に留まり、概ね肯定的であると解される。これに対して、先輩弁護士によるサポートについては、肯定的な評価が30%に留まる一方で、利用無しという回答が35%に上ることが気がりである。

2. 次年度に向けた対応

昨年度の平成24年度修了生アンケートに回答した修了生42名のうち、75%の学生が標準年限（3年コース3年、2年コース2年）による卒業生であったが、今回(平成25年度)のアンケートに回答した修了生26人では、標準年限による卒業生は65%に低下している。

また、標準年限で卒業した修了生についても、この数年間、GPA平均値でみた学業成績の低下傾向が顕著である。

在学期間中に、修了生の目から見ても、満足できる成績を達成することができなかったという残念な思いが、授業の満足度についての低い評価に結びついている面は否めない。

法科大学院をめぐる社会的に困難な状況の中で、当研究科を含め、法科大学院を志望する学生数が大幅に減少しており、入学してくる学生の基礎学力が従来と比較して低下している事実は存する。

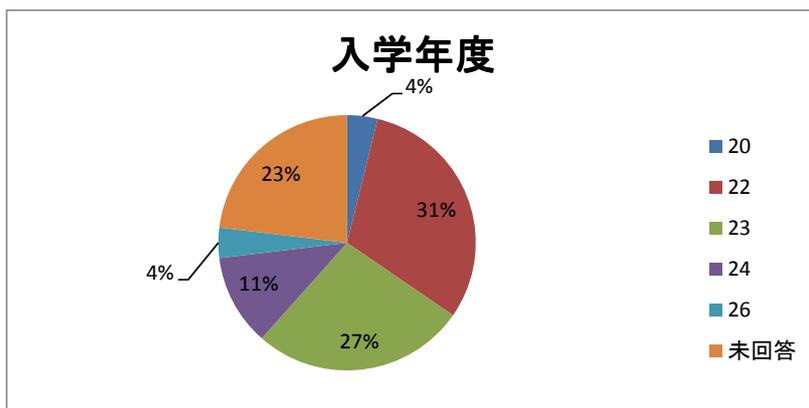
しかし法科大学院は、法曹としての専門的な知識と技能を有する者の育成を求められる専門職大学院であり、社会的に要請される知識と技能のレベルに変化がない以上、研究科の修了に求められる学力について妥協することはできない立場にある。

在学生在が法曹として必要な能力を修得し、当面の目標である司法試験に合格するためには、従来以上にきめ細かな指導が必要と考えられる。研究科では、1年次講義を中心に、個々の学生の学力を教員が的確に把握し、学生に主体的な学習態度を身につけさせ教育効果をさらに向上させるため、受講生個々に焦点をあてた教育指導の充実に向けて、それぞれの教員の改善の工夫を情報交換等を通じて共有するなど、研究科全体でのFD活動に取り組んでいる。今後も学生との意見交換その他交流を図る場を多様に設けて、教員・学生が一体となって専門職大学院としての役割を全うする努力を続ける意向である。

福利厚生施設を含めた設備面の充実は、当研究科単独では解決が不可能な課題であり、大学全体としての取組みを求めたい。なお、この点は、現在進行中の東千田キャンパスの整備計画に大きく左右されるところでもあり、計画の早期実現を期待する。

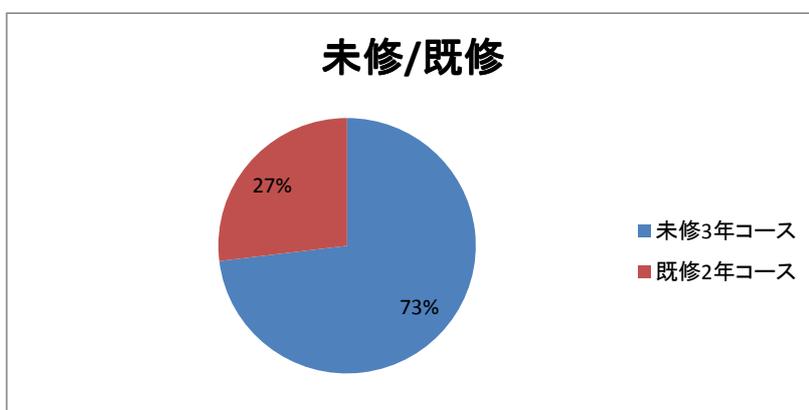
入学年度

入学年度	入学年度集計
20	1
22	8
23	7
24	3
26	1
未回答	6



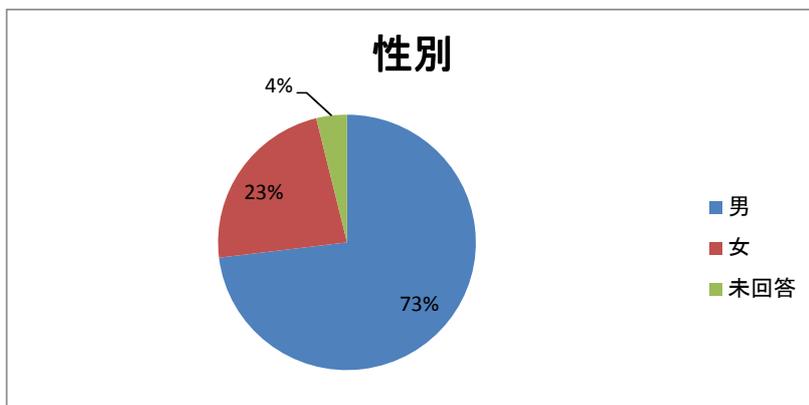
未修/既修

選択肢	回答
未修3年コース	19
既修2年コース	7
未回答	0



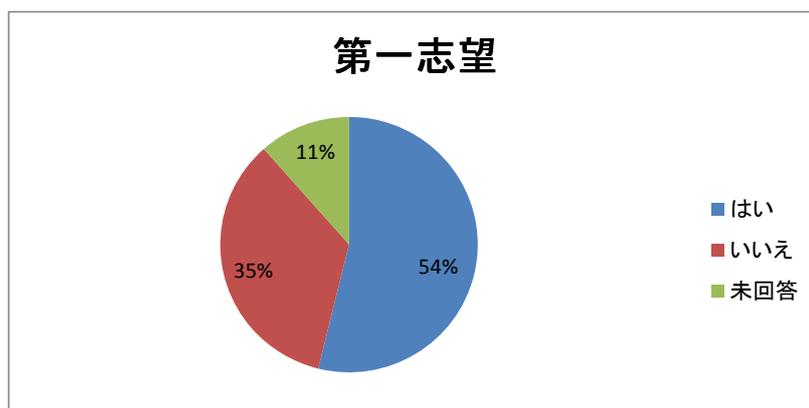
性別

選択肢	回答
男	19
女	6
未回答	1



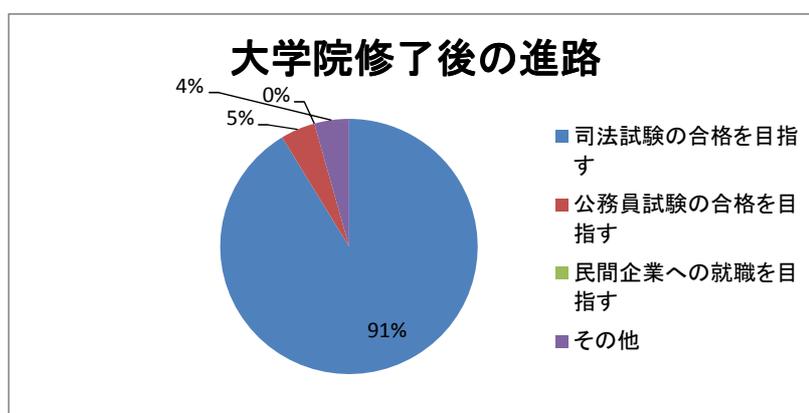
当研究科への進学は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	14
いいえ	9
未回答	3



大学院修了後の進路について。

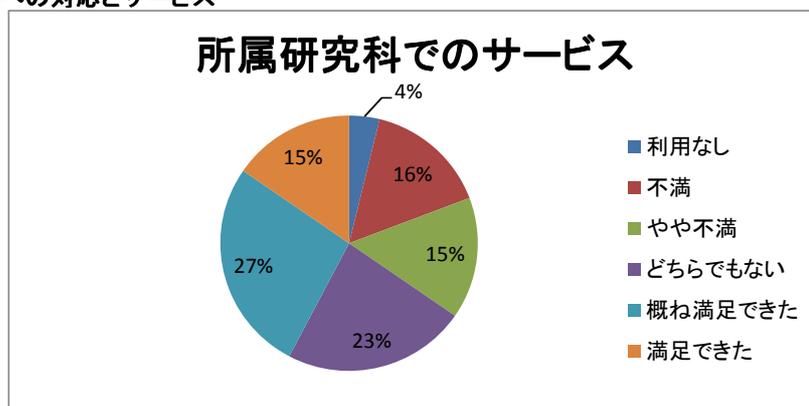
選択肢	回答
司法試験の合格を目指す	21
公務員試験の合格を目指す	1
民間企業への就職を目指す	0
その他	1
未回答	0



問1: 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

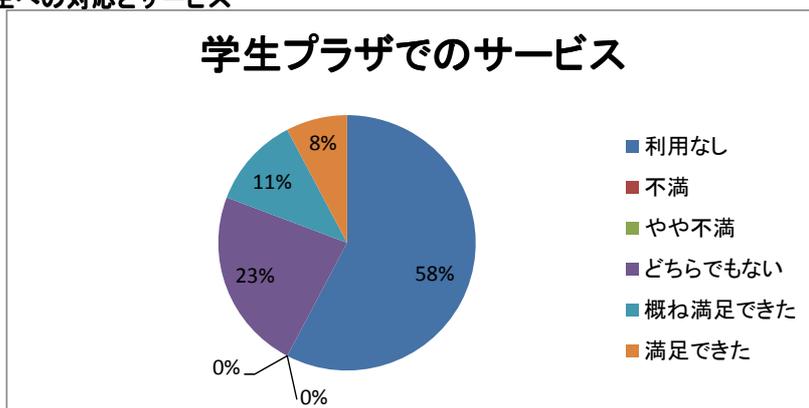
1-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	4
やや不満	4
どちらでもない	6
概ね満足できた	7
満足できた	4
未回答	0



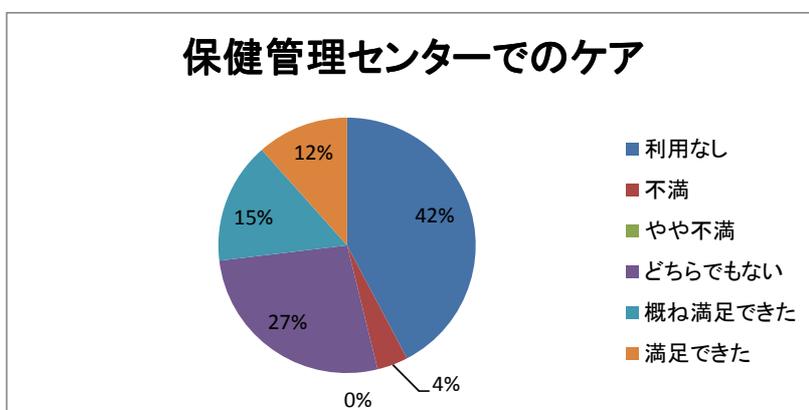
1-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	15
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	6
概ね満足できた	3
満足できた	2
未回答	0



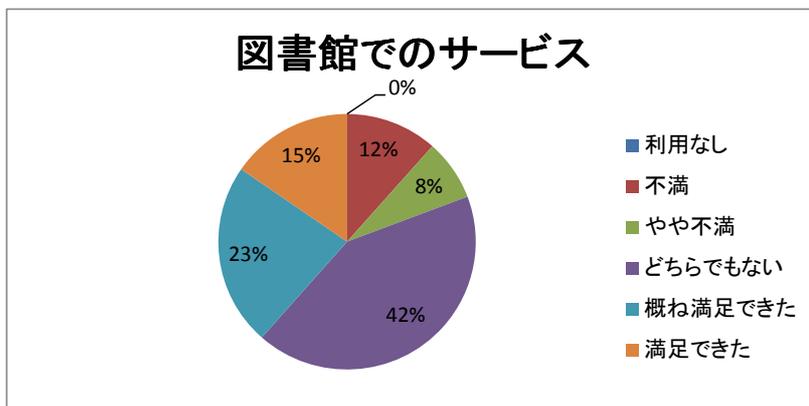
1-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	11
不満	1
やや不満	0
どちらでもない	7
概ね満足できた	4
満足できた	3
未回答	0



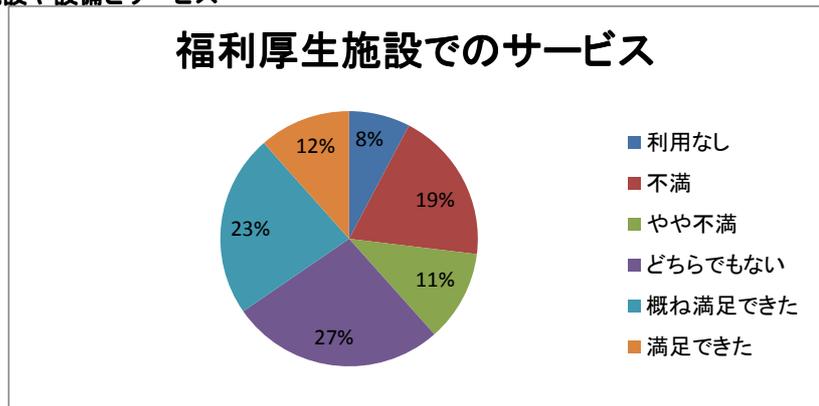
1-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	3
やや不満	2
どちらでもない	11
概ね満足できた	6
満足できた	4
未回答	0



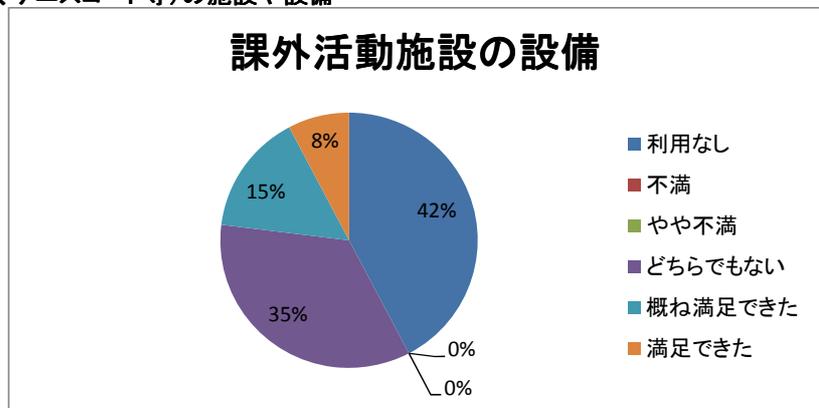
1-5 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	2
不満	5
やや不満	3
どちらでもない	7
概ね満足できた	6
満足できた	3
未回答	0



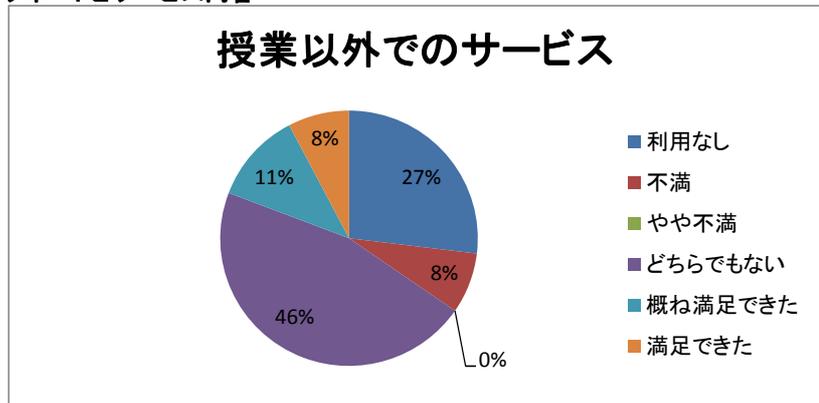
1-6 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	11
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	9
概ね満足できた	4
満足できた	2
未回答	0



1-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

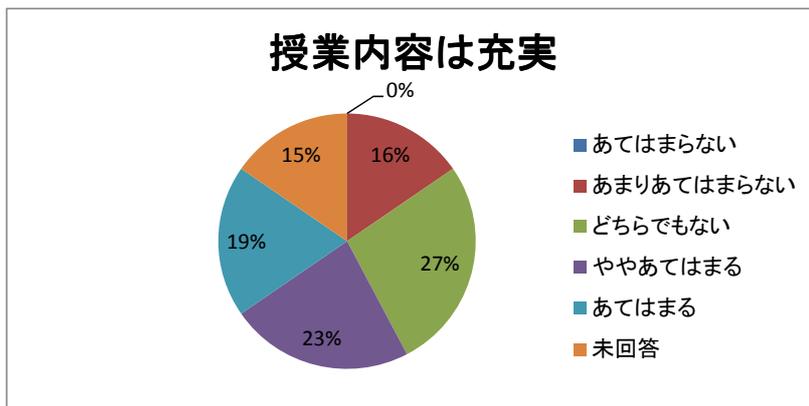
選択肢	回答
利用なし	7
不満	2
やや不満	0
どちらでもない	12
概ね満足できた	3
満足できた	2
未回答	0



問2: 1年次に受けた教育についてお尋ねします。

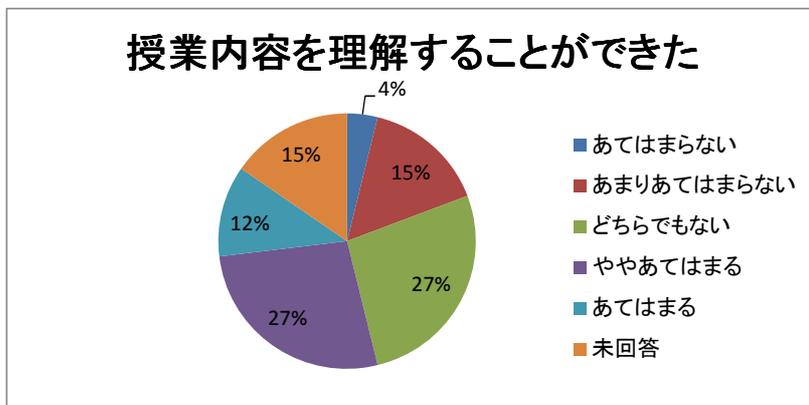
2-1 授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	7
ややあてはまる	6
あてはまる	5
未回答	4



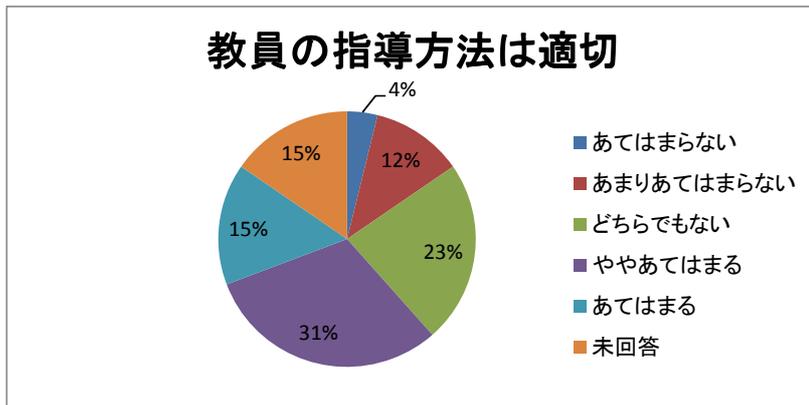
2-2 授業内容を理解することができた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	7
ややあてはまる	7
あてはまる	3
未回答	4



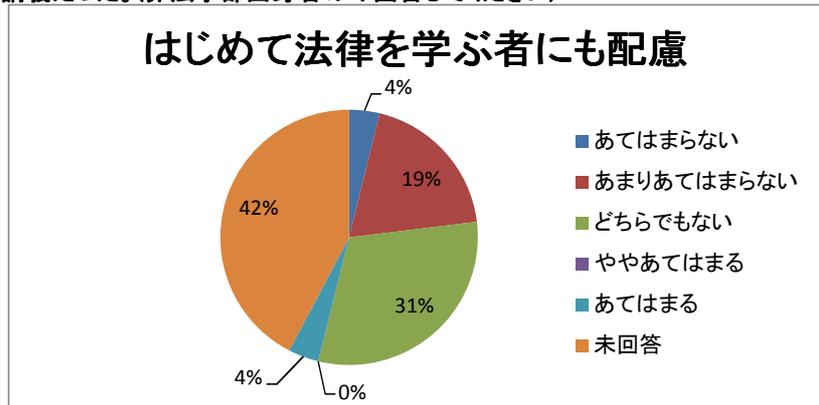
2-3 教員の指導方法は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	6
ややあてはまる	8
あてはまる	4
未回答	4



2-4 はじめて法律を学ぶ者にも配慮した講義だった。(非法学部出身者のみ回答してください)

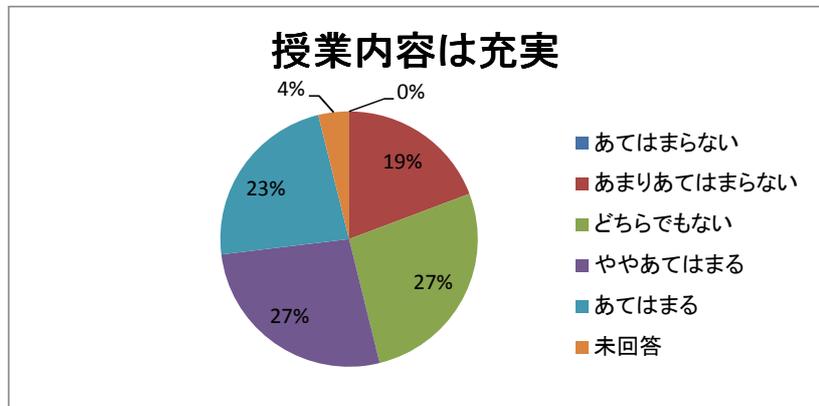
選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	8
ややあてはまる	0
あてはまる	1
未回答	11



問3: 2年次に受けた教育についてお尋ねします。

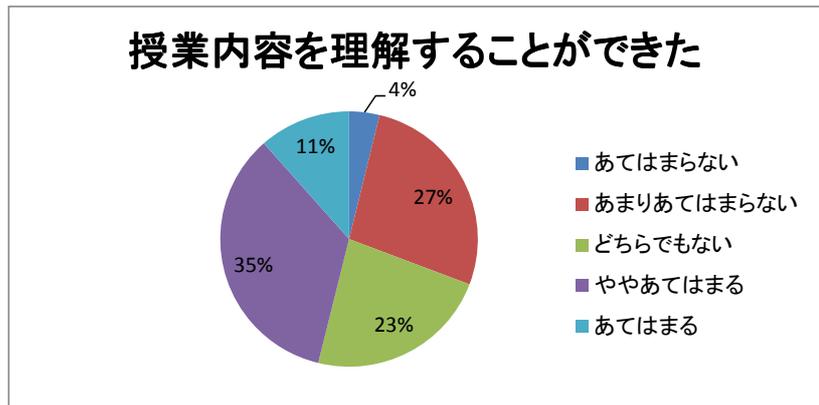
3-1 授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	7
ややあてはまる	7
あてはまる	6
未回答	1



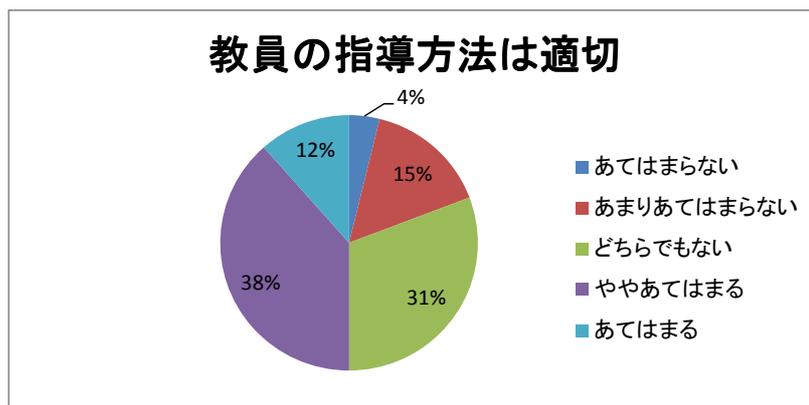
3-2 授業内容を理解することができた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	7
どちらでもない	6
ややあてはまる	9
あてはまる	3
未回答	0



3-3 教員の指導方法は適切だった

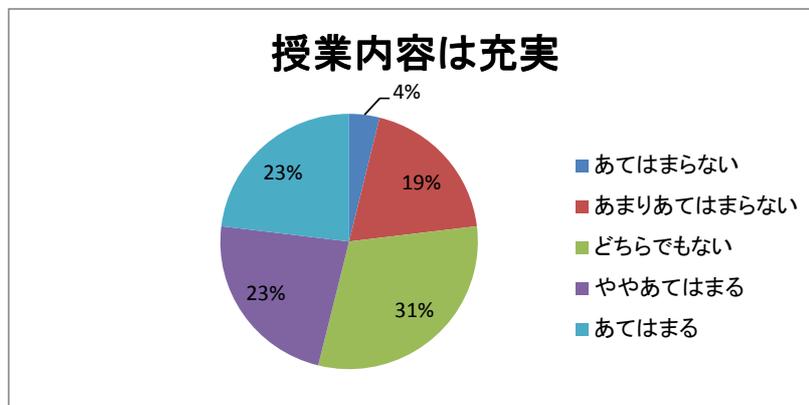
選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	8
ややあてはまる	10
あてはまる	3
未回答	0



問4: 3年次に受けた教育についてお尋ねします。

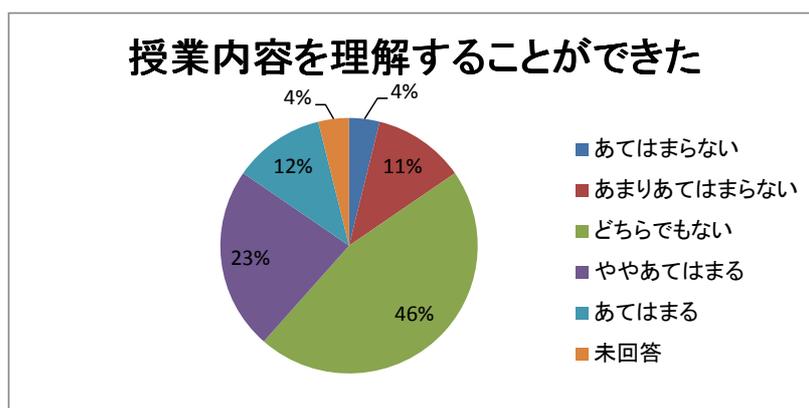
4-1 授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	8
ややあてはまる	6
あてはまる	6
未回答	0



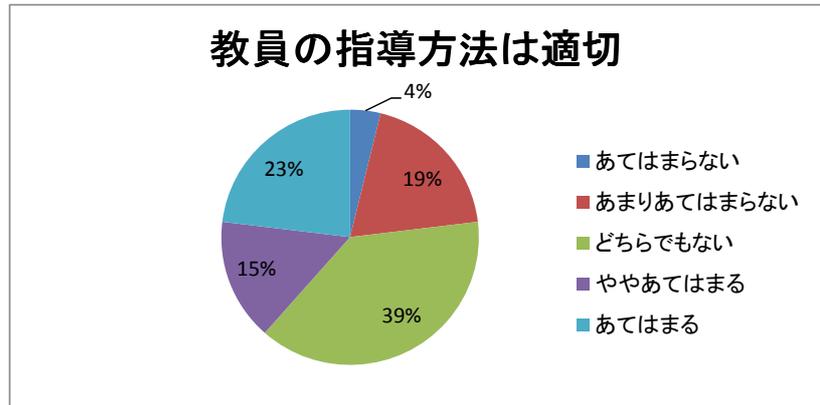
4-2 授業内容を理解することができた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	12
ややあてはまる	6
あてはまる	3
未回答	1



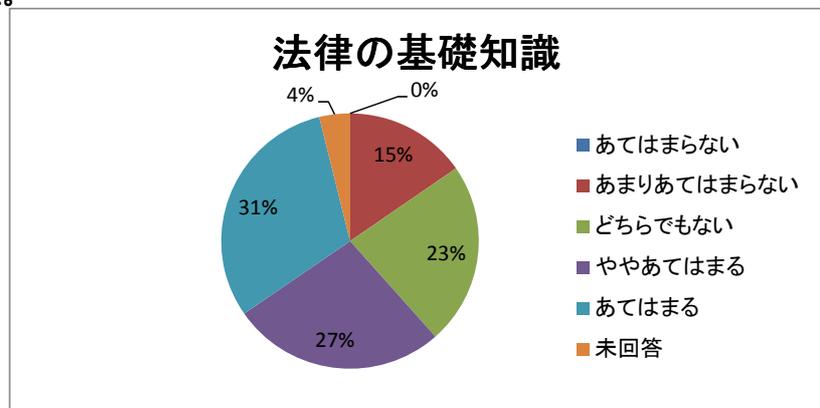
4-3 教員の指導方法は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	10
ややあてはまる	4
あてはまる	6
未回答	0



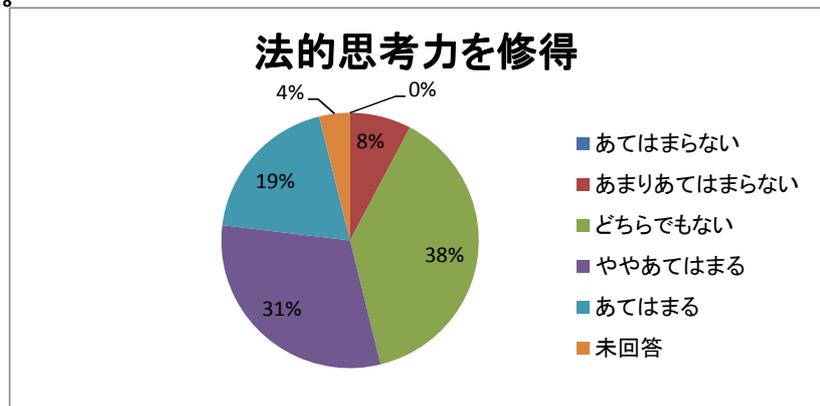
問5: 法律基本科目についてお尋ねします。
5-1 法律の基礎知識を得ることができた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	6
ややあてはまる	7
あてはまる	8
未回答	1



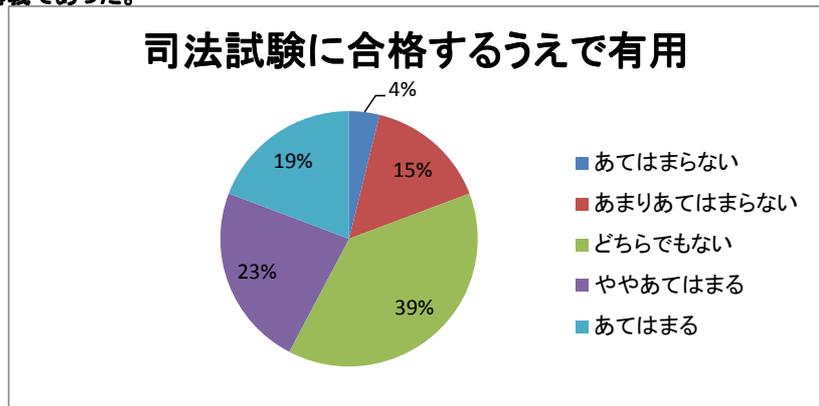
5-2 法的思考力を修得することができた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	10
ややあてはまる	8
あてはまる	5
未回答	1



5-3 司法試験に合格するうえで有用な講義であった。

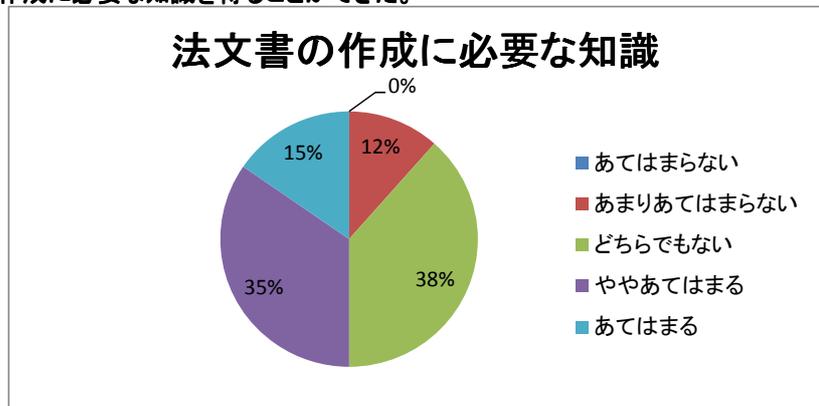
選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	10
ややあてはまる	6
あてはまる	5
未回答	0



問6: 法律実務基礎科目についてお尋ねします。

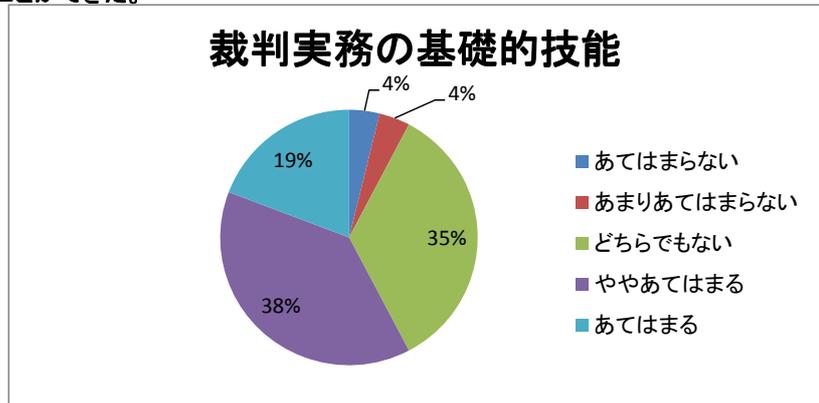
6-1 訴訟書類や契約書などの法文書の作成に必要な知識を得ることができた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	10
ややあてはまる	9
あてはまる	4
未回答	0



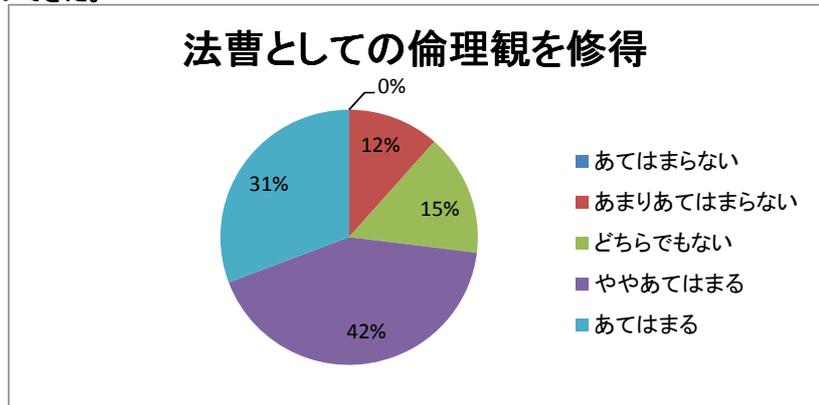
6-2 裁判実務の基礎的技能を修得することができた。

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	9
ややあてはまる	10
あてはまる	5
未回答	0



6-3 法曹としての倫理観を修得することができた。

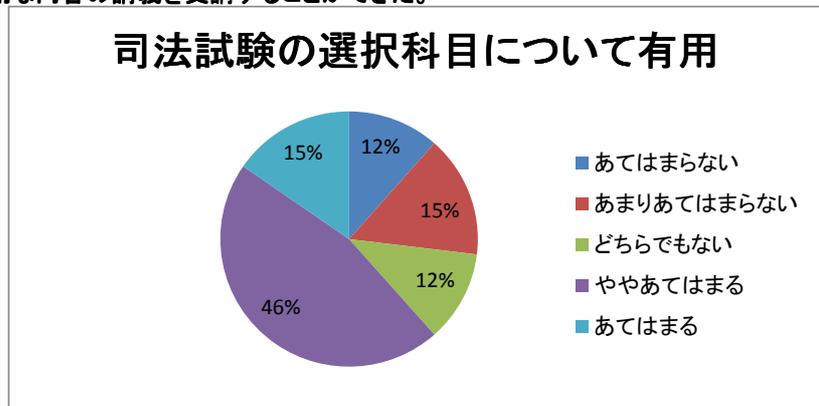
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	4
ややあてはまる	11
あてはまる	8
未回答	0



問7: 展開・先端科目および基礎法学・隣接科目についてお尋ねします。

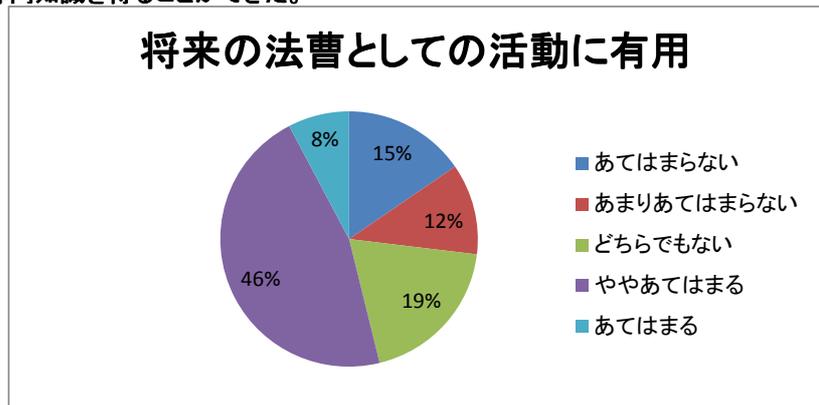
7-1 司法試験の選択科目について、有用な内容の講義を受講することができた。

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	3
ややあてはまる	12
あてはまる	4
未回答	0



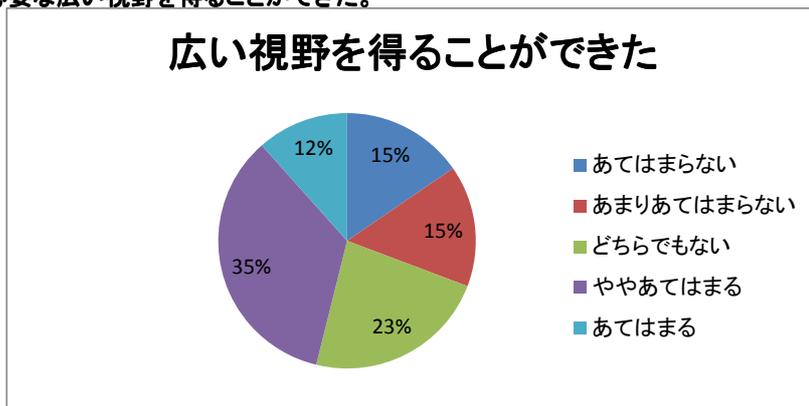
7-2 将来の法曹としての活動に有用な専門知識を得ることができた。

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	5
ややあてはまる	12
あてはまる	2
未回答	0



7-3 社会に対する考察を深めるために必要な広い視野を得ることができた。

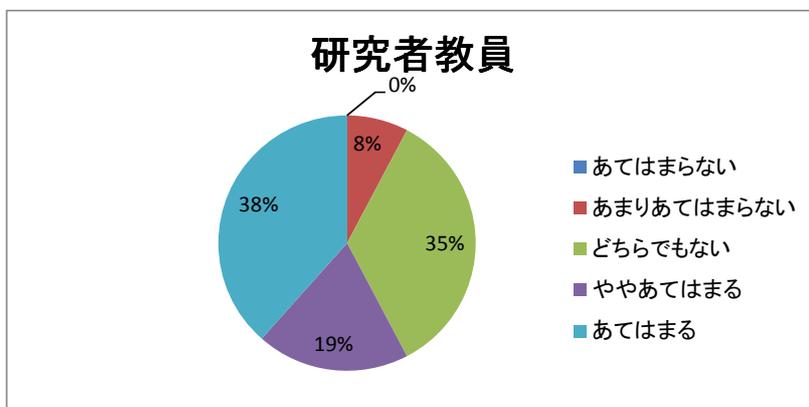
選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	6
ややあてはまる	9
あてはまる	3
未回答	0



問8: 講義を担当する教員は、担当講義にふさわしい専門的な知識を有していましたか。

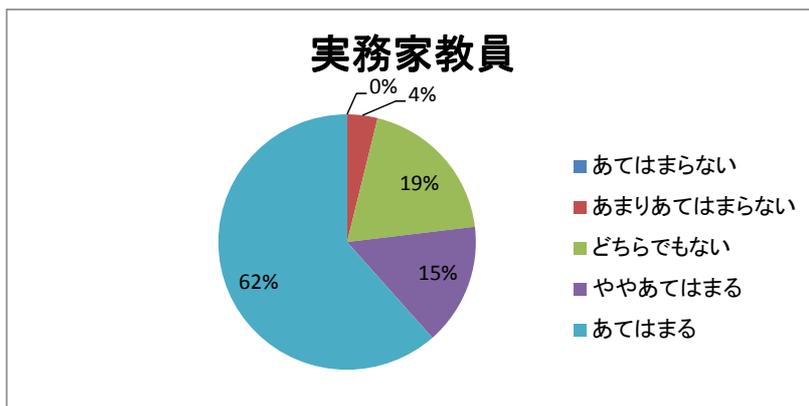
8-1 研究者教員

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	9
ややあてはまる	5
あてはまる	10
未回答	0



8-2 実務家教員

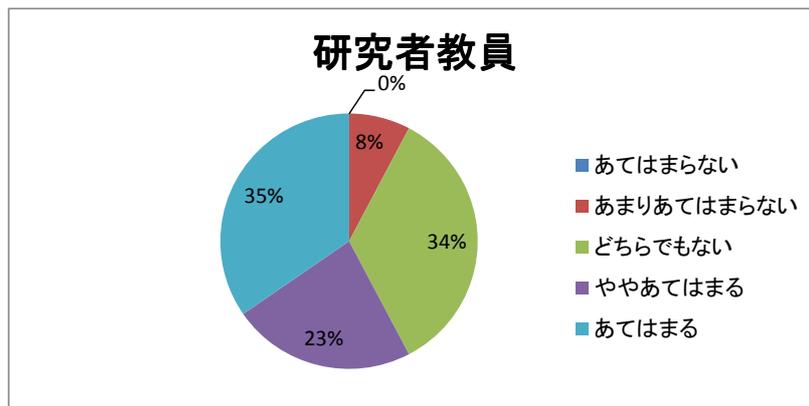
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	5
ややあてはまる	4
あてはまる	16
未回答	0



問9: 講義を担当する教員は、担当講義にふさわしい教育技能を有していましたか。

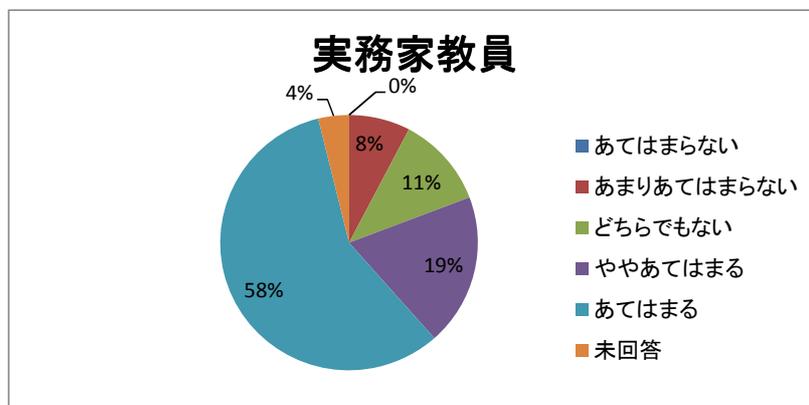
9-1 研究者教員

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	9
ややあてはまる	6
あてはまる	9
未回答	0



9-2 実務家教員

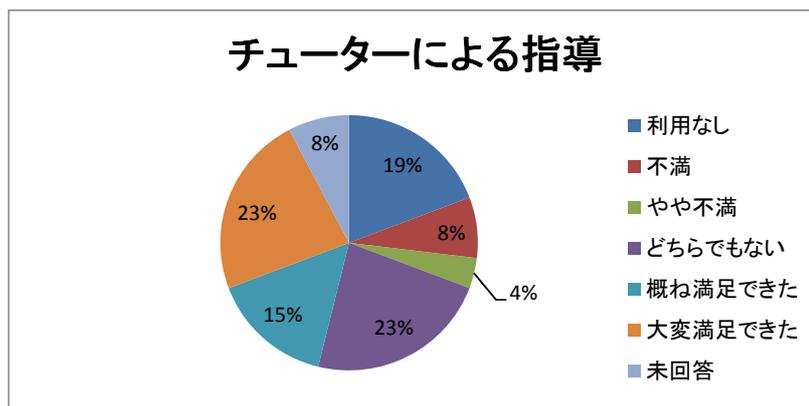
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	3
ややあてはまる	5
あてはまる	15
未回答	1



問11: 勉学サポート体制の満足度についてお尋ねします。

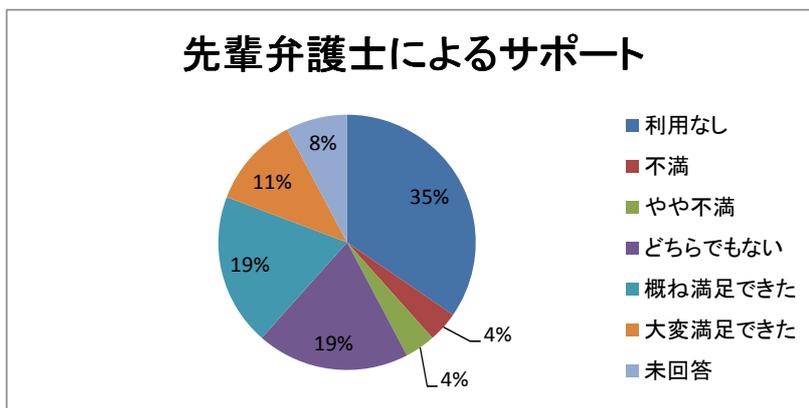
11-1 チューターによる指導

選択肢	回答
利用なし	5
不満	2
やや不満	1
どちらでもない	6
概ね満足できた	4
大変満足できた	6
未回答	2



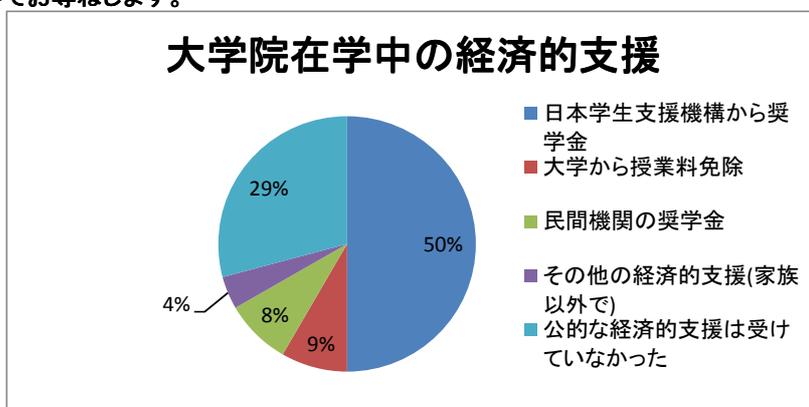
11-2 先輩弁護士によるサポート

選択肢	回答
利用なし	9
不満	1
やや不満	1
どちらでもない	5
概ね満足できた	5
大変満足できた	3
未回答	2



問13: 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

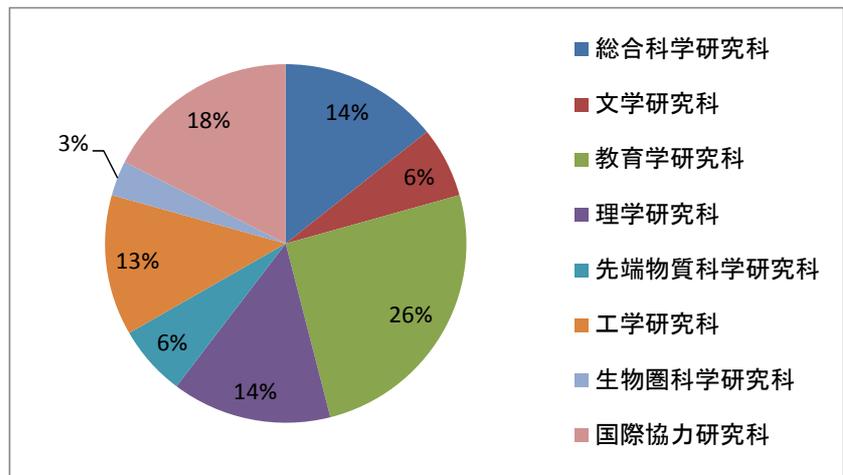
選択肢	回答
日本学生支援機構から奨学金	12
大学から授業料免除	2
民間機関の奨学金	2
その他の経済的支援(家族以外で)	1
公的な経済的支援は受けていなかった	7



平成25年度大学院課程教育修了時アンケート集計結果<全学共通項目>(博士課程後期)

○所属研究科

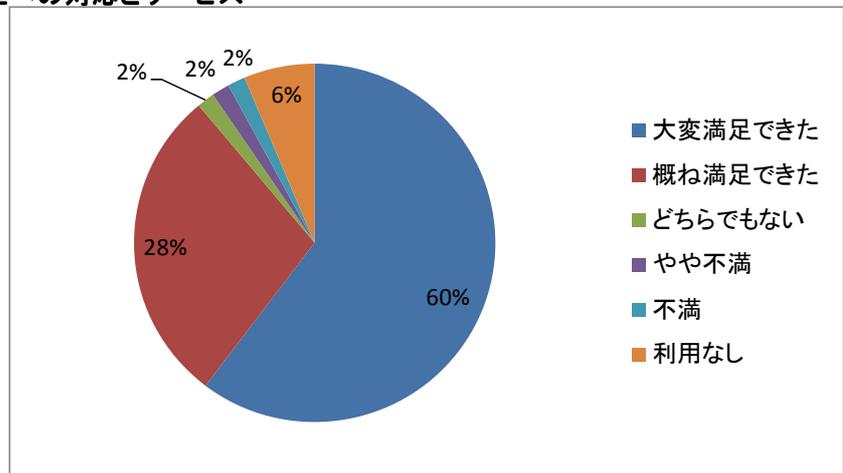
総合科学研究科	9
文学研究科	4
教育学研究科	16
理学研究科	9
先端物質科学研究科	4
工学研究科	8
生物圏科学研究科	2
国際協力研究科	11



○在学中の学生生活に関する満足度について

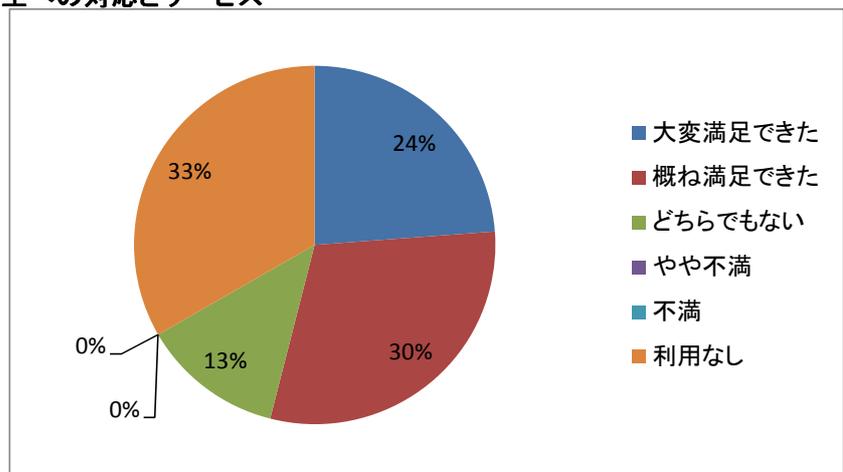
1. 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

大変満足できた	38
概ね満足できた	18
どちらでもない	1
やや不満	1
不満	1
利用なし	4
未回答	0



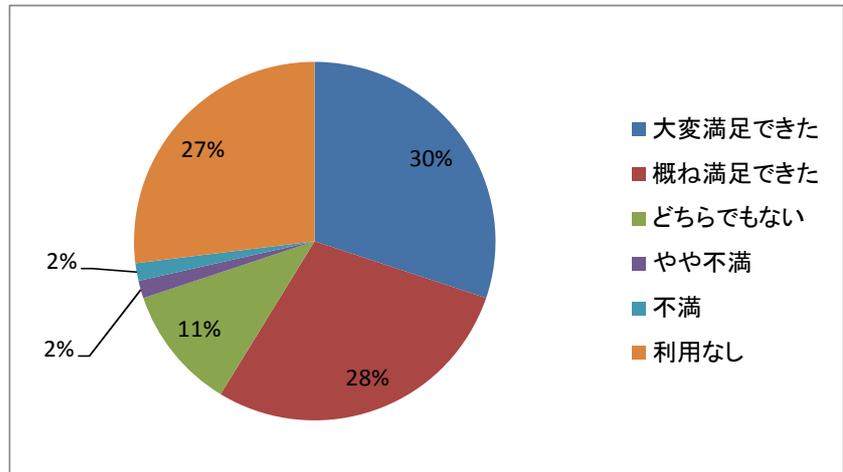
2. 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

大変満足できた	15
概ね満足できた	19
どちらでもない	8
やや不満	0
不満	0
利用なし	21
未回答	0



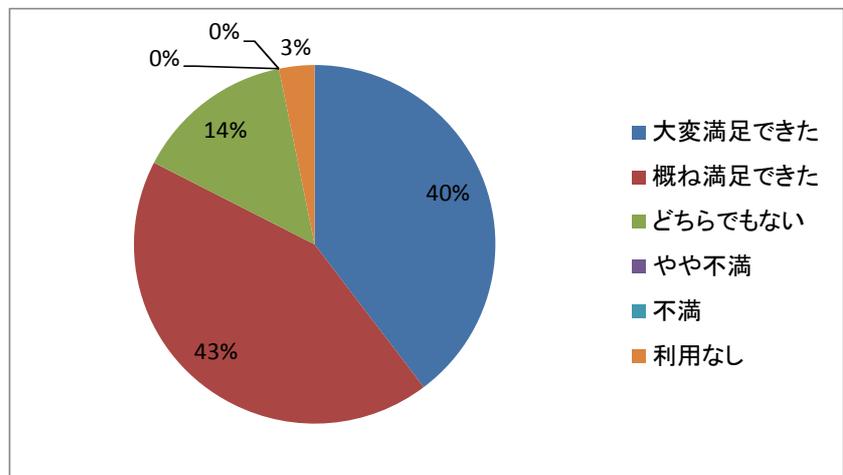
3. 保健管理センターでの対応とケア

大変満足できた	19
概ね満足できた	18
どちらでもない	7
やや不満	1
不満	1
利用なし	17
未回答	0



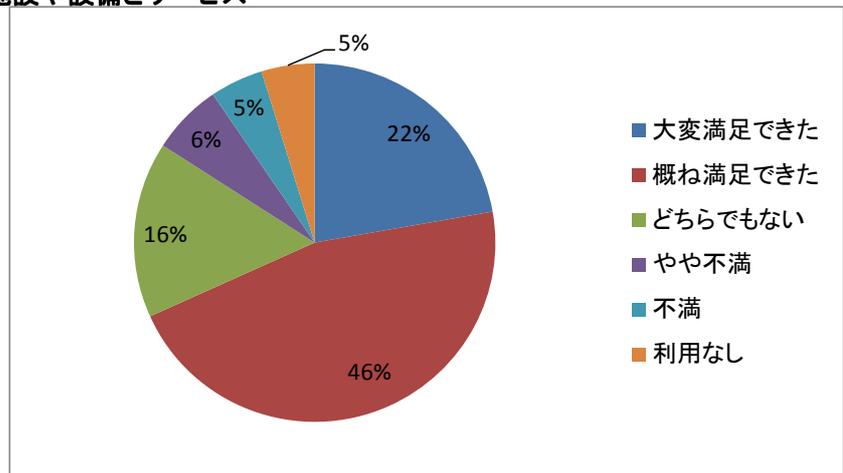
4. 図書館での対応やサービス

大変満足できた	25
概ね満足できた	27
どちらでもない	9
やや不満	0
不満	0
利用なし	2
未回答	0



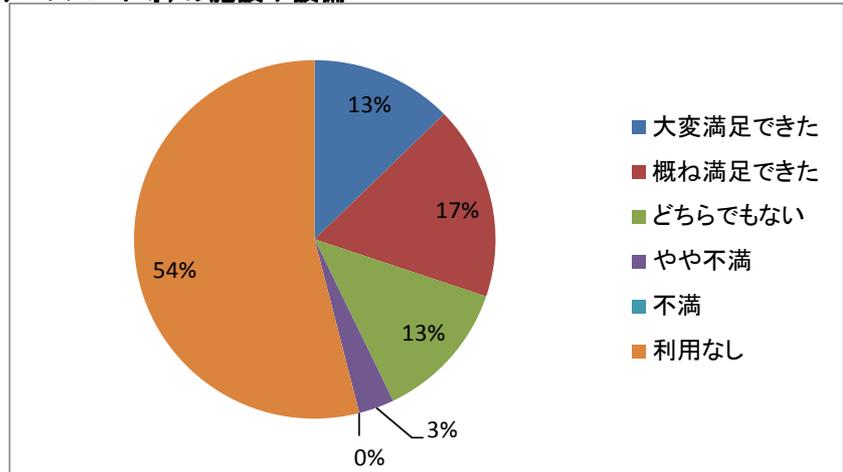
5. 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

大変満足できた	14
概ね満足できた	29
どちらでもない	10
やや不満	4
不満	3
利用なし	3
未回答	0



6. 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

大変満足できた	8
概ね満足できた	11
どちらでもない	8
やや不満	2
不満	0
利用なし	34
未回答	0



7. 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

大変満足できた	10
概ね満足できた	18
どちらでもない	10
やや不満	3
不満	4
利用なし	18
未回答	0

